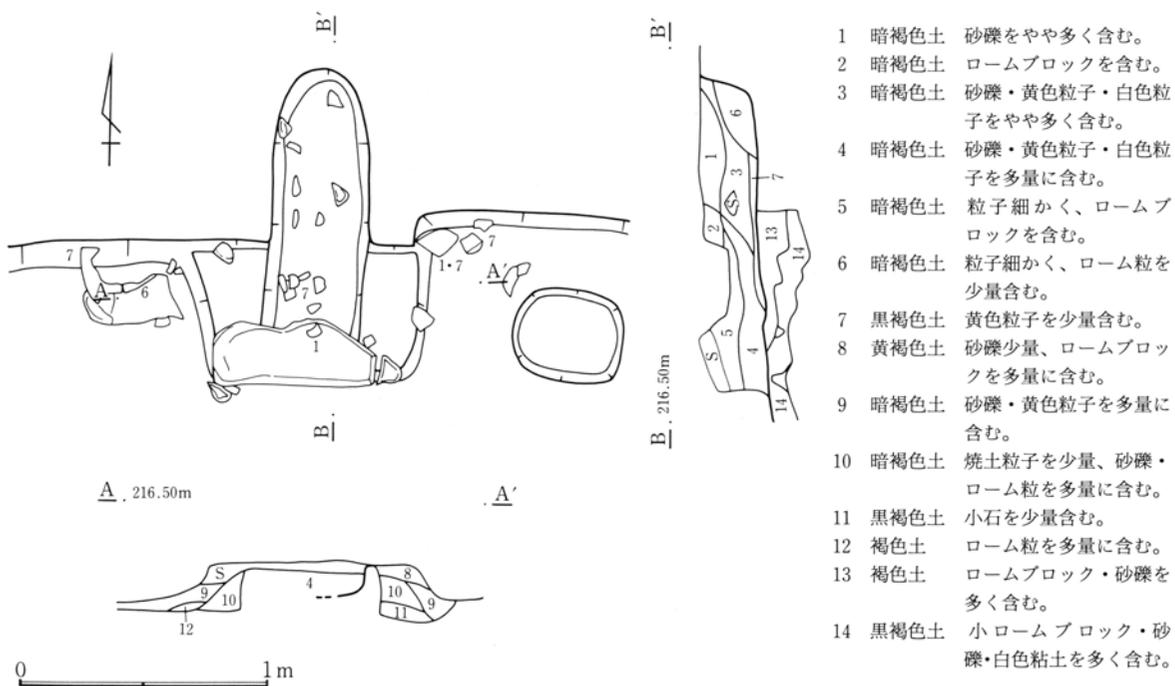
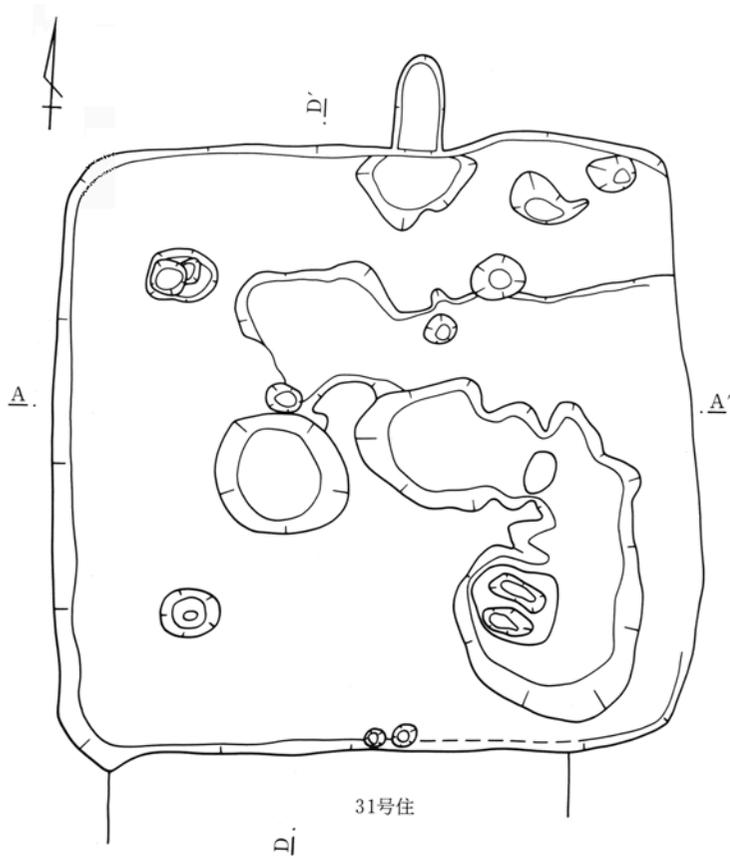


第2章 検出された遺構と遺物

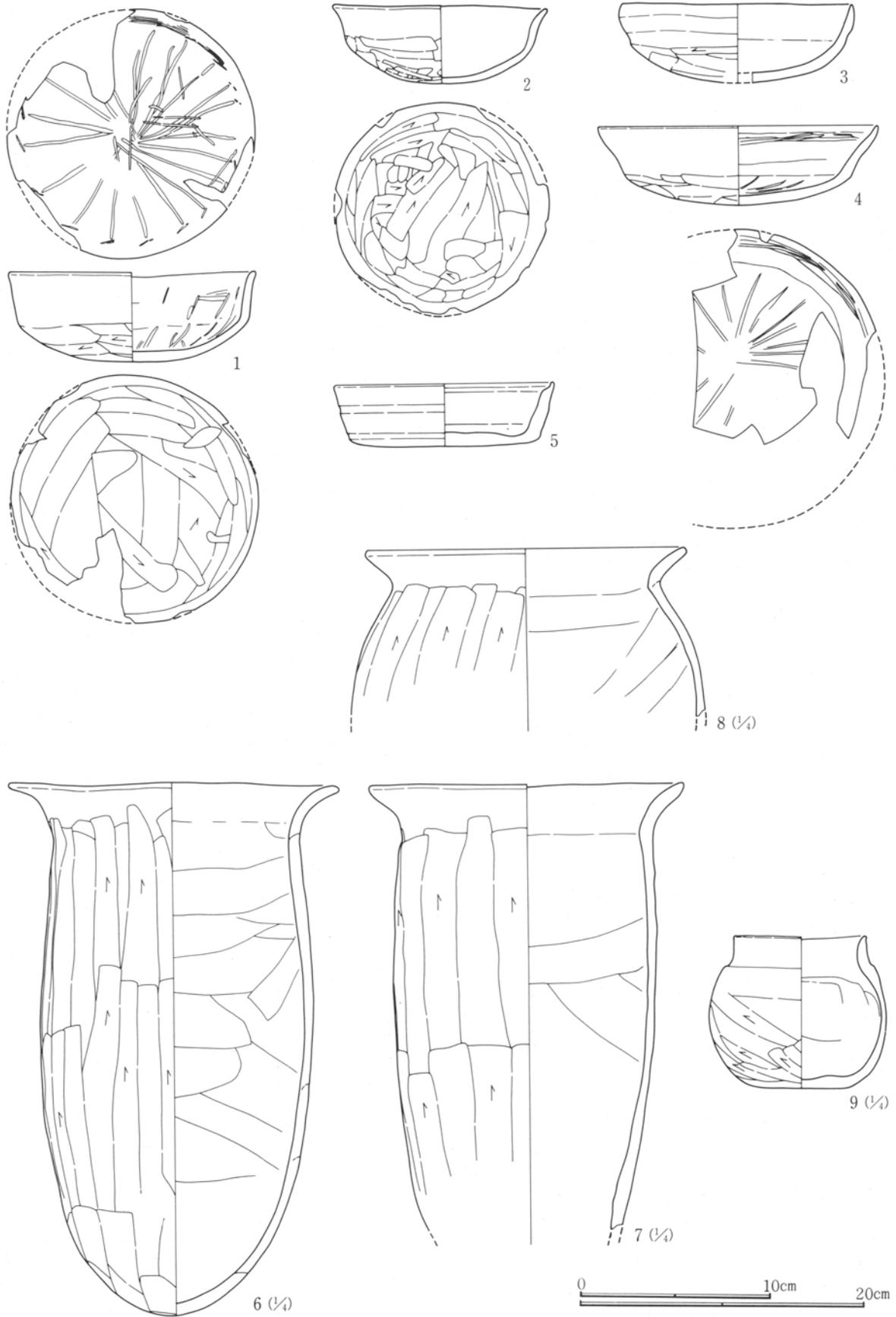


第261図 40号住居跡 カマド



0 2m

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



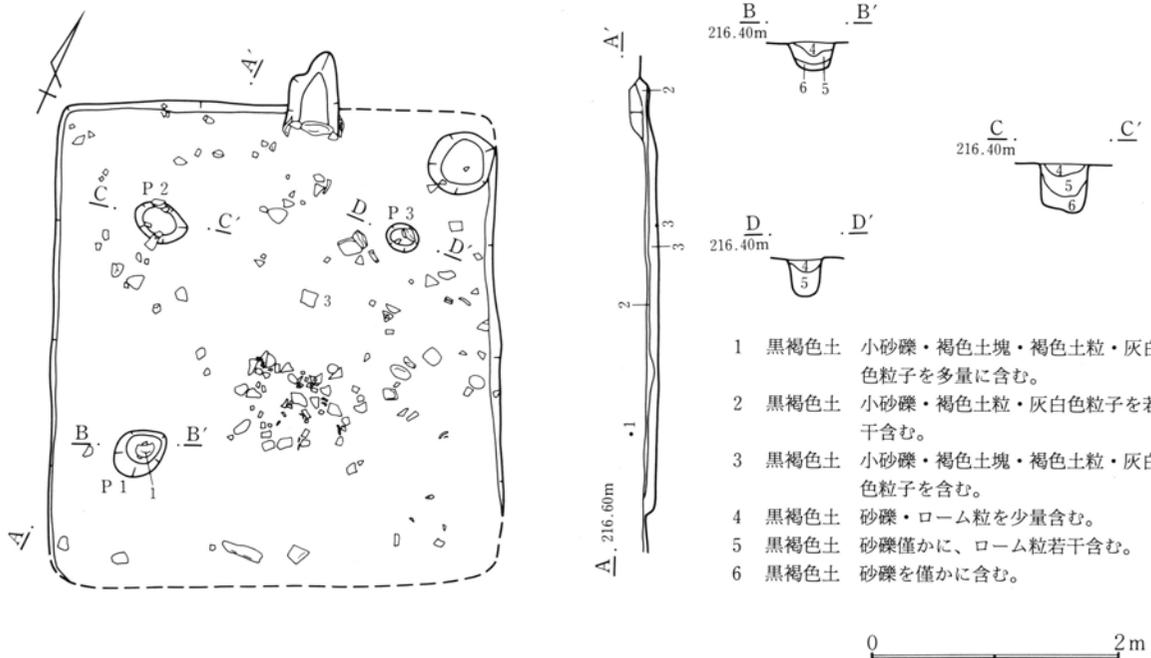
第263図 40号住居跡出土遺物

第2章 検出された遺構と遺物

40号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	カマド周 辺	12.8	4.6	砂粒を含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 底部篋削り 内 横撫で後暗文施文	ほぼ完形
2	土師器 坏	埋土	11.1	4.1	砂粒を少量 含む	灰黄褐	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	ほぼ完形 頸部に 径4mm焼成前穿孔
3	土師器 坏	床北側 貯蔵穴	12.0		砂粒を少量 含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	ほぼ完形
4	土師器 坏	床北側	14.5	4.2	砂粒を少量 含む	黄灰	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 篋磨き後暗文施文	
5	土師器 坏	埋土	(11.5) (10.0)	3.2	砂粒を少量 含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	内外面スス付着
6	土師器 甕	カマド周 辺	23.2	37.2	小石・砂を 含む	鈍い橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	ほぼ完形
7	土師器 甕	埋土	22.1		小石・砂を 多く含む	鈍い褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	外面黒斑あり
8	土師器 甕	床中央	(22.2)		小石・砂を 多く含む	鈍い赤 褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
9	土師器 小型甕	カマド周 辺	9.2 7.0	10.6	砂粒を少量 含む	黄橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	完形

41号住居跡 (第264～266図、PL26・211)



第264図 41号住居跡

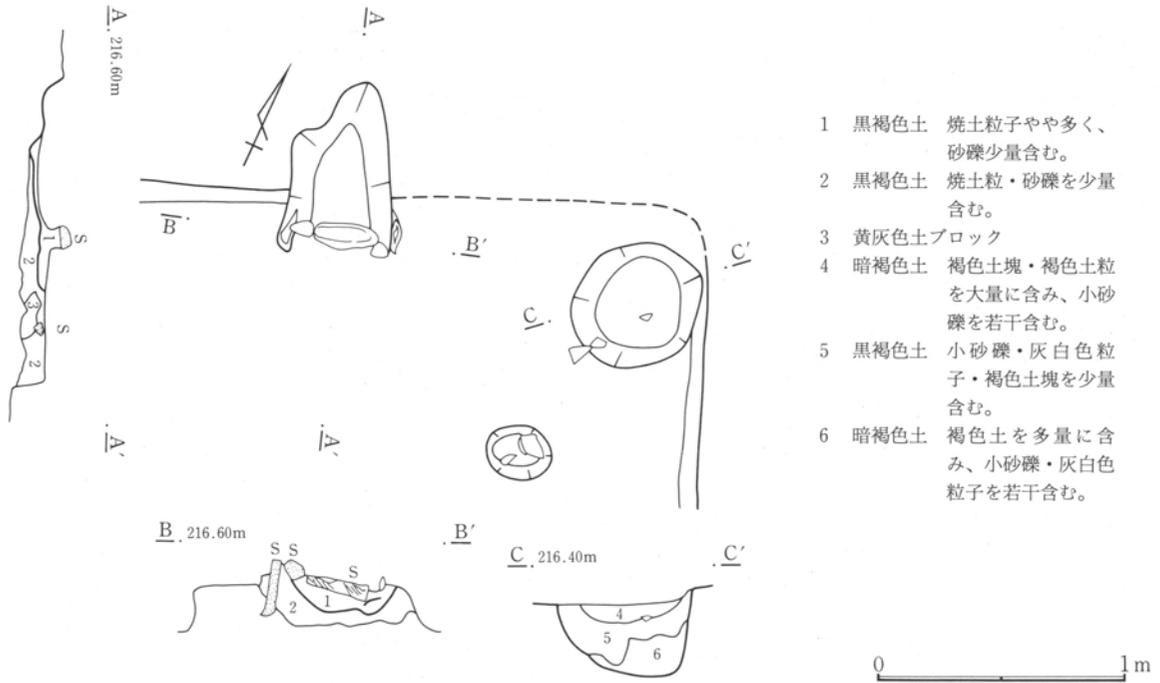
住居は正方形であるが、西壁に比べて東壁がやや短くなっていると思われる。床面は軟弱ではっきりとは検出できなかったが、ほぼ平坦な床面と考えられる。なお住居掘り方については、はっきりしないものの床面が掘り方であった可能性が高い。

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

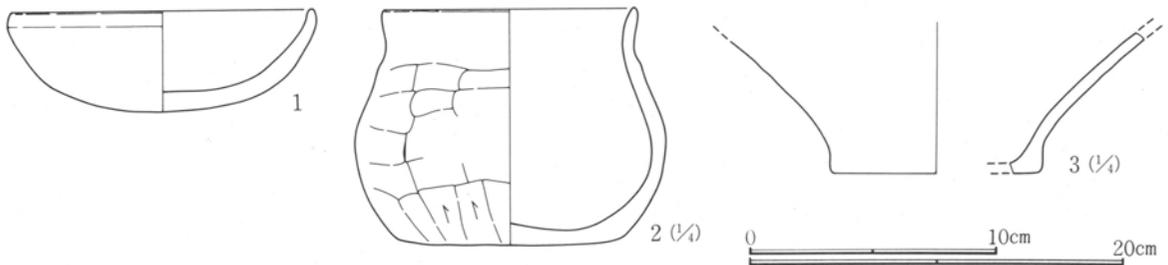
柱穴は3ヶ所検出された。そのうち北壁近くの2ヶ所については住居の対角線上に位置するが、南西コーナー近くの1ヶ所については、やや北側にずれている。貯蔵穴は北東隅に発見された。貯蔵穴の平面形は円形で、底面はやや丸味を帯びており立ち上がりは比較的急である。

カマドは、砂岩の切り石を袖石として袖を構築している。天井石も砂岩を使用しており、袖石からやや落ちた状態で出土している。火床面は床面と同レベルで、あまり焼けていない。

出土遺物として土師器坏・土師器壺・土師器小型甕がある。



第265図 41号住居跡 カマド

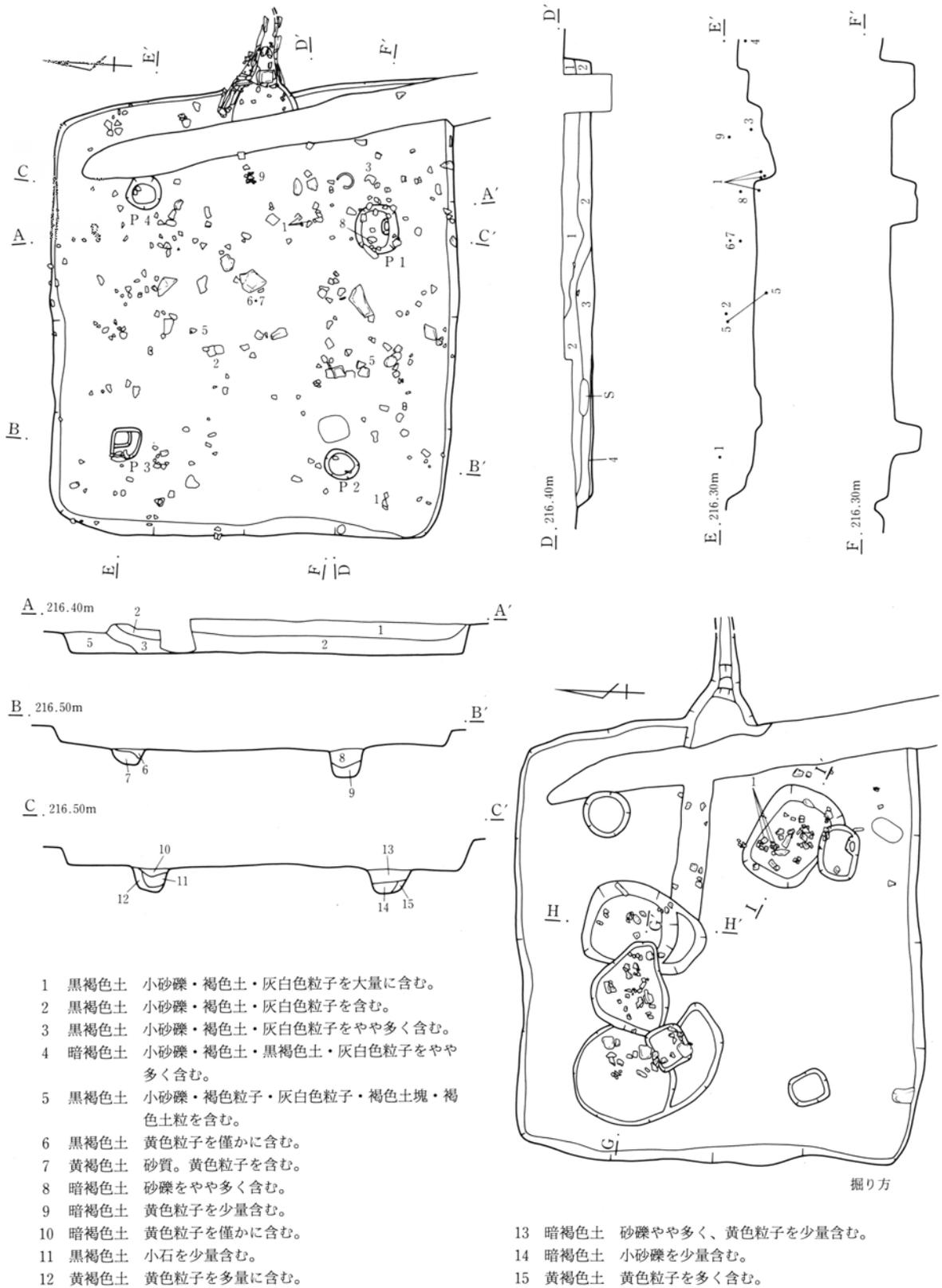


第266図 41号住居跡出土遺物

41号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	埋土	(12.2)	4.0	小砂粒を含む	橙	普通	外 口唇部横撫で 内 横撫で	2/3
2	土師器 甕	埋土	13.4 12.1	12.5	砂粒を含む	橙	不良	外 口縁部横撫で 内 口縁部～底部撫で	
3	土師器 壺	床中央	(11.2)		小石・砂を含む	橙	良好	外 撫で 内 撫で	

43号住居跡 (第267~269図、PL26・27・212)



第267図 43号住居跡

0 2m

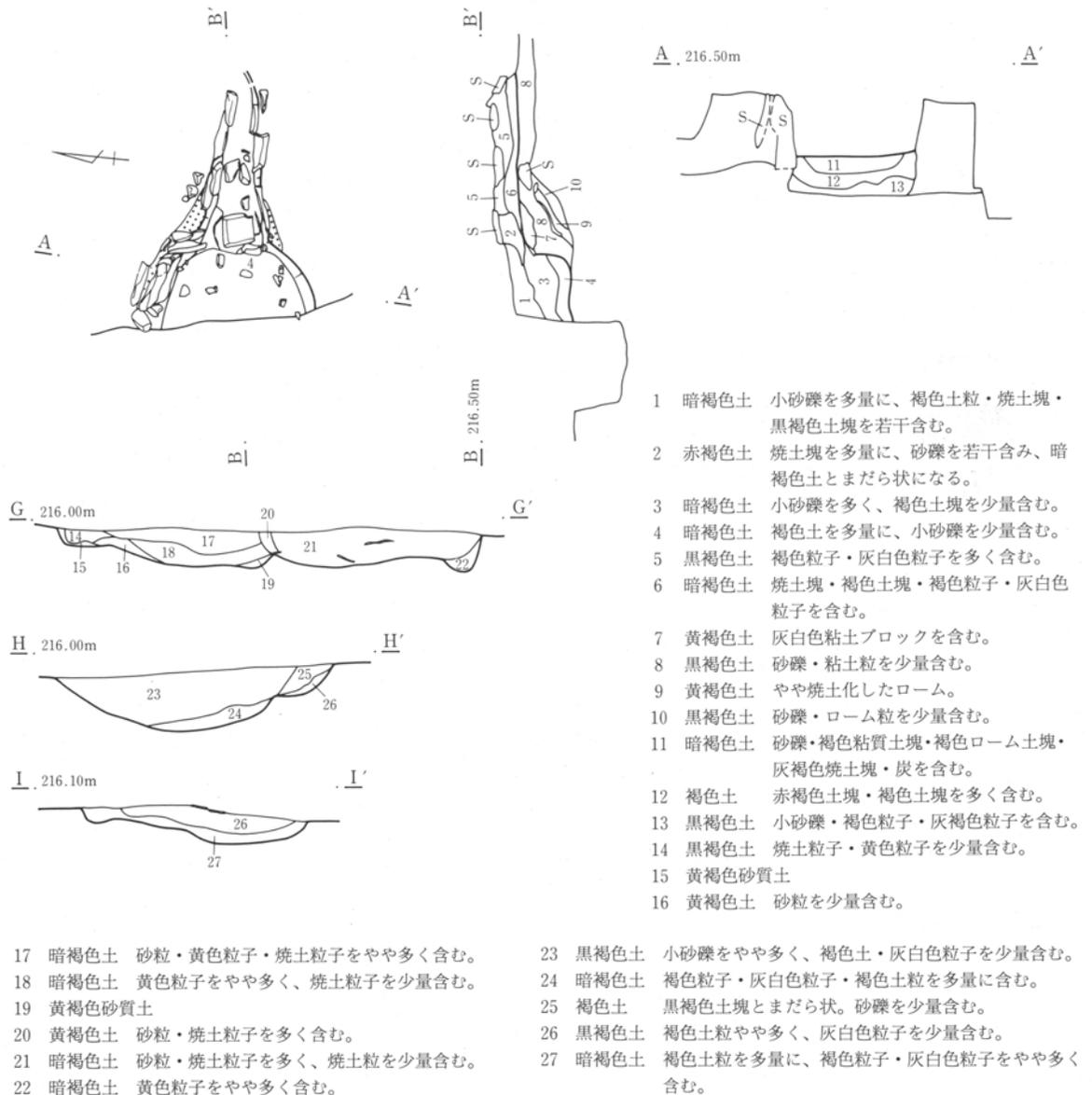
第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

43号住居は隅丸方形と考えられるが、南壁が東側に長くなっていると推定され、そのため北東コーナーが鈍角となっている。床面はほぼ平坦で、比較的しっかりしている。掘り方をそのまま床面としており、床面下からは床下土坑が発見されている。

柱穴は住居の対角線上に4ヶ所検出された。貯蔵穴は検出されておらず、耕作溝により削平されていることも考えられるが、耕作溝の幅が狭いことを考えると、無かった可能性が高い。

カマドは、砂岩の割石を側壁にあてて構築されている。袖部については耕作溝により破壊されているため不明である。

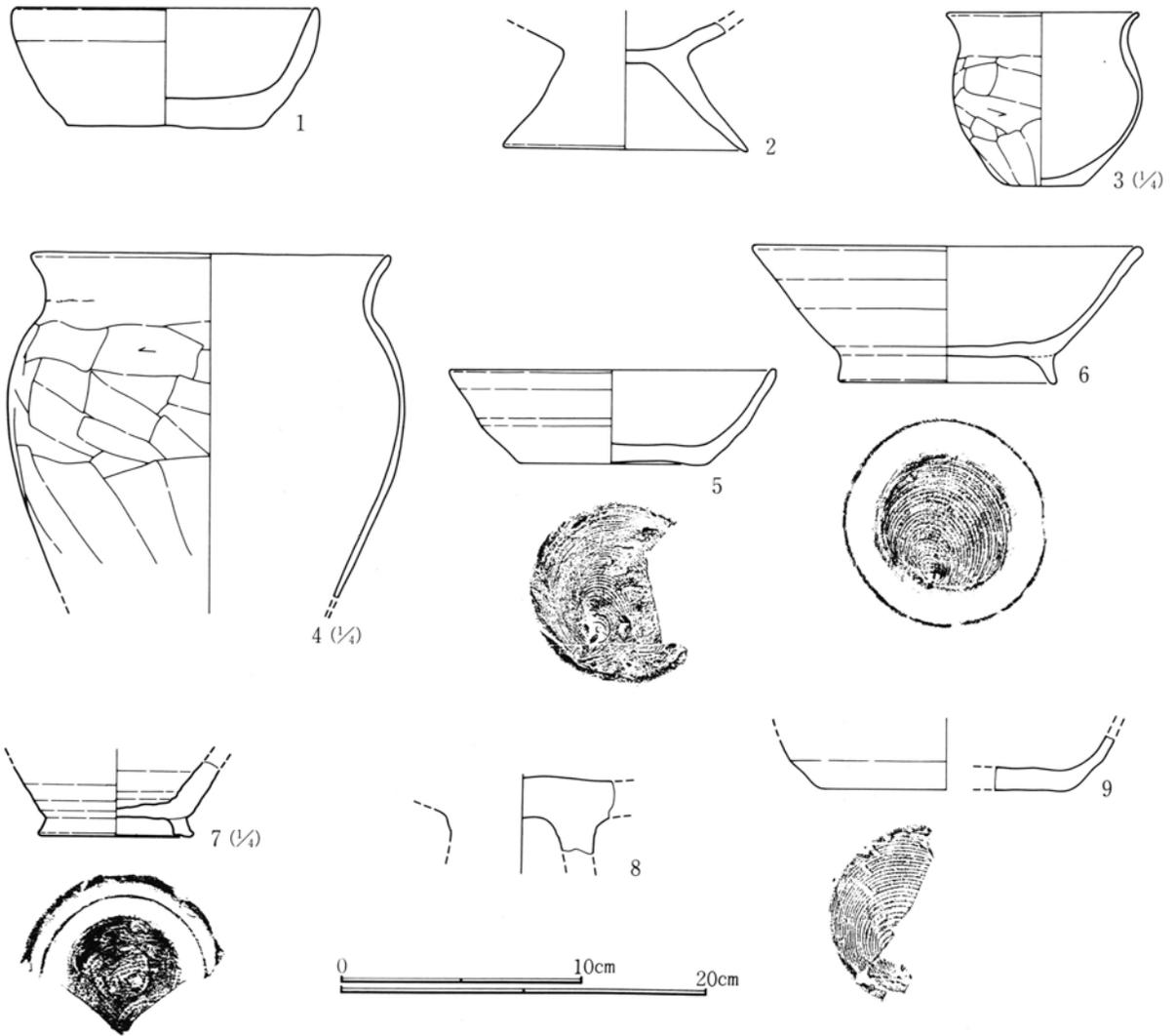
出土遺物には土師器坏・土師器高坏・土師器甕・須恵器埴・灰釉陶器皿等がある。甕4はカマド内より、坏1は4号床下土坑より出土している。その他の遺物は住居全域にわたっており、床面付近および18cm位浮いたものがある。



第268図 43号住居跡 カマド

0 1m

第2章 検出された遺構と遺物

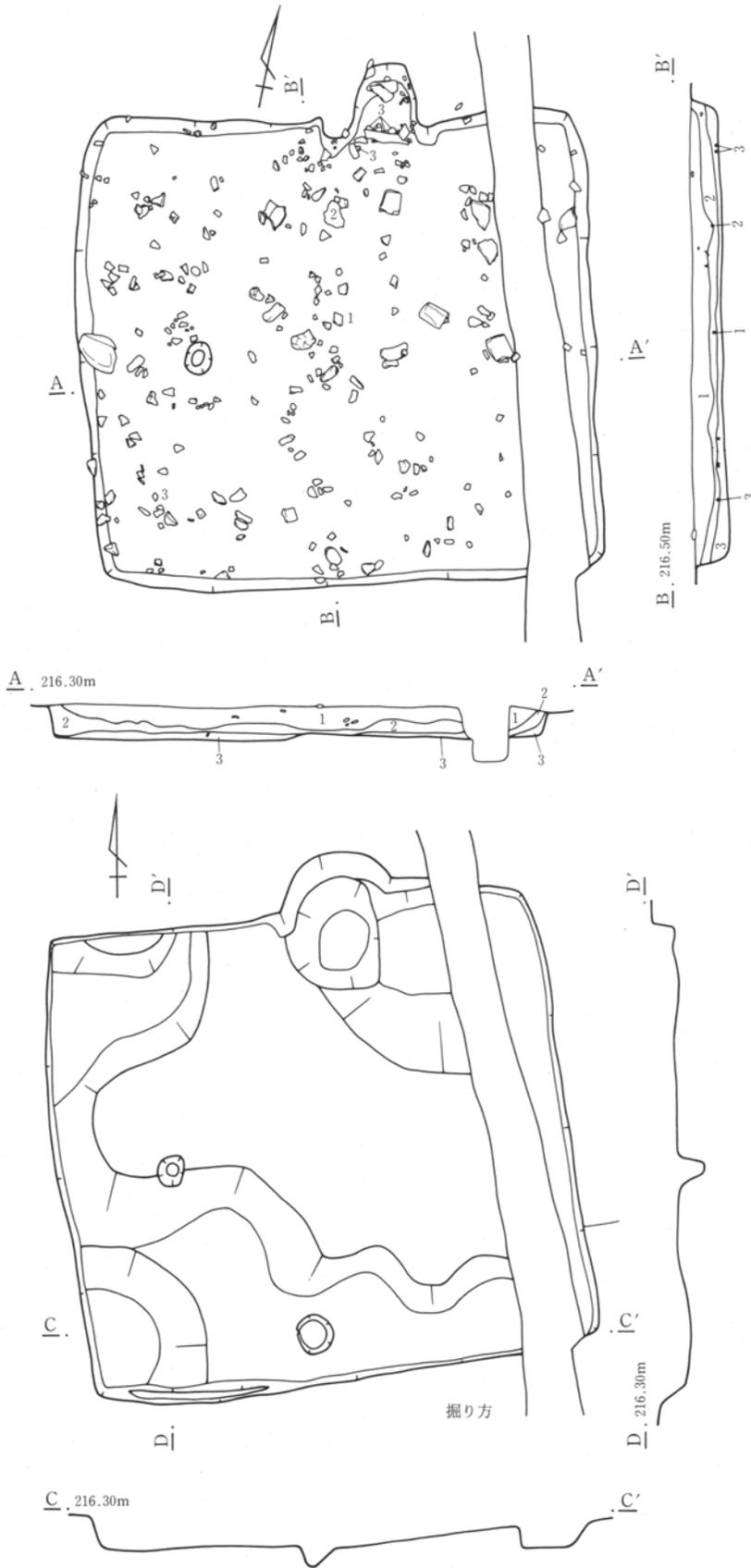


第269図 43号住居跡出土遺物

43号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	床下土坑	12.6 8.0	3.6	小砂粒を少量含む	明黄褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/2
2	土師器 台付甕	床中央	10.0		小砂粒を含む	橙	良好	外 横撫で 内 撫で	
3	土師器 小型甕	床下土坑	10.5 4.2	9.5	小砂粒を含む	鈍い赤褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	2/3 外面スス附着
4	土師器 甕	カマド内	19.5		砂粒を含む	鈍い黄褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
5	須恵器 坏	3号床下土坑	13.3 7.4	3.8	微砂粒を含む	黄灰	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り	1/2
6	須恵器 壺	床中央	15.4 8.8	5.5	微砂粒を含む	オリブ黒	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り 付け高台	4/5
7	須恵器 瓶	床中央	8.8		精製	灰	良好	ロクロ整形	4/5 高台部外面・底部内面に自然釉
8	須恵器 高坏	床下土坑			精製	灰白	不良	ロクロ整形	
9	須恵器 坏	床東側	10.0		精製	灰白	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り	

44号住居跡 (第270~272図、PL27・212)



住居は正方形を呈する。床面は平坦であり、一部貼床をしているが比較的しっかりしている。柱穴および貯蔵穴は発見されなかった。掘り方は、中央付近がやや高くなっており、この部分は床面となっているが、周辺部はやや下がっている部分が多い。

- 1 黒褐色土 小砂礫・褐色土粒・灰白色粒子を多く含む。
- 2 黒褐色土 小砂礫・褐色土粒を含む。
- 3 黒褐色土 砂礫を含む。褐色粘質土塊を少量含む。

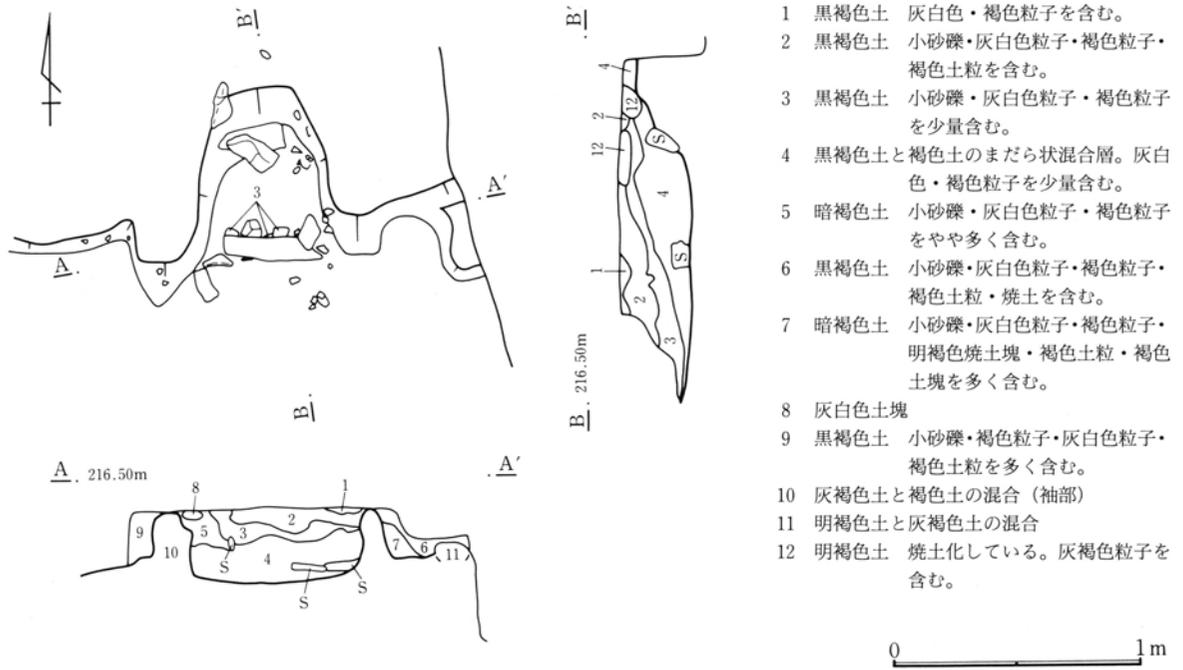
カマドは砂岩を構築材としており、側壁・天井部等すべてに使用されていたと考えられ、カマド内および、その付近から多くの砂岩が出土している。

火床面は床面とほぼ同レベルであるが、あまり焼けていない。

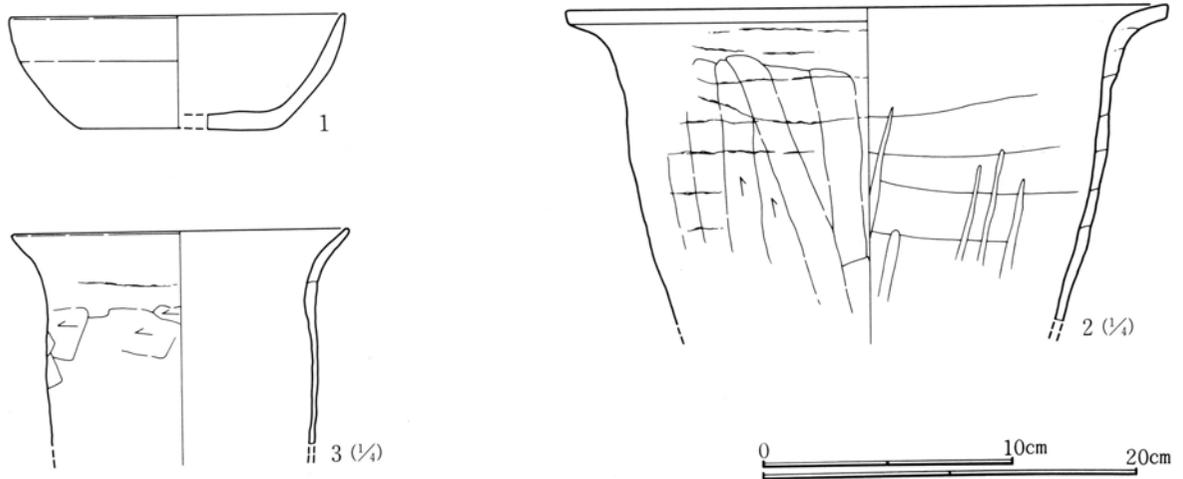
出土遺物として土師器杯と甕があるが、いずれも破片で床面近くより出土している。

第270図 44号住居跡

第2章 検出された遺構と遺物



第271図 44号住居跡 カマド



第272図 44号住居跡出土遺物

44号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床中央	(13.4)	4.4 (8.0)	小石・砂粒 を含む	黄	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/4
2	土師器 甕	床北側	(32.0)		砂粒を少量 含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	外面黒斑あり
3	土師器 甕	カマド周 辺	(18.0)		砂粒を少量 含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	内面スス付着

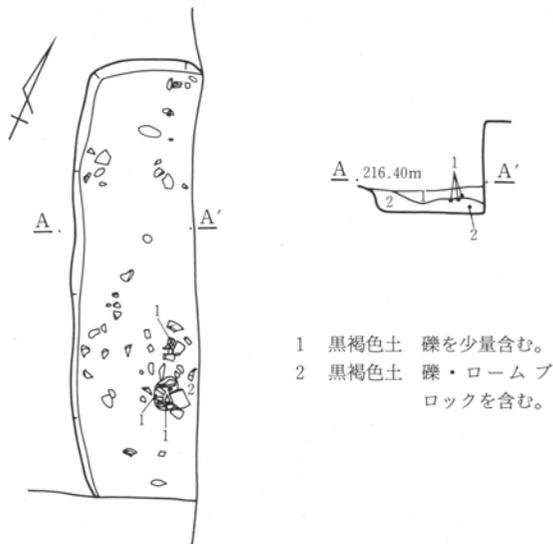
第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

46号住居跡 (第273・274図、PL27・212)

住居は一部が確認されたのみで、隅丸方形となる可能性があるが、明確ではない。

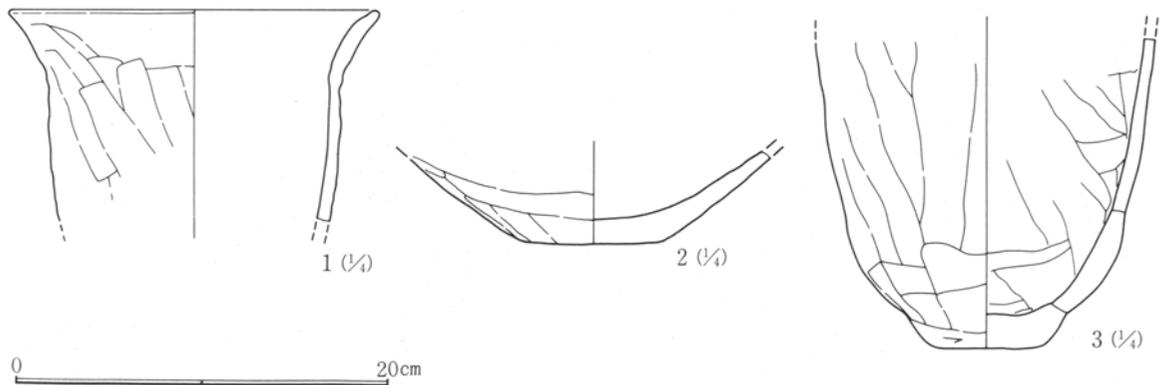
掘り方の面を床面としており、住居の周辺部にあたるためか、やや軟弱である。調査された範囲の中には、柱穴およびカマドは確認されなかった。

出土遺物には、土師器甕がある。いずれも破片で、床面よりやや浮いた状態で出土している。



第273図 46号住居跡

0 2m



第274図 46号住居跡出土遺物

46号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 甕	埋土	(19.6)		砂粒を多く含む	鈍い褐	普通	外 口縁部横撫で 内 口縁部～体部横撫で	
2	土師器 壺	床南側		7.4	小石・砂粒を含む	黄	普通	外 斜め撫で 内 撫で	
3	土師器 甕	埋土内		5.8	砂粒を含む	鈍い黄褐	普通	外 篋削り後縦撫で 内 撫で	

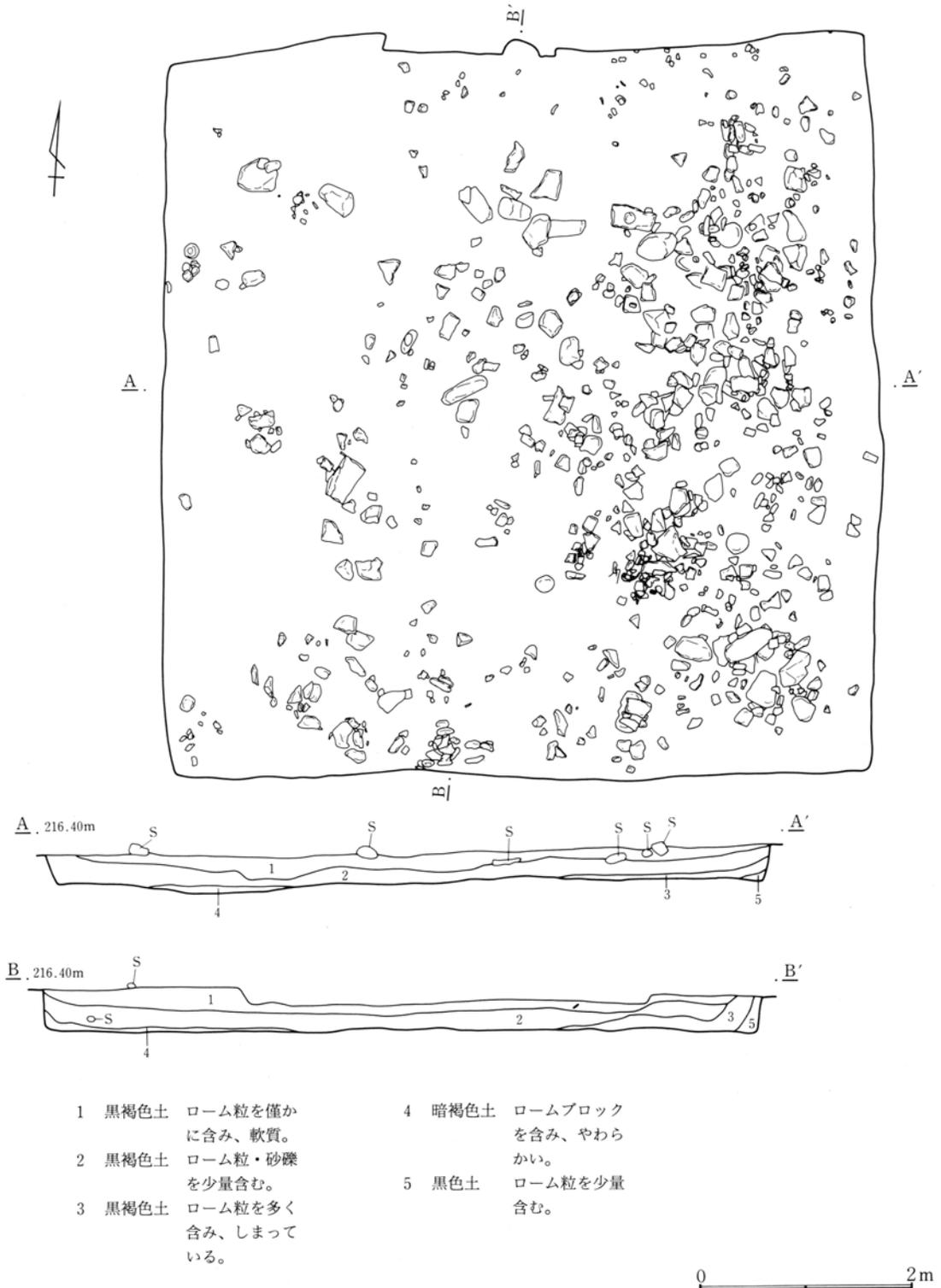
47号住居跡 (第275～281図、PL27・28・212・250・251)

住居は正方形を呈する。西南コーナー部分には、本住居埋没後に64号住居跡が造られているが、破壊は本住居の床面付近までは及んでいない。

床面は貼床をしており、平坦でよく踏み固められている。柱穴は住居の対角線上に確認された。掘り方は

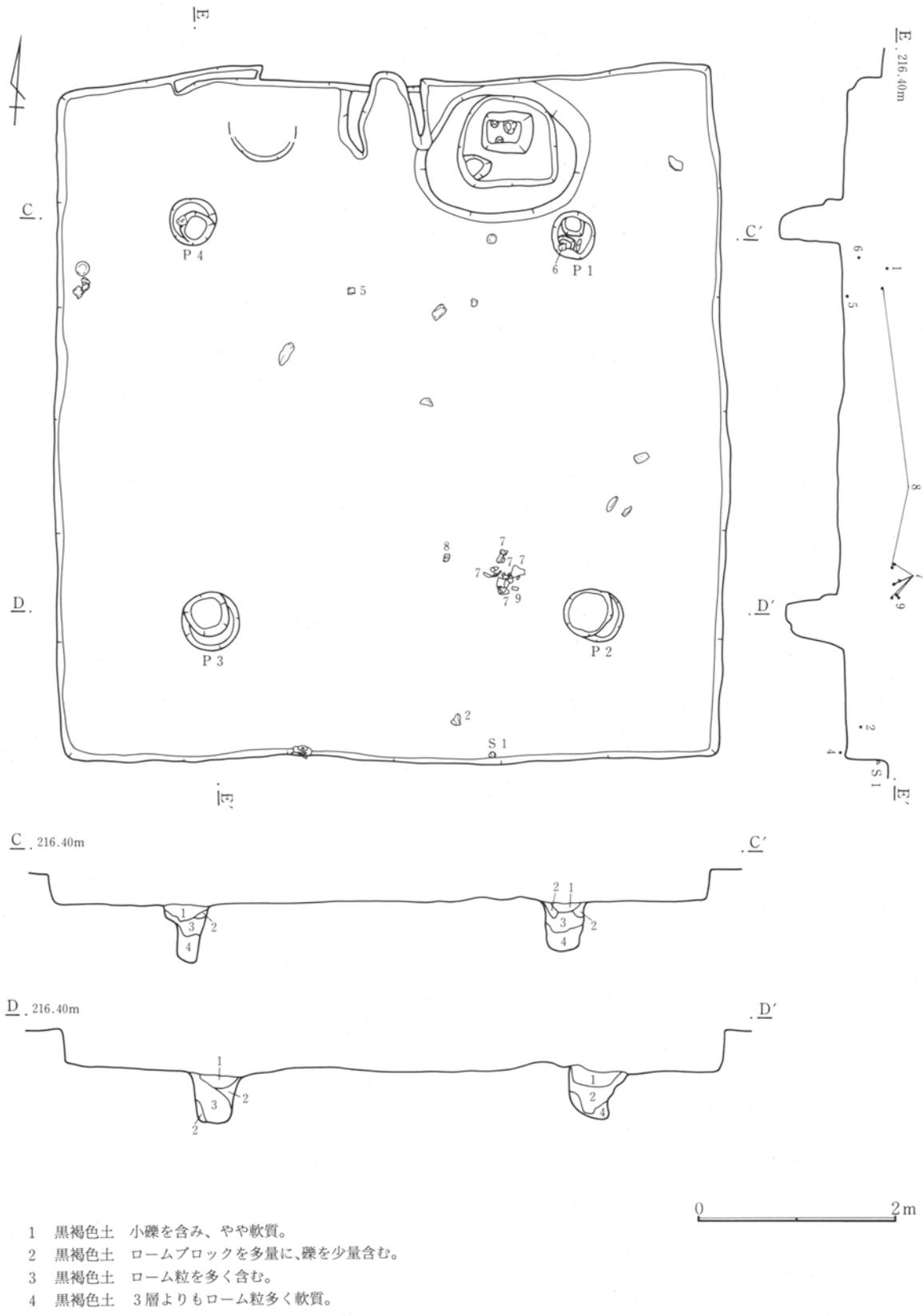
第2章 検出された遺構と遺物

床面下10cm~18cmで、凹凸が多くみられ、小 Pit が複数存在する。この小 Pit については、本住居掘り方に伴うものであるのか否かについては確認出来なかった。また、床下土坑については、存在しないものと考えられる。



第275図 47号住居跡遺物出土状況

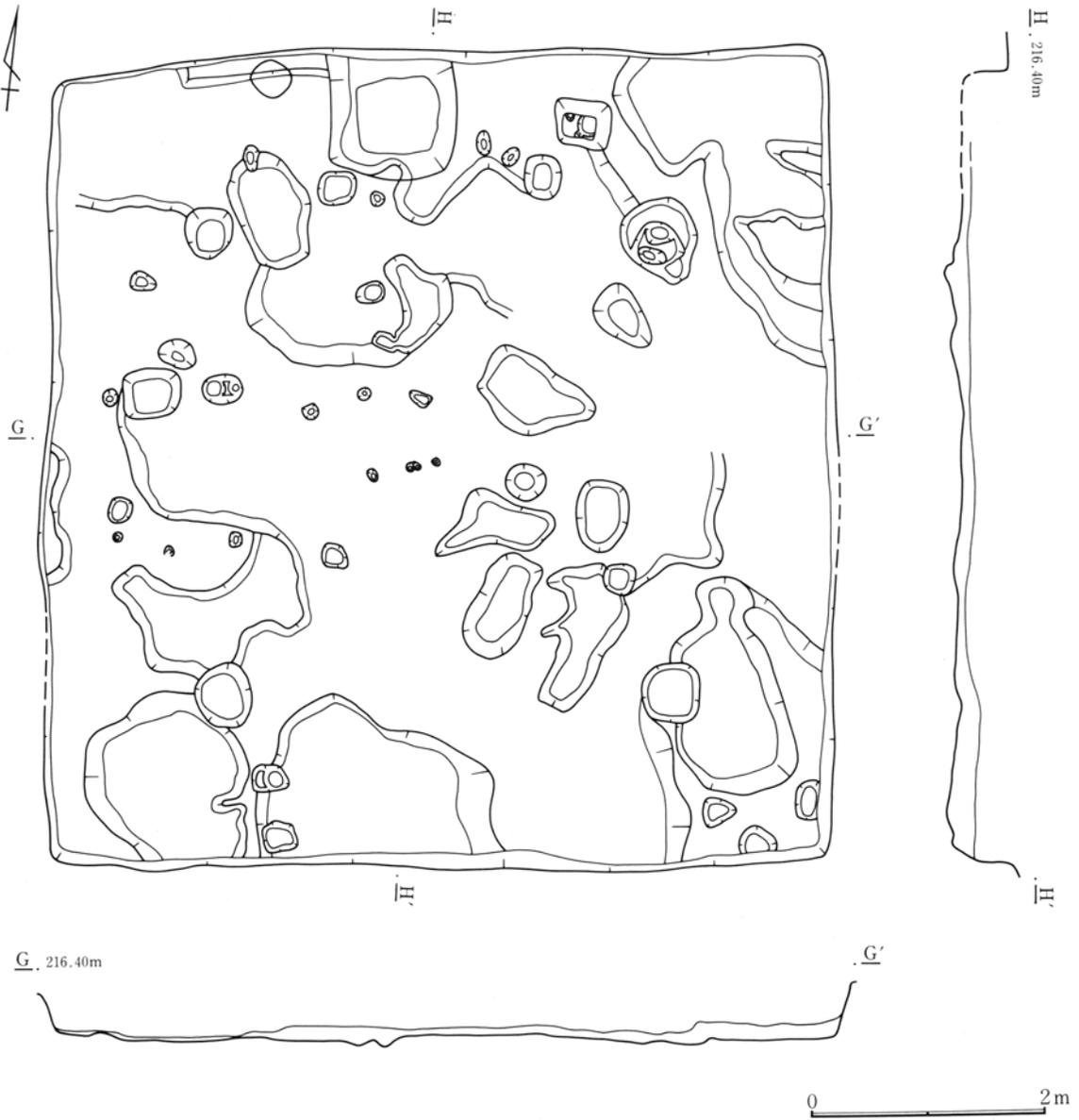
第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



- 1 黒褐色土 小礫を含み、やや軟質。
- 2 黒褐色土 ロームブロックを多量に、礫を少量含む。
- 3 黒褐色土 ローム粒を多く含む。
- 4 黒褐色土 3層よりもローム粒多く軟質。

第276図 47号住居跡

第2章 検出された遺構と遺物



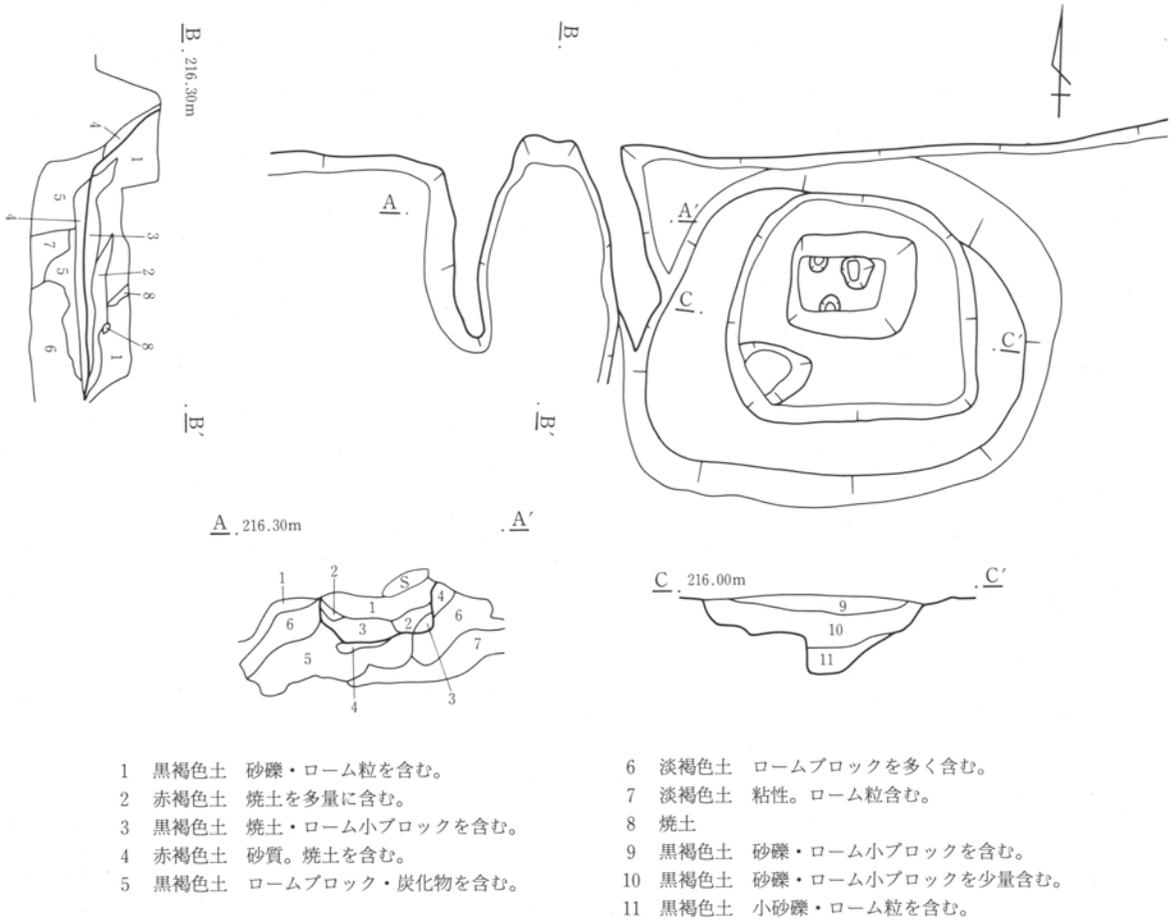
第277図 47号住居跡 掘り方

貯蔵穴は、カマド右脇に位置する。貯蔵穴は長辺1m、短辺90cmの不整形を呈し、深さ30cmで二段掘りとなる。貯蔵穴の周囲は、床面より約5cm高くなっており、この高い部分（長径1.7m、短径1.3mの範囲）は、粘質の褐色土で固められていた。

カマドは北壁中央に付設されており、ロームブロックを含む粘質土で比較的しっかりした袖が構築されている。火床面には約3cmほど焼土が堆積しており、床面より僅かに高くなっている。

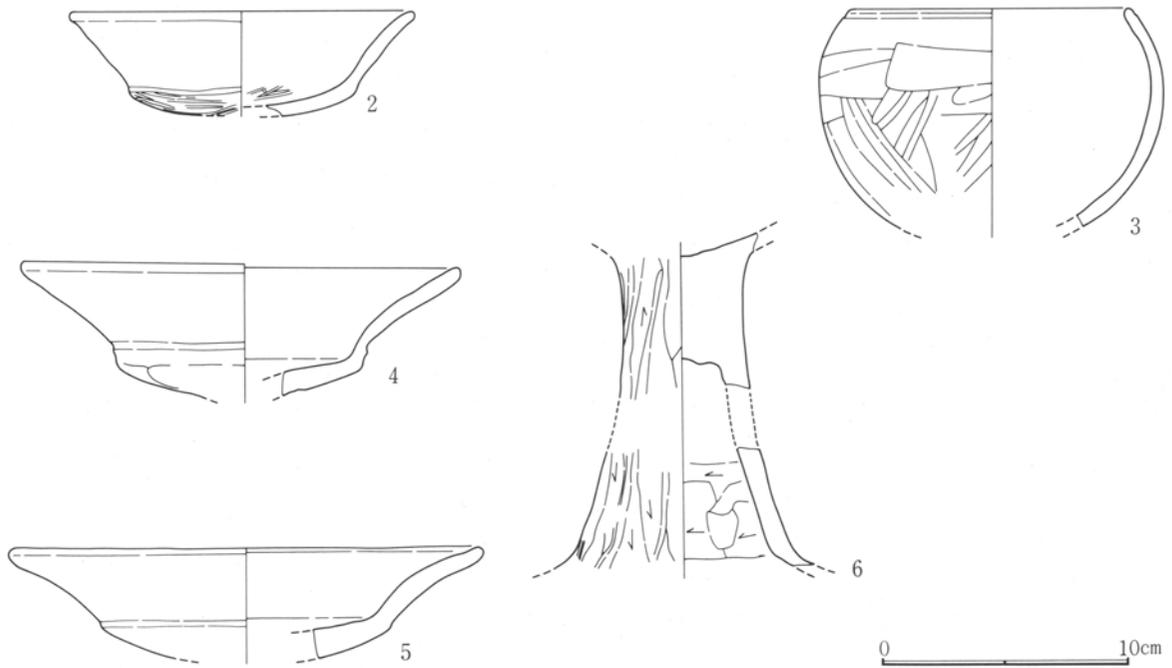
出土遺物として、土師器坏・土師器壙・土師器高坏・土師器甕・砥石・こも編石がある。

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



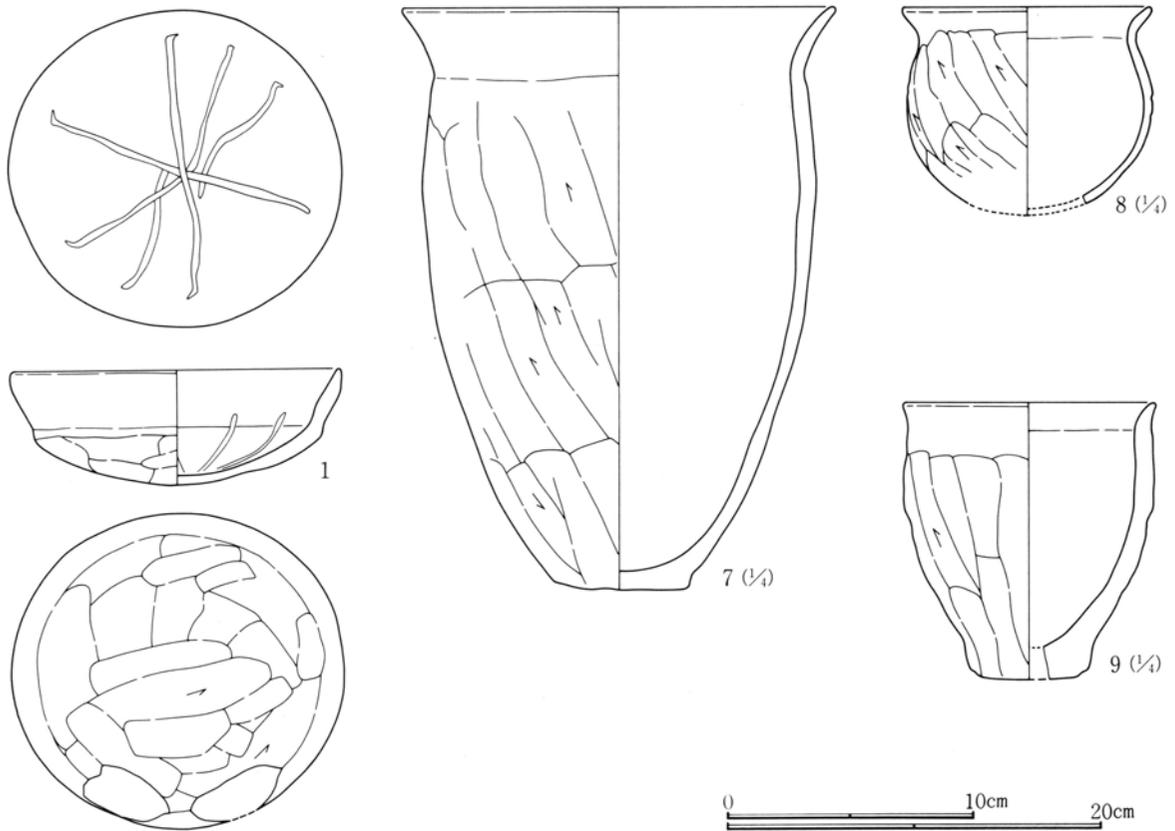
- 1 黒褐色土 砂礫・ローム粒を含む。
- 2 赤褐色土 焼土を多量に含む。
- 3 黒褐色土 焼土・ローム小ブロックを含む。
- 4 赤褐色土 砂質。焼土を含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック・炭化物を含む。
- 6 淡褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 7 淡褐色土 粘性。ローム粒含む。
- 8 焼土
- 9 黒褐色土 砂礫・ローム小ブロックを含む。
- 10 黒褐色土 砂礫・ローム小ブロックを少量含む。
- 11 黒褐色土 小砂礫・ローム粒を含む。

第278図 47号住居跡 カマド



第279図 47号住居跡出土遺物(1)

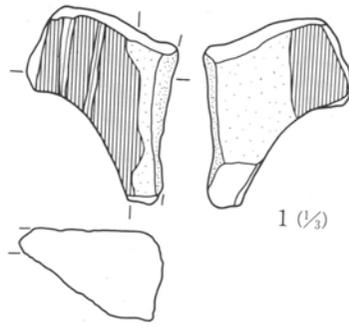
第2章 検出された遺構と遺物



第280図 47号住居跡出土遺物(2)

47号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	埋土	12.9	4.6	精製	鈍い黄褐	普通	外 口縁部横撫で 内 横撫で後暗文状施文	完形
2	土師器 坏	埋土	(13.7)		砂粒を含む	明褐黄	普通	外 口縁部横撫で 内 撫で	1/4
3	土師器 坏	埋土	10.8		砂粒を僅かに含む	浅黄橙	不良	外 口唇部横撫で 内 横撫で	1/2 内外面黒斑あり
4	土師器 高坏	床南側	17.4		砂粒を僅かに含む	橙	良好	内外面横撫で	
5	土師器 高坏	床中央	(18.6)		砂粒を少量含む	橙	普通	磨滅のため不明	坏部1/3
6	土師器 高坏	埋土			砂粒を少量含む	鈍い橙	普通	外 縦篋削り後一部縦篋磨き 内 撫で	
7	土師器 甕	埋土	(22.8)	7.0	小石・砂粒を多く含む	黄橙・橙	普通	外 口縁部横撫で 内 磨滅のため不明	
8	土師器 小型甕	埋土	13.2		砂粒を多く含む	赤褐	普通	外 口縁部横撫で 内 口縁部～体部横撫で	
9	土師器 小型甕	埋土	(13.1)	14.7 (6.2)	砂粒を多く含む	鈍い黄褐	普通	外 口唇部横撫で 内 口唇部横撫で	1/3 内外面スス付着



第281図 47号住居跡出土遺物(3)

47号住居跡出土石器観察表

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴
				長さ	幅	厚さ	重量		
1	砥石	中位	破片	7.7	6.0	3.5	132.1	砂岩	表裏に使用面。両端欠損。
2	砥石	覆土	破片	8.3	6.9	2.3	148.8	砂岩	盤状の垂角礫。表裏に使用面。
3	こも	中位	一部欠	15.5	4.3	3.2	391.7	緑片	棒状の円礫。下部欠損。
4	こも	中位	完形	19.2	9.3	4.0	1120.2	デイ	盤状の円礫。
5	こも	下位	完形	14.3	8.8	4.3	714.6	緑片	盤状の垂円礫。石皿破片の転用か。
6	こも	床下	完形	16.8	7.7	5.9	1100.6	凝砂	盤状の円礫。
7	こも	床直	完形	17.3	8.2	6.6	1013.9	溶凝	棒状の垂円礫。
8	こも	床直	完形	19.7	9.1	4.7	1230.0	粗安	盤状の垂円礫。
9	こも	床直	完形	15.9	6.7	5.2	1157.2	かん	棒状の垂角礫。
10	こも	床直	完形	15.2	9.4	5.4	1016.5	粗安	盤状の円礫。
11	こも	床直	完形	19.0	8.9	6.6	1497.4	粗安	盤状の円礫。
12	こも	床直	完形	17.8	8.2	5.5	180.6	砂岩	盤状の円礫。
13	こも	床直	完形	18.3	10.7	5.2	946.2	礫岩	盤状の垂円礫。
14	こも	床直	2/3	14.9	7.3	6.1	1005.4	変安	棒状の円礫。
15	こも	下位	完形	19.4	8.5	5.1	1119.2	粗安	盤状の円礫。
16	こも	床直	完形	16.1	6.6	5.3	775.9	粗安	棒状の垂円礫。
17	こも	床直	完形	15.9	7.8	5.3	790.2	礫岩	盤状の垂円礫。
18	こも	床直	完形	16.9	9.9	5.5	1058.2	粗安	盤状の垂角礫。
19	こも	床下	完形	16.2	7.5	5.9	966.0	粗安	棒状の円礫。両端に敲打痕。
20	こも	覆土	1/2	10.7	6.8	5.0	447.5	変安	棒状の円礫。下半欠損。
21	こも	覆土	1/2	9.5	5.5	3.9	315.3	粗安	盤状の円礫。下半欠損。

51号住居跡 (第282～284図、PL28・212)

住居は隅丸方形を呈する。しかし東西および南北の壁はそれぞれ平行するが、西南コーナーは鈍角となり、東南コーナーは鋭角となっている。また、西壁は北から3分の1付近で内側に折れており、さらに北東コーナーは推定ではあるが105度の鈍角となっている。

本住居の埋没後にほぼ重なる状態で12号住居跡が造られているが、12号住居跡の床面は本住居跡の5cm～7cm上方であり、本住居跡の床面部分は残存している。床面は、掘り方をそのまま床面としている部分が殆どであるが、一部に砂礫を多量に含んだ暗褐色土で貼床をしている。なお、床面はほぼ平坦で比較的しっかりしている。

柱穴は住居のほぼ対角線上に確認されたが、住居の規模に対して比較的大きく、また深さも浅いのが特徴である。貯蔵穴は住居の北東コーナー付近に発見された。貯蔵穴は3号井戸によって東側を削られているが、

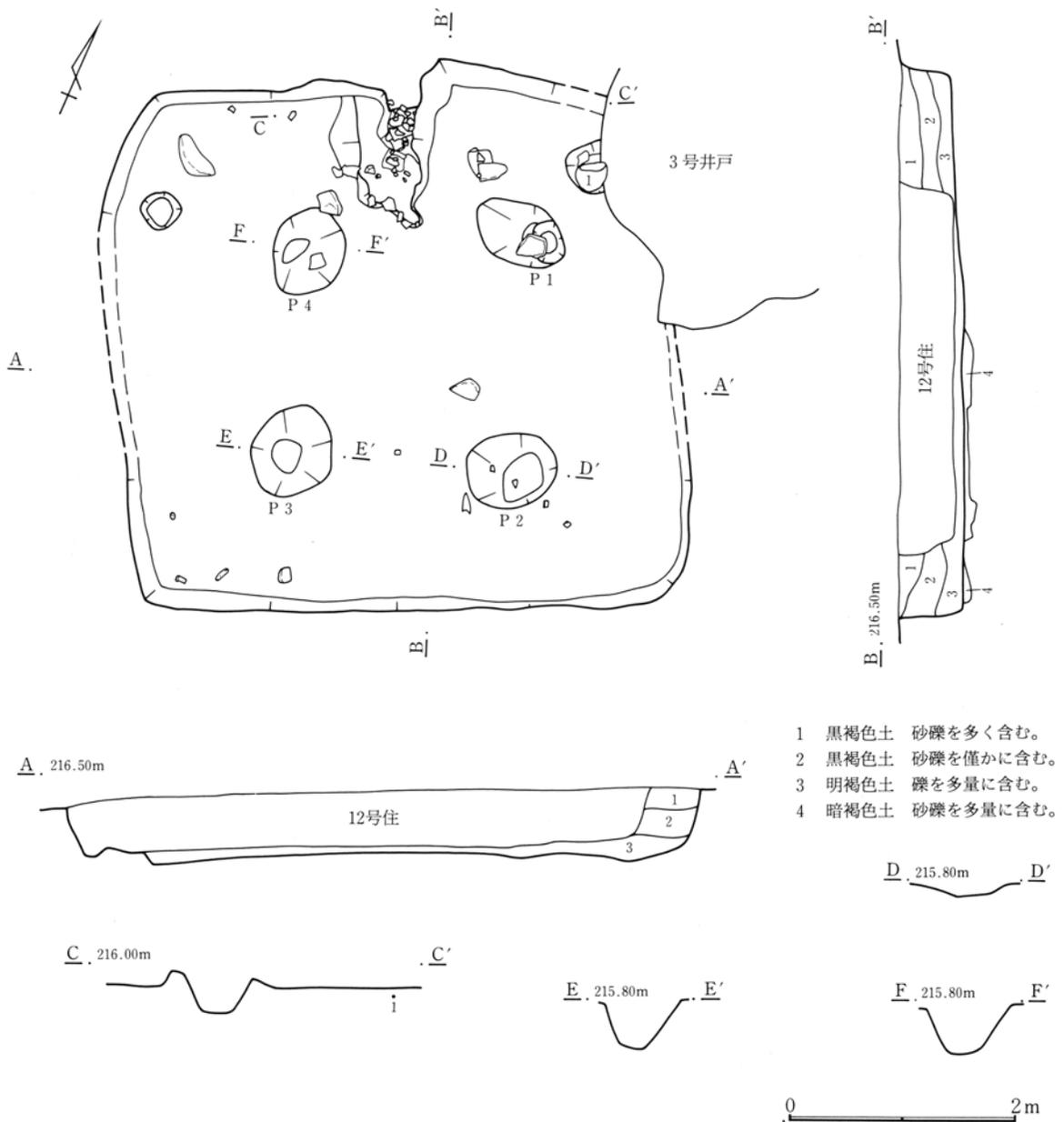
第2章 検出された遺構と遺物

規模は短辺42cmの隅丸長方形と考えられ、深さは70cm、U字形の掘り込みをもつ。

住居西壁が内側へ折れる付近には、直径32cm、深さ13cmの Pit が存在する。この Pit が西壁が内側に折れる付近に存在することから、補助的な柱穴とも考えられるが、それ以上のことは不明である。

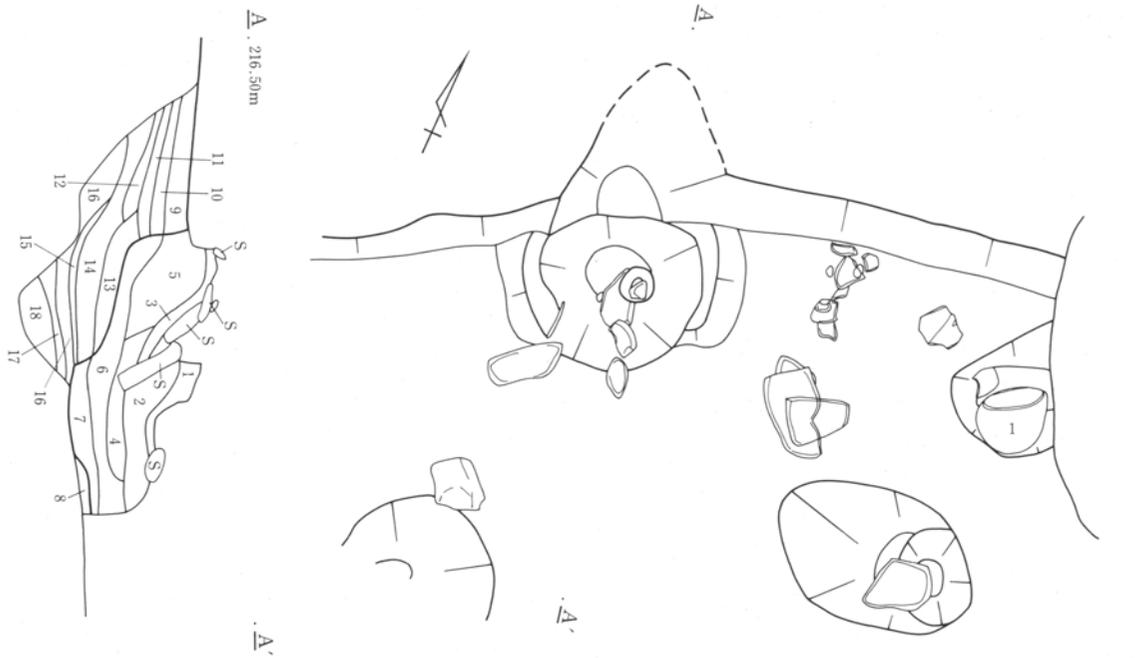
カマドは北壁中央に付設されているが、遺存状態は不良で、袖については明確ではない。カマド内および周囲には砂岩が散乱しており、カマドの構築に砂岩が使用されていた可能性が高い。焚口には直径約65cm、深さ約10cmの掘り込みがあるが、この部分には焼土が堆積しており当初の火床面であったことがうかがえる。なお、廃絶時の火床面は床面とほぼ同レベルと考えられる。

出土遺物として土師器甕がある。この甕は貯蔵穴が半分ほど埋没した段階で入り込んだものである。その他の遺物については、12号住居によって床面付近まで削られていることもあり、小破片の出土である。



第282図 51号住居跡

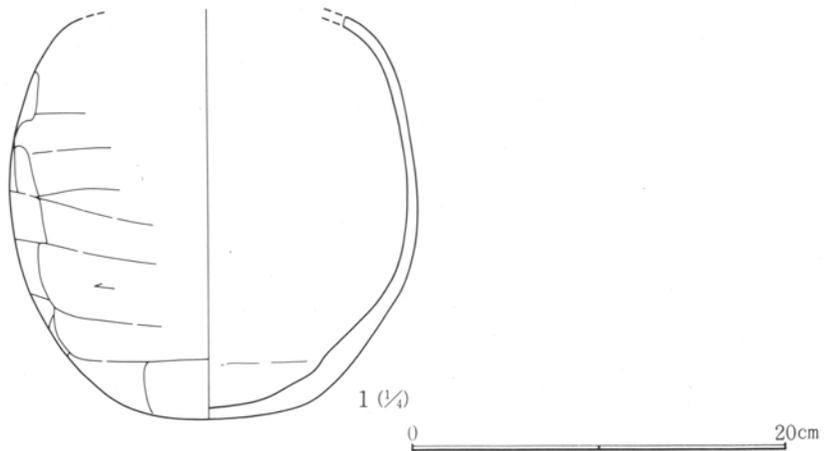
第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1 黒褐色土 砂礫を少量、焼土粒子を僅かに含む。 | 10 暗褐色土 小石を少量含む。 |
| 2 黒褐色土 砂礫を少量、焼土粒子・炭化粒子を僅かに含む。 | 11 焼土 |
| 3 黒褐色土 砂礫・焼土ブロックを少量含む。 | 12 焼土 小石を少量含む。 |
| 4 暗褐色土 砂礫を少量、焼土粒子を僅かに含む。 | 13 暗褐色土 黄色粒子・砂粒を少量含む。 |
| 5 暗褐色土 砂礫を多量に含む。 | 14 暗褐色土 黄色粒子・砂粒を僅かに含む。 |
| 6 暗褐色土 砂礫・ローム粒を含む。 | 15 黄褐色土 焼土粒子を少量含む。 |
| 7 暗褐色土 砂礫・ローム・焼土粒子を含む。 | 16 茶褐色土 小石を多量に含む。 |
| 8 暗褐色土 ローム粒やや多く、砂礫を若干含む。 | 17 焼土 砂礫を少量含む。 |
| 9 黒褐色土 砂礫を少量含む。 | 18 焼土 砂礫を多量に含む。 |

0 1m

第283図 51号住居跡 カマド



第284図 51号住居跡出土遺物

51号住居跡出土土器観察表

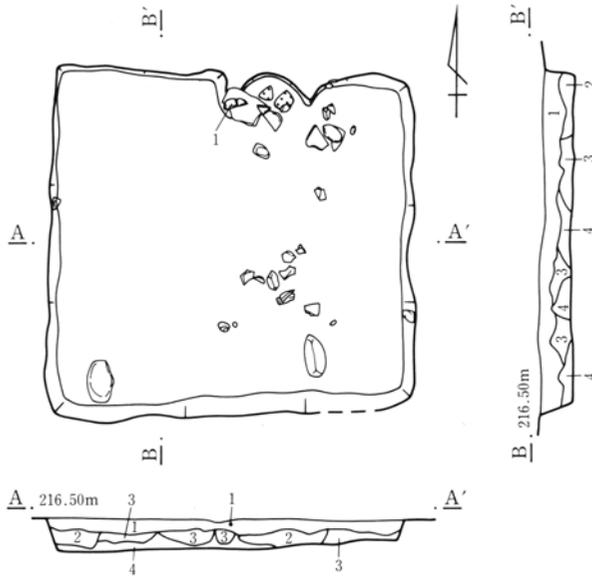
番号	器種 器形	出土位置	口径 器高 底径 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 甕	貯蔵穴内	胴部最大幅 21.8	小石・砂粒 を含む	橙	普通	外 体部篋削り 内 横撫で	外面黒斑あり

53号住居跡 (第285~287図、PL28・212)

住居は正方形に近い。しかし、東壁が西壁および南壁よりも短くなっており、そのため南東コーナーが鈍角となり、厳密には北壁と南壁は平行しない。床面は、地山を平坦に掘り込んで造られているが、比較的軟弱である。柱穴および貯蔵穴は確認されなかった。

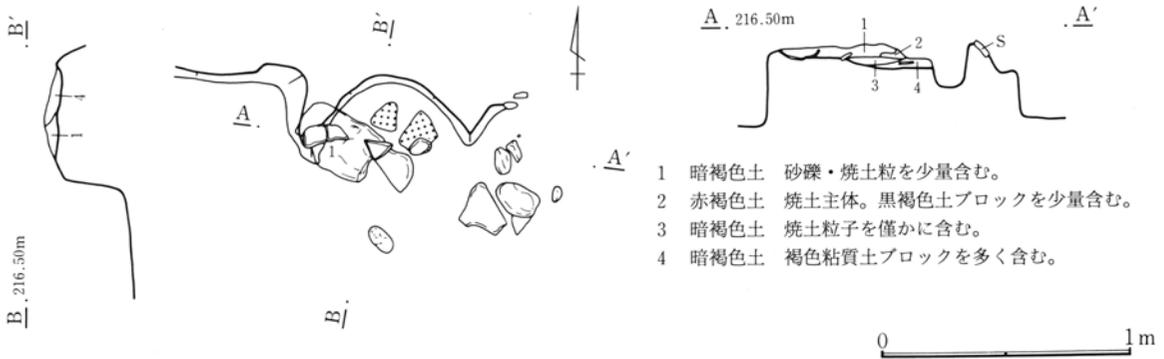
カマドは、北壁中央よりやや東寄りに付設されている。火床面は床面より高くなっているが、殆ど焼けておらず、僅かに焼土を含む程度である。カマド内には、砂岩の割石が散乱していることから、構築材として砂岩が使用されていたものと考えられる。

出土遺物として、土師器環がある。



- 1 暗褐色土 小石・ローム粒を全体に含む。
- 2 暗褐色土 小石・ローム粒を少量含む。
- 3 暗褐色土 ローム小ブロック・ローム粒・小石を少量含む。
- 4 黄褐色土 暗褐色土とローム粒の混合したもの。

第285図 53号住居跡



- 1 暗褐色土 砂礫・焼土粒を少量含む。
- 2 赤褐色土 焼土主体。黒褐色土ブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土 焼土粒子を僅かに含む。
- 4 暗褐色土 褐色粘質土ブロックを多く含む。

第286図 53号住居跡 カマド



第287図 53号住居跡出土遺物

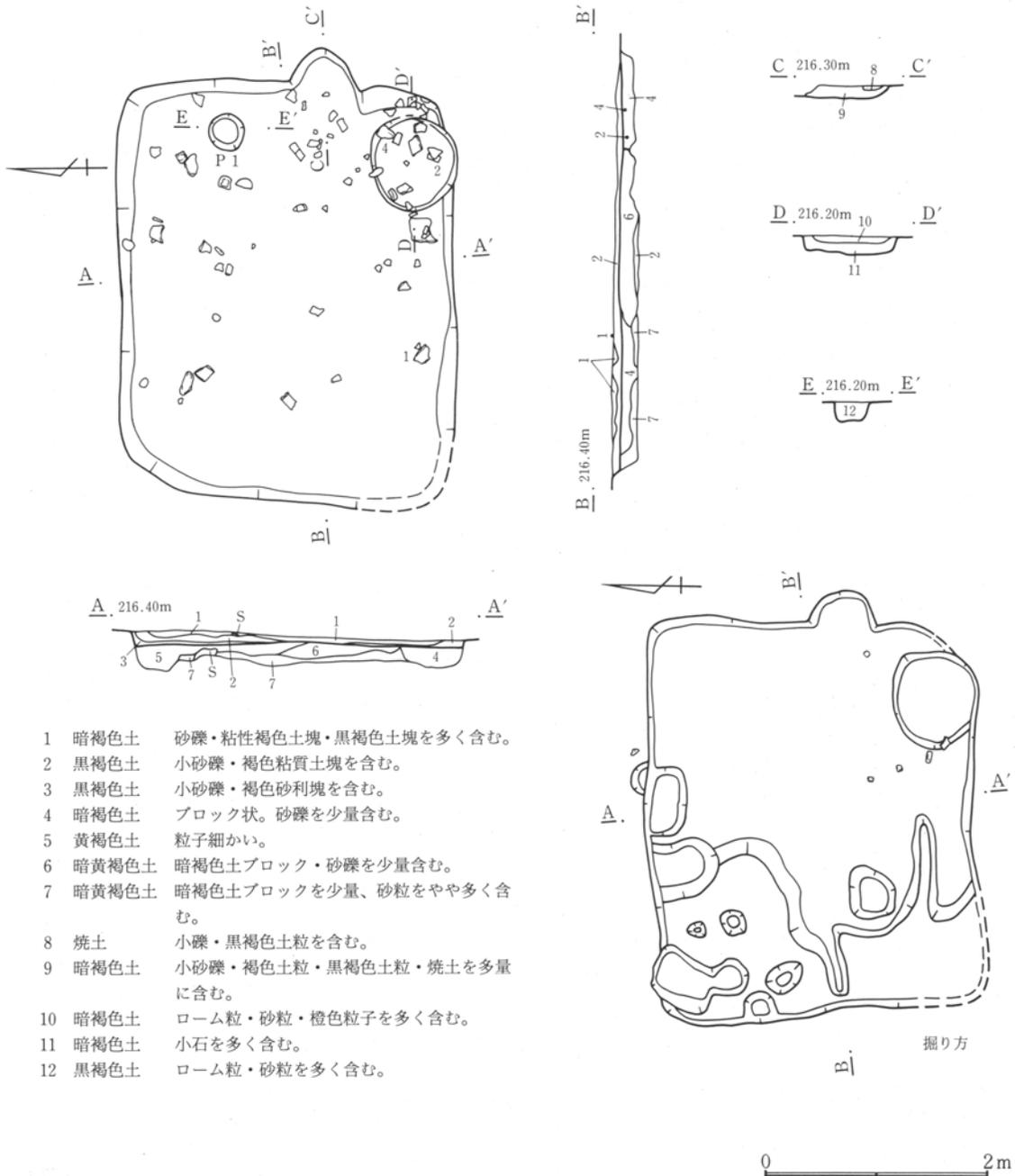
53号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 環	カマド内	(15.9)	砂粒を少量 含む	明褐	普通	外 口唇部横撫で 内 横撫で	1/2

54号住居跡 (第288・289図、PL29・213)

本住居跡は隅丸長方形と考えられる。しかし西北コーナーが鈍角となっており、厳密には東壁と西壁は平行しない。南西コーナー部分については、59号住居跡と重複しているが、この部分については明確に捉えることが出来なかった。なお、出土遺物の新旧関係では、本住居跡の方が新しい。

床面は、ブロック上の暗褐色土で貼床をしている。比較的平坦な床面であるが、やや軟弱である。柱穴は確認されなかった。貯蔵穴は南東コーナー付近に発見された。貯蔵穴の規模は直径約80cm、床面からの深さ18cmで、底面は平坦である。北東コーナーとカマドとの間に Pit が1基確認された。この Pit は直径32cm、深さ16cmであるが、その性格については不明である。



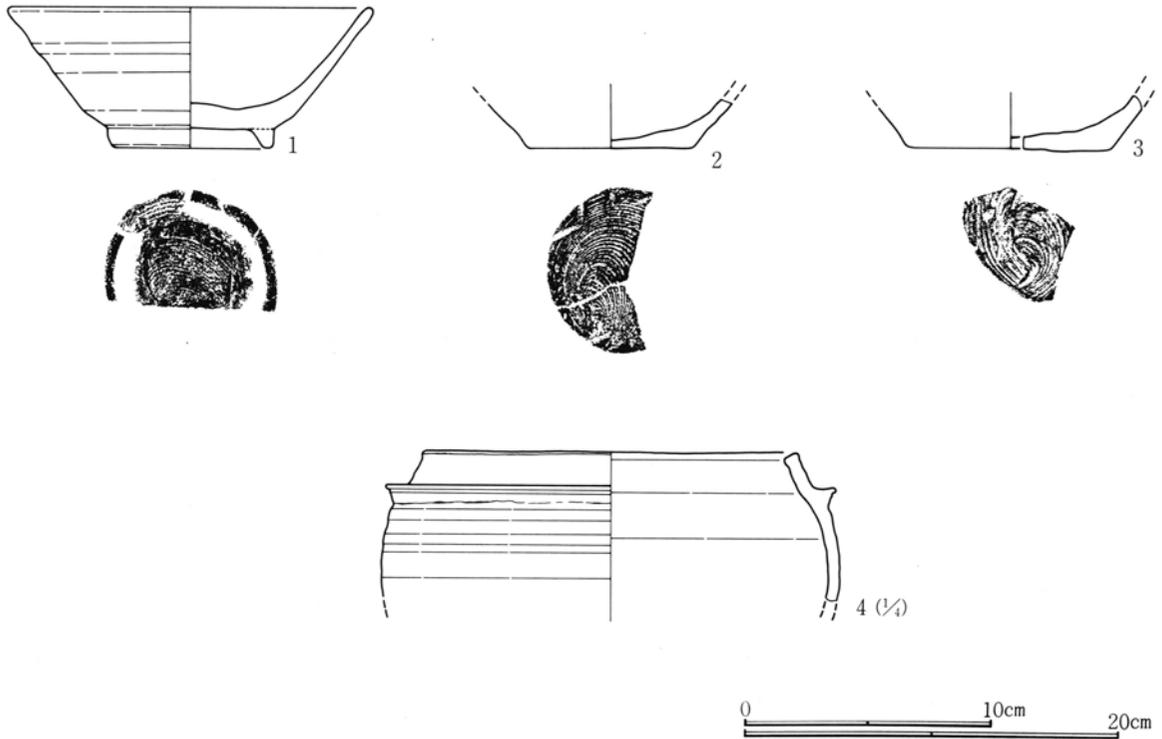
第288図 54号住居跡

第2章 検出された遺構と遺物

掘り方は床面下6cm~18cmに確認されたが、若干の凹凸があり、浅いPit状の掘り込みと掘り残してやや高くなった部分もみられる。

カマドは東壁の中央よりやや南寄りに位置する。カマドの遺存状態は悪く、袖については確認出来なかった。火床面については床面と同レベルで、多量の焼土が遺存していた。

出土遺物には須恵器坏・土師器羽釜がある。いずれも完形とはならず、床面付近からの出土である。



第289図 54号住居跡出土遺物

54号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	須恵器 坏	埋土	(14.5)	5.5 (6.5)	小砂粒を含む	浅黄	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り 付け高台	1/2
2	須恵器 坏	貯蔵穴内	(6.5)		精製	鈍い黄	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り	
3	須恵器 坏	貯蔵穴内	(8.0)		精製	灰	良好	ロクロ整形 底面回転糸切り	
4	須恵器 羽釜	貯蔵穴上	(20.0)		砂粒を含む	鈍い黄	不良	ロクロ整形	

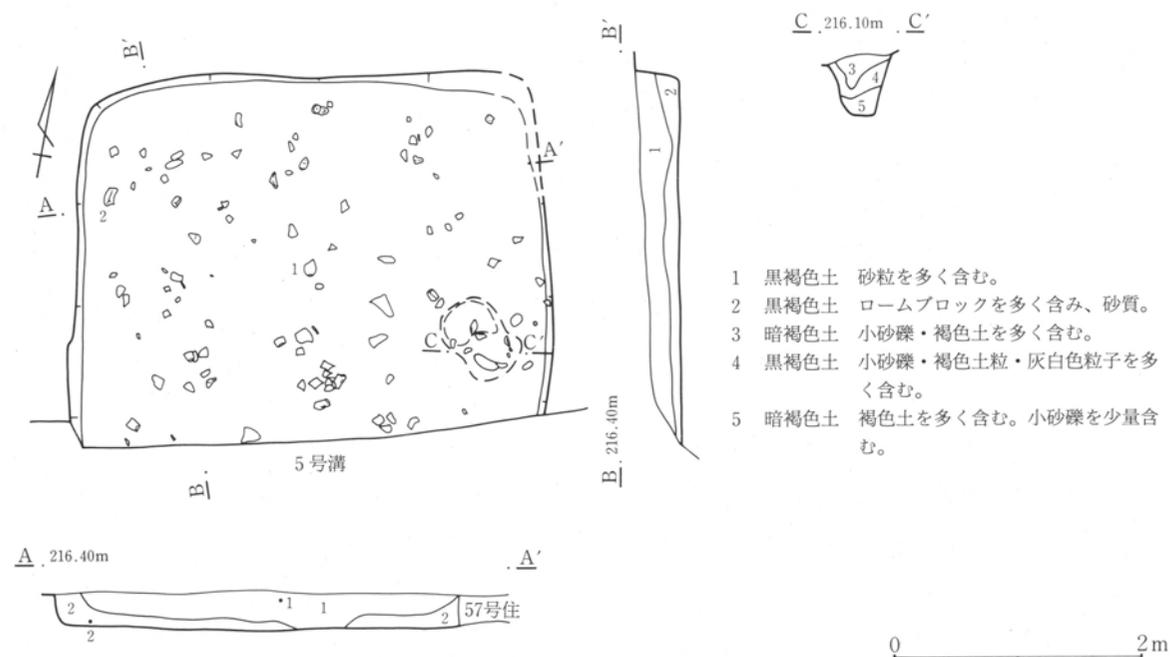
55号住居跡 (第290・291図、PL29・213)

住居は南壁を削られている。残存する北西コーナーから判断すると、隅丸方形と考えられる。床面は、地山を平坦に掘り込んだ面であり、比較的固くしまっている。

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

柱穴および貯蔵穴、またカマドは確認されなかった。本遺跡において、カマドは一般的に北壁および東壁に付設されていることからすると、東壁の5号溝に削られた部分に存在した可能性もあるが、その場合には、南北に長い住居となる。床面下からは、小土坑が発見された。この小土坑は、長径65cm、短径48cmの楕円形で、深さは約55cmと深い。

出土遺物には、土師器坏と土師器甕がある。甕は床面直上より、坏は床面より25cmほど浮いた状態で出土している。



第290図 55号住居跡

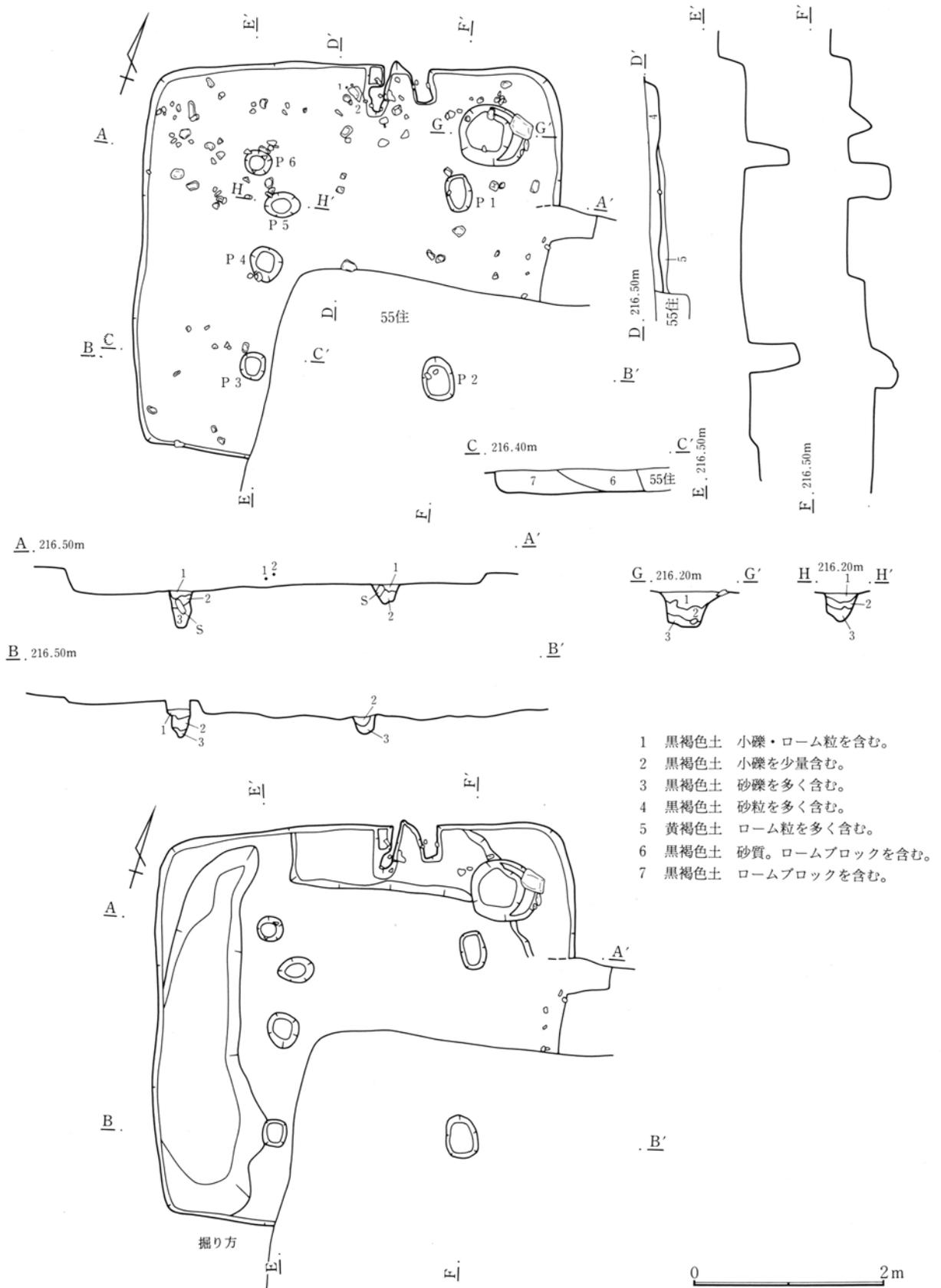


第291図 55号住居跡出土遺物

55号住居跡出土土器観察表

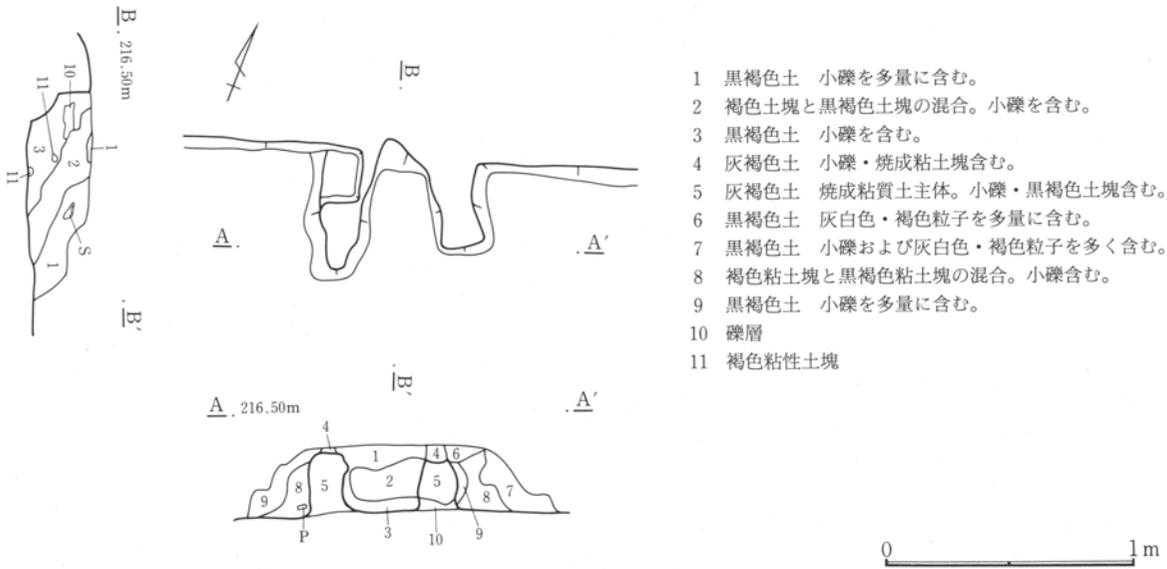
番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	埋土	(11.8)	3.7	砂粒を僅かに含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/3
2	土師器 甕	床西側	(16.0)		砂粒を多く含む	褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	

56号住居跡 (第292~294図、PL29・30・213)



第292図 56号住居跡

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



- 1 黒褐色土 小礫を多量に含む。
- 2 褐色土塊と黒褐色土塊の混合。小礫を含む。
- 3 黒褐色土 小礫を含む。
- 4 灰褐色土 小礫・焼成粘土塊含む。
- 5 灰褐色土 焼成粘質土主体。小礫・黒褐色土塊含む。
- 6 黒褐色土 灰白色・褐色粒子を多量に含む。
- 7 黒褐色土 小礫および灰白色・褐色粒子を多く含む。
- 8 褐色粘土塊と黒褐色粘土塊の混合。小礫含む。
- 9 黒褐色土 小礫を多量に含む。
- 10 礫層
- 11 褐色粘性土塊

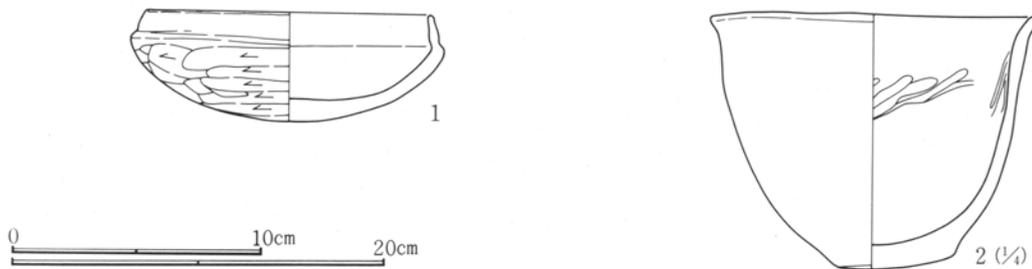
第293図 56号住居跡 カマド

56号住居跡は、55号住居跡および57号住居跡によって南壁から東壁にかけて削られている。平面形は隅丸正方形に近いが、南西コーナーが鈍角となっており北壁と平行しない。床面は、西壁および北壁付近においては貼床であるが、中央部では地山を平坦に掘り込んだ面を床面としている。なお床面は比較的しっかりしている。

柱穴と考えられる Pit は6基確認された。そのうち東北・東南・西南コーナー付近の3基の Pit は直角に並ぶ。貯蔵穴は北東コーナー付近に確認されたが、比較的深い掘り込みである。

カマドは北壁中央やや東寄りに確認された。小礫を含む粘質土でカマド袖を構築している。火床面は床面とほぼ同レベルであるが、あまり焼けていない。

出土遺物として土師器坏と土師器小型甕があるが、いずれも完形とはならない。小型甕はカマド左脇より出土している。



第294図 56号住居跡出土遺物

第2章 検出された遺構と遺物

56号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	カマド付 近	11.3	4.2	小砂粒を含む	灰黄褐	不良	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	2/3
2	土師器 小型甕	カマド付 近	17.0 6.0	13.4	砂粒を含む	明赤褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部横撫で 体部撫で	4/5

57号住居跡 (第295～297図、PL30・213)

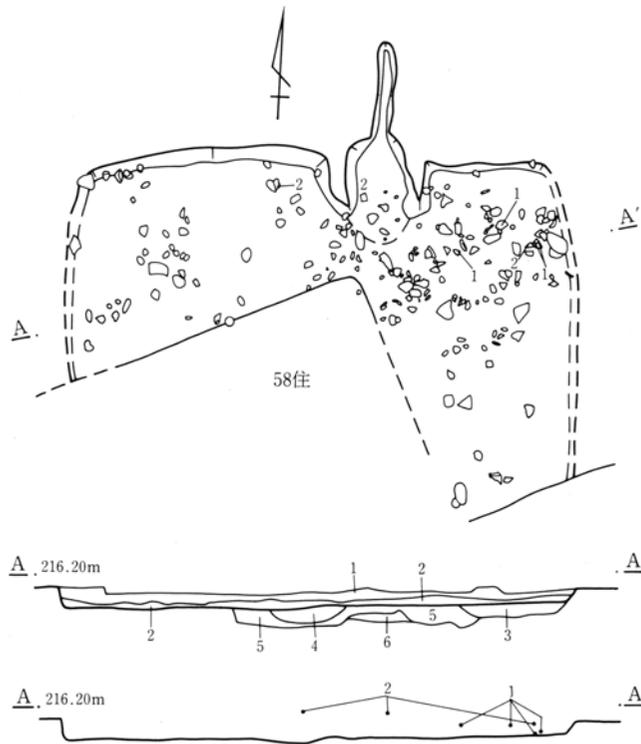
本住居跡は58号住居、5号溝によって約2分の1が削られている。また東壁については、縄文時代の住居である92号住居跡および93号住居跡の埋没土上に造られているため、検出が困難であった。住居平面形については、隅丸方形あるいは長方形と考えられるが、はっきりしない。

床面は砂礫を含む暗褐色土で貼床をしているが軟弱である。なお西壁付近では、掘り方をそのまま床面としている部分がある。柱穴および貯蔵穴は確認されなかった。

掘り方は、床面から最も深い部分で15cm、浅い部分で5cmとやや凹凸がある。床下には土坑が2基発見された。この土坑の平面形はほぼ円形であるが、底面については整っていない。

カマドは北壁のやや東寄りに確認された。暗褐色粘質土でカマドの袖を構築しており、右袖には砂岩の割石が芯として使用されていた。火床面は床面とほぼ同レベルである。火床面下には焼土が約3cm堆積していた。

出土遺物には土師器坏2個体がある。いずれも破片となっており、カマド内およびカマド近くの床面直上、床面より約20cm上方から出土している。

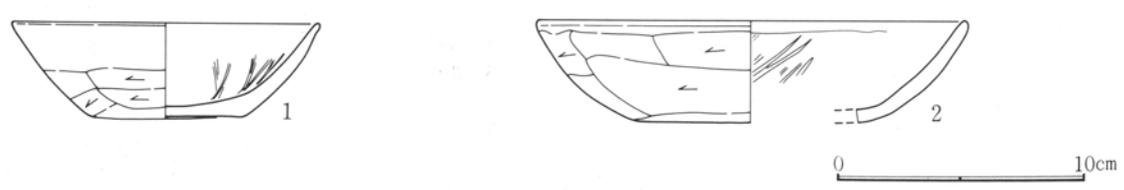
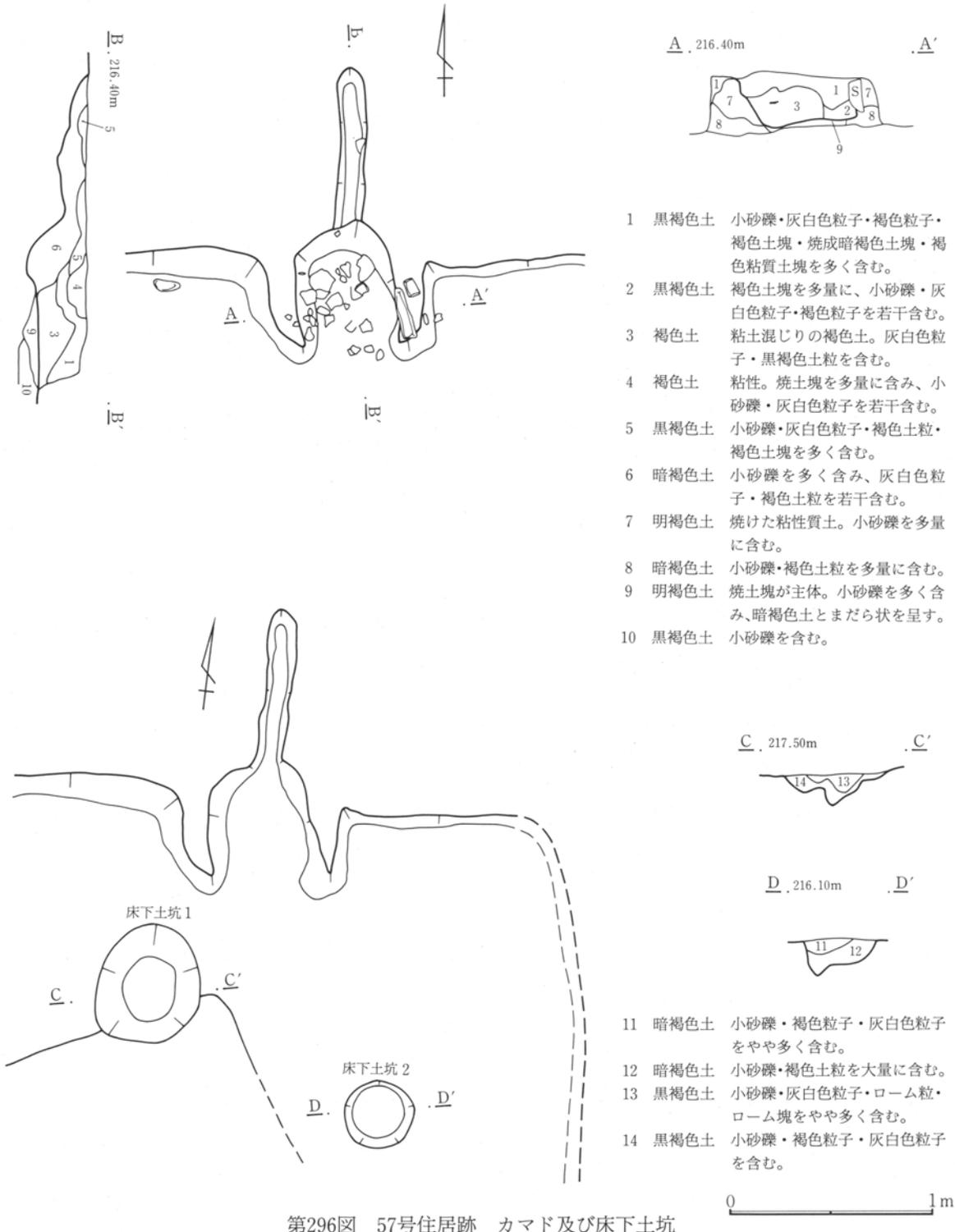


- 1 暗褐色土 砂礫および若干のロームブロックを含む。
- 2 暗赤褐色土 砂礫・ロームブロック・焼土ブロックの混合。
- 3 暗褐色土 砂礫・ローム粒含む。
- 4 暗褐色土 砂礫・少量のローム粒含む。
- 5 暗褐色土 砂礫・多量のローム粒含む。
- 6 淡褐色土 小砂礫・灰白色粒子・褐色土塊を含む。

0 2m

第295図 57号住居跡

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



第2章 検出された遺構と遺物

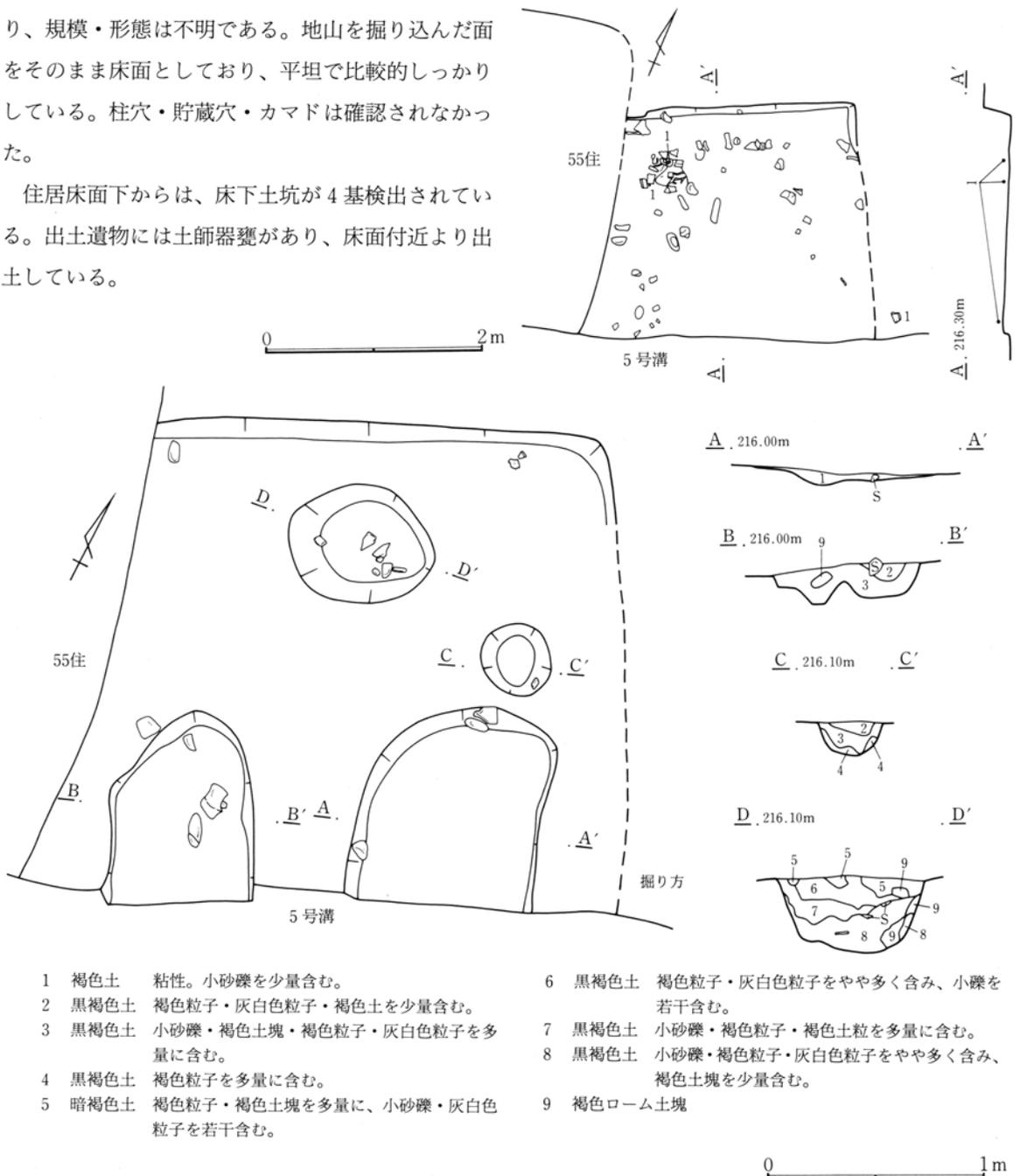
57号住居跡出土土器表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	埋土	12.1	3.8	砂粒を少量 含む	明褐色	普通	外 体部篔削り 底面篔切り 内 横撫で後暗文施文	2/3
2	土師器 坏	カマド内 埋土	(17.0)	4.0	砂粒を含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篔削り 内 口縁部~体部横撫で	2/5

58号住居跡 (第298・299図、PL30・31・213)

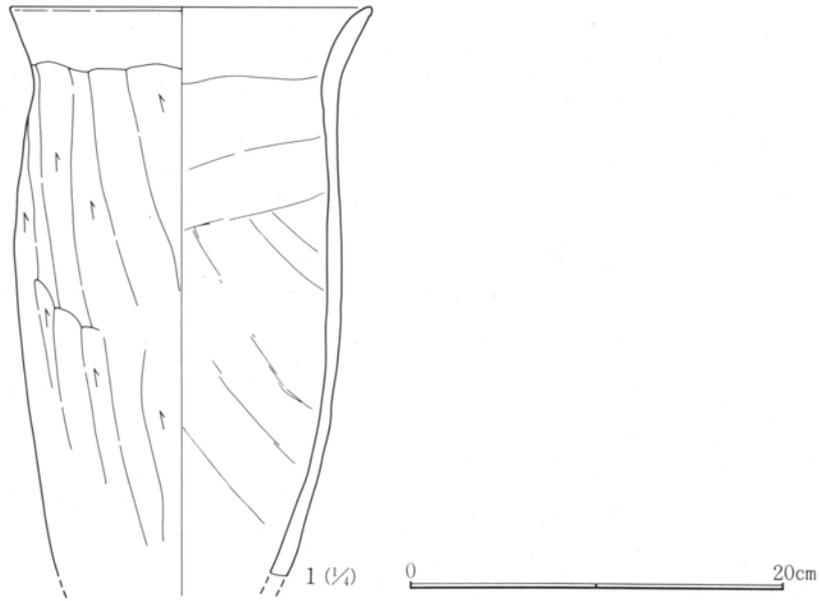
住居の大部分は新しい遺構によって削られており、規模・形態は不明である。地山を掘り込んだ面をそのまま床面としており、平坦で比較的しっかりしている。柱穴・貯蔵穴・カマドは確認されなかった。

住居床面下からは、床下土坑が4基検出されている。出土遺物には土師器甕があり、床面付近より出土している。



- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1 褐色土 粘性。小砂礫を少量含む。 | 6 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子をやや多く含み、小礫を若干含む。 |
| 2 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子・褐色土を少量含む。 | 7 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・褐色土粒を多量に含む。 |
| 3 黒褐色土 小砂礫・褐色土塊・褐色粒子・灰白色粒子を多量に含む。 | 8 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子をやや多く含み、褐色土塊を少量含む。 |
| 4 黒褐色土 褐色粒子を多量に含む。 | 9 褐色ローム土塊 |
| 5 暗褐色土 褐色粒子・褐色土塊を多量に、小砂礫・灰白色粒子を若干含む。 | |

第298図 58号住居跡



第299図 58号住居跡出土遺物

58号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 甕	床北側	19.2	29.8	小石・砂粒 を多く含む	赤褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	

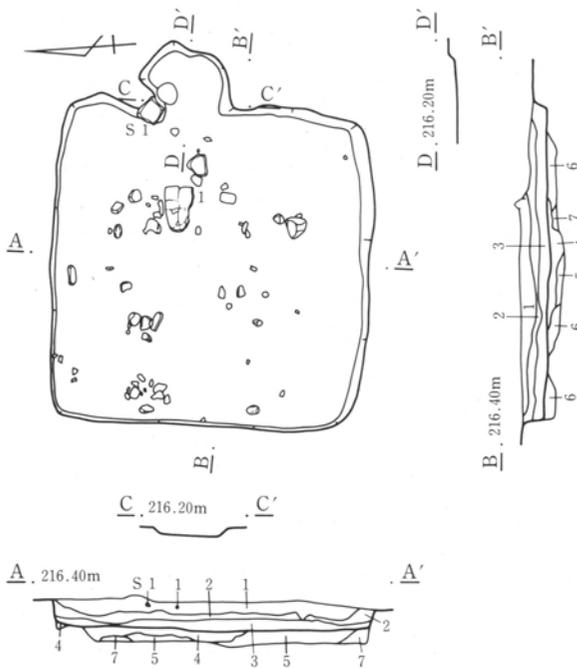
59号住居跡 (第300・301図、PL31・213・251)

住居は隅丸正方形を呈する。床面はほぼ平坦で、暗褐色土のブロックで貼床をしている。柱穴および貯蔵穴は確認されなかった。掘り方については、60号住居跡の埋没土上に本住居が造られているため明確でない

部分もあるが、床下に土坑等は確認されなかった。

カマドは東壁のやや北寄りに付設されているが、焼土はみられなかった。火床面と推定される面は、住居床面とほぼ同一である。

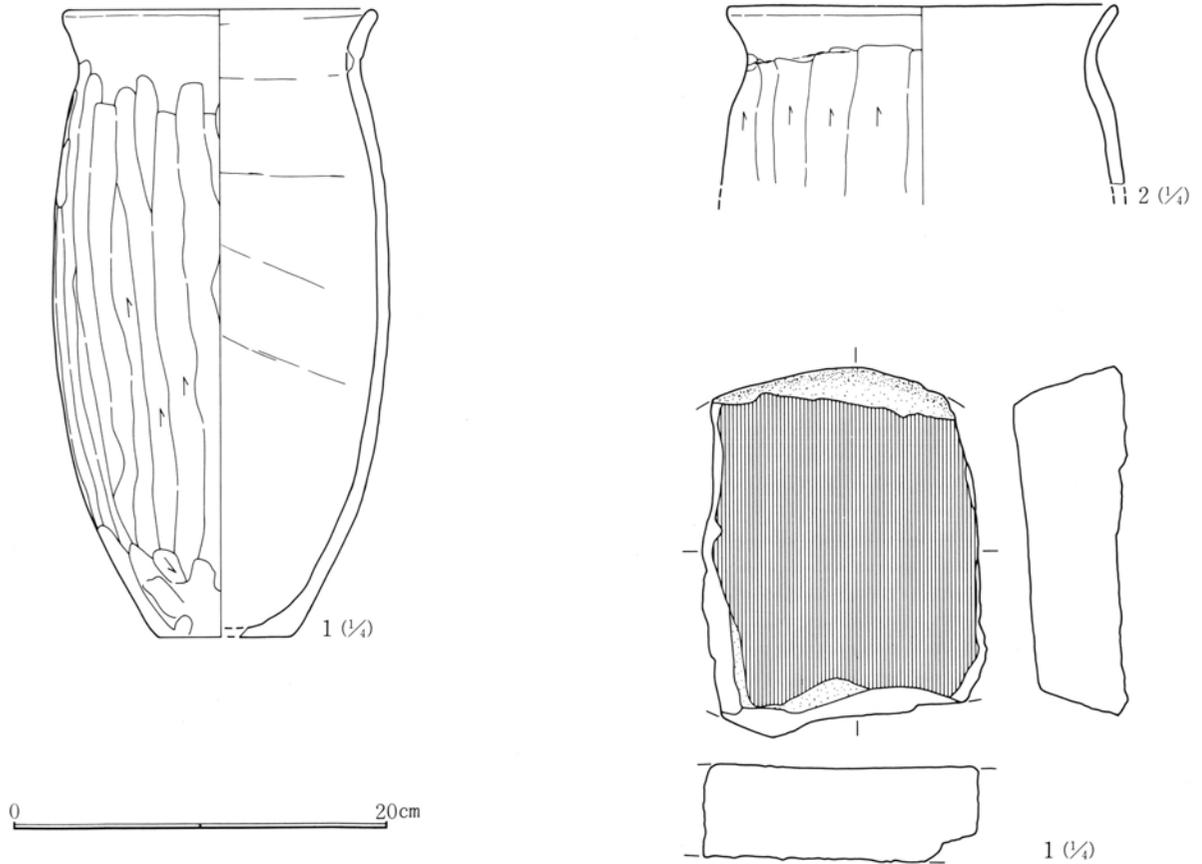
出土遺物には、土師器甕・砥石があり、いずれも床面よりやや浮いた状態で出土している。



- 1 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を多量に含む。
- 2 黒褐色土 小砂礫をやや多く含む。
- 3 黒褐色土 褐色土粒・暗褐色土粒をやや多く含む。
- 4 暗褐色土 ブロック状。黄褐色土ブロック・砂礫を少量含む。
- 5 暗黄褐色土 ブロック状。暗褐色土ブロック・砂礫を含む。
- 6 暗黄褐色土 暗褐色土ブロック・砂礫を僅かに含む。
- 7 暗黄褐色土 やや砂質。

第300図 59号住居跡

第2章 検出された遺構と遺物



第301図 59号住居跡出土遺物

59号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 甕	埋土	16.5 7.0	33.2	砂粒を含む	鈍い黄 褐	普通	外 口縁部横撫で 内 横撫で	1/2
2	土師器 甕	埋土	(20.6)		砂粒を含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 内 口縁部～体部横撫で	

59号住居跡出土石器観察表

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特 徴
				長さ	幅	厚さ	重量		
1	砥石	上位	完形	19.6	15.2	6.2	2550.0	凝砂	盤状の角礫。表面に研磨面。

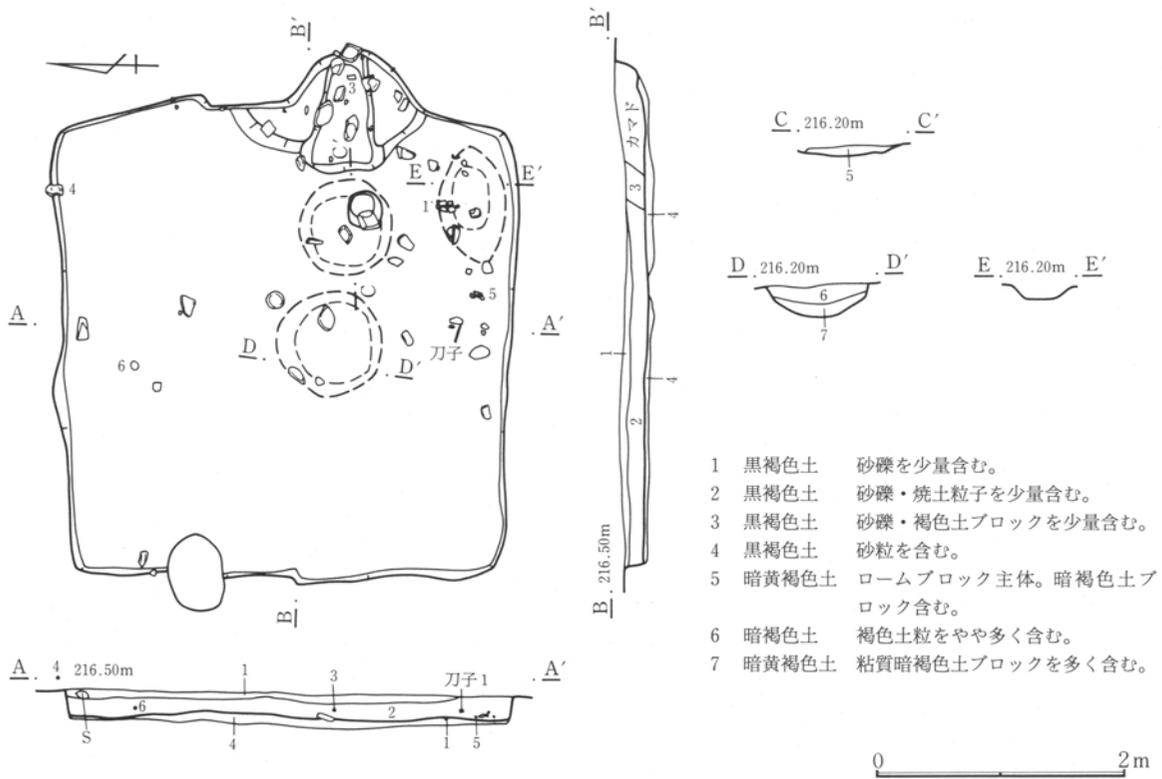
62号住居跡 (第302～304図、PL31・213)

住居は隅丸正方形に近いが、西壁が他の壁よりもやや短くなっている。北西コーナー付近は3号住居跡によって削られているが、床面までは及んでいない。床面は砂粒を含む黒褐色土で貼床をしているが、軟弱である。柱穴および貯蔵穴は確認されなかった。掘り方は比較的平坦であり、床面下には3基の土坑が存在した。

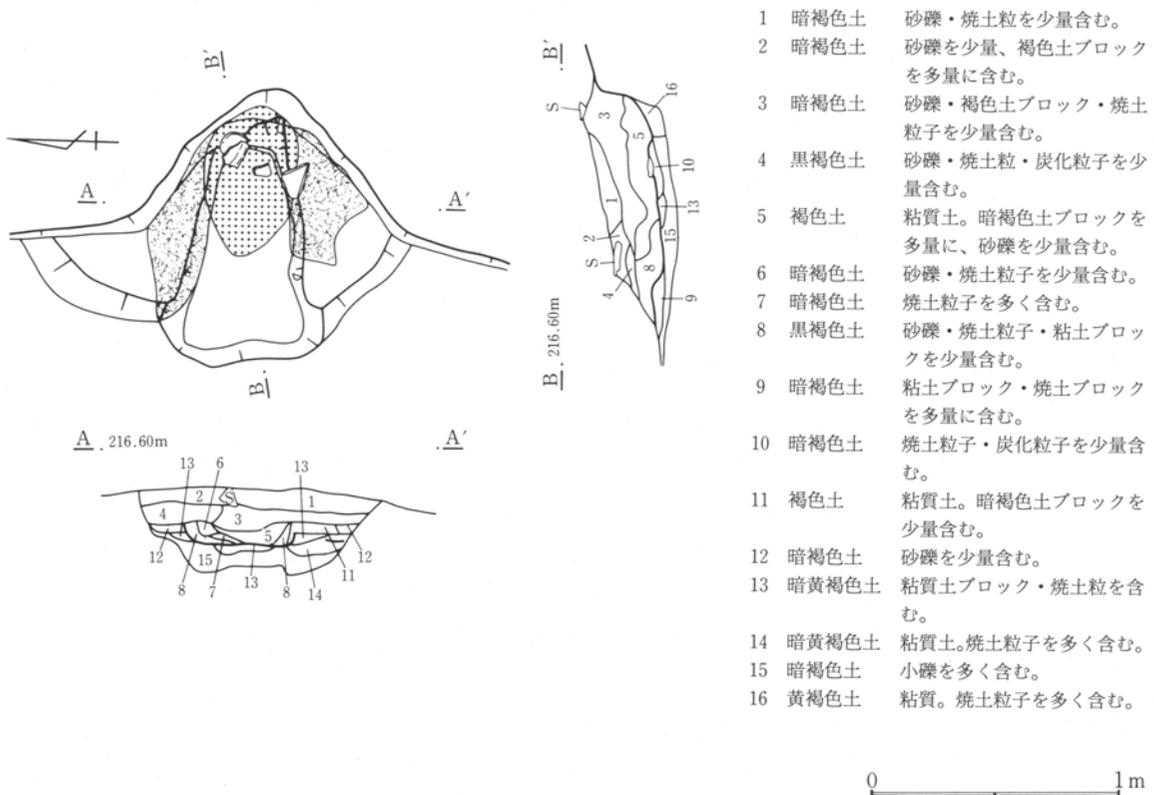
カマドの残存状況はあまり良くない。火床面には焼土がみられ、そのレベルは床面と同じである。

出土遺物には土師器坏・土師器甕・須恵器坏の他に、刀子とも推定される鉄製品がある。

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

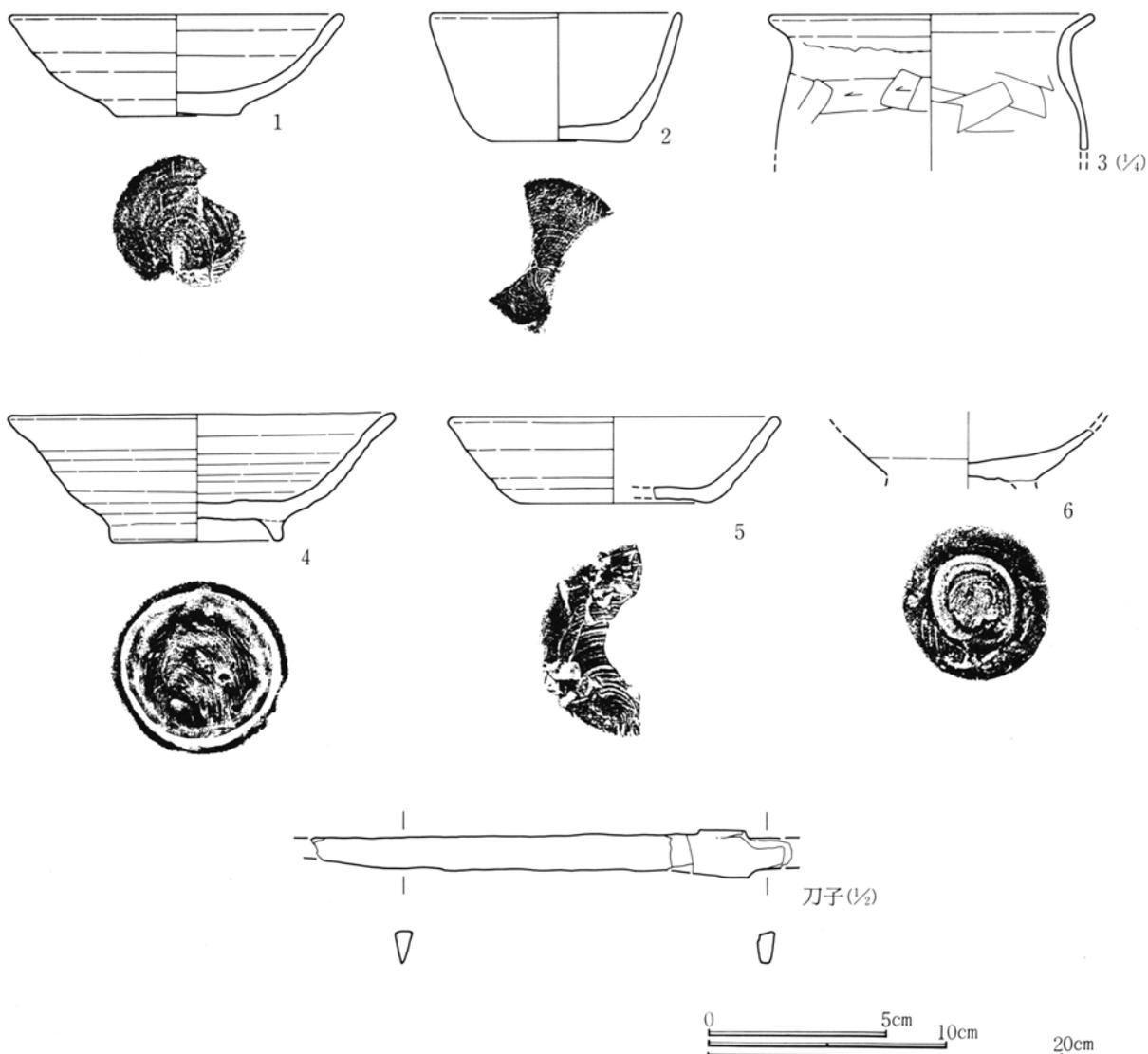


第302図 62号住居跡



第303図 62号住居跡 カマド

第2章 検出された遺構と遺物



第304図 62号住居跡出土遺物

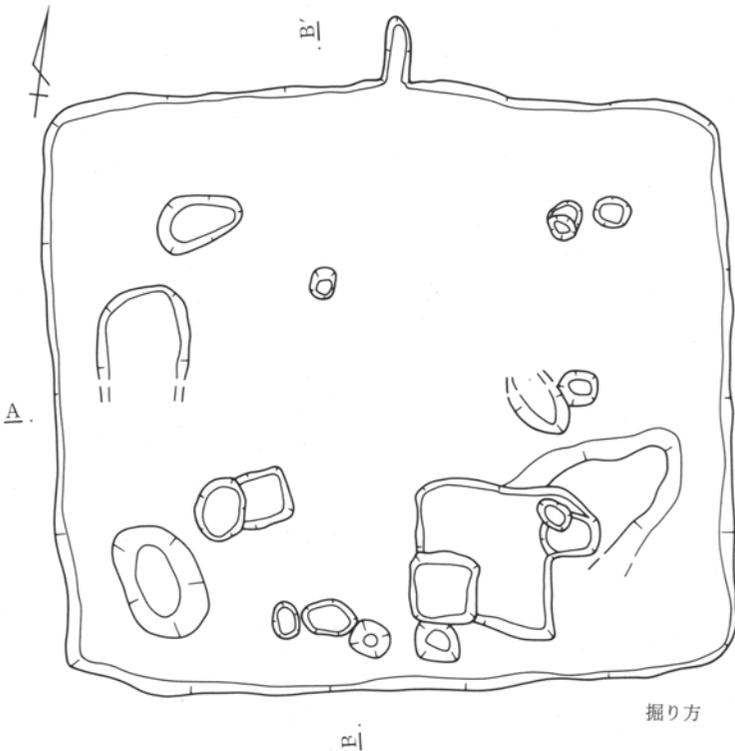
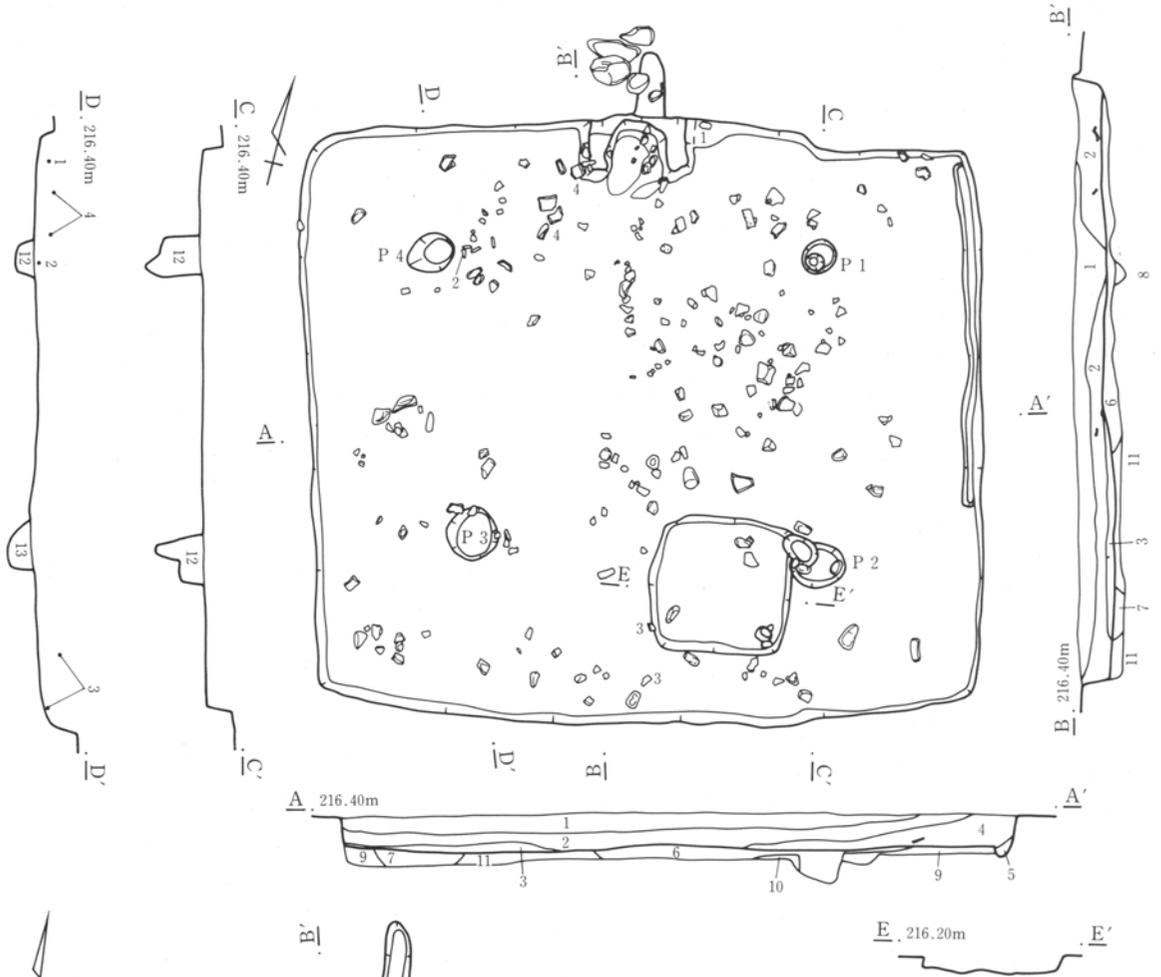
62号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床下土坑	(13.8) 5.1	4.2	精製	浅黄橙	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り 付け高台 内面篋磨き	1/2
2	土師器 坏	埋土	(10.4) (5.9)	5.3	小砂粒を含む	鈍い橙	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り後撫で	
3	土師器 甕	カマド内	(17.8)		砂粒を僅かに含む	鈍い褐	普通	外 口縁部横撫で 体部横篋削り 内 口縁部～体部撫で	
4	須恵器 坏	埋土	(15.9) 7.3	5.2	砂粒を含む	灰	良好	ロクロ整形 底面回転糸切り 付け高台	1/2
5	須恵器 坏	床南側	(13.5) (7.8)	3.6	精製	灰	良好	ロクロ整形 底面回転糸切り	2/5
6	須恵器 坏	埋土			精製	黄灰	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り 付け高台	

刀子

住居南壁近くの床面上より出土。鉄製で残存長13.5cm、両端が一部欠損している。全体に錆びてはいるが、遺存状況は比較的良い。

63号住居跡 (第305~307図、PL31・32・213)



- | | | |
|----|-------|---------------------|
| 1 | 暗褐色土 | 砂礫・土器片を多く含む。 |
| 2 | 暗褐色土 | 砂礫を少量含む。 |
| 3 | 黒褐色土 | 砂礫を少量含む。 |
| 4 | 黒褐色土 | 炭化物を多量に、砂礫を少量含む。 |
| 5 | 暗褐色土 | 砂礫を含む。 |
| 6 | 暗褐色土 | やや粘質。砂礫を僅かに含む。 |
| 7 | 暗褐色土 | やや砂質。砂礫を僅かに含む。 |
| 8 | 暗褐色土 | 粘質。焼土粒子・炭化粒子を僅かに含む。 |
| 9 | 褐色土 | 粒子細かく粘性。 |
| 10 | 暗黄褐色土 | 粘質。砂礫を僅かに含む。 |
| 11 | 暗黄褐色土 | 砂礫を多く含む。 |
| 12 | 黒色土 | 砂礫を多く含む。 |
| 13 | 黒褐色土 | 砂礫を含む。焼土粒を少量含む。 |

第305図 63号住居跡

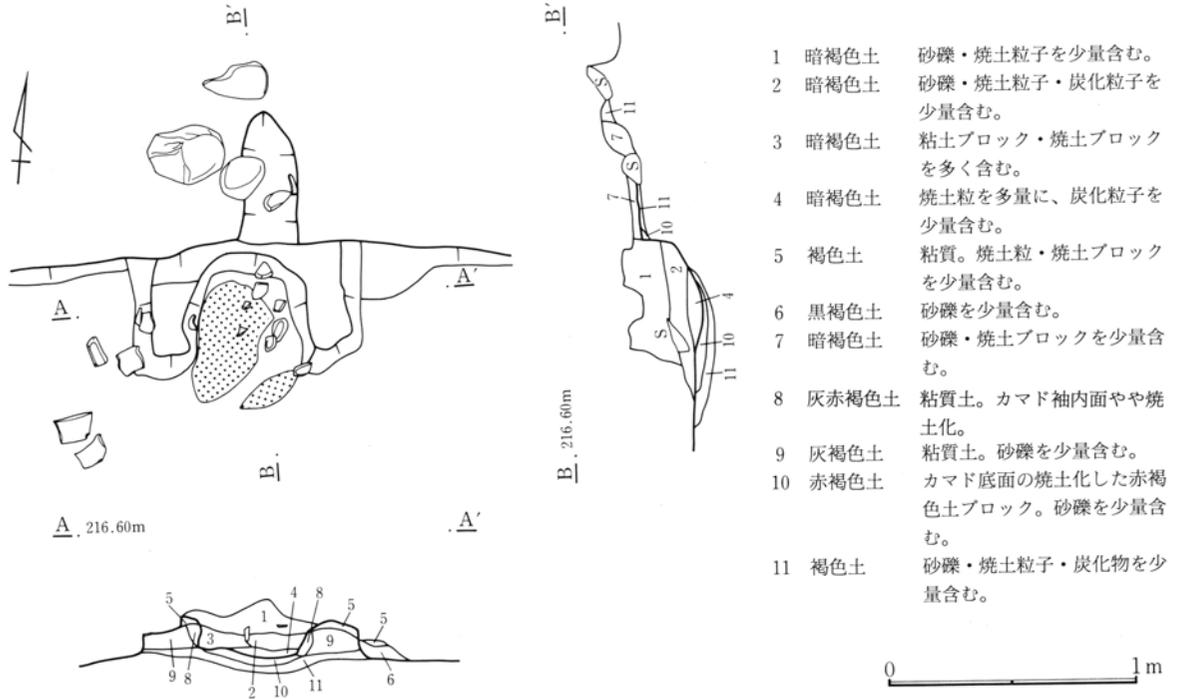
0 2m

第2章 検出された遺構と遺物

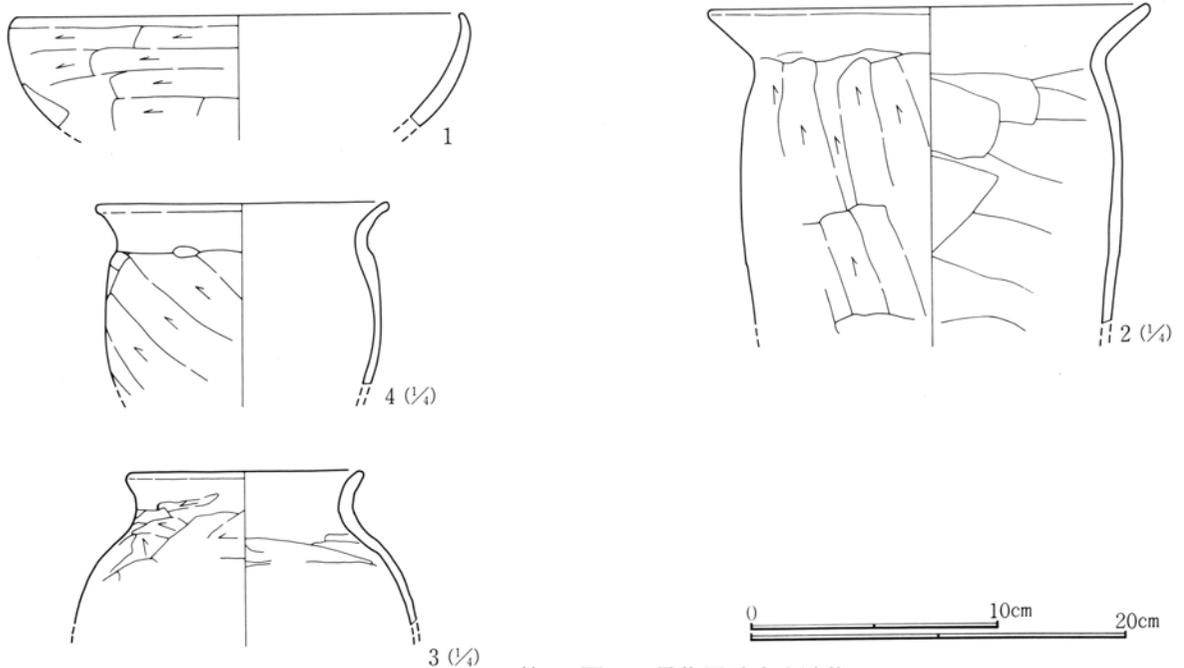
63号住居は長方形を呈する。床面は砂礫を含む暗褐色土で貼床をしているが、比較的軟弱である。柱穴は対角線上に4ヶ所確認された。住居南東柱穴に接して隅丸正方形の浅い土坑がある。

カマドは北壁ほぼ中央に発見された。暗褐色粘質土で袖を構築しており、火床面は焼土化していた。なお火床面は床面とほぼ同レベルである。またカマド内には河原石が数個発見されており、カマドに使用されていた可能性がある。

出土遺物として土師器坏・土師器甕があり、床面付近およびやや浮いた状態で出土している。



第306図 63号住居跡 カマド



第307図 63号住居跡出土遺物

63号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 器高 底径 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 器環	カマド付 近	(17.7)	小砂粒を含 む	鈍い橙	良好	外 口唇部横撫で 体部篋削り 内 横篋磨き	1/3
2	土師器 器甕	床北側	(23.0)	砂粒を含む	鈍い褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
3	土師器 器甕	床南側	12.5	砂粒を含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
4	土師器 器甕	カマド付 近	15.6	砂粒を含む	褐	不良	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部撫で	

64号住居跡 (第308～310図、PL32・213)

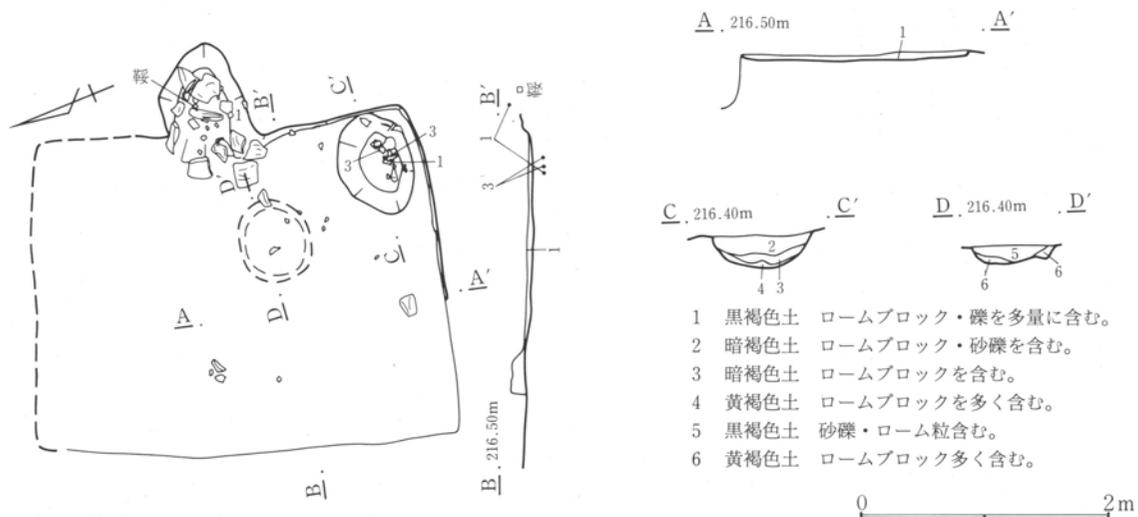
住居は非常に浅く、北東コーナー付近においては壁を確認することが出来なかった。平面形においては、東南コーナーが鋭角となっており、西壁においては中央よりやや北よりの部分で僅かではあるが内側に折れている。したがって本住居の平面形は長方形と考えられるものの、やや異形である。

床面は、砂礫およびロームブロックで貼床をしている。床面は平坦であるが軟弱である。柱穴は確認されなかった。貯蔵穴は南東コーナー付近に確認された。貯蔵穴は長径約80cm、短径約60cmの楕円形で、床面からの深さは約30cmである。なお、貯蔵穴の断面は緩やかなU字形を呈する。

掘り方は、床面下4cm～5cmで確認されたが、凹凸がなく平坦である。床下からは長径65cm、短径58cm、深さ12cmの床下土坑が発見されている。

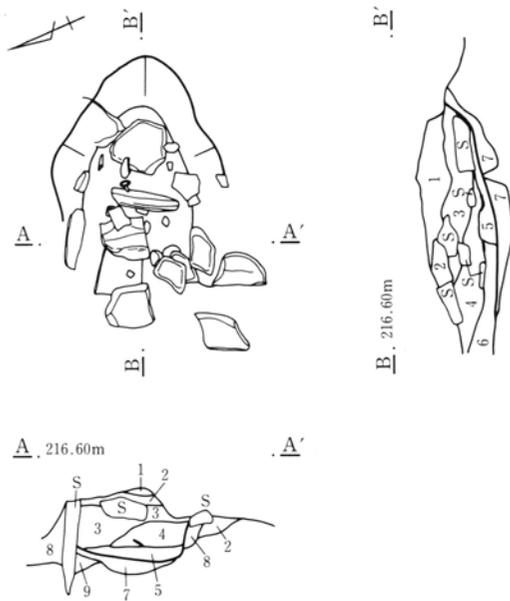
カマドは東壁のほぼ中央に付設されている。焚口部の掘り方は床面より約3cm低いが、この低くなった部分には焼土・炭化物が堆積しており、廃絶時の火床面は床面とほぼ同レベルであったと思われる。カマド左袖には砂岩の割石が使用されている。また、カマド付近には砂岩が多くみられることから、カマドの構築に砂岩が多用されていたと考えられる。

出土遺物として、土師器甕と須恵器環、それに銅製鞍がある。土器類は貯蔵穴内より、銅製鞍はカマド焚口内より出土している。



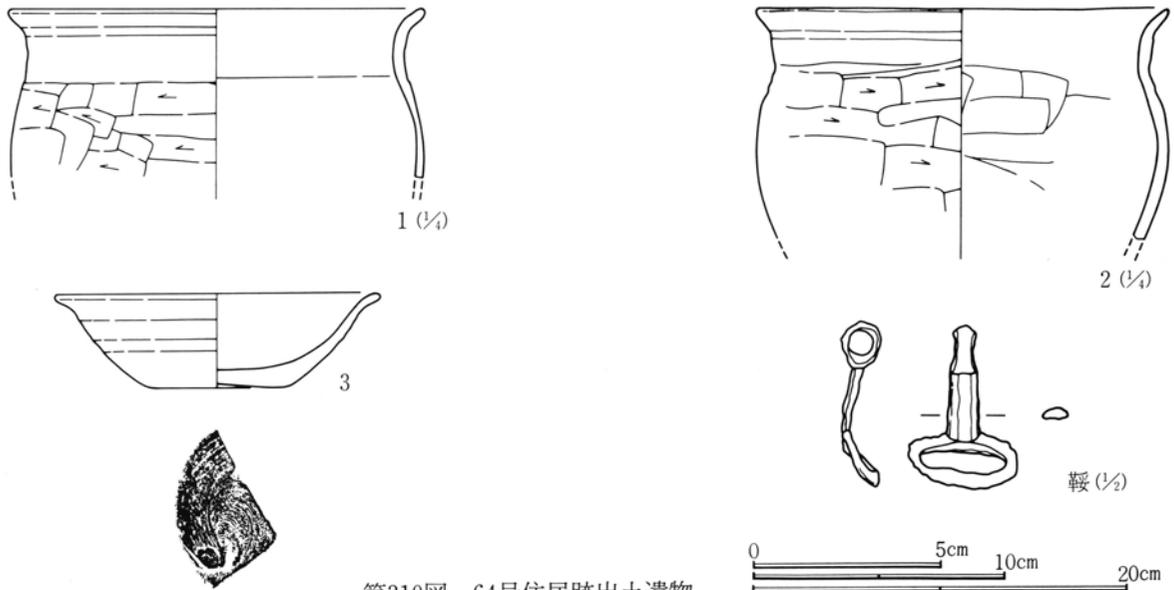
第308図 64号住居跡

第2章 検出された遺構と遺物



- 1 黄褐色土 ロームブロック主体で固い。
- 2 暗褐色土 ローム小ブロック・砂粒を含む。
- 3 暗褐色土 ローム小ブロック・砂粒・焼土粒を含む。
- 4 暗褐色土 3層よりロームブロックの量多い。
- 5 赤褐色土 焼土と粘土ブロックの混合層。
- 6 黒褐色土 粒子細かい。
- 7 赤褐色土 焼土塊・炭化物・砂礫を含む。
- 8 黄褐色土 ロームブロック多量に、焼土少量含む。
- 9 黄褐色土 砂礫にローム粒子が多量に混合したもの。

第309図 64号住居跡 カマド



第310図 64号住居跡出土遺物

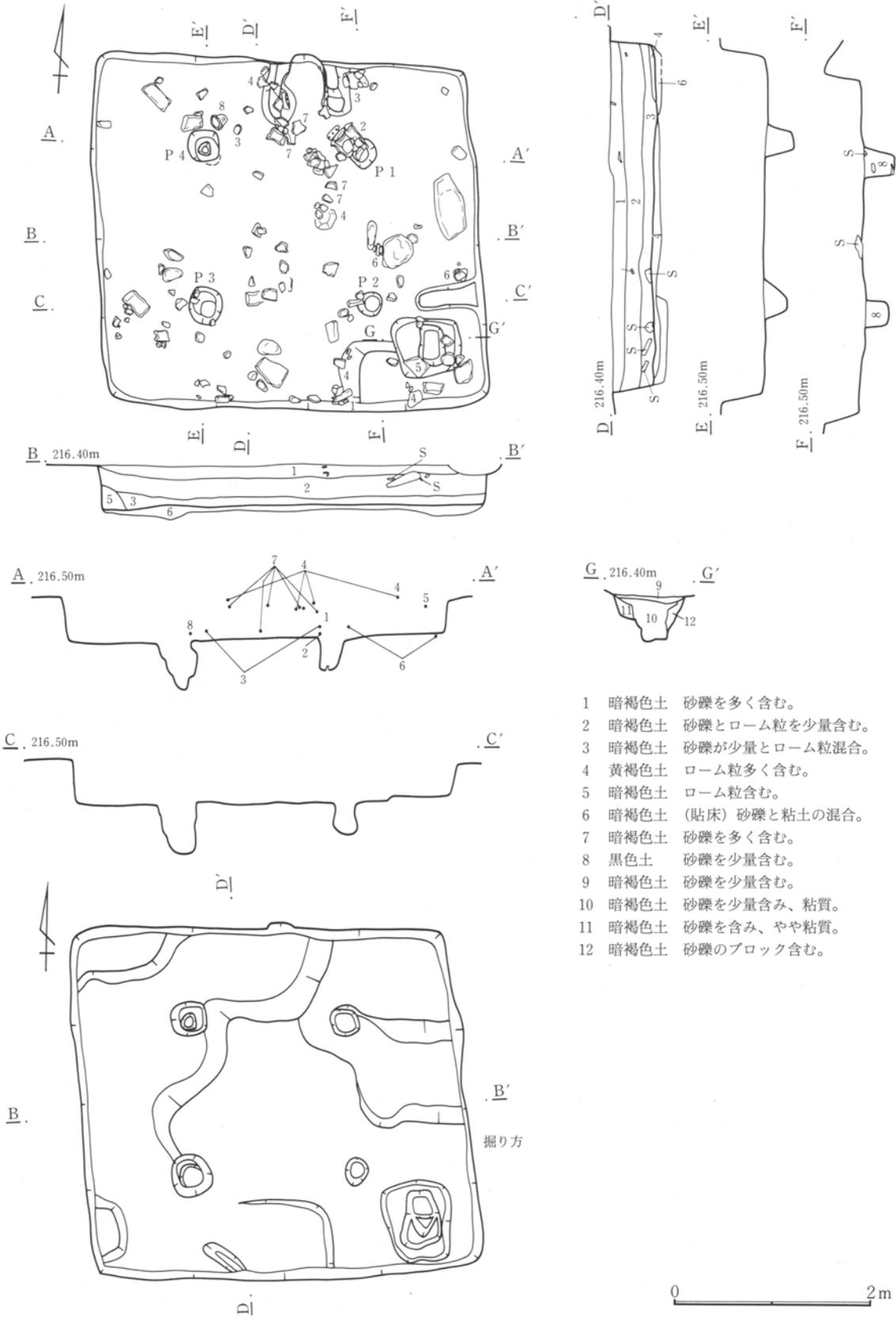
64号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 甕	カマド内 貯蔵穴内	(21.9)		砂粒を含む	鈍い褐	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
2	土師器 甕	カマド内	(22.0)		小砂粒を含む		普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
3	須恵器 坏	貯蔵穴内	(12.6)	3.7 (5.4)	微砂粒を含む	灰黄	不良	ロクロ整形 底面回転糸切り	1/4

鞆

カマド内より出土している。長さ4.2cm、幅2.9cmで銅製である。全体に錆びているが、一部に錆が剥落している部分もある。

67号住居跡 (第311~314図、PL32・33・214)



第311図 67号住居跡

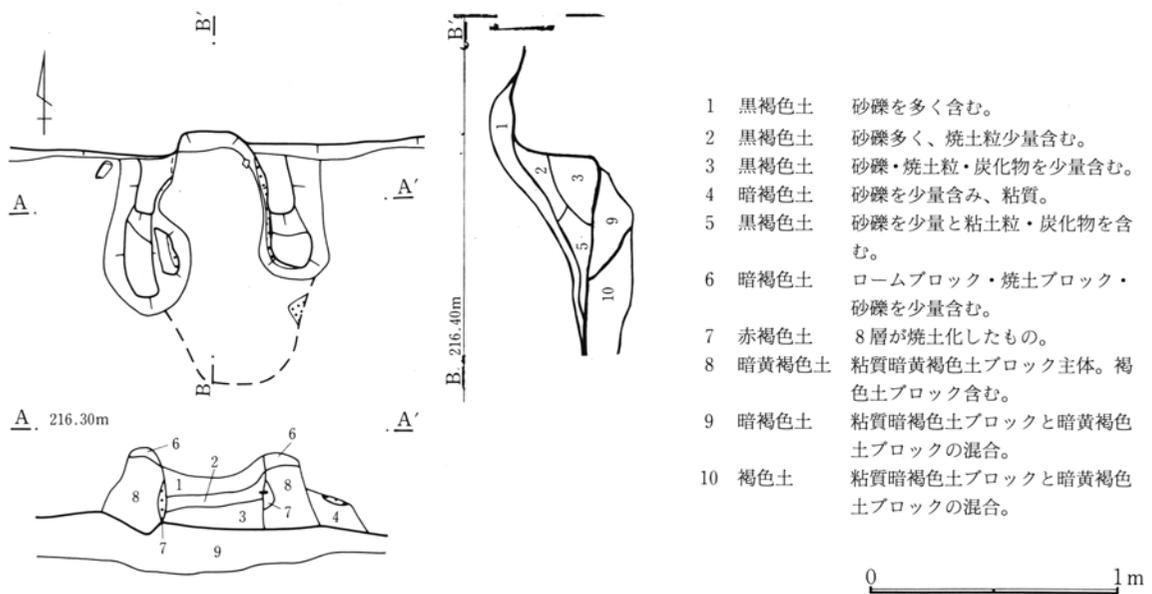
第2章 検出された遺構と遺物

67号住居は正方形であるが、やや菱形気味である。床面は砂礫を含む暗褐色粘土で貼床をしており、平坦で比較的しっかりしている。

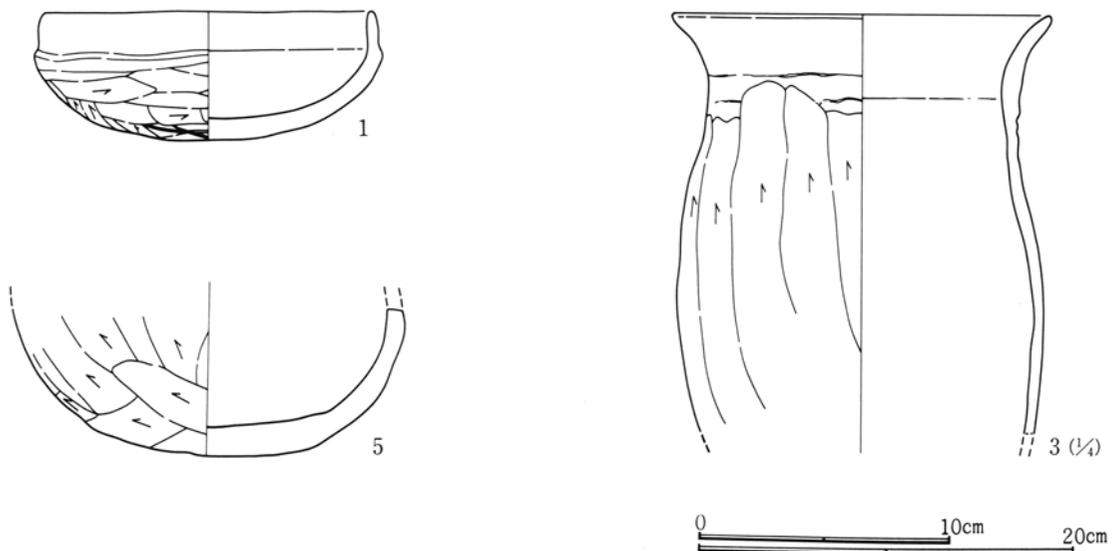
柱穴は住居の対角線上に発見された。貯蔵穴は東南コーナー付近にあり、比較的深く段になっているが、土層断面により掘り直しが行われていたことがわかる。掘り方には凹凸があり、比較的高く掘り残している部分もみられる。

カマドは北壁中央やや東寄りに発見された。粘質の暗褐色土ブロックで袖を構築している。火床面は床面とほぼ同レベルで、底面に焼土はあまりみられないが左袖の一部は焼土化している。

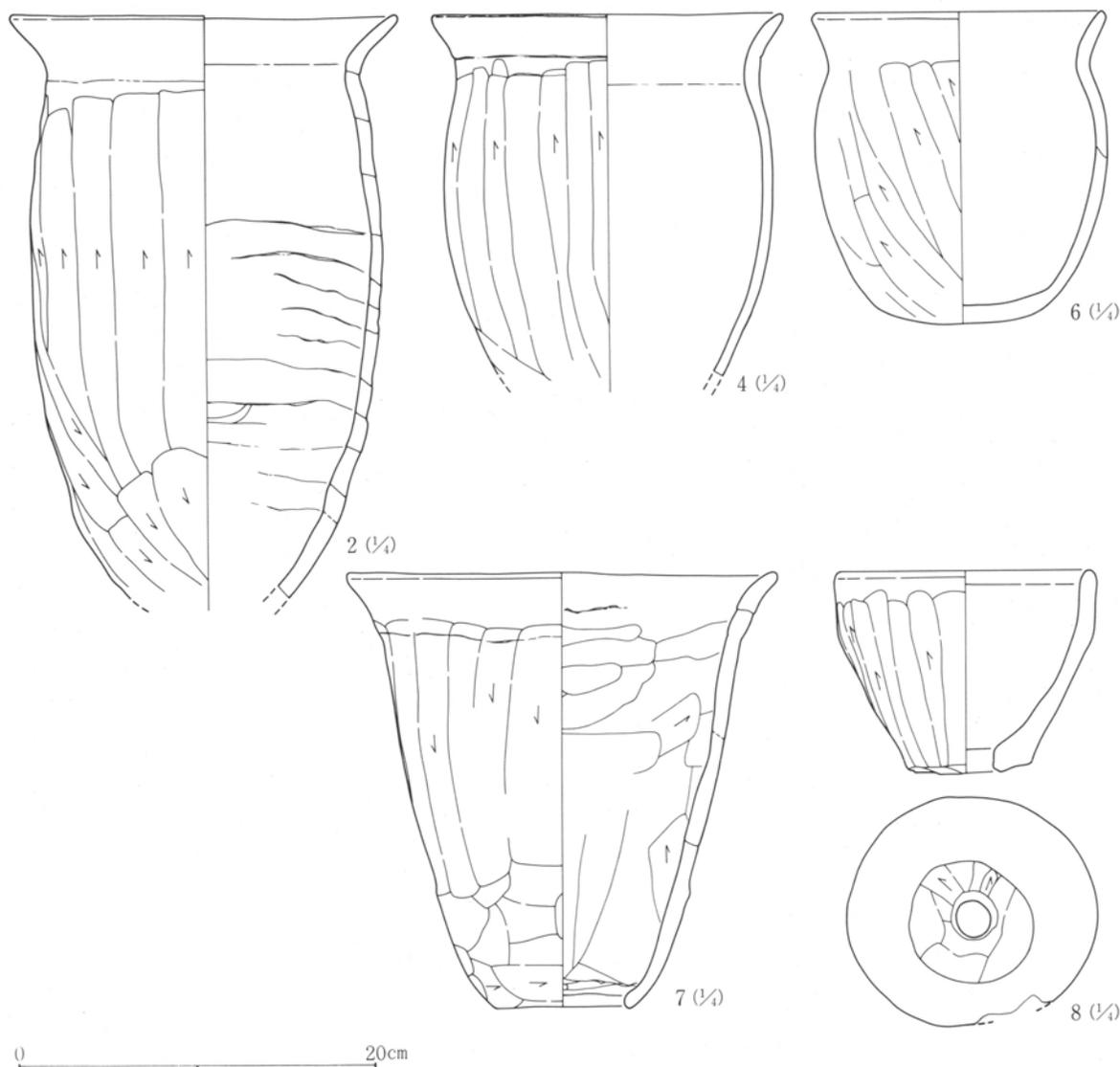
出土遺物には土師器坏・土師器甕・土師器甔がある。カマド近くの床面付近に比較的まとまっているもの(甕2・3、甔8)もあるが、住居内に散在しており床面よりかなり浮いているものもある。



第312図 67号住居跡 カマド



第313図 67号住居跡出土遺物(1)



第314図 67号住居跡出土遺物(2)

67号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	床南側	(13.0)		精製	鈍い黄 橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部横撫で 体部撫で	1/2 内外面スス付着
2	土師器 甕	床北側	21.4		砂粒を多く 含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	内面輪積痕
3	土師器 甕	カマド付 近 埋土	20.0		砂粒を多く 含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
4	土師器 甕	カマド 埋土	(19.5)		砂粒を多く 含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	外面黒斑あり
5	土師器 甕	貯蔵穴内			砂粒を多く 含む	橙	普通	外 体部～底部篋削り 内 体部～底部撫で	
6	土師器 甕	床東側 埋土	(15.8)	17.2 8.0	砂粒を少量 含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体～低部篋削り 内 口縁部横撫で 体部撫で	1/4
7	土師器 甕	カマド付 近	(23.2)	24.3 孔径 (7.5)	砂粒含む	明赤褐	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部横撫で 体部撫で	1/2 外面スス付着
8	土師器 甕	埋土	(13.3)	11.3 7.0	小石・砂粒 含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体部縦撫で 内 口縁部横撫で 体部撫で	一部欠損

69号住居跡 (第315~318図、PL33・214・251)



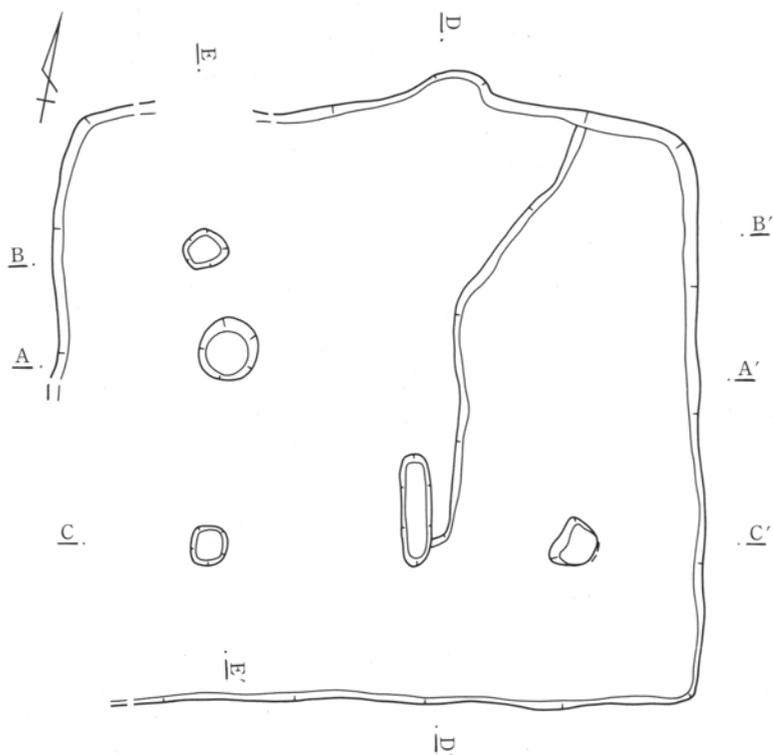
- | | | | |
|----------|-----------------------|----------------------|--------------|
| 1 黒褐色土 | 砂礫を多く含む。 | 12 暗褐色土 | 小砂礫をやや多く含む。 |
| 2 黒褐色土 | 砂礫を多く含む。1層よりも黄色味がかかる。 | 13 黒褐色土 | 砂礫を多く含む。 |
| 3 黒褐色土 | 大小の砂礫を含む。 | 14 暗褐色土 | 粘質。砂礫を少量含む。 |
| 4 暗褐色土 | 砂礫を少量含む。固くしまっている。 | 15 地山の砂礫が2次堆積したもの。 | |
| 5 暗褐色土 | 砂礫・褐色土粒子を少量含む。 | 16 黒褐色土 | 砂礫を含む。 |
| 6 暗褐色土 | 砂礫を僅かに含む。 | 17 暗褐色土 | 砂礫を含む。 |
| 7 暗褐色土 | 砂礫を多く含む。 | 18 黒色土 | 砂礫・炭化物を少量含む。 |
| 8 暗黄褐色土 | 砂礫をやや多く、黄褐色土粒を僅かに含む。 | 19 暗褐色土 | 砂礫を多量に含む。 |
| 9 暗黄褐色土 | 砂礫・黄褐色土粒をやや多く含む。 | 20 褐色土 | 砂礫を多く含む。 |
| 10 暗黄褐色土 | 黄褐色土ブロックを僅かに含む。 | 21 砂粒 | 径1mm以下。 |
| 11 暗褐色土 | 砂礫を多量に含む。 | 22 暗黄褐色土ブロックと砂粒の混合層。 | |

0 2m

第315図 69号住居跡

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

69号住居跡は、北壁のカマドより西側部分が62号住居によって、南西コーナー部分が8号住居によって削られており、したがってこの部分は存在しない。また、本住居の埋没後に89号住居が南西部分に重複して造られているが、破壊は床面にまでは及んでいない。



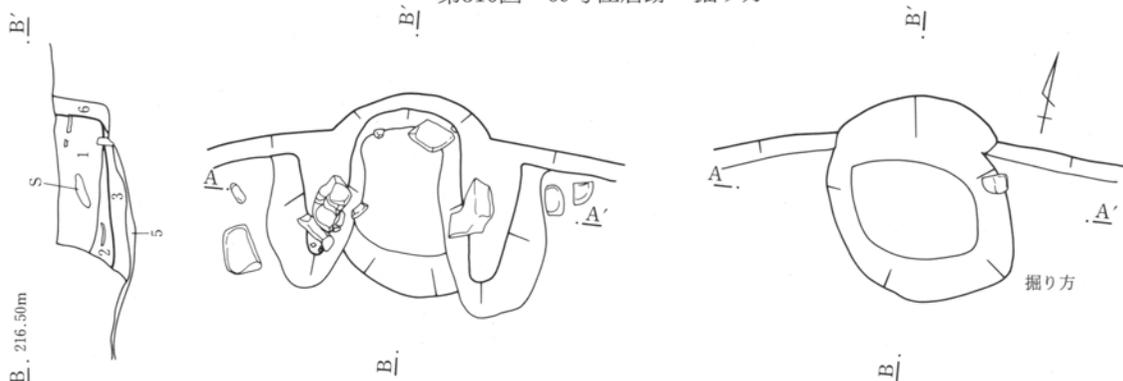
住居の平面形は隅丸正方形に近い。床面は、砂礫を含む暗褐色土で貼床をしており、特にカマド付近から住居中央部にかけては固くしまっている。なお、床面は平坦である。

柱穴は、住居の対角線からは外れるが、4ヶ所確認された。貯蔵穴は北東コーナー付近に発見された。貯蔵穴の規模は長径約1m、短径約60cm、深さ約30cmで、楕円形を呈する。

東壁および南壁の一部には、幅10cm前後、深さ6cm前

第316図 69号住居跡 掘り方

0 2m



A 216.50m

- | | | | |
|--------|-----------------|---------|-------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | 砂礫・炭化物・焼土粒を含む。 | 3 暗褐色土 | 焼土粒・炭化物を含む。 |
| 2 暗褐色土 | やや粘質。焼土・炭化物を含む。 | 4 暗褐色土 | 粒子細かい。砂礫・暗黄褐色土ブロックを僅かに含む。 |
| | | 5 暗黄褐色土 | 粒子細かい暗黄褐色土ブロックを主体とし、暗褐色土ブロックを僅かに含む。 |
| | | 6 暗褐色土 | 炭化粒子・焼土粒子を僅かに含む。 |
| | | 7 暗黄褐色土 | 暗褐色土粒子を多量に、ロームブロックを僅かに含む。 |

0 1m

第317図 69号住居跡 カマド

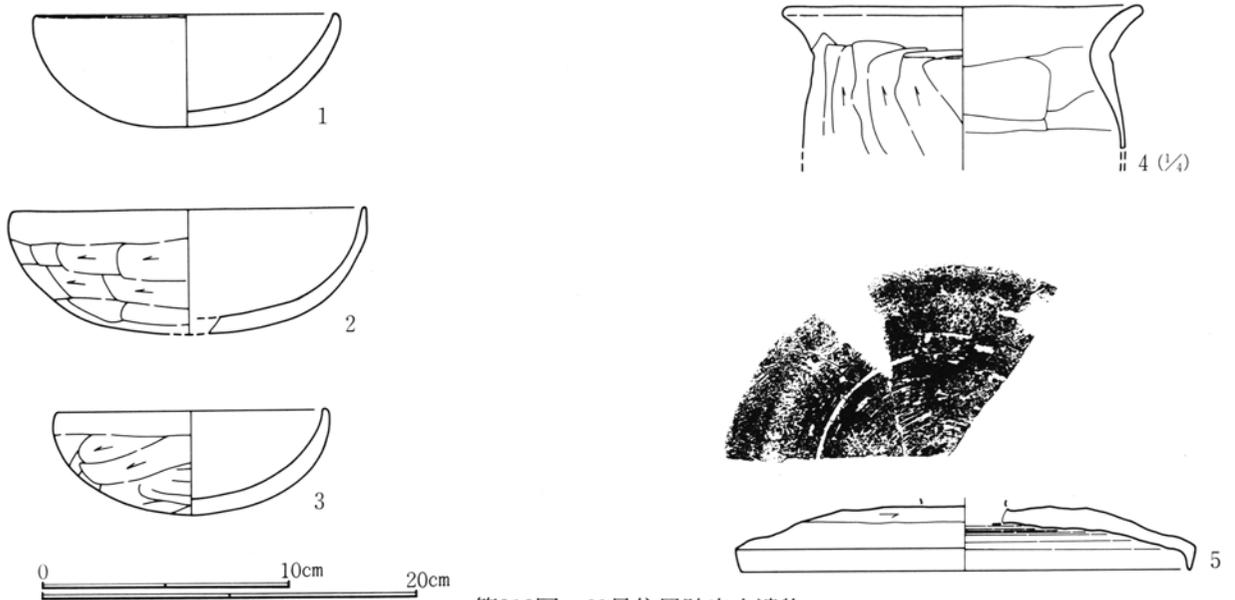
第2章 検出された遺構と遺物

後の壁溝が発見されている。この壁溝は、東壁の大部分と南壁の一部のみで、他の部分には確認されていない。

貯蔵穴近くの柱穴の南側には、柱穴と同規模の Pit があり、柱穴とも考えられる。掘り方は床面下約12cmに存在するが、比較的平坦である。

カマドは、北壁の中央よりやや東寄りに発見された。カマドの袖については、砂岩の割石を芯として粒子の比較的細かい暗褐色土で造られている。カマドの焚口部は、直径約75cm、深さ約10cmの皿状の掘り込みをもっているが、火床面については床面よりも2cmほど低い位置にあり、あまり焼けていない。

出土遺物として、土師器坏・土師器甕・こも編石がある。坏2はカマド内より、それ以外の遺物は床面付近より出土している。



第318図 69号住居跡出土遺物

69号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床中央	12.1	4.5	微砂粒を含む	橙	普通	外 篋削り後撫で 内 口縁部横撫で 体部撫で	ほぼ完形 外面黒斑あり
2	土師器 坏	カマド内	(14.0)		微砂粒を含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/2
3	土師器 坏	埋土	(10.8)		微砂粒を含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/3
4	土師器 甕	床東側	(18.8)		砂粒を含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	
5	須恵器 蓋	埋土	(17.9)		砂粒を含む	黄灰	普通	ロクロ整形 外面体部篋削り	1/3

69号住居跡出土石器観察表

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴
				長さ	幅	厚さ	重量		
1	こも	床下	完形	15.0	7.7	5.4	835.2	粗安	盤状の円礫。一側中央部に抉り。
2	こも	床下	完形	14.1	7.1	3.6	499.7	デイ	盤状の円礫。

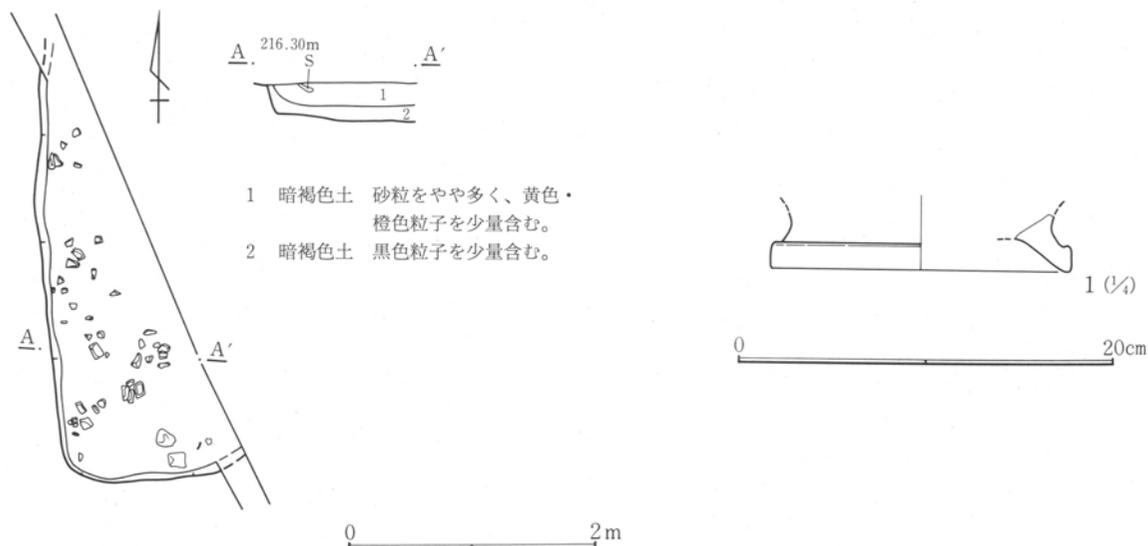
71号住居跡 (第319図、PL33・214)

住居の大部分は調査区域外である。本住居の埋没後に4号溝が造られているものの、溝底面が浅くなっているため住居の床面付近に破壊は及んでいない。

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

床面は掘り方面である。床面は比較的平坦であるが、住居周辺部であるためか、軟弱である。住居検出部分には、柱穴・貯蔵穴・カマドは確認されなかった。

出土遺物としては、瓶の高台部の破片が出土しているのみである。

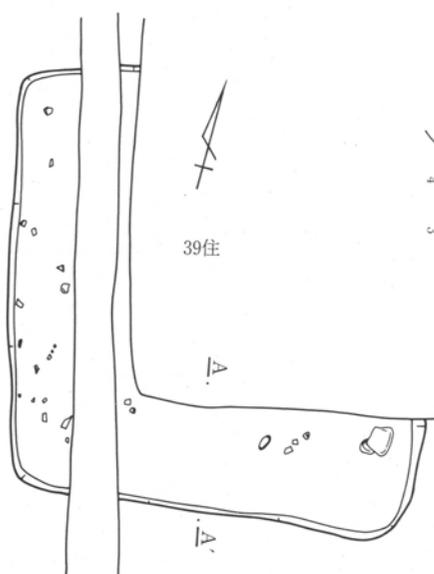


第319図 71号住居跡及び出土遺物

71号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	須恵器 瓶	埋土	(15.7)		精製	灰	良好	ロクロ整形	

72号住居跡 (第320図、PL33)

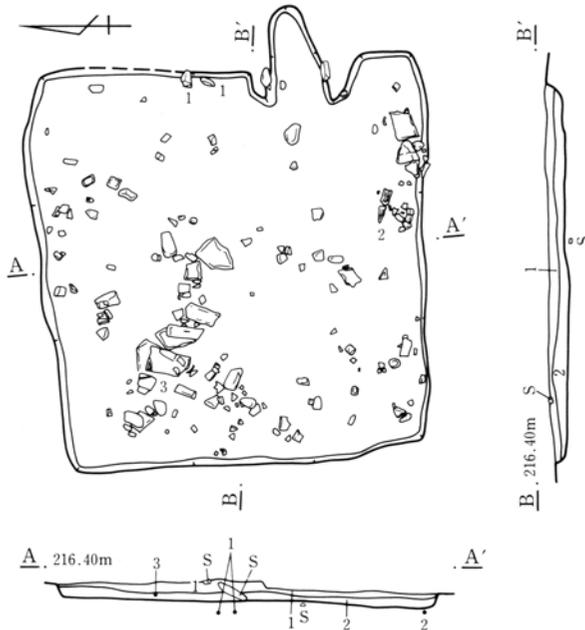


住居は、39号住居跡および耕作溝によって多くの部分が削られている。掘り方面をそのまま床面としており、やや軟弱であるものの平坦である。

柱穴・貯蔵穴・カマドは確認されなかった。出土遺物については、図示出来るものは存在しなかった。

第320図 72号住居跡

75号住居跡 (第321~323図、PL34・214)



住居はほぼ正方形であるが、西壁がやや短くなっており、そのため北西壁がやや鈍角となる。住居は掘り方をそのまま床面としており、ほぼ平坦で比較的しっかりしている。柱穴および貯蔵穴は確認されなかった。

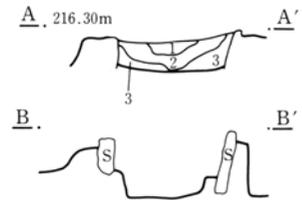
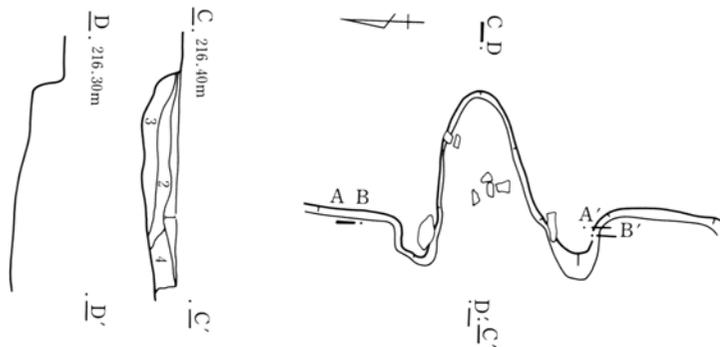
カマドは東壁の南寄りに発見された。カマド袖は砂岩の割石を用いており、背後を粘質の暗褐色土で固めている。火床面は床面とほぼ同レベルであるが、焼土は少なく殆ど焼けていない。

出土遺物として土師器坏・土師器甕がある。いずれも床面付近およびやや浮いた状態で出土している。

- 1 暗褐色土 橙色粒子・黄色粒子・小石を僅かに含む。
- 2 暗褐色土 ローム粒と少量の炭化材を含む。

0 2m

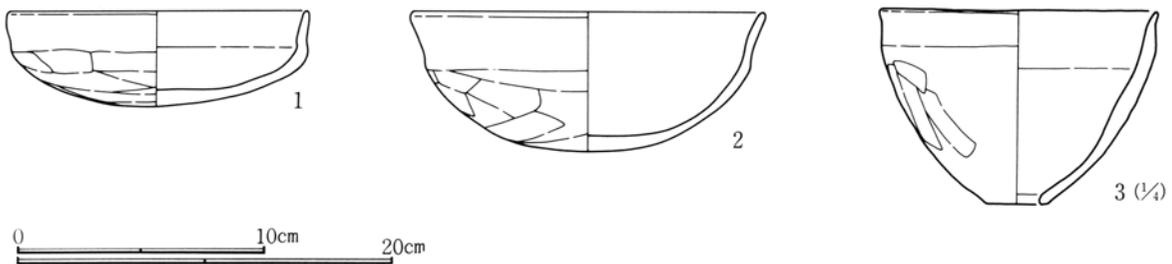
第321図 75号住居跡



- 1 黒褐色土 粒子細かく礫を僅かに含む。
- 2 橙褐色土 焼土とローム粒を少量含む。
- 3 橙褐色土 焼土ブロック・ロームを含む。
- 4 黒褐色土 砂礫を含む。

0 1m

第322図 75号住居跡 カマド



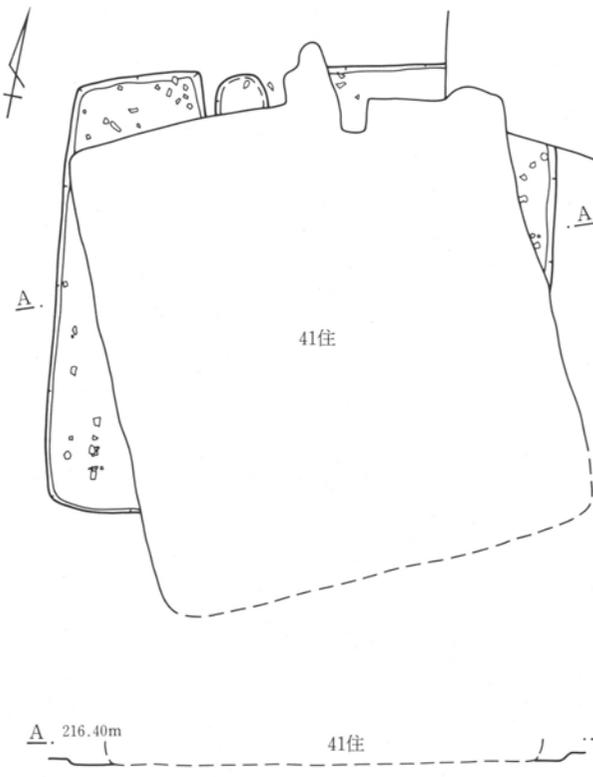
第323図 75号住居跡出土遺物

75号住居跡出土土器観察表

番号	器種器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 杯	床東側	11.9	3.9	砂粒を少量 含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部横撫で 体部撫で	4/5
2	土師器 杯	床南側	(14.0)	5.5	砂粒を少量 含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部横撫で 体部撫で	1/3
3	土師器 甕	床西側	(14.6) (3.4) 孔径 (2.4)	10.3	微砂粒を含 む	橙	普通	外 口縁部～体部撫で、一部篋削り 内 口縁部～体部撫で	1/3

77号住居跡 (第324図)

住居の大部分は41号住居跡によって削られており、一部の確認である。住居の平面形は、残存している壁



部分から推定すると、隅丸方形と考えられる。なお、北西コーナーは鈍角となっており、したがって北壁と南壁は厳密には平行しない。住居残存部分には、柱穴および貯蔵穴は確認されなかった。

床面は、地山を掘り込んだ掘り方面である。住居の周辺のみ確認であるためか、床面は平坦であるが軟弱である。

カマドは北壁の中央よりやや西側に付設されているが、遺存状態は悪く、焼土が僅かに残されていたのみである。

出土遺物については、すべて小破片で図示出来るものは存在しなかった。

第324図 77号住居跡

80号住居跡 (第325～327図、PL34・214)

住居は、4号溝および5号溝によって住居の大部分を削られており、北側部分のみの残存である。住居の形状は隅丸方形とも考えられるが、一部分しか残存していないため不明である。

床面は黒褐色土で貼床をしている。平坦な床面で、よく踏み固められている。柱穴と推定される Pit は、2ヶ所で確認されている。東壁およびカマド以西の北壁から西壁にかけては、壁溝がみられる。この壁溝は幅10cm～20cm、深さ約5cmであるが、北壁のカマド西側部分が特に広がっている。掘り方は、床面下5cm～10cmに確認されたが、凹凸が多くなっている。

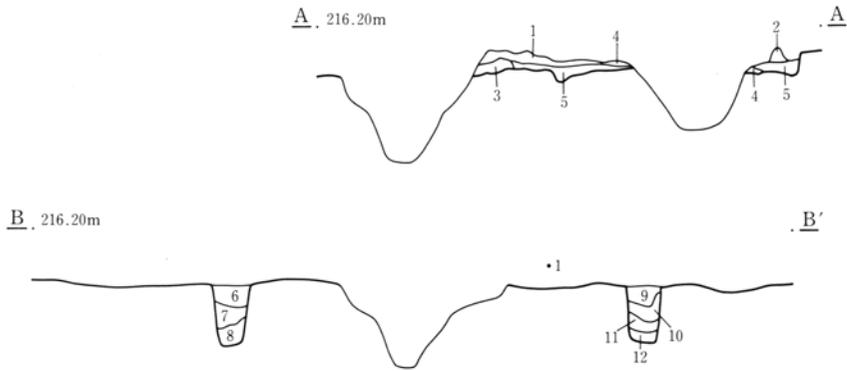
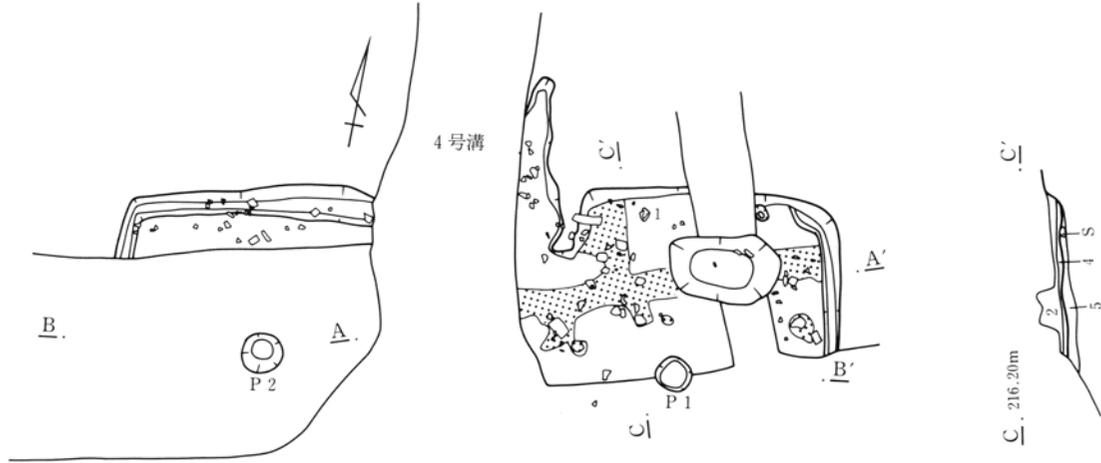
貯蔵穴は北東コーナー付近で確認された。貯蔵穴は長径95cm、短径55cmの楕円形で、深さは42cm、断面形

第2章 検出された遺構と遺物

はU字形を呈する。

カマドは北壁のほぼ中央に付設されており、右袖に関しては、やや粘質の暗褐色土で構築されている。焚口は、深い部分で10cmほど掘り込まれているが、廃絶時の火床面については床面よりやや高くなっており、下面には多量の焼土塊が残されていた。また、カマドから排出されたと考えられる焼土は、カマド前面から貯蔵穴の反対側にまで広がっていた。

出土遺物として土師器甕の破片があり、床面からやや浮いた状態で発見された。

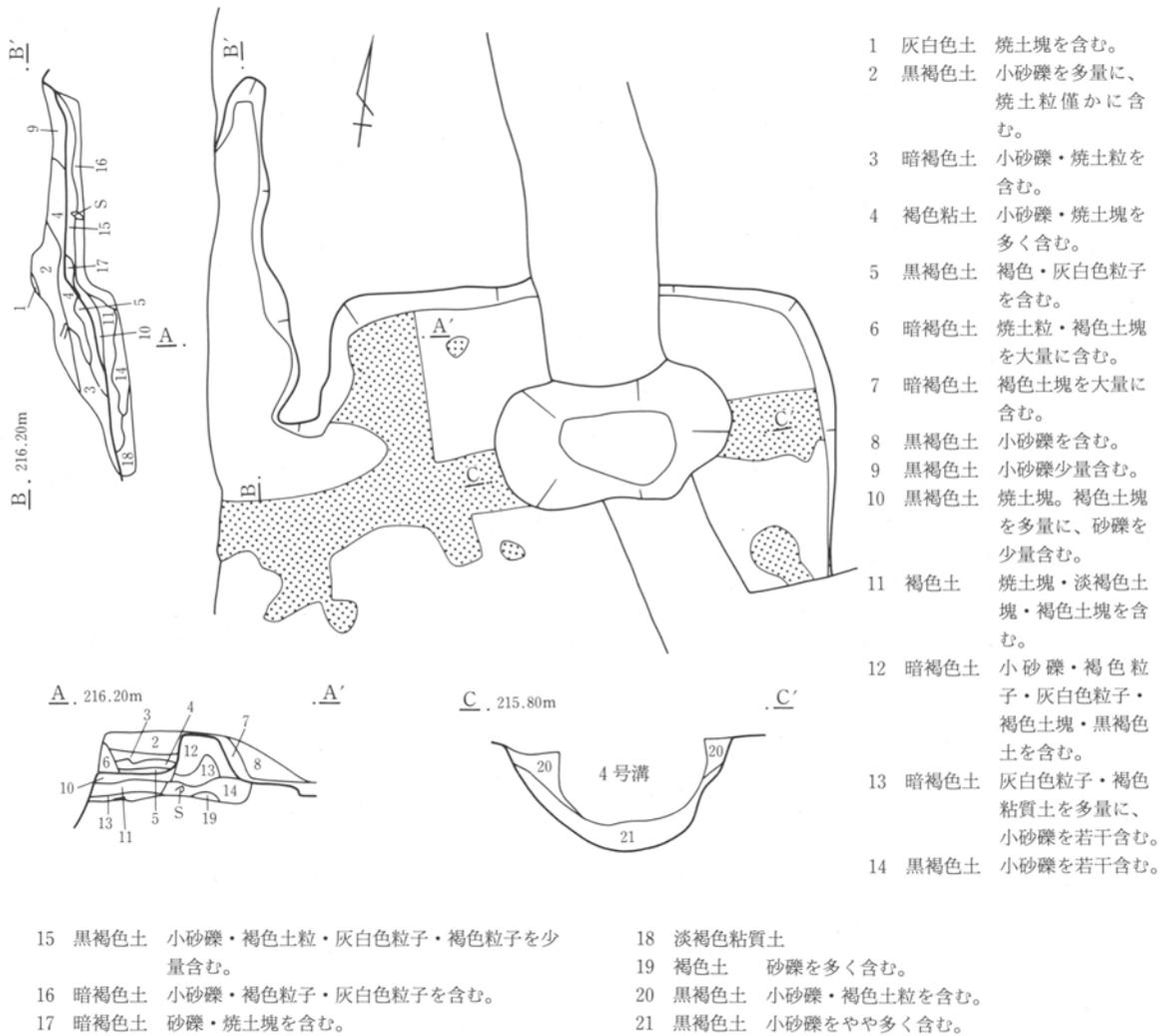


- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 暗褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子・灰褐色土塊を含む。 | 7 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子を多量に、小砂礫を少量含む。 |
| 2 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を含む。 | 8 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子少量含む。 |
| 3 褐色土 小砂礫・灰白色土塊・褐色土塊を多量に含む。 | 9 暗褐色土 砂礫・ロームブロック含む。 |
| 4 褐色土 粘質土。小砂礫・灰白色粒子含む。 | 10 黒褐色土 ロームブロックを少量含む。 |
| 5 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を多量に含む。 | 11 暗褐色土 ロームを多く含む。 |
| 6 暗褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を多量に含む。 | 12 暗褐色土 ロームブロック・黒色土を多量に含む。 |

0 2m

第325図 80号住居跡

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



第326図 80号住居跡 カマド

0 1m



1 (1/4)

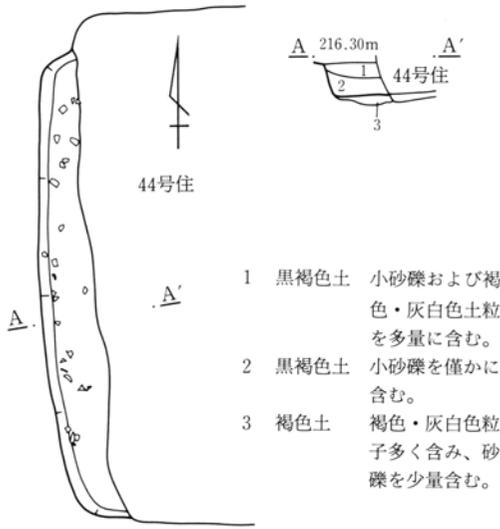
0 20cm

第327図 80号住居跡出土遺物

80号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 甕	埋土	(13.6)		小砂粒を含む	明赤褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部撫で	外面スス附着

81号住居跡 (第328図、PL34)



住居の大部分は44号住居跡によって削られており、西壁付近のみの残存である。北西および南西コーナー部分は隅丸となっている。床面は褐色土で貼床をしており、平坦ではあるが周辺部のためか軟弱である。掘り方については、床面下約5cmに確認されている。

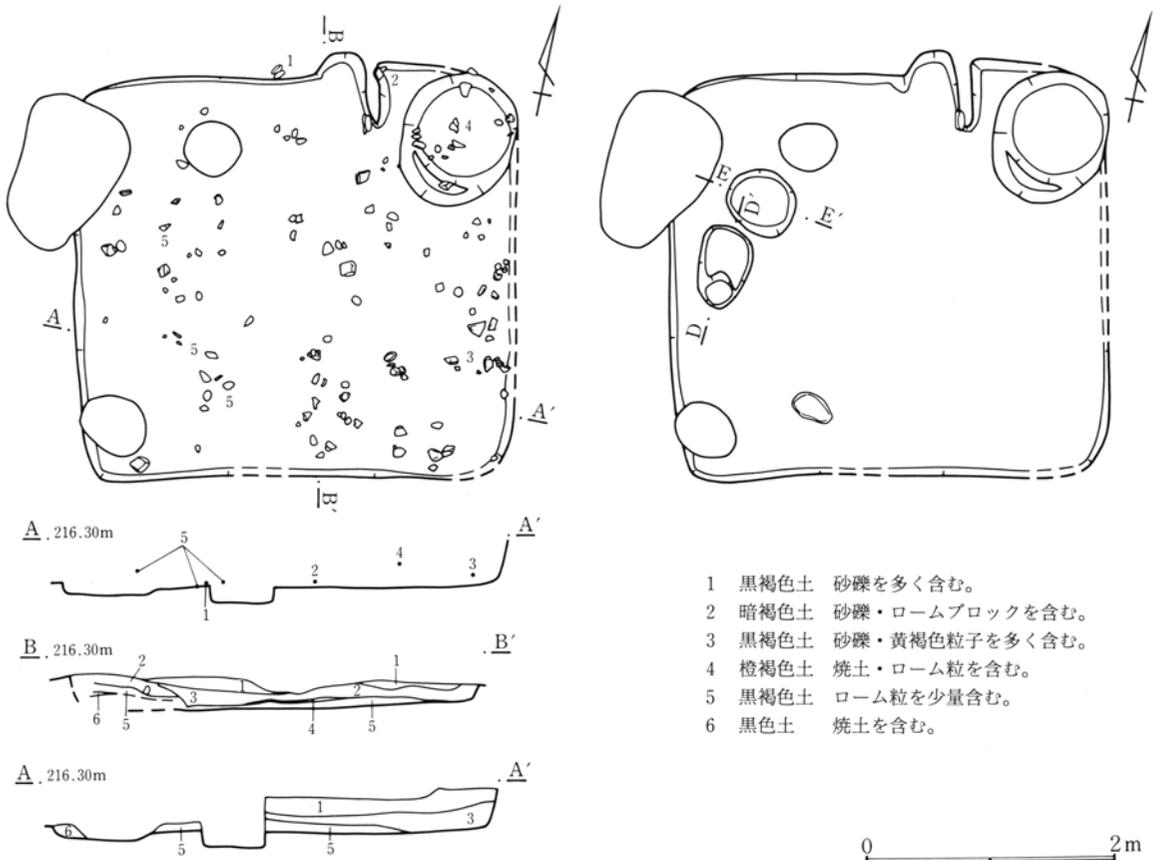
出土遺物については、図示出来るものは存在しなかった。

0 2m

第328図 81号住居跡

82号住居跡 (第329～331図、PL34・35・214)

本住居跡は隅丸正方形を呈する。床面は掘り方面をそのまま使用しており、平坦で比較的しっかりしている



0 2m

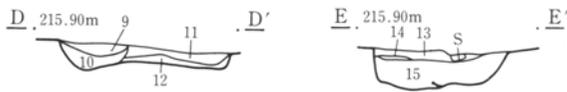
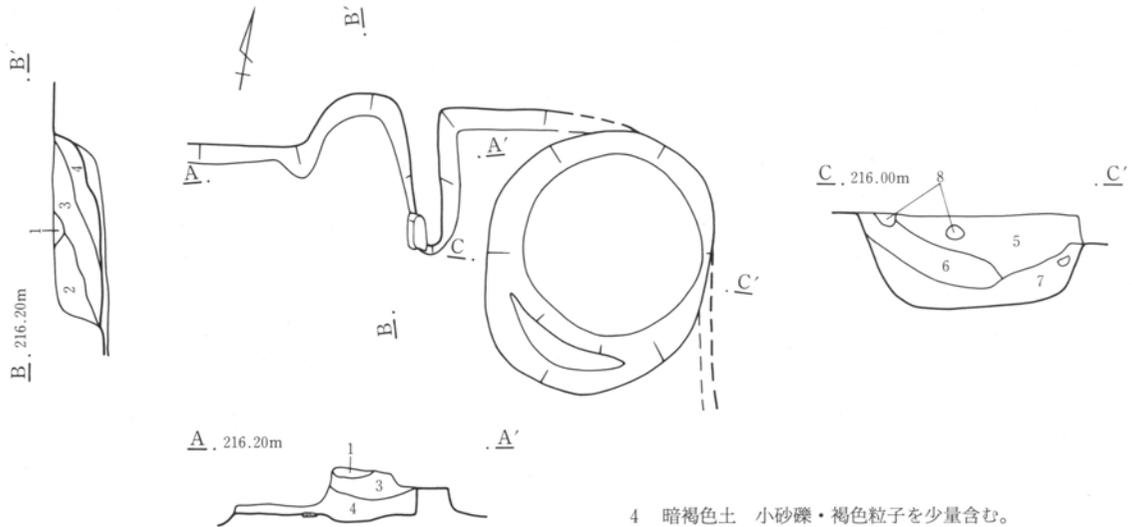
第329図 82号住居跡

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

る。柱穴は確認されなかった。貯蔵穴は北東コーナーに接して存在しており、楕円形で深さ約36cmと深い。

住居床面下より土坑が2基発見された。円形と楕円形の土坑で、住居西壁近くで接している。カマドは北壁中央やや東寄りに確認された。カマド左袖には砂岩の割石が使用されている。火床面は床面とほぼ同じであるが、焼土は僅かである。

出土遺物として土師器坏・土師器甕・土師器甔がある。

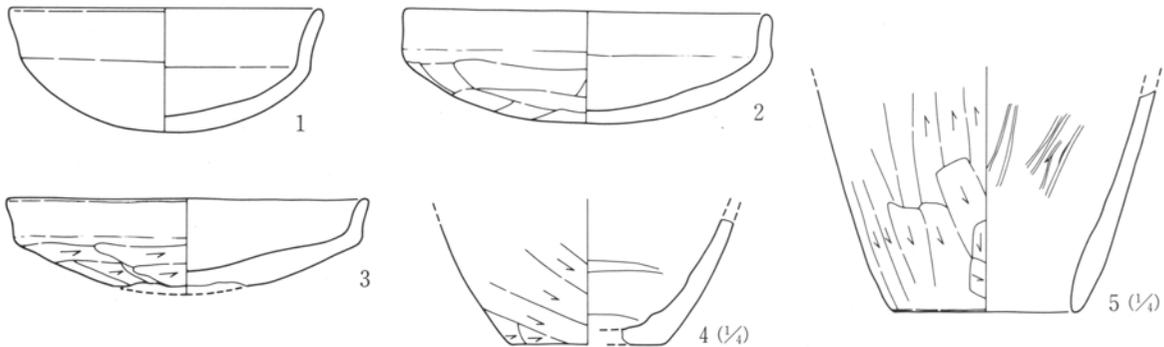


- 1 灰褐色土 焼土主体。砂礫・灰白色粒子・褐色粒子を含む。
- 2 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を多く含む。
- 3 褐色土 砂礫・焼土塊を少量含む。

- 4 暗褐色土 小砂礫・褐色粒子を少量含む。
- 5 黒褐色土 小砂礫を多量に、褐色土塊を少量含む。
- 6 黒褐色土 小砂礫・褐色土塊・褐色土粒を多く含む。
- 7 暗褐色土 褐色土粒・褐色土塊を多く、小砂礫を少量含む。
- 8 褐色粘質土塊
- 9 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・褐色土粒を少量含む。
- 10 褐色土 黒褐色土粒を含む。
- 11 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子・褐色土粒・褐色土塊をやや多く、小礫を少量含む。
- 12 褐色土 褐色土塊を多量に、褐色粒子・灰白色粒子をやや多く含む。
- 13 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子を少量含む。
- 14 褐色土 粘質。小砂礫を少量含む。
- 15 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子をやや多く含む。

第330図 82号住居跡 カマド

0 1 m



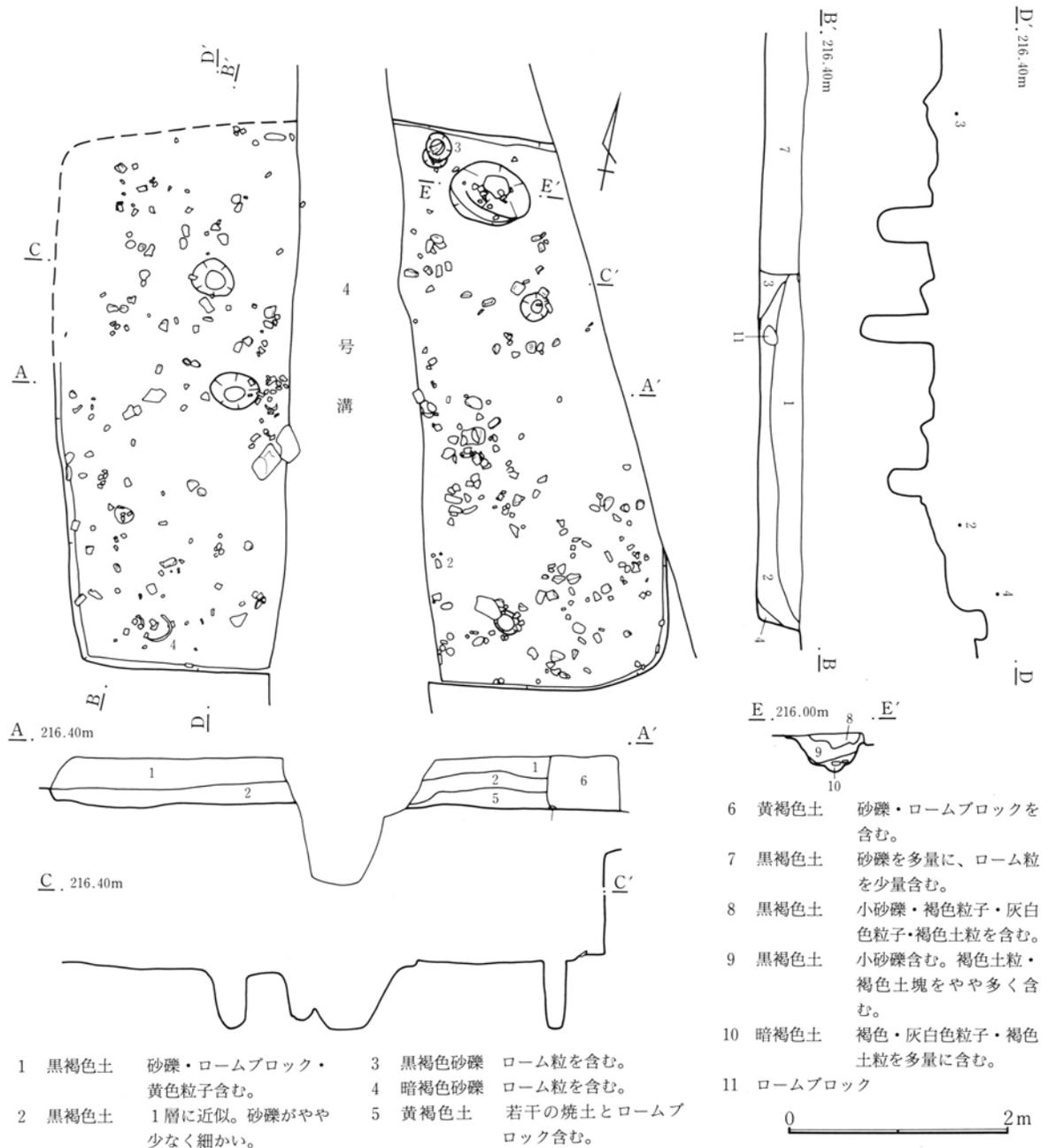
第331図 82号住居跡出土遺物

第2章 検出された遺構と遺物

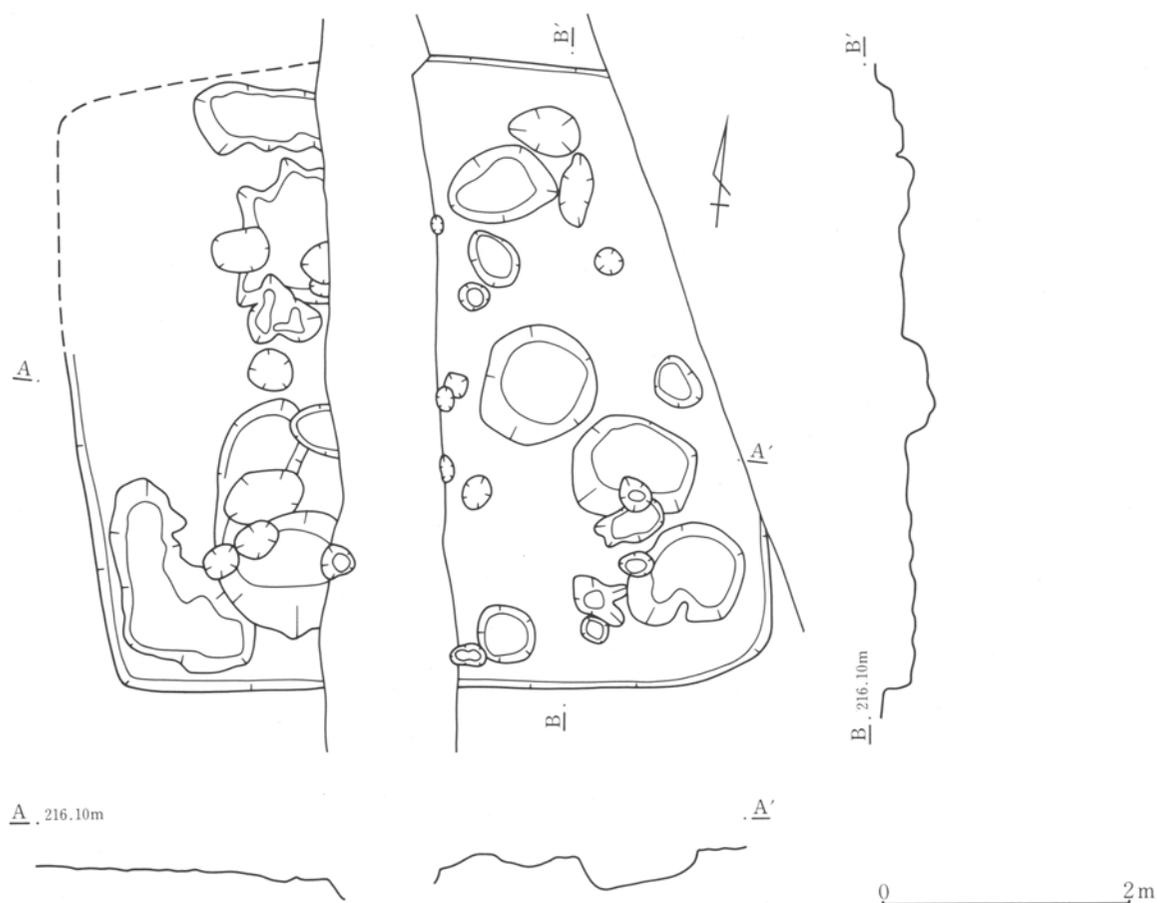
82号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床北側	12.5	4.8	砂粒を少量 含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	ほぼ完形
2	土師器 坏	カマド内	(14.4)	4.4	砂粒を含む	鈍い黄 橙	不良	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/4
3	土師器 坏	床東側	(14.3)	3.4	砂粒を含む	鈍い黄 橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部横撫で 体部無で	1/4 外面底部黒斑
4	土師器 甕	貯蔵穴		8.4	小砂粒を含 む	明黄褐	良好	外 体部～底部篋削り 内 体部～底部横撫で	
5	土師器 甕	床中央	(10.0)		小砂粒を含 む	鈍い橙	良好	外 篋削り 内 縦撫で	外面黒斑あり

86号住居跡 (第332～335図、PL35・215)



第332図 86号住居跡



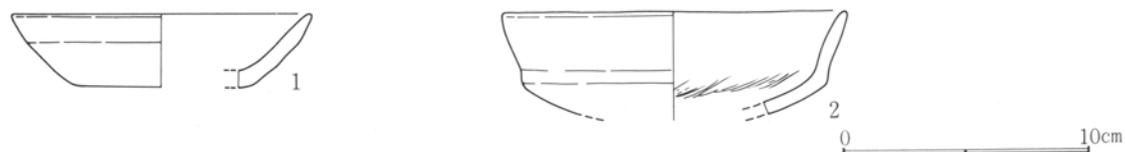
第333図 86号住居跡 掘り方

86号住居は、中央部を4号溝によって、また北西コーナー付近の壁を82号住居跡によって削られている。平面形は隅丸長方形であるが、西南コーナー部がやや鈍角となり、南東コーナーはやや鋭角となる。

床面は褐色土で貼床しており、ほぼ平坦で比較的しっかりしている。柱穴については、北寄りに柱穴とも考えられる Pit が2基存在するが、南側についてははっきりしない。貯蔵穴は北壁近くの東寄りにあり、楕円形でやや深い。

掘り方は凹凸が多く、床下土坑と考えられる掘込みも数基存在する。カマドは確認されなかったが、既に削られた部分に存在した可能性が高い。

出土遺物として土師器坏・土師器甕があり、床面からやや浮いた状態で出土している。なお床下土坑中からも土師器片が多く出土しているが、図示出来るものは無い。



第334図 86号住居跡出土遺物(1)

第2章 検出された遺構と遺物

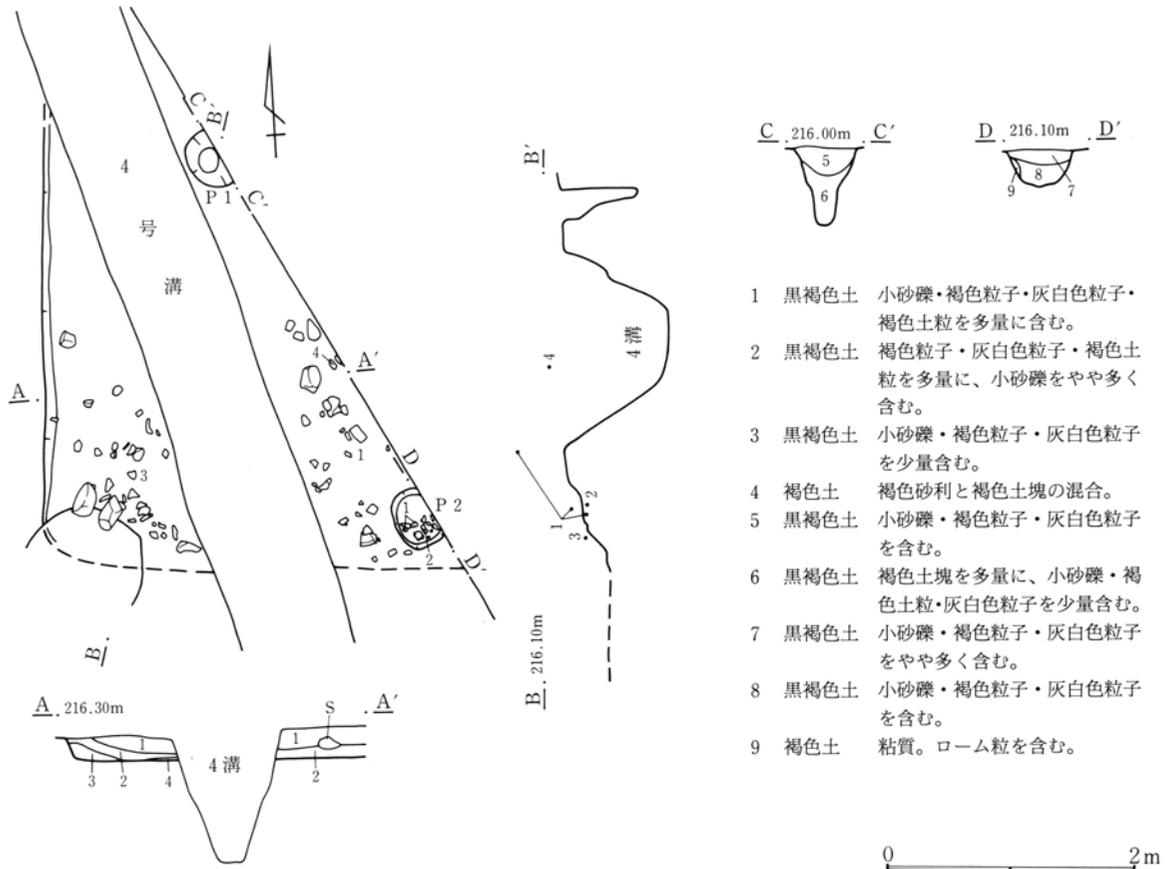


第335図 86号住居跡出土遺物(2)

86号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	土師器 坏	埋土	(12.0)	2.8 (6.8)	小砂粒を含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/4
2	土師器 坏	床北側	(13.6)		精製	灰黄褐	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/5 内外面スス付着
3	土師器 甕	床南側	21.8		砂粒を多く含む	鈍い橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	外面黒斑あり
4	土師器 甕	埋土	(25.4)		砂粒を少量含む	褐	不良	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	

87号住居跡 (第336・337図、PL36・215)



- 1 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子・褐色土粒を多量に含む。
- 2 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子・褐色土粒を多量に、小砂礫をやや多く含む。
- 3 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を少量含む。
- 4 褐色土 褐色砂利と褐色土塊の混合。
- 5 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を含む。
- 6 黒褐色土 褐色土塊を多量に、小砂礫・褐色土粒・灰白色粒子を少量含む。
- 7 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子をやや多く含む。
- 8 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を含む。
- 9 褐色土 粘質。ローム粒を含む。

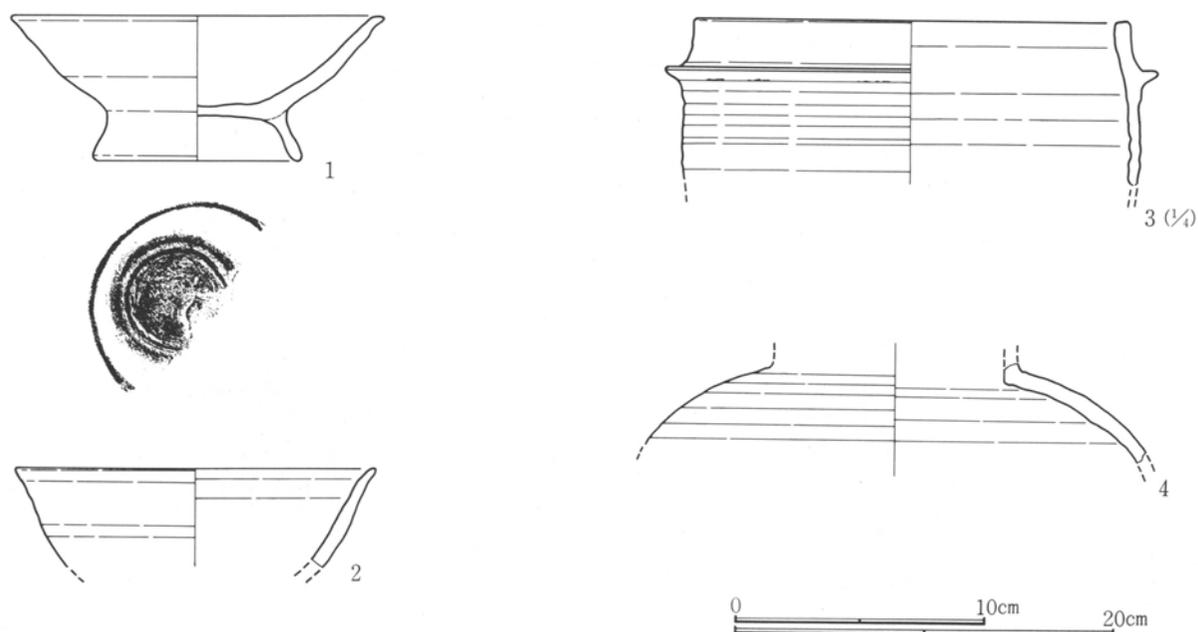
第336図 87号住居跡

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

住居は4号溝に削られており、また多くの部分が調査区域外となっている。なお、住居南側の壁については明確に捉えることが出来なかった。

床面は平坦であるが、比較的やわらかくあまり踏み固められていない。また、掘り方は存在せず、地山を掘り込んだ面をそのまま床面としている。柱穴と推定される Pit が、住居北寄り調査区外との境界線上に発見されている(P1)。住居南寄り調査区外との境界線上にも Pit がある(P2)。この Pit は、直径約45cm、深さ約25cmであるが、P1とは異なり掘り方は浅いU字形となっている。貯蔵穴およびカマドについては、検出部分には存在しなかった。

出土遺物として須恵器坏・須恵器羽釜・灰釉瓶がある。坏2は Pit 2 中より出土しているが、他の遺物については床面付近より出土している。



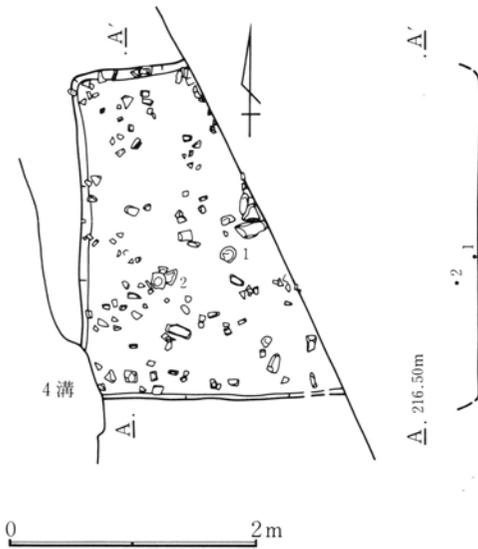
第337図 87号住居跡出土遺物

87号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	床南側 柱穴内	(15.0) (8.1)	5.7	微砂粒を含む	灰	普通	ロクロ整形 付け高台	1/3
2	須恵器 坏	柱穴内	(14.2)		微砂粒を含む	灰	普通	ロクロ整形	
3	須恵器 羽釜	床南側	(23.2)		微砂粒を含む	灰	普通	ロクロ整形	
4	灰釉陶器 瓶	床中央			精製	灰白	良好	ロクロ整形	外面灰釉

第2章 検出された遺構と遺物

88号住居跡 (第338・339図、PL36・215)

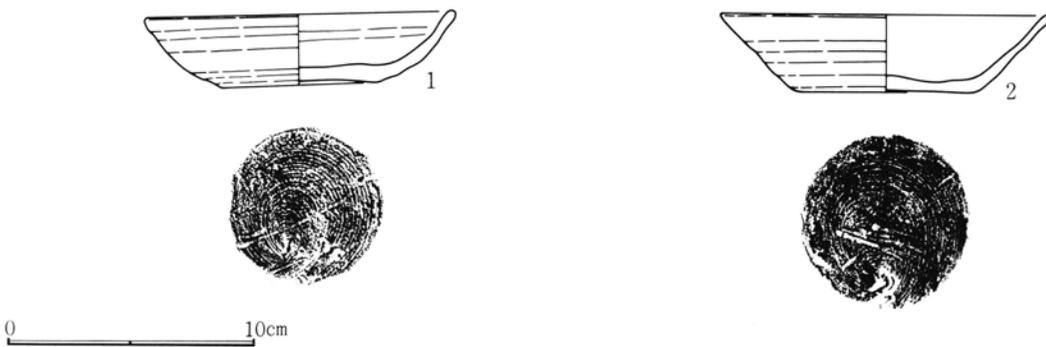


小規模な住居で、東側は調査区域外となっている。床面は平坦であるが、86号住居跡の覆土中に造られているため軟弱である。また掘り方が存在したか否かについては不明である。

柱穴は確認されなかった。カマドは調査区域外に存在するものと考えられる。

出土遺物として須恵器坏があり、床面付近からやや浮いた状態で出土している。

第338図 88号住居跡



第339図 88号住居跡出土遺物

88号住居跡出土土器観察表

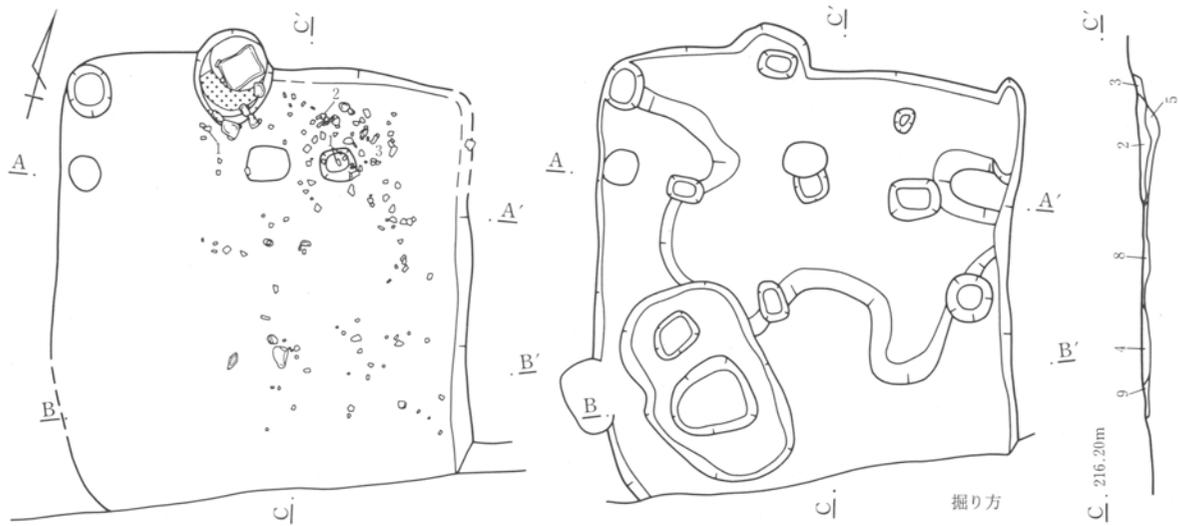
番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	須恵器 坏	床中央	12.6 6.2	3.9	小砂粒を含む	灰	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り	ほぼ完形
2	須恵器 坏	埋土	13.3 6.8	3.0	小砂粒を含む	灰白	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り	ほぼ完形

89号住居跡 (第340～342図、PL36・215)

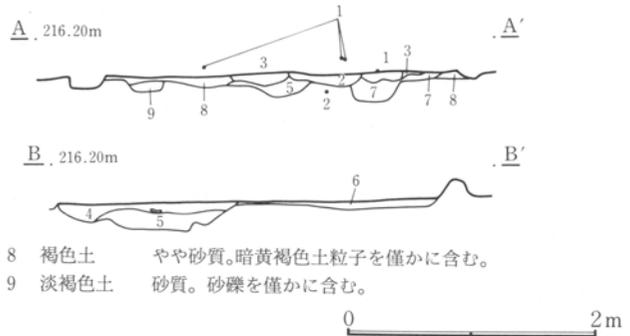
住居は5号溝によって南壁部分を削られており、カマドより西側の部分においても、ほぼ床面まで8号住居跡によって削られている。住居は隅丸方形と推定される。

床面は84号住居跡・69号住居跡の埋没土上に造られており、砂礫を多く含む褐色土および粘質の暗褐色土ブロックで貼床をしている。

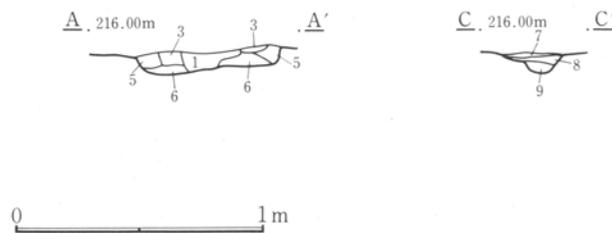
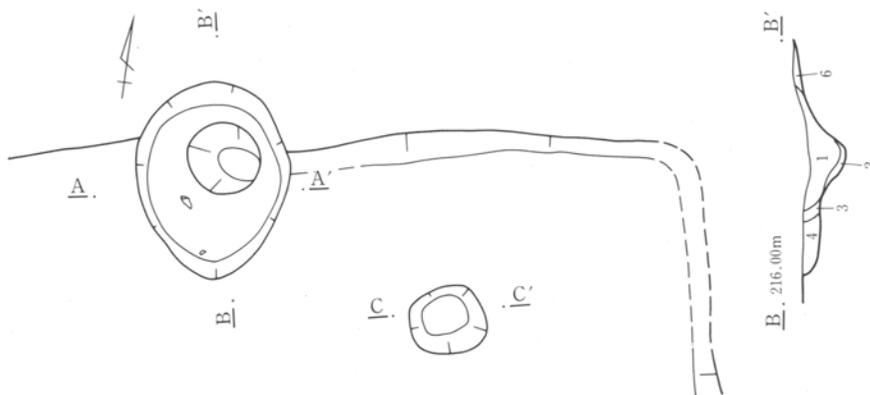
第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物



- 1 暗褐色土 粘質暗褐色土ブロック・砂礫・焼土粒子を僅かに含む。
- 2 暗黄褐色土 暗黄褐色土ブロックを主体とし、暗褐色土ブロック・砂礫を僅かに含む。
- 3 暗褐色土 粘質暗黄褐色土ブロック・砂礫を僅かに含む。
- 4 褐色土 褐色土ブロック・砂礫・焼土粒子・炭化粒子を僅かに含む。
- 5 褐色土 褐色土ブロックをやや多く、砂礫を僅かに含む。
- 6 暗褐色土 暗黄褐色土粒・砂礫を僅かに含む。
- 7 褐色土 砂礫をやや多く含む。



第340図 89号住居跡



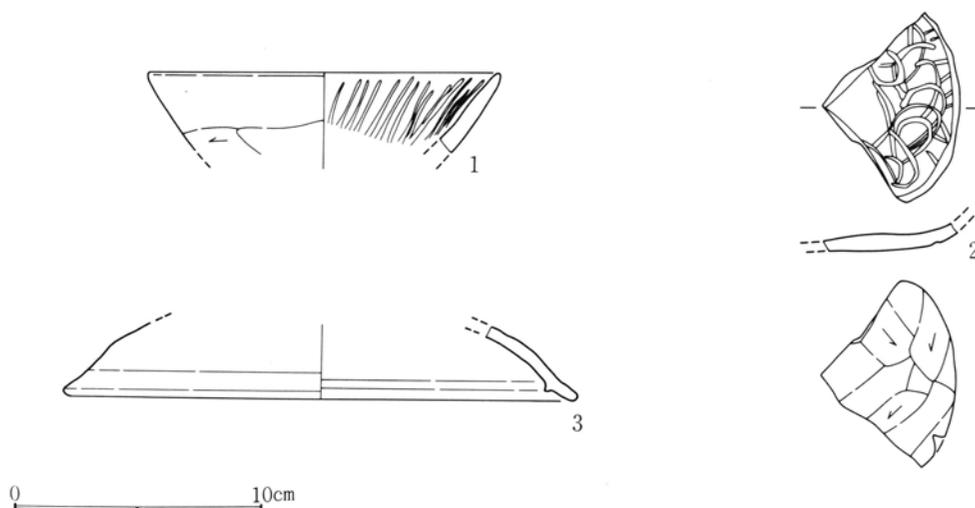
- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物粒・砂礫を僅かに含む。
- 2 暗黄褐色土 粘質。砂礫を僅かに含む。
- 3 赤褐色土 焼土粒を僅かに含む。
- 4 暗赤褐色土 焼土粒をやや多く、暗褐色土粒・砂礫・炭化粒子を僅かに含む。
- 5 暗褐色土 焼土粒子をやや多く、砂礫を僅かに含む。
- 6 褐色土 砂質。暗褐色粒子・砂礫を僅かに含む。
- 7 暗褐色土 砂礫・黄暗褐色土粒僅かに含む。
- 8 暗褐色土 暗黄褐色土ブロックをやや多く含む。
- 9 暗褐色土 砂礫・暗黄褐色土粒子をやや多く含む。

第341図 89号住居跡 カマド

第2章 検出された遺構と遺物

柱穴については明確ではないが、北東コーナー付近に柱穴とも考えられる Pit が1基確認されている。掘り方はかなりの凹凸があり、浅い土坑状、Pit 状を呈する部分が数ヶ所ある。掘り方南西コーナー付近に存在する土坑状の落ち込みは、長径約1.7m、短径約1.1m、床面からの深さ約20cmの隅丸長方形に近い形態をもっている。

カマドは北壁のほぼ中央に確認された。袖は残存しておらず、火床面は住居の床面よりやや低い位置にある。なお、火床面には焼土が遺存していた。出土遺物として土師器坏・須恵器蓋がある。いずれも破片となっており、床面付近および床面よりやや浮いた状態で出土している。



第342図 89号住居跡出土遺物

89号住居跡出土土器察表

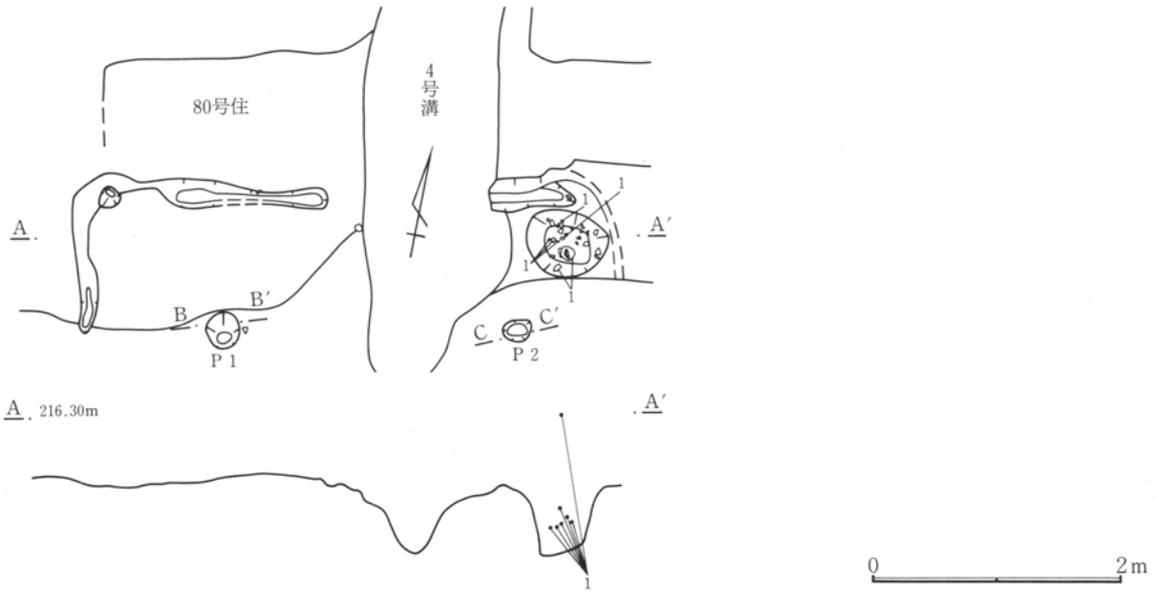
番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	埋土	(14.0)		砂粒を少量 含む	鈍い褐	良好	外 口縁部横撫で 体部横篋削り 内 横撫で後縦篋撫で	1/4
2	土師器 坏	埋土			砂粒を少量 含む	橙	良好	外 篋削り 内 横撫で後暗文施文	
3	須恵器 蓋	床北側	(20.0)		小砂粒を含 む	灰	良好	ロクロ整形	

91号住居跡 (第343~345図、PL36・215)

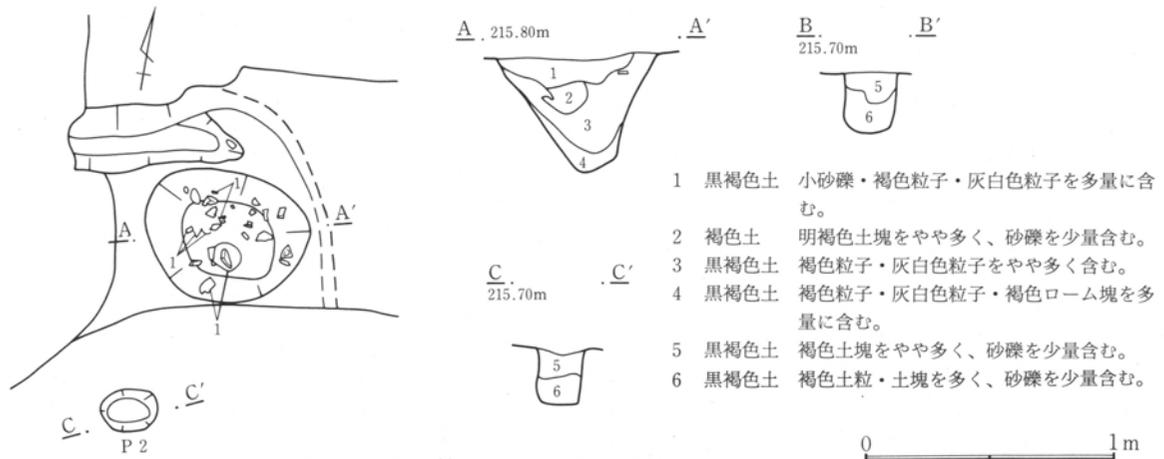
本住居跡は80号住居の床面下から発見された。住居の多くの部分は他の遺構によって削られており、壁周溝および床面の一部が発見されたのみである。

床面は、平坦で固くしまっている。床面下に掘り方は存在せず、地山を掘り込んだ面をそのまま床面としている。柱穴と考えられる Pit は2基発見されている。貯蔵穴は北東コーナー近くに存在しており、規模は長径約65cm、短径約50cm、深さ約45cmである。この貯蔵穴は、平面的規模に対して深さが深いという特徴がある。カマドおよびカマド内から排出される焼土・灰等については、確認されなかった。

出土遺物としては、小型甕がある。この小型甕は、北東コーナー部近くの貯蔵穴内より、破片となった状態で出土している。

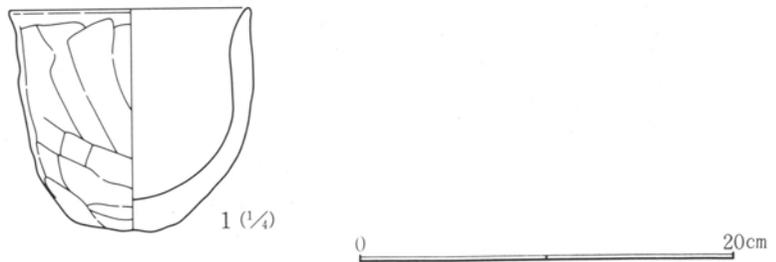


第343図 91号住居跡



- 1 黒褐色土 小砂礫・褐色粒子・灰白色粒子を多量に含む。
- 2 褐色土 明褐色土塊をやや多く、砂礫を少量含む。
- 3 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子をやや多く含む。
- 4 黒褐色土 褐色粒子・灰白色粒子・褐色ローム塊を多量に含む。
- 5 黒褐色土 褐色土塊をやや多く、砂礫を少量含む。
- 6 黒褐色土 褐色土粒・土塊を多く、砂礫を少量含む。

第344図 91号住居跡



第345図 91号住居跡出土遺物

91号住居跡出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 小型甕	貯蔵穴	12.8 5.3	11.8	小石・砂を 多く含む	鈍い赤 褐	不良	外 頸部～底部篋削り 内 撫で 一部篋削り	2/3 内面スス附着

第2章 検出された遺構と遺物

D S区(5号溝より北側)住居跡一覧表

住居 番号	グリッド位置	形 状	規 模 (m)			面積 (㎡)	主軸方位	カマド・炉(m)			柱 穴	貯 蔵 穴	特 記 遺 物	時代
			長辺	短辺	壁高			位置	長さ	焚口幅				
1	Db-52・53	隅丸方形	3.50	3.30	0.26	11.40	N-0°	北	(0.70)	(0.43)	4	北東		古墳
2	Dd・Dc-54	長 方 形	8.60	7.20	0.30	36.45	N-11°-W	北	0.80	0.40	4			弥生
3	Dd・De-49	隅丸長方形	4.15	3.25	0.28	13.10	N-90°-E	東	1.10	0.97	0		灰釉陶器	平安
4	De・Dg-54	円 形	6.35	5.80	0.38	28.50		中央	(1.38)	1.11	5		土製円盤	縄文
5	Db・Dc-51	方 形	(4.90)	4.75	0.20	(23.00)	N-12°-W	北	0.80	0.30	4			古墳
6	Da・Db-54	隅丸長方形	4.00	3.40	0.12	(3.70)	N-0°	北	0.46	0.72				弥生
7	Dd-50・51	正 方 形	5.65	5.50	0.17	30.40	N-6°-W	北	1.40	0.50	4	北東		古墳
8	Dc-48・49	隅丸方形	4.70	(3.65)	0.24	(17.60)	N-80°-E	東	0.87	0.60			鉄器(鎌)	平安
9	De-55	正 方 形	4.00	3.90	0.44	15.90	N-10°-E	北	1.70	0.60	4	北東		古墳
10	Dd-54	正 方 形	5.20	5.12	0.40	12.00	N-8°-E	北西	0.42 0.20	0.36 0.20	4			弥生
11	Dg-55	隅丸長方形	3.75	3.00	0.40	10.50	N-0°	北	(1.40)	0.60				奈良
12	Dh-55・56	隅丸長方形	4.10	(3.30)	0.48	(13.20)	N-80°-E	東	2.05	1.00				奈良
13	Dh・Di-54	隅丸長方形	5.82	4.70	0.44	(19.63)	N-46°-W	北	0.60	0.40	4		紡錘車	弥生
14	Dh・Di-52・53	隅丸長方形	3.75	2.85	0.28	10.80	N-5°-W	北	1.90	0.33	3	北東	須恵器横瓶	古墳
15	Dh-52	方 形	2.55	2.20	0.16	5.80	N-20°-W	北	0.60	0.40				古墳
16	Di-52	(小判形)	3.88	(3.52)	0.14	(16.20)		中央	0.86	0.75				縄文
17	Dh-49・50	隅丸方形	3.30	3.20	0.22	9.90	N-90°-E	東	1.25	0.80		南東		平安
18	Df-51・52	隅丸長方形	4.95	(3.90)	0.18	(19.70)	N-40°-W	北?						古墳
19	Df・Dg-51	隅丸方形	6.30	5.50	0.11	(25.37)	N-7°-W	北	(0.43)	0.30	3			弥生
20	Dg-49	隅丸方形	2.90	3.05	0.22	8.60	N-90°-E	東	0.80	0.43		西?		古墳
21	Dc・Dd-55	(小判形)	6.75	(4.70)	0.40	(26.20)		不明						縄文
22	Dd-53・54	(小判形)	4.30	(3.62)	0.39	(12.80)		不明			5?		石匙	縄文
23	Df-49・50	隅丸方形	3.30	3.10	0.30	10.80	N-0°	北	1.18	(0.33)				古墳
24	Dh・Di-48	隅丸方形	4.25	4.10	0.50	(17.50)	N-10°-W	北	1.65	0.40	3	北東	須恵器蓋	古墳
25	Dh-47・48	長 方 形	7.00	4.80	0.45	(32.00)	N-0°	北	0.40	0.30	3	南西		弥生
26	Dh-57	隅丸方形	4.45	(3.25)	0.36	(14.10)	N-5°-W	北	1.38	0.45	4	北東		古墳
27	Di-52	方 形	不明	不明	不明	不明								弥生
28	Di-49	隅丸方形	3.35	2.90	0.25	9.40	N-6°-W	北	0.93	0.40		北東		古墳
29	Dh・Di-49	隅丸長方形	5.30	4.50	0.50	12.40	N-13°-E	北	0.40	0.30	6			弥生
31	Dg-45	隅丸方形	3.80	3.70	0.34	13.20	N-91°-E	東	0.85	0.50				平安
32	Dg・Dh-51	円 形	4.03	(3.60)	0.20	(11.70)		中央	0.33	0.31				縄文
33	Dg・Dh・Di-50・51	小 判 形	(8.00)	6.52	0.20	(40.50)		中央	1.30	1.18	8			縄文
34	Dg-55	長 方 形	6.40	4.90	0.62	28.46	N-35°-W	北	0.40	0.22	4			弥生
35	Dg・Df-55・56	小 判 形	6.40	(5.18)	0.30	(25.60)		北寄	(1.20)	0.80	6			縄文
36	De・Df-49・50	正 方 形	6.30	5.80	0.38	35.80	N-4°-W	北	1.10	0.40	4	北東	ガラス小玉	古墳
37	Dg・Dh-46・47	不整円形	6.05	4.95	0.18	23.10		不明					石匙	縄文
38	Dh・Di-45・46	長 方 形	7.20	5.32	0.58	35.64	N-0°	北	0.93	0.80	4			弥生
39	Dh・Di-44	正 方 形	4.80	4.55	0.45	19.90	N-8°-W	北	0.95	0.43	4	北東		古墳
40	Dg・Dh-45	隅丸方形	5.10	4.90	0.29	24.70	N-0°	北	1.40	0.45	4	北東		古墳
41	Df-45	正 方 形	(3.80)	3.55	0.10	(13.70)	N-23°-E	北	0.85	0.40	3	北東		奈良
43	Df・Dg-44	隅丸方形	4.40	4.05	0.30	17.80	N-89°-E	東	1.08	0.60	4		灰釉皿	平安
44	De・Df-44	正 方 形	4.50	4.00	0.30	17.70	N-6°-W	北	1.35	0.70				奈良
45	Da・Db-53・54	円 形	4.10	(3.62)	0.14	(12.20)		中央	(0.75)	(0.32)	1			縄文
46	Di・Dj-44	隅丸方形	(3.80)	(1.00)	0.16	不明		不明						古墳

第3節 古墳時代以降の住居跡と出土遺物

住居 番号	グリッド位置	形 状	規 模 (m)			面積 (m ²)	主軸方位	カマド・炉(m)			柱 穴	貯 蔵 穴	特 記 遺 物	時代
			長辺	短辺	壁高			位置	長さ	焚口幅				
47	Df・Dg-46・47	正 方 形	6.80	6.70	0.32	44.37	N-6°-W	北	0.95	0.45	4	北東		古墳
48	Dg・Dh-56・57	(円 形)	5.40	不明	0.22	不明		中央	0.85	0.67	3		石匙	縄文
49	Dc-54	(方 形)	不明	不明	不明	不明		南西	0.48	0.43				縄文
50	Dg・Dh-50・51	不 明	不明	不明	不明	不明		不明	1.12	0.88				縄文
51	Dh-55・56	隅丸方形	5.30	5.00	0.58	(22.03)	N-28°-W	北	(1.25)	0.70	4	北東		古墳
52	Dh-52	(長円形)	(4.38)	(3.68)	0.16	(13.20)		中央	0.72	0.66	3		砥石	縄文
53	De・Df-48	正 方 形	2.80	2.70	0.26	7.80	N-0°	北	0.45	0.60				古墳
54	Dd-46	隅丸長方形	4.00	3.00	0.14	9.95	N-90°-E	東	0.80	0.60		南東		平安
55	Dd・De-44・45	隅丸方形	3.80	(2.90)	0.33	(11.02)		不明						奈良
56	Dd・De-45	隅丸正方形	4.20	4.20	0.12	(17.70)	N-19°-W	北	0.65	0.35	6	北東		古墳
57	Dd・De-44	隅丸方形	(4.00)	(2.50)	0.16	(10.00)	N-0°	北	1.60	0.40				平安
58	Dd・De-44	不 明	(2.40)	(2.10)	不明	(4.95)		不明						古墳
59	Dd-46・47	隅丸正方形	3.00	2.50	0.22	6.30	N-90°-E	東	0.35	0.28				奈良
60	Dd・De-47	正 方 形	8.20	7.30	0.20	(59.86)	N-10°-E	北	0.82	0.50	4	南西		弥生
62	Dd-48・49	隅丸正方形	3.80	3.60	0.20	13.30	N-90°-E	東	1.05	0.90			刀子	平安
63	Dc・Dd-49・50	長 方 形	5.20	4.80	0.34	16.63	N-10°-W	北	1.18	0.45	4			古墳
64	De・Df-47・48	長 方 形	(3.20)	2.50	0.14	(8.00)	N-112°-E	東	0.25	0.47		東南	銅製鞍	平安
65	Dd・De-51・52	円 形	(6.76)	6.50	不明	(34.40)		北寄	1.05	0.90				縄文
66	Dc-49・50	隅丸方形	(4.98)	(2.16)	0.22	(10.75)	N-12°-W	北寄	0.54	0.30	2			弥生
67	De-48	正 方 形	3.90	3.50	0.44	16.17	N-0°	北	1.00	0.40	4	東南		古墳
68	Df・Dg-49	円 形	6.43	(5.70)	0.16	(27.80)		中央	1.15	1.00				縄文
69	Dc・Dd-48	隅丸正方形	5.80	5.20	0.22	(18.27)	N-17°-W	北	0.80	0.40	4	北東		奈良
70	De・Df-50・51	不 明	不明	不明	不明	不明		不明	0.94	0.88	2			縄文
71	Dh-43	隅丸方形	不明	不明	0.22	不明		不明						奈良
72	Dh-44・45	隅丸方形	3.60	3.30	0.16	(11.21)		不明						古墳
73	Dh-44・45	不 明	不明	不明	不明	不明		不明	1.11	(0.96)				縄文
75	Df-44・45	正 方 形	3.40	3.20	0.13	9.77	N-90°-E	東	0.80	0.45				古墳
76	Dd・De-49	隅丸方形	(7.40)	不明	0.23	不明	N-90°	北 西	0.65 1.00	0.50 0.70	4		土製紡錘車	弥生
77	Df-46	隅丸方形	4.00	3.40	不明	(13.60)	N-16°-W	北						古墳
78	Df・Dg-49~51	不 明	不明	不明	不明	不明		不明	0.50	0.50			石皿・石棒	縄文
80	Dd-43	隅丸方形	5.70	不明	0.06	不明	N-7°-W	北	1.45	不明	2	北東		古墳
81	De・Df-44	隅丸方形	3.70	不明	0.28	不明		不明						古墳
82	Df・Dg-43	隅丸正方形	3.90	3.20	0.30	11.00	N-8°-W	北	0.70	0.40		北東		古墳
83	Dc・Dd-50・51	(円 形)	不明	不明	0.10	不明		中央	0.53	0.40	?		スクレイパー	縄文
84	Dc-48・49	長 方 形	(4.30)	3.00	不明	(12.90)	N-10°-W						砥石・敲石	弥生
86	Df-43	隅丸長方形	5.10	5.00	0.50	(14.49)		不明			2	北東		奈良
87	Dg-43	不 明	不明	不明	0.18	不明		不明			2		灰釉瓶	平安
88	Df-42	方 形	2.70	不明	不明	不明		不明						平安
89	Dc-48	隅丸方形	(3.50)	3.30	不明	(11.55)	N-17°-W	北	0.80	0.60	1			奈良
90	Df・Dg-43	隅丸長方形	7.25	4.86	0.50	16.53	N-2°-E	北	0.45	0.45	4	南西	ガラス小玉	弥生
91	Dd-43	(隅丸方形)	不明	不明	不明	不明		不明			2	北東		古墳
92	De-44	不 明	不明	不明	0.08	不明		不明	0.78	不明				縄文
93	De-43	不 明	不明	不明	0.14	不明		不明	1.07	0.82				縄文

*①30・42・61・74・79・85号は欠番 ②炉については、カマドの長さ・焚口幅を長径・短径と読み替えるものとする

第4節 土坑と出土遺物

土坑と認定出来たものは838基である。大部分が縄文時代であるが、近世に属すると推定される洋梨型土坑や時期の不明確なものもある。殆どの土坑が他の土坑あるいは住居跡等の他の遺構と重複しており、新旧関係を明らかにし得なかったものも少なくない。土層断面図（平面図を一部含む）については、極めて遺憾であるが行方不明となった。土坑平面図に標高が記されているものについては、エレベーションを作成し、エレベーション作成可能な土坑から出土した遺物については、その標高を記した。

遺構図・遺物図・写真対照表（遺構・遺物図…図版番号、写真…P L 番号）

番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真
1	346・426	37・252	45	347・379・427	42・140・141・254	89		
2	346	37・252	46		42	90		
3	346	37	47		42	91		44
4			48	347	42	92	348	44・255
5		37・252	49	347	254	93		
6		37	50	379	140	94	380	141
7		37	51	379	141・254	95		
8		37	52	379	42・140	96	348	44
9	346・377	38・139・252	53			97	348	44
10	377	38・139	54	347・427	254	98		
11	346・377	38・139	55			99		
12		38	56	348・379・380	42・140・141・254	100	348・380・427	44・141・255
13	346	38	57			101	348・381	44・141・142
14	346・377・426	38・139・252	58			102		45
15		38	59	348		103	381	45・142・255
16	346・377・426	38・139・252・253	60			104		45
17	346・377	39・139・253	61			105		45
18	346	39・253	62			106		45
19	426	39・253	63			107		
20	378	39・139	64		254	108	349・381	45・142
21		39	65	348・380	141	109	349・381	45・142・255
22	378	39・139	66			110	349・381	45・142・255
23	346・378	39・139・253	67	348・380	140	111	349・381	46・142・255
24		39	68			112		46
25		40	69			113	349・382・428	46・142・255
26	346	40	70			114	349・382	46・142
27	346	40	71			115	349	46・256
28	378	140・253	72			116		46
29		40	73			117	349・382	46・143・256
30	347	40	74			118	349	46
31	347・427	40・253	75			119	349	47
32		40	76	380	141	120	349	47
33	347	40	77	380	140・141	121	349	47
34	347	41	78			122		47
35		41	79		43	123		47
36	347・378	41・139	80	346	37・254	124		47
37		41	81	348・380	43・141	125		47
38		41	82	348・380・427	43・141・254	126		47
39	378	41・140	83		43	127	382	48・142
40	347	41・253	84	348	43	129	349	48・256
41	347・378	41・141	85	348	255	130	349	
42		41	86	427	43・255	131	349・458	48
43	347	42	87	348・381	43・142	132	346・428	256
44	347・379	42・140・253	88		43・44	133		256

第4節 土坑と出土遺物

番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真
134			195			259		
135	355・428	57・256	197	352・430	53・259	260	390	57・149
136	355・428	256	199	352	53・259	261	355・390	57・149・150・262
137			200	353・386・430	53・147・259	262	355	58
138	350・383	48・143	201	386	53・146・259	263	355・390	58・150・262
139		48	202			264	355・390・434	58・150・262・263
140			203			265	355・390	58・150
141	350・383	48・145	204			266		
142		48	205	386	146	267	355・390・434	58・150・263
143	350・428	49・256	207	353	259	268	391	150
144			208		259	269		
145			209	353	54	270		
146	350	49・256	210			271		
147	350	49	211	353・386	54・147・259	272		
148	350・382・428	49・142・256	212			273	355・391・434	58・151・263
149			213			274	356・391	58・151
150			214			275		58
151			215	353・386	146・259	276		
152	382	49・143	216			277	356・391	59・151・263
153			217	353・387・430	54・147・259	278	356・391	59・151・263
154	360		218		54・259	279	356・391	59・153・263
155	350・382	49・143	219			280	356・391・434	59・151・263
156	350・382	50・143・256	220	386	146	281	356	
157	350・428	50・256	221	353・430・431	259・260	282	356	59
158	350	50	222			283		
159			223		54	284	435	263
160	350・428	50・256	224			286	356・392	59・152
161	350・382	143	225	354・387	54・148・260	287		
162	351・384	50・144・145・256・257	226	353・431	54・260	288	392・457	151・290
163	351・383・428	50・144・257	227	353・387	54・146	289	356・392	59・151～153・263
164	350・383	50・144・145・257	228		55	290	356・392・435	59・153・263
165	351・383	50・143・144	229		55	291	356・393・435	60・151・152・263・264
166	351・383	50・145・257	230	353・387・431・432	55・147・148・260	292		60
167	351・383	144・257	231			293		60
168	351・384・429	50・144・145・257	232			294		60
169	351・384	51・144・257	233	354	260	295		
170	351・385	51・146・257	234	354	260	296	356・393・435	60・152・153・264
171	351・429	51・257	235	354・387・432	55・147・148・260	297		61
172	351・385・429	51・145・257	236			298		
173	351・385・429	51・144・258	237			299		61
174		51	238	354・388・432	55・148・260・261	300	356・393・435	61・153・264
175			239	354・388・432	56・149・261	301	356・393・435	61・153・264
176			240			302		61
177	352・385・429	51・146・258	241	354・388・432	56・148・149・261	303		
178	352	51・258	242	354・432・433	261	304		61
179	352・385・430	52・146・258	243	354・433	56・261	305		61
180	352・385	52・146・258	244			306		61
181	352・429	52・258	245	354・389・433	56・149・261・262	307	356・394	62・153・264
182	352・386・430	52・146・258	246			308	356	62
183	352	52・258	247			309	357・394	62・153
184	352・430	52・258	248	355	262	310	357・394・435	62・152・154・264
185		52・258	249	354・433	56・262	311		
186	352・386	52・147	250			312		
187			251			313	357・394	62・153
188	352・386・430	53・147・258	252		56	314		62
189			253		57・262	316		
190			254			317	394	62・154・264
191		83・258	255	354・389	57・146・150	318		62
192			256	355・390・433・434	57・150・262	319		63
193	352	53・258・259	257	355	57・262	320	357・394・436	63・153・264
194			258			321	357・394・436	63・154・264

第2章 検出された遺構と遺物

番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真
322			383	358・397・438	67・156・267	444	360・401・439	70・159・269
323			384	359	67・267	445	360・401・440	70・159・269
324			385	359・398	67・156	446	360・401	71・158・159
325			386	359・398	67・156	447		
326			387	359・398	67・155	448	360・440	71・269
327			388	359・398・438	68・155・156・267	449		
328			389			450		269
329			390	359・398・438	68・157・267	451		
330			391	359・439	68・267	452	361	71
331			392	398	157	453		269
332		63	393			454	361	72
333		63	394			455		72
334	357・436	63・264	395			456		72
335	357・394・436	63・154・264・265	396	359・398・399・439	156・157・267	457		
336		63	397			458	440	269
337			398			459		72
338	357	64・265	399			460	361	269
339		64	400			461		269
340	357・395・436	64・153・154・265	401	359・399	68・157・267	462		
341	357・436	64・265	402			463		
342	357・395・436	64・154・265	403	399	157	464		
343	396	64・153	404	359・399	68・157・158・267	465		
344	396	65・153・291	405		68	466	361・440	270
345	357・437	64・265	406	400	68・158	467	361・402・441	72・160・270
346		64	407	359・439	68・69・267・268	468	361・402	72・159・270
347	357・396	65・154・155・265	408	359・400・439	69・158・268	469	361・401・440	72・159・161・270
348			409	359・400	69・158	470		72
349	358・397	65・155・265	410		69	471	361	73
350		65	411			472		73
351	358	65	412	359・400	69・157	473	361・401	73・160
352	358	65・266	413		69	474		73
353	358・437	65・266	414	359・439	268	475		73
354	358・396	65・155・266	415	359・400	158・268	476		73
355			416		69	477		
356	358・437	66・266	417			478		270
357			418			479		73
358			419			480		
359	358・397	66・155・156	420	360	69・268	481		
360	397	66・154・266	421			482	362・401・441	73・159・270
361		66	422		70	483	362・402・441	74・159・161・270
362			423	360・400	70・158・268	484		
363			424		70	485	361・402	74・160・161・270
364	358・397	155	425		70	486		
365			426			487		
366	358・437	66・266	427	360	70・268	488	402	159
367			428	360	70	489		270
368	358・437	66・266	429			490		
369		66	430	360・400	70・158・159・268	491	362・402・403・442	74・159～161・270・271
370		66	431			492		
371		67・266	432		70	493	361	74・271
372	358・397	67・156・266	433	439	71・268	494		74
373		67	434			495	361	74・271
374			435		71	496	362・403・441	74・161・271
375			436			497		
376	358・397	67・155	437			498	362・403・441・442	74・75・161・162・271
377			438		268	499	362・403・442	75・162・271
378	358		439			500	362・403	75・162・271
379	358・437	266	440			501		
380	358・438	67・266・267	441			502	362	75・272
381			442	360・400・439	158・268	503	362・403・442・443	75・162・272
382			443	360	71・268・269	504	362・403	75・161

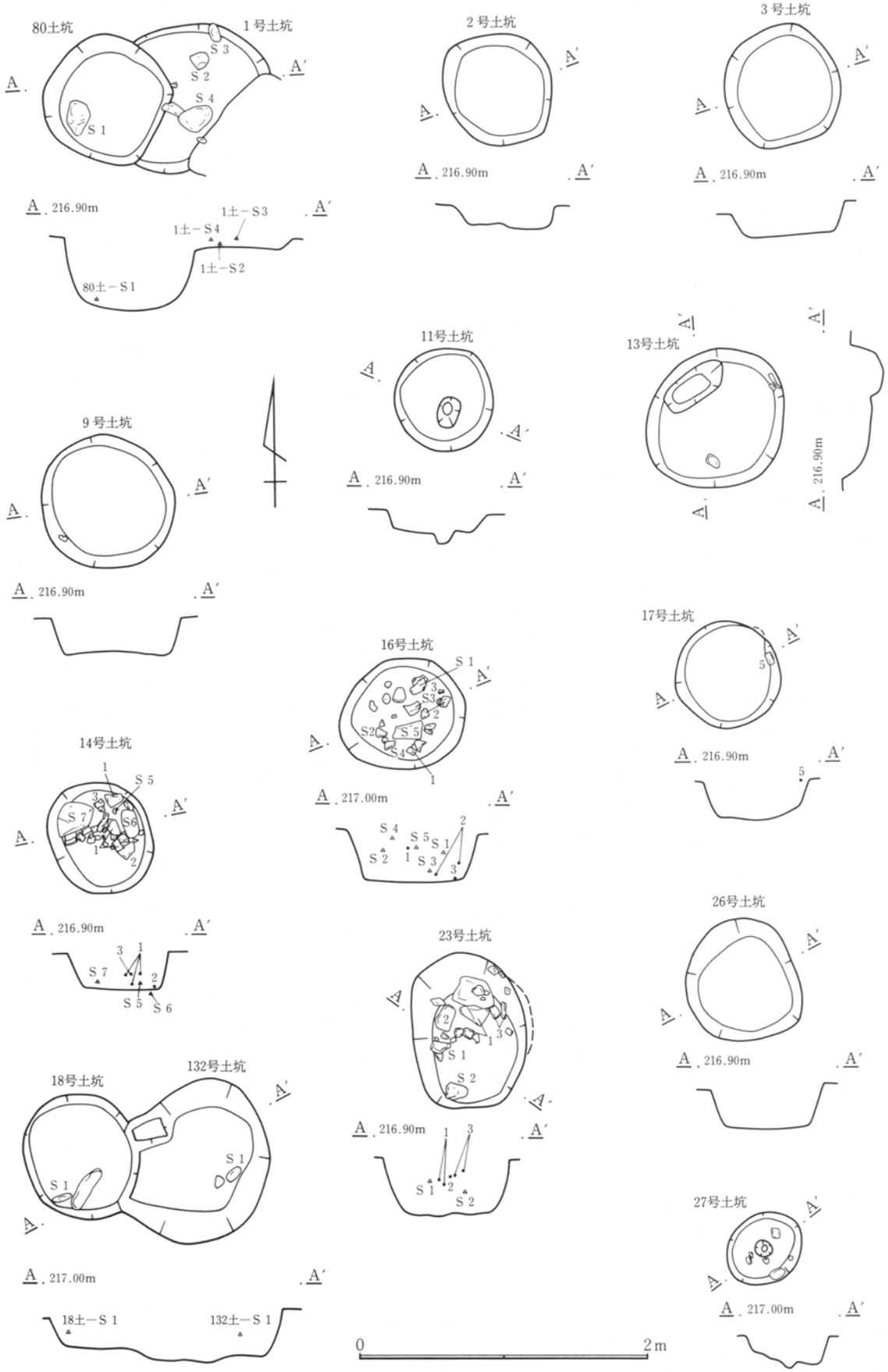
第4節 土坑と出土遺物

番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真
505	363	75・272	567	365	81	633		87・278
506	363・403	75・161	568	365	81・276	634		87・278
508	403	162	569	365・408・446	81・165・276	635	367・449	87・279
509		75	572	365・408・446・447	164・276	636		87
510			573	366・408・409・447	81・167～169・276	637		87
511	363	76・272	574	366・408・447	81・168・276	638	368・449	88・279
512	363	76・272	575		81・276	639	411	170・291
513	363・404	76・162・272	576	366	82・276	640		88
514			577	366	82・277	643	368・411・449	88・170・279
515	363	76・272	578	366・408	82・168・277	644	368・411・449・450	88・170・279
516	363・404	76・162・272	579	366・409・447	82・167・169・277	645	368・411	171・279
517	363	76	580		82	646	368	88・279
518		76・272	581		82	647		88
519	363・404・443	163・272・273	582		82	648	368	88・279・280
520	443	76・273	583		82	649		
521	363・404	77・162・273	584		83	650	368・412	170・171
522		77	586			651	368・412	171・280
523	363・404	77・163	587			652	368・412	170・280
524	363・404・443・444	77・163・273	588	366	83・277	653	368・412	88・169・170・280
525		77	589	366・409・447	83・165・169・277	654	368・412・450	89・172・280
526		77	590		83	655	368・412	89・171・280
527	364	77	591	366・448	83・277	656		89
528	363・404	77・161・273	592		83	657	368	89・280
529	364・404・444	78・162・273	593			660	368	89
530	364・404・444	78・161・274	594	366	83・277	661	369・413・450	89・171・280
531	364・404・405・444	78・163・165・274	596	366・410・448	84・168・277	662	369	89・280
532	364	78・274	597		84	663		90
533		78	598	367・448	84・277	664	450	90・280・281
534			599		278	665	369・413	90・172・281
535	364・405	78・163・165	600			666	369・450	90・281
536		78	601	367・410・448	84・169・278	667	369・450	281
537	364・405	79・163～165	602	367・410	84・169	668		90
538	364・445	79・274	603		84	669	369	90・281
539	364・405・406	79・163～166	604		84	670	369・413	90・171・172・281
540	364・406	79・164・274	605	367・410・448	84・168～170・278	671	369・413・450	90・91・171・281
541	364・406・445	79・163・165・274	606		85	672	413	91・171
542	406・445	164・274	607	411	85・169・170・291	673	369・451	91・281
543	364・406	164	608	367	278	674	369・451	91・281
544			609			675		91
545	406	166	610			676	369・413	91・171
546		79	611			677	369・413・451	91・172・281
547	406・445	79・166・275	612			678	414	91・173・291
548			613			679	369・451	92・282
549			614			680	414	92・171・281
550			615		85・278	681	370・414	92・171・282
551	365	80	616		85	682	370・414	92・173
552			617	367	85・278	683	370・414	92・173
553			618		85	684	370・414・451	92・173・282
554			619	367	85・278	685		92
555			620	367	85	686		92
556	365・407	80・167・275	621		85・278	687	370・414・451	93・173・282
557	365・407・445	80・166・275	622	367	86・278	688	370・414	93・173
558	365・407・445・446	80・167・275	623	367・448	86・278	689	370	93
559	365・407・408	80・167・168・275	624	367・410・449	86・169・278	690	370	93・282
560	365	80・275	625	367・449	86・278	691	370・414・415	93・173・282
561	365・408・446	80・168・275	626		86・278	693	369	
562	365・446	80・276	627	367・410	86・169	694	370	93・282
563		81	628	367・410	86・170	695	370・452	93・282
564		81	630	367	87	696	370・415	174
565			631		87	698		93
566			632	367・449	87・278	699	452	93・282

第2章 検出された遺構と遺物

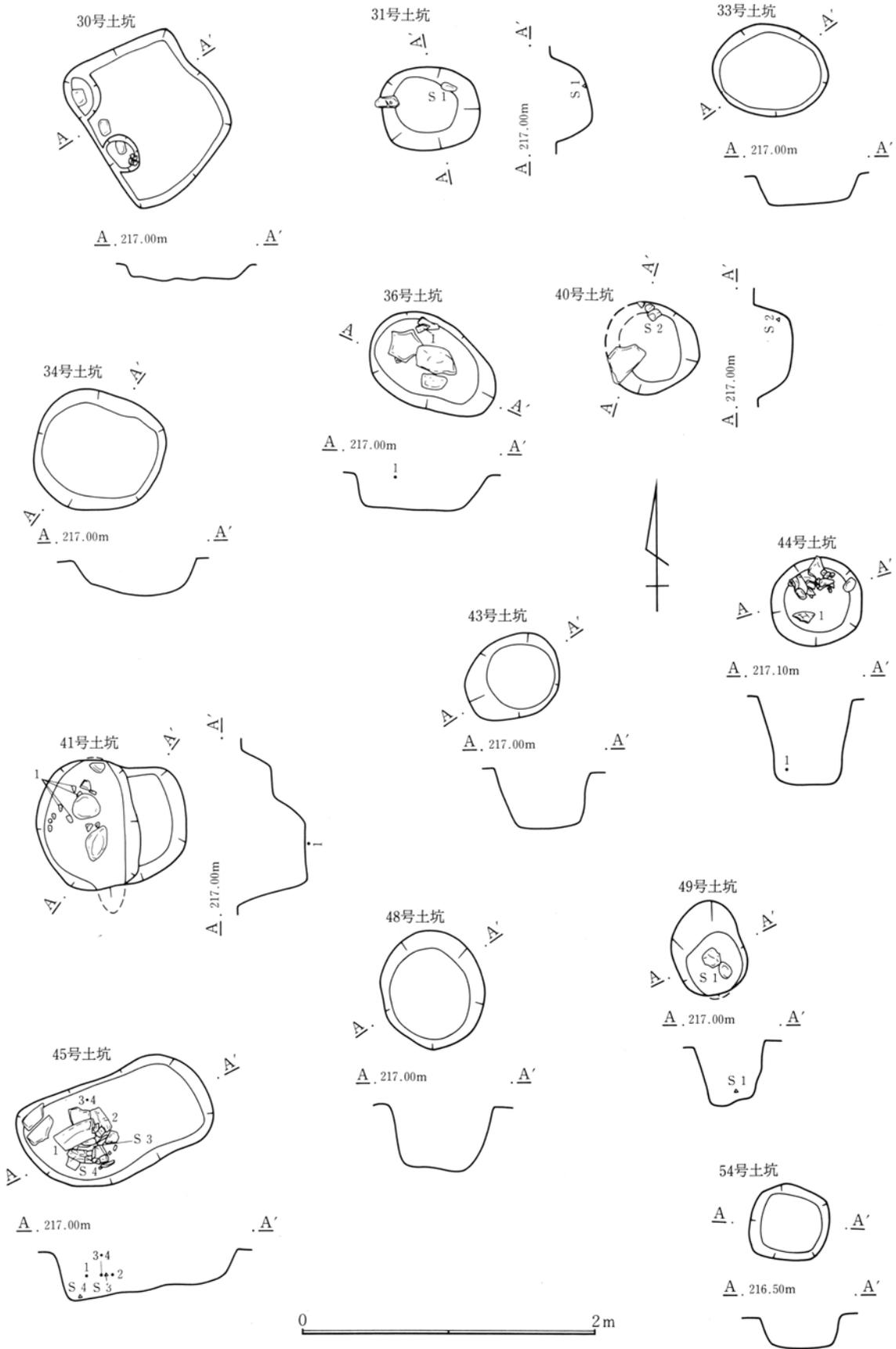
番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真	番号	遺構図・遺物図	写 真
700		94	757		100	837		107
701	370・415	94・173	758	373	100・286	838	375	108・288
702	370・415・452	94・173・282・283	759		100	839		
703	370・416	94・174	760	373・454	100・286	840	423・455	108・181・288・289
704	370・415・452	94・173・283	761	373	100・286	841	375・423	108・181・289
705	371・452	94・283	762	373・421・454	100・180・286	842	375・423・455	108・181・289
707	371・415・416・452	94・174・283	763		100	843		108
708			764		101	844	423・455	108・109・181・182・289
709	371・416	95・175	765	373・421	180	845	375・456	109・289
710	371	95	767	373・454	286	846	375	109・289
711	371	95・283	768		101・286	847	375	109・289
712		95	769		101	848	375・456	109・289
713		95	770		101	849	375・423	181・182
716		95・283	771	373・421・454	101・180・286	850		
717	371	95・283	772	373・421・454	101・180・287	851	375・423	110・182
718		95	773	373		852	375・424・456	110・182・289
719	371・417・452	96・175・176・283・284	774	374・422・454	101・180・287	853	375・424・456	110・182・289
720	371・417	96・176・284	776		102	854	375	290
721	371・417	173・176	777		102	855	375	110
722		96	802	422	102・181	856		110
723		96	803	374	102・287	857	375・456	110・290
724			804	374・422・454	102・180・181・287	858		
725		96	805		103	859		110
726	371・417・452・453	96・173・284	806	374	103	860		110
727			807	374	103・287	861		111
728		96	808	374・454	103・287	862	375	111
729	418	96・175・291	809		103	863		
730	371・418・453	96・174・284	810	374	103・287	864		
731	371・418・453	176・284	811		104	865	424・456	182・290
732		97	812	374・422・454	104・180・181・288	866	376・424	111・182・183
733	371・419	97・175・177・284	813	374・454	104・288	867		111
734	371・418	97・175・176・284	814		104	868		111
735	372	97・284	815	374・455	104・288	869		111
736		97	816		105	870		111
737	372・418	97・176・177・284	817		105	871	376・424・456	111・184・290
738	419	176	818	374	105	872	376・424・425・456	111・112・183・290
739	372・419	97・177・284	819		105	873	425	112・182
740	372	98	820		105	874	425	112・183
741	372・419	98・176・284・285	821	374・422	105・181・288	875		112
742	372・419	98・176・177・179	822		106	876	376	112・290
743	372・420	98・175・178	823		106	877	376	112
744	372	98・285	824		106	878		112
745	372・420・453	98・178・285	825		106	879	376・457	112・290
746	372	98・285	826	374	106・288	880	376	113
747	372・420	98・176・285	827		106	881	376	113
748	372・420・453	98・99・178・179・285	828	374	106・288	882		113
749	372・420・453	99・178・285・286	829		106	883	376	113・290
750	372・420	99・178・286	830	374・455	107・288	884	425	113・184
751	372・420	99・179・180・286	831	374・422	107・181	887	376・425	113・184
752	373	99・286	832		107	888		113
753	373・420	99・177	833	375・455	107・288	889		290
754	373	99・286	834	375	107・288	890	376	113・114
755	373・421	100・179・180	835	375・422・455	107・181・288	891		114
756			836		288			

第4節 土坑と出土遺物



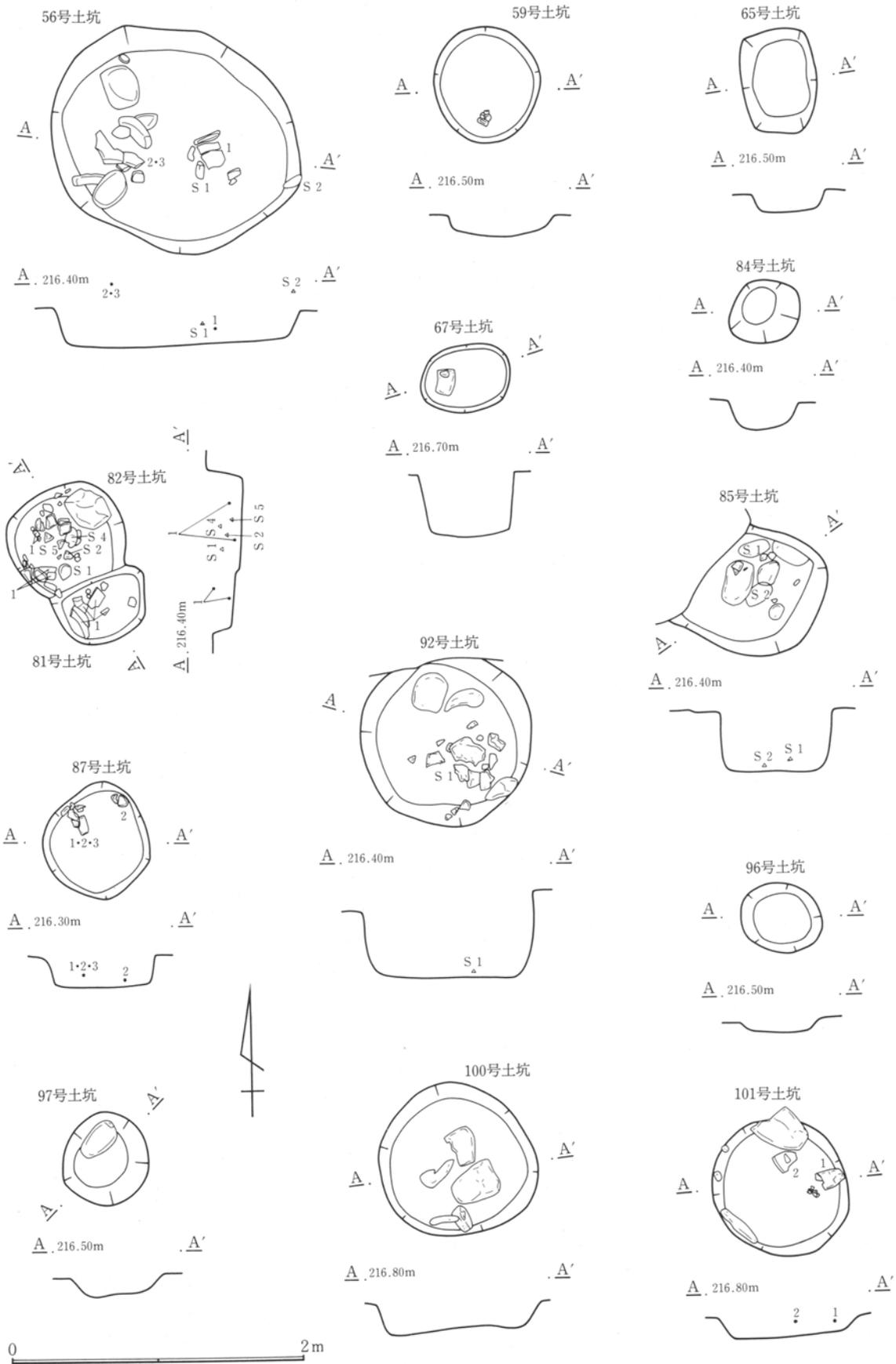
第346図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



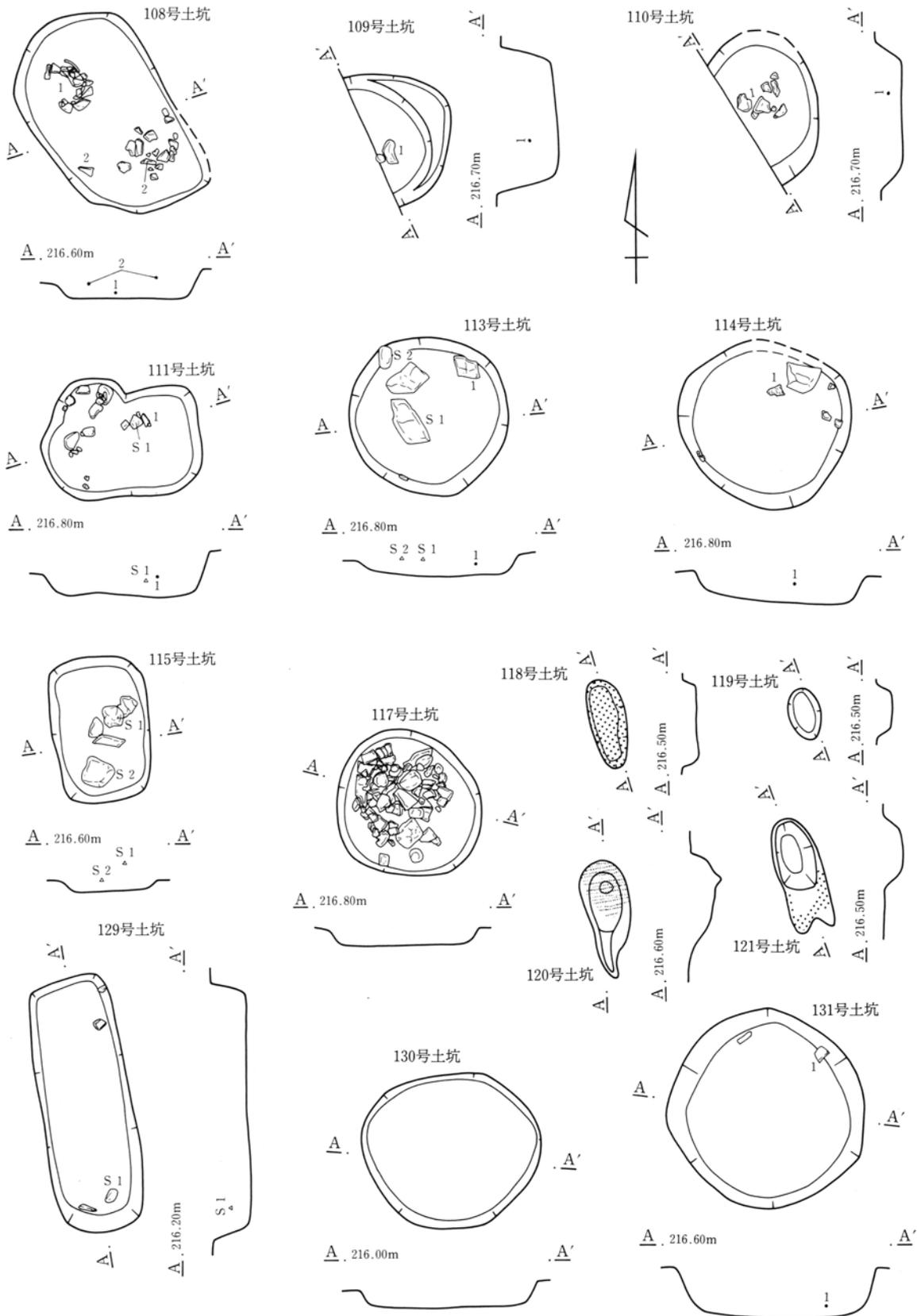
第347図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



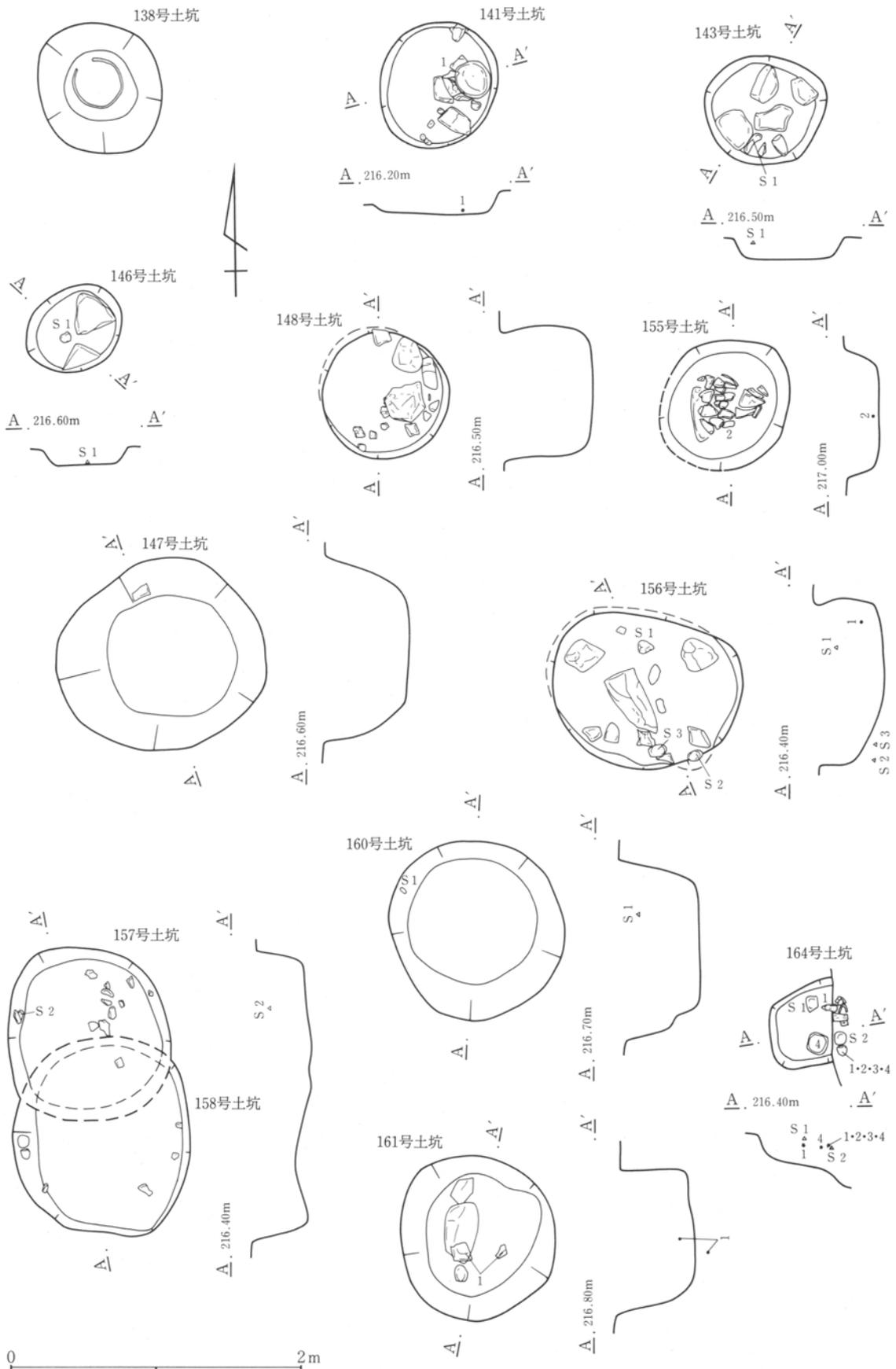
第348図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



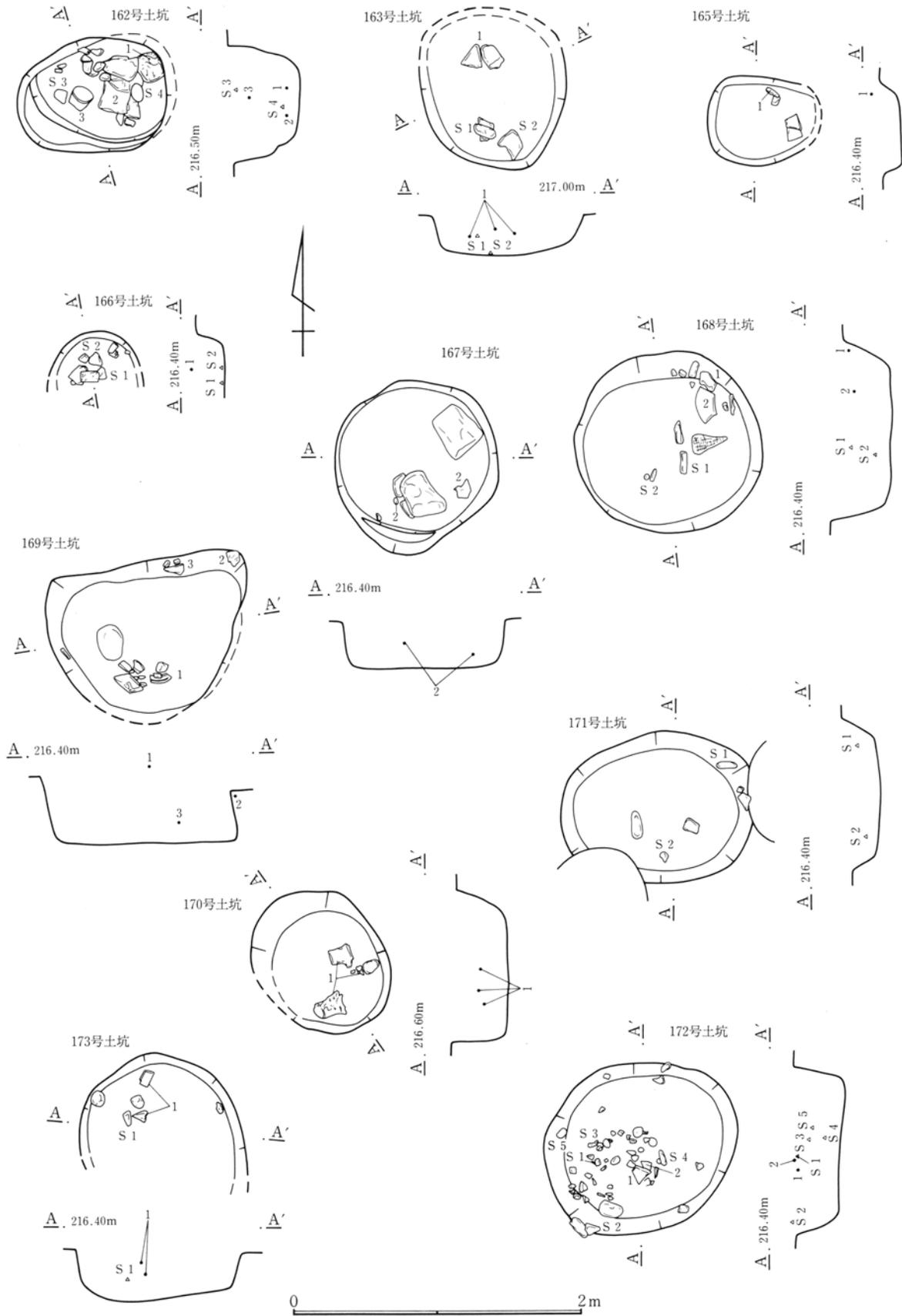
第349図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



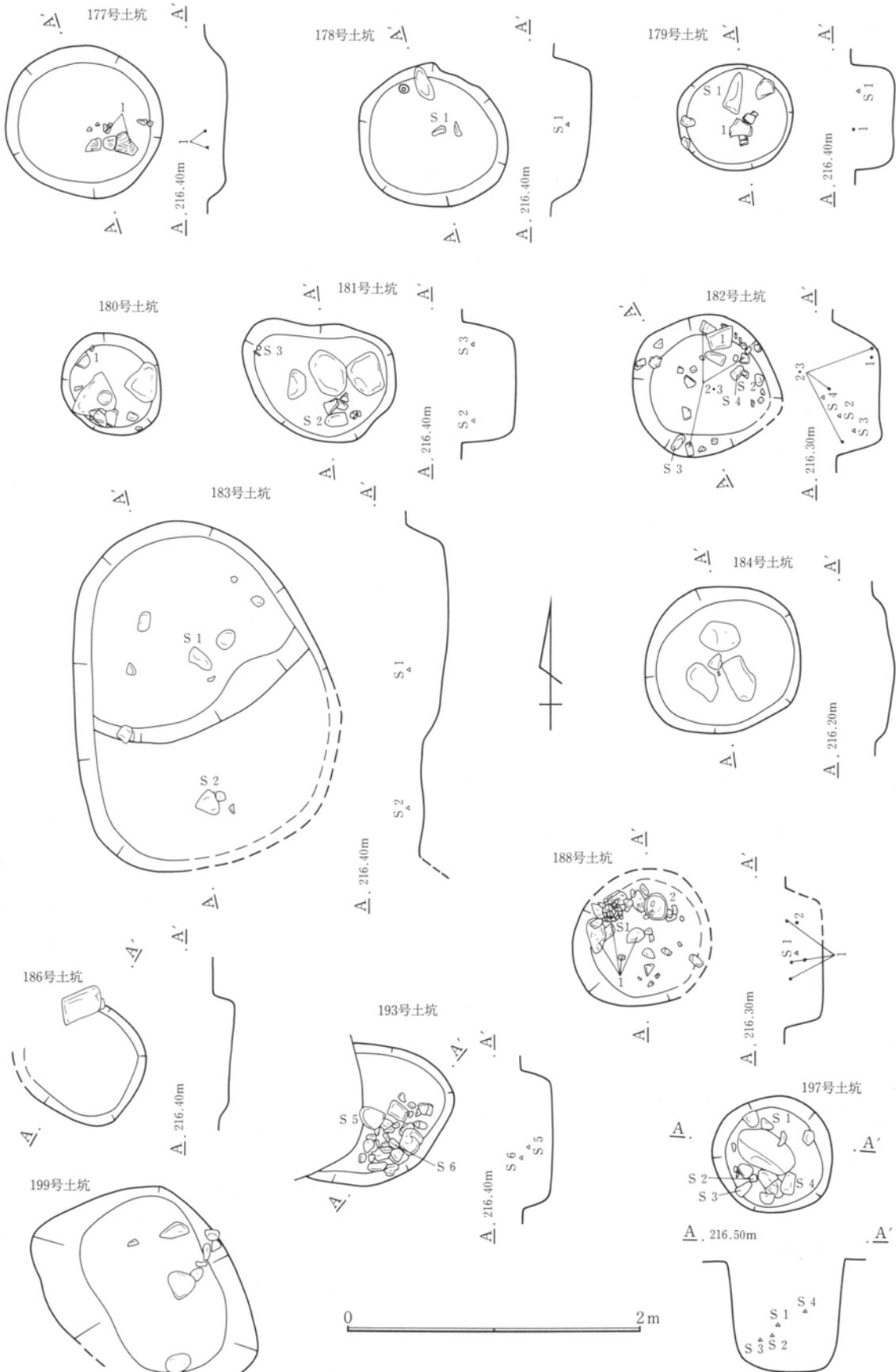
第350図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



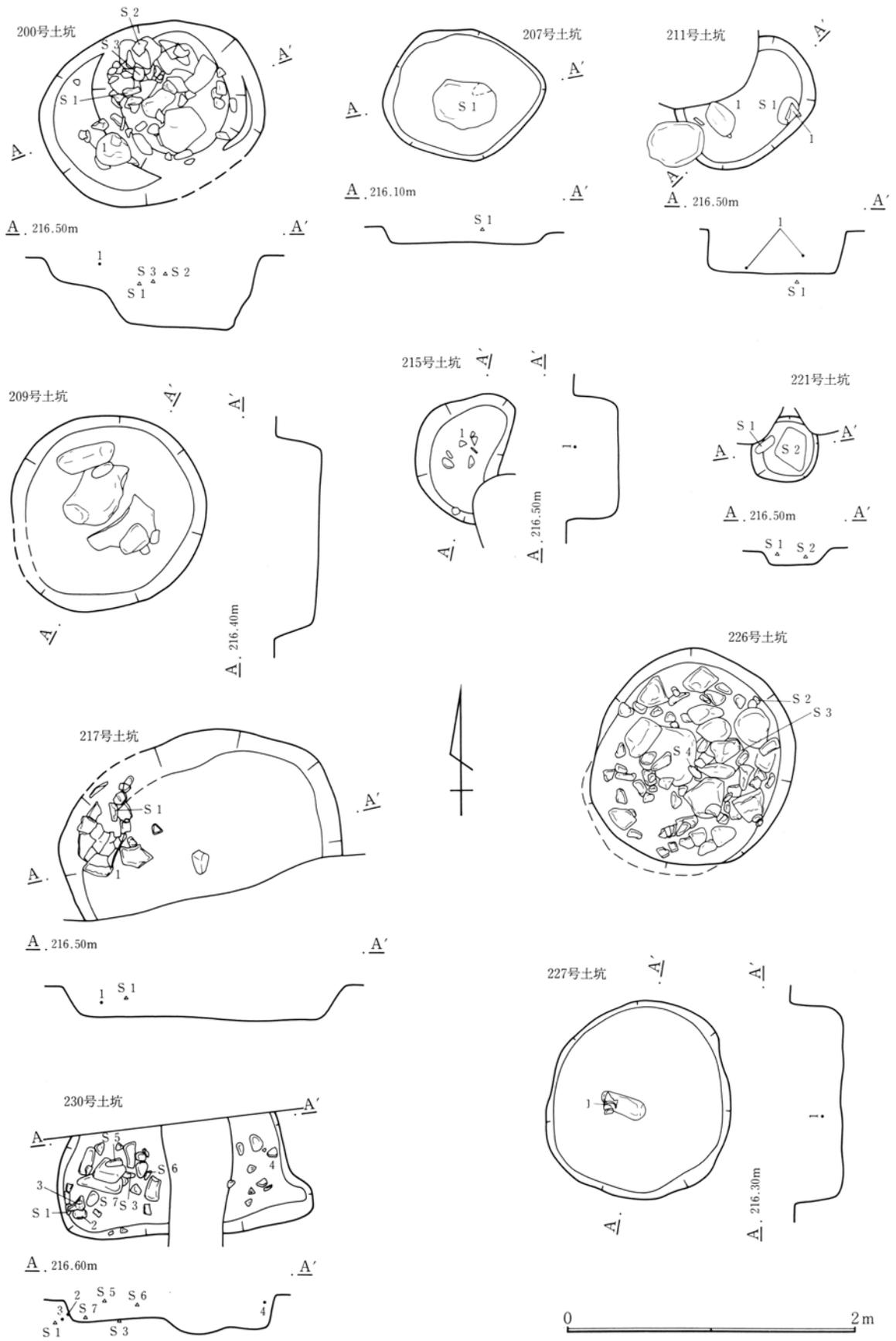
第351図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



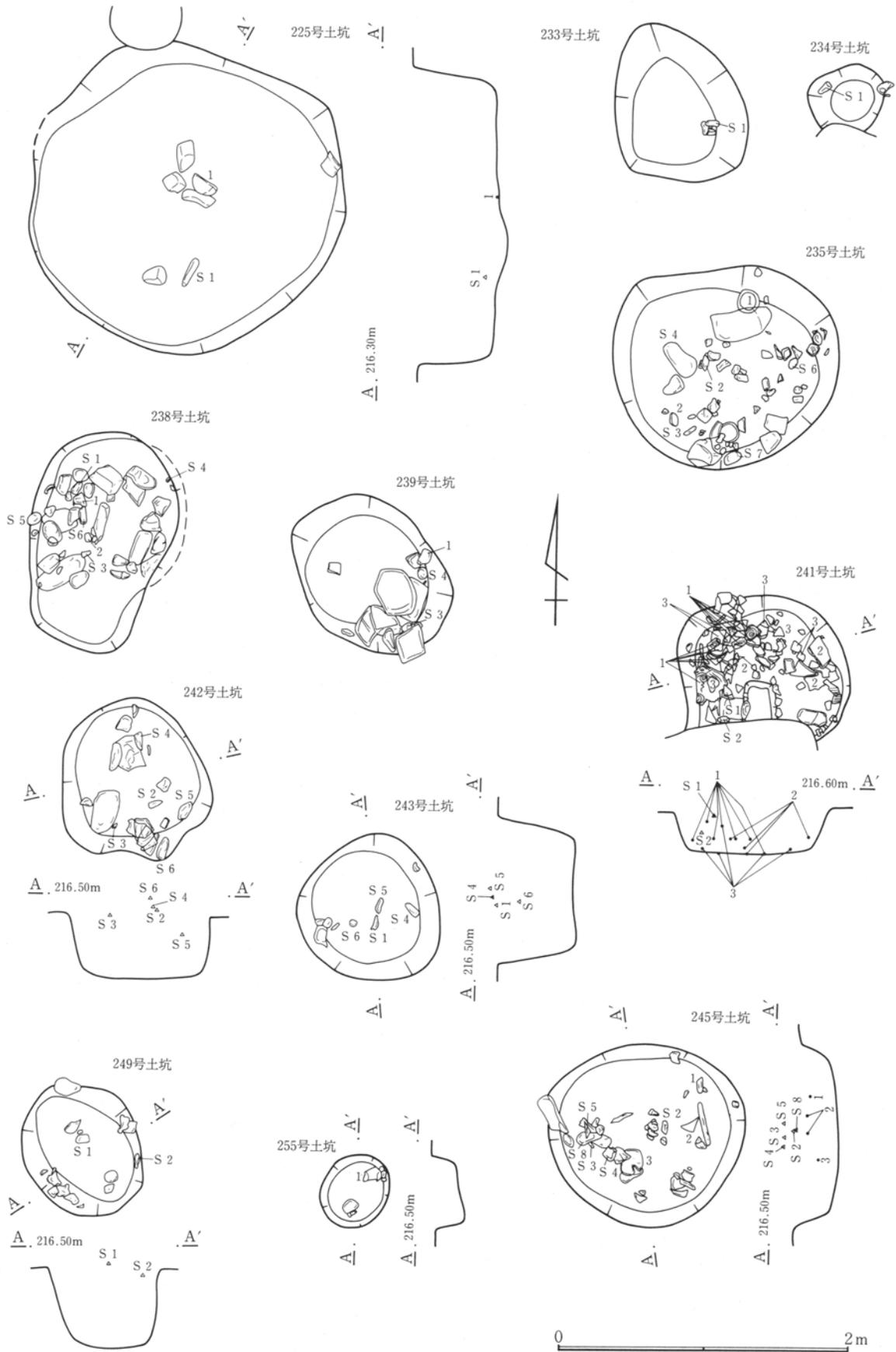
第352図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



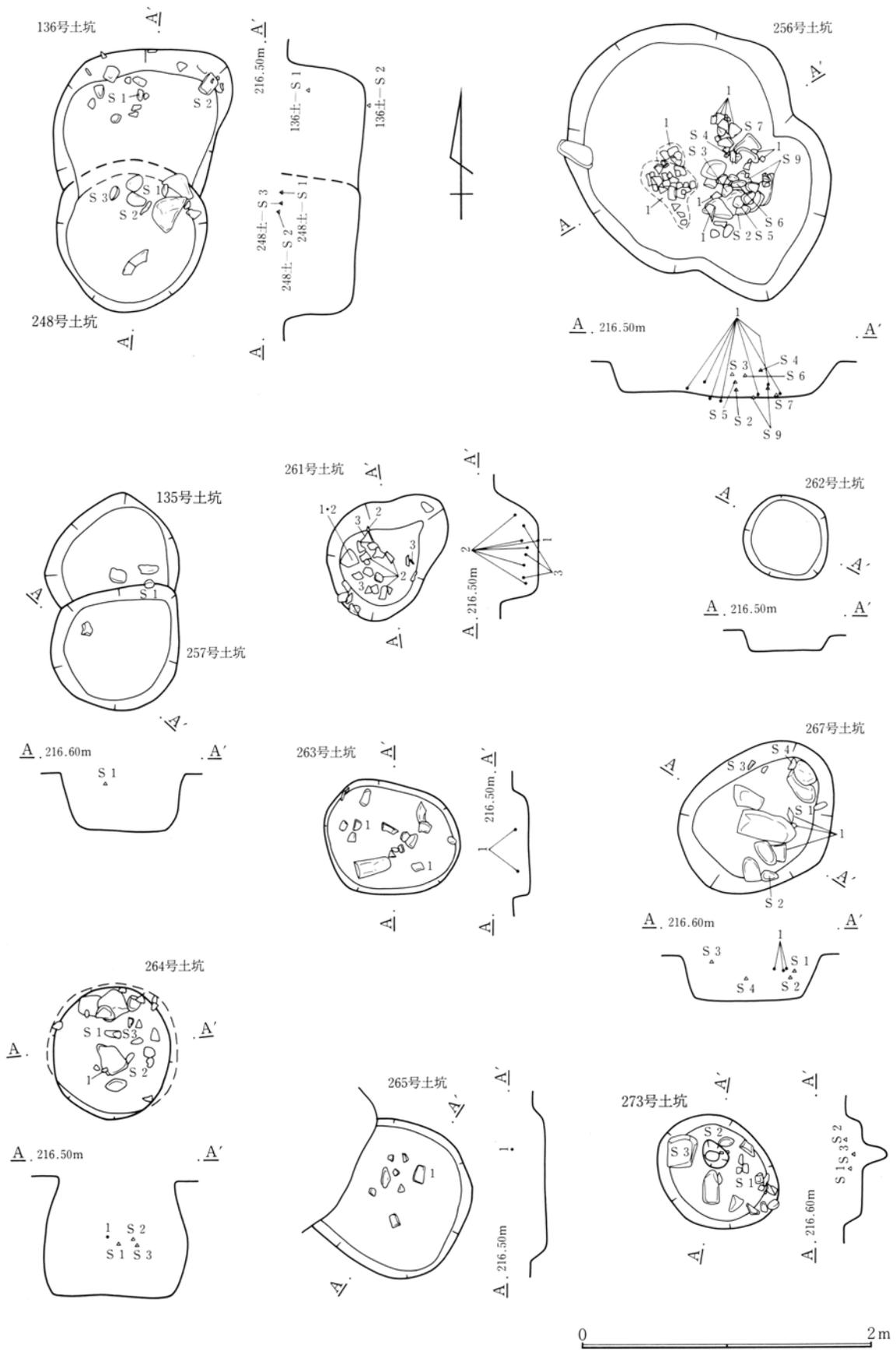
第353図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



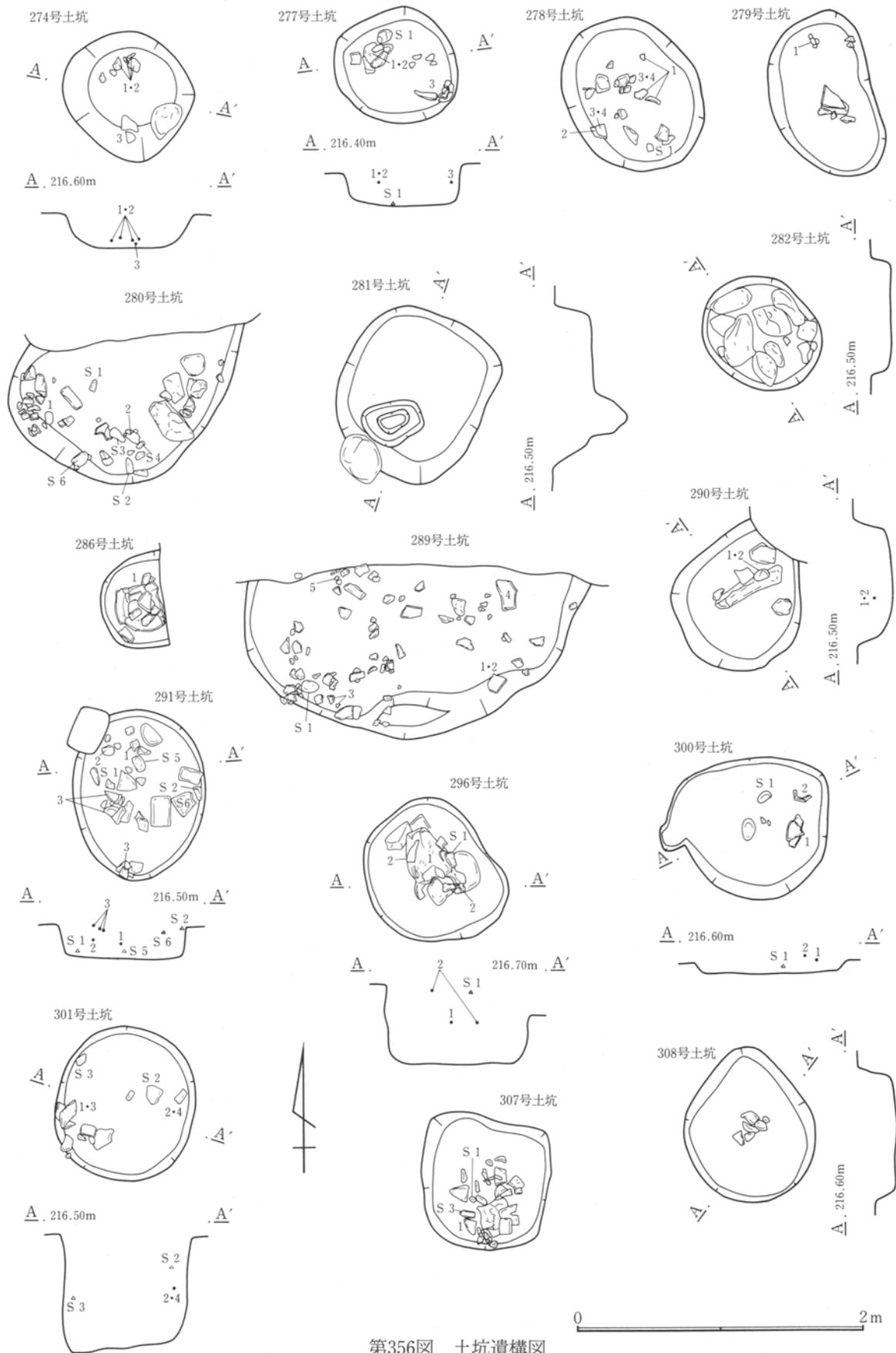
第354図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



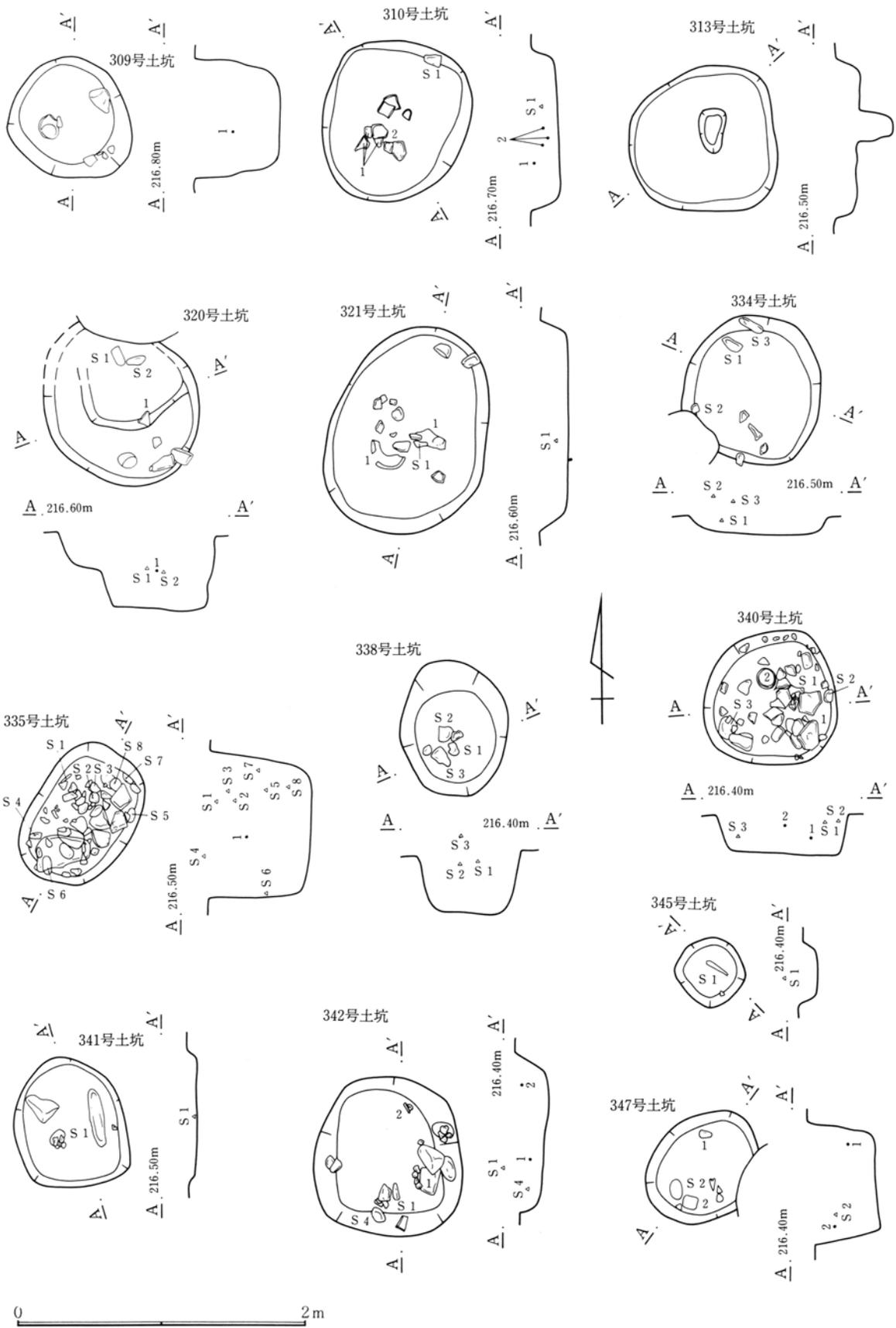
第355図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



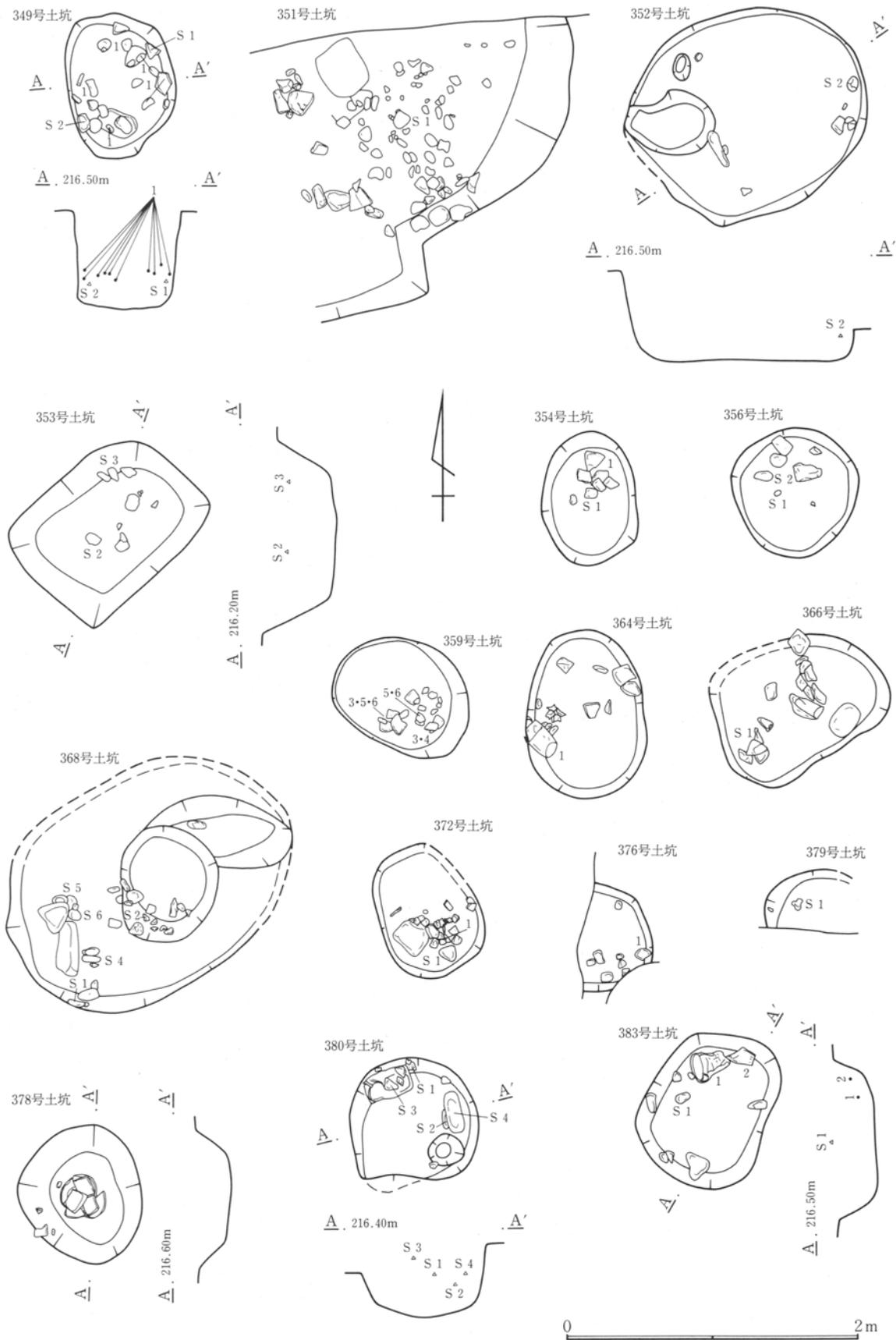
第356図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



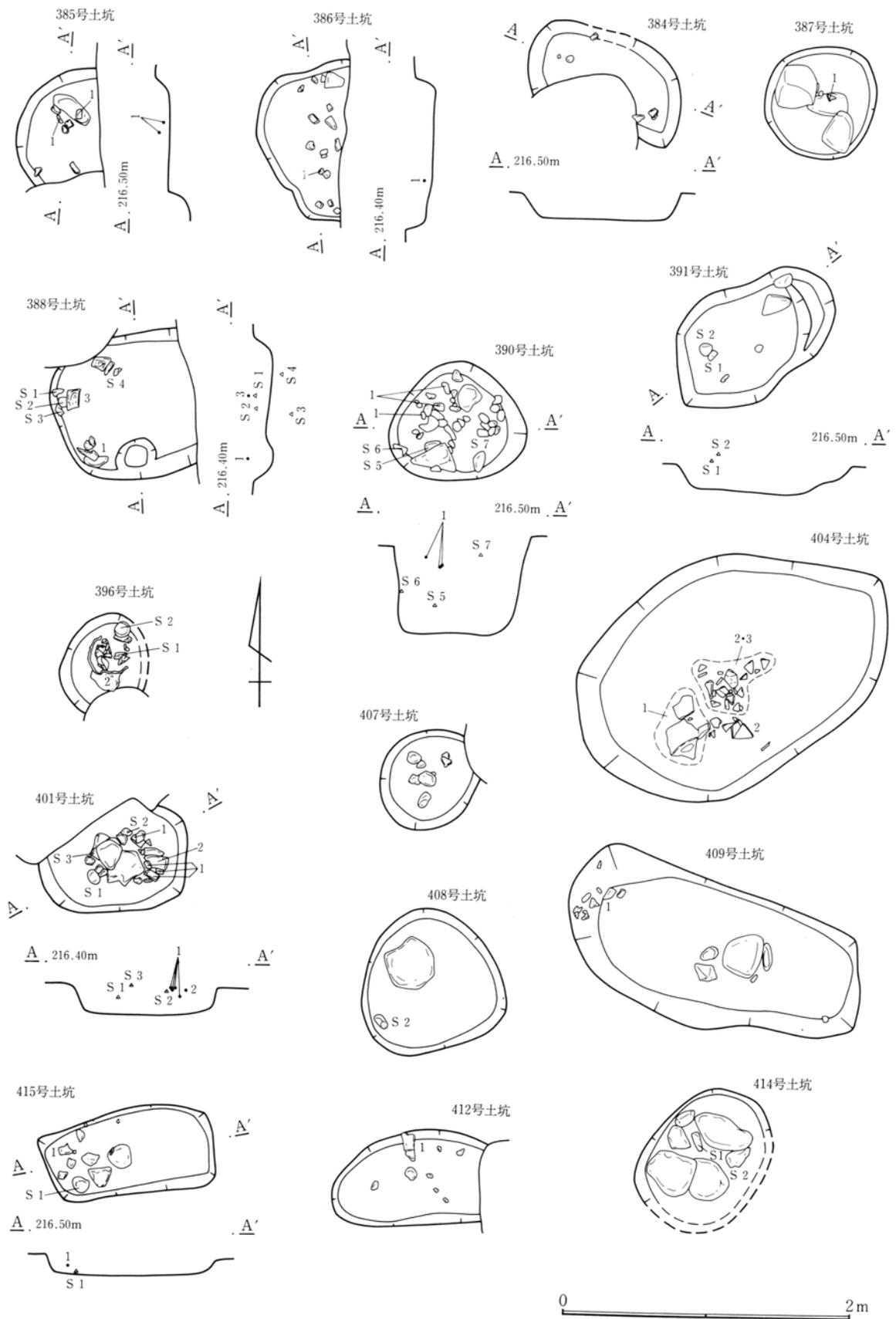
第357図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



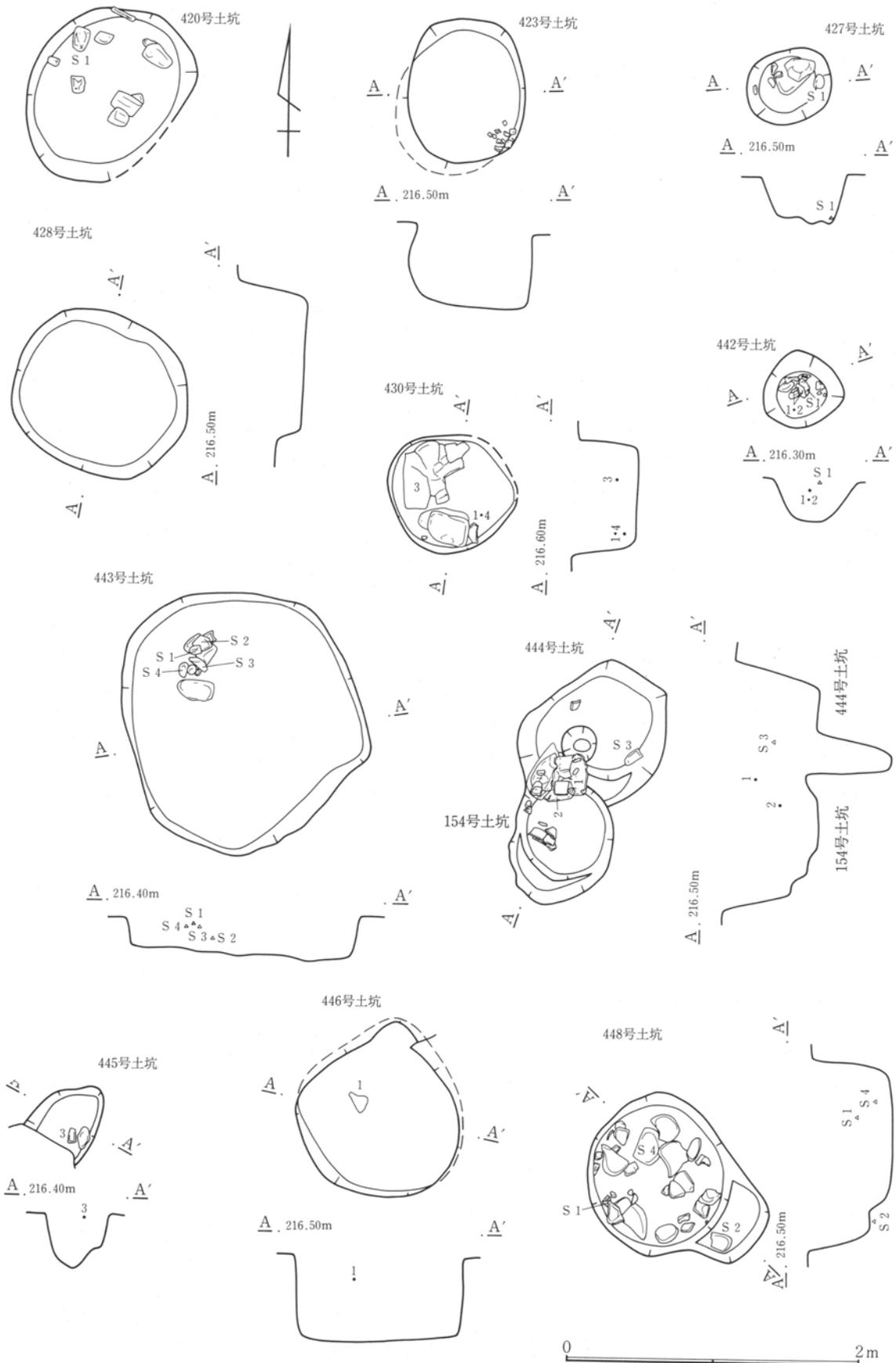
第358図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



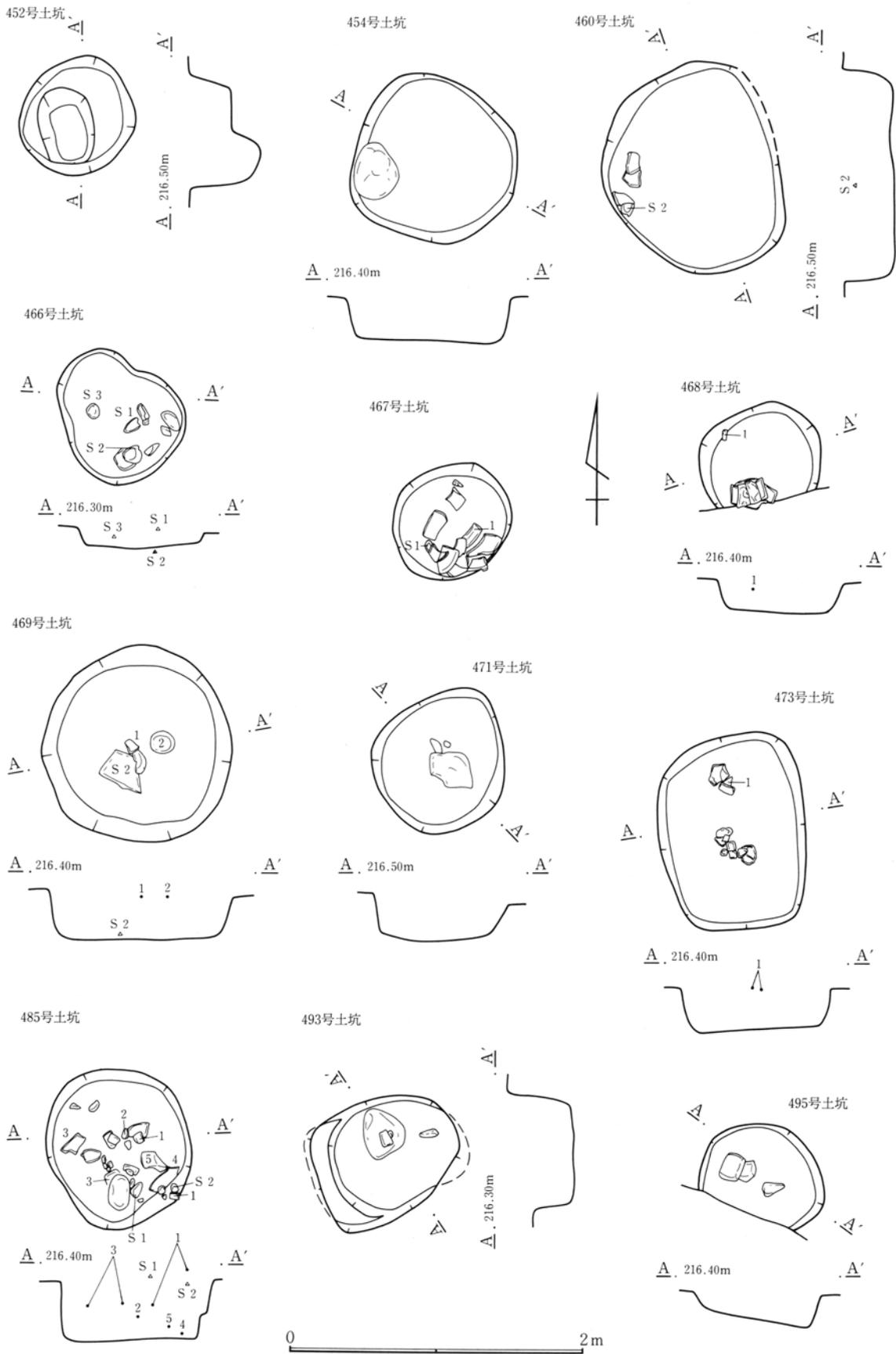
第359図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



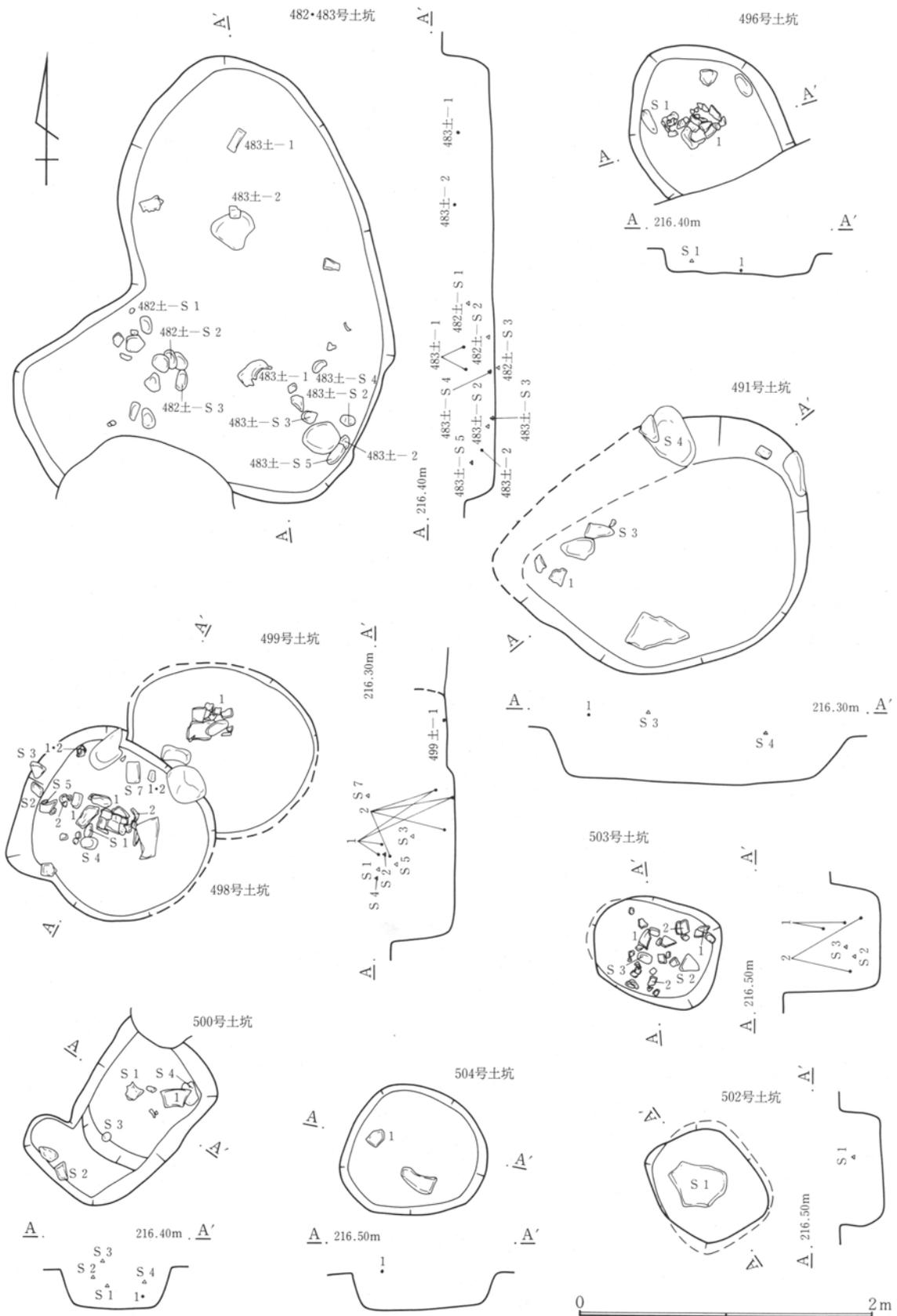
第360図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



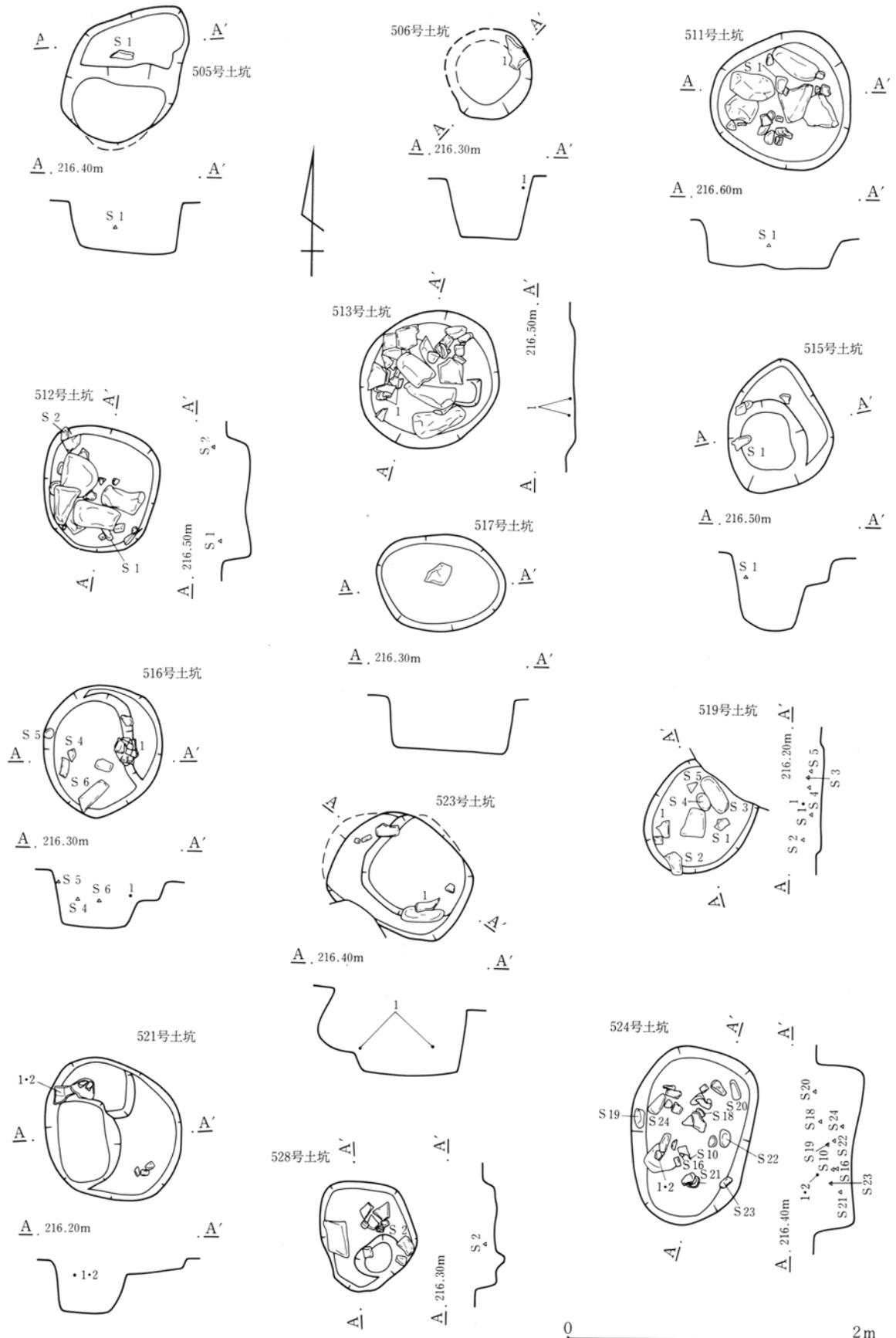
第361図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



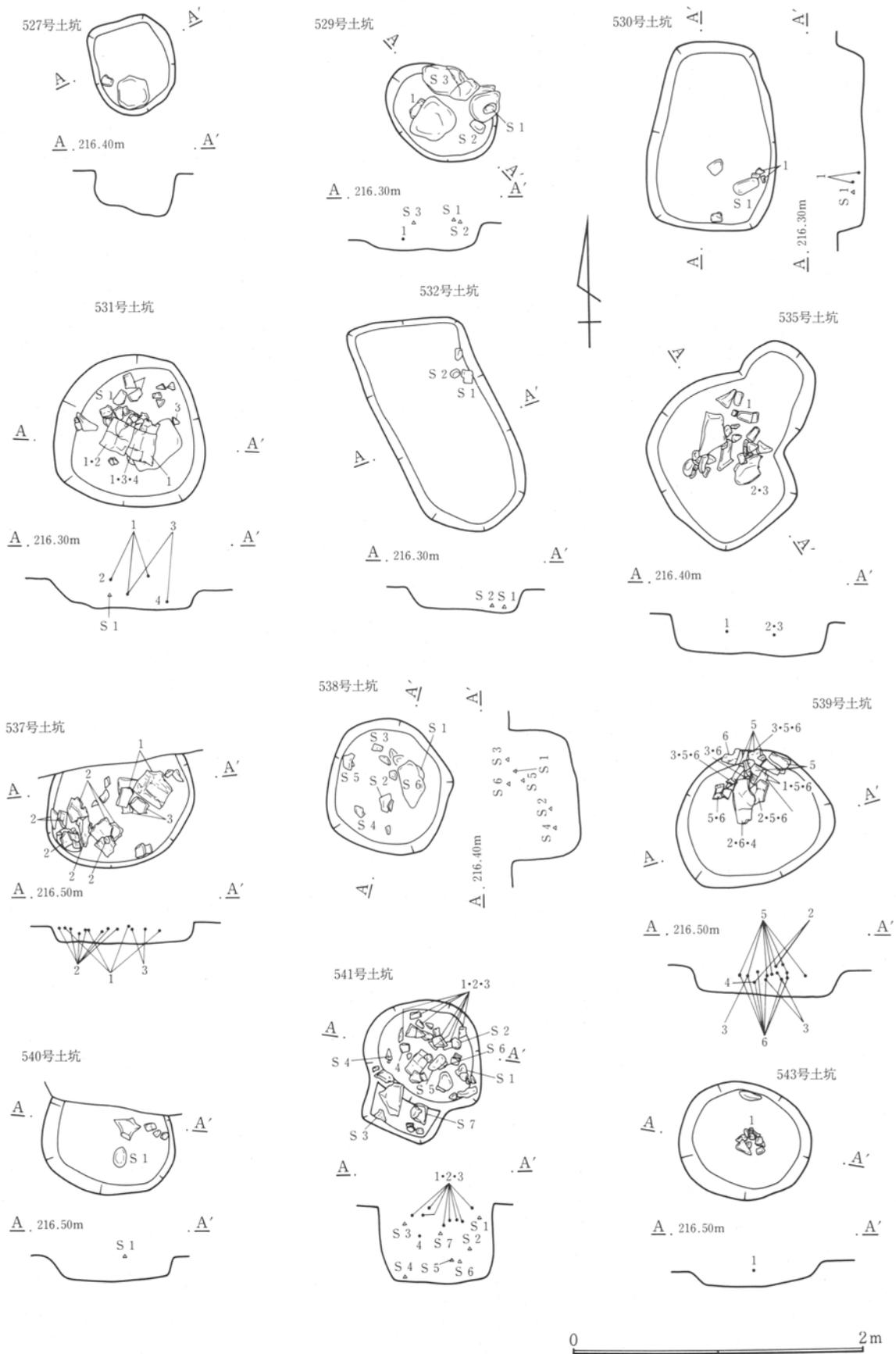
第362図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



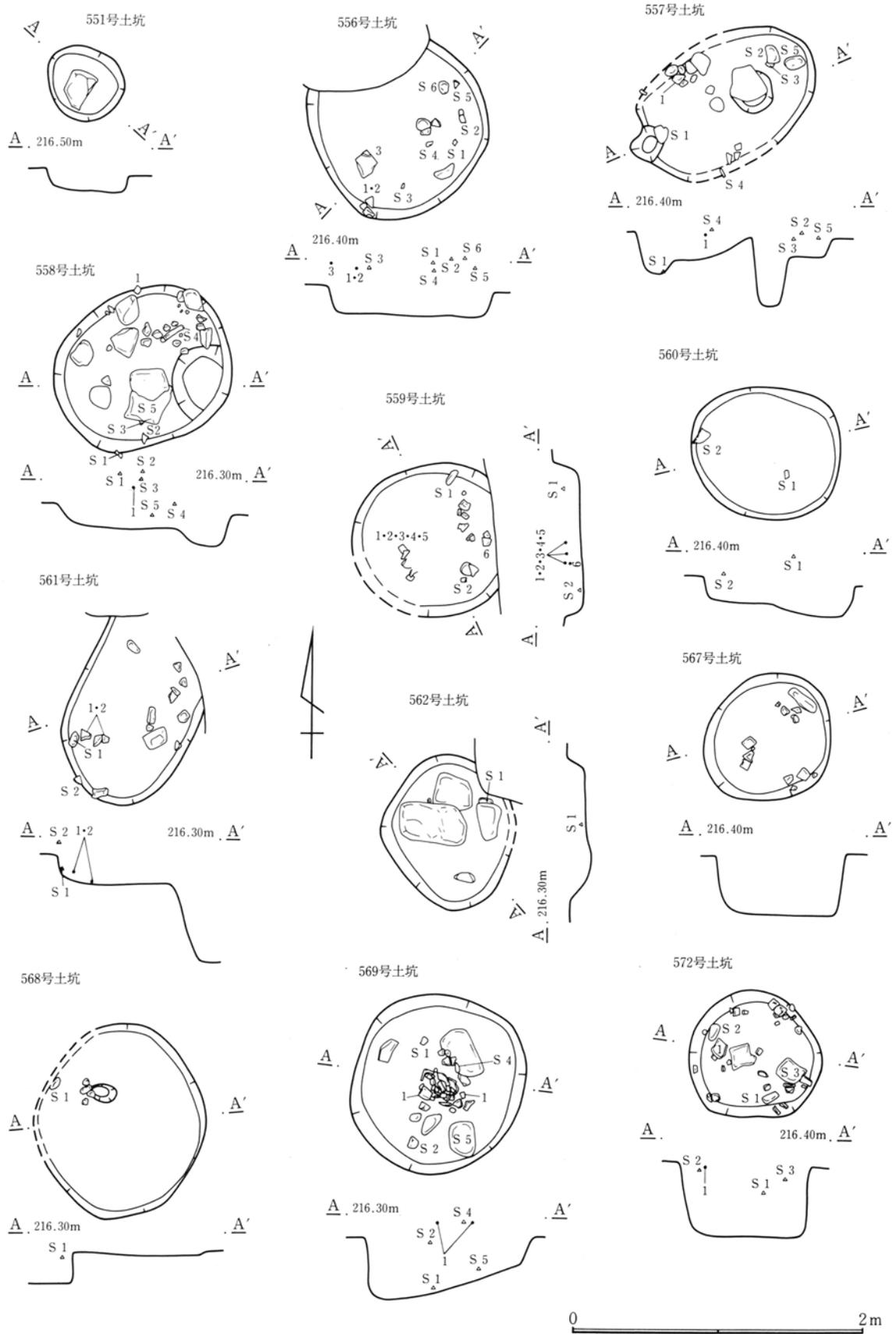
第363図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



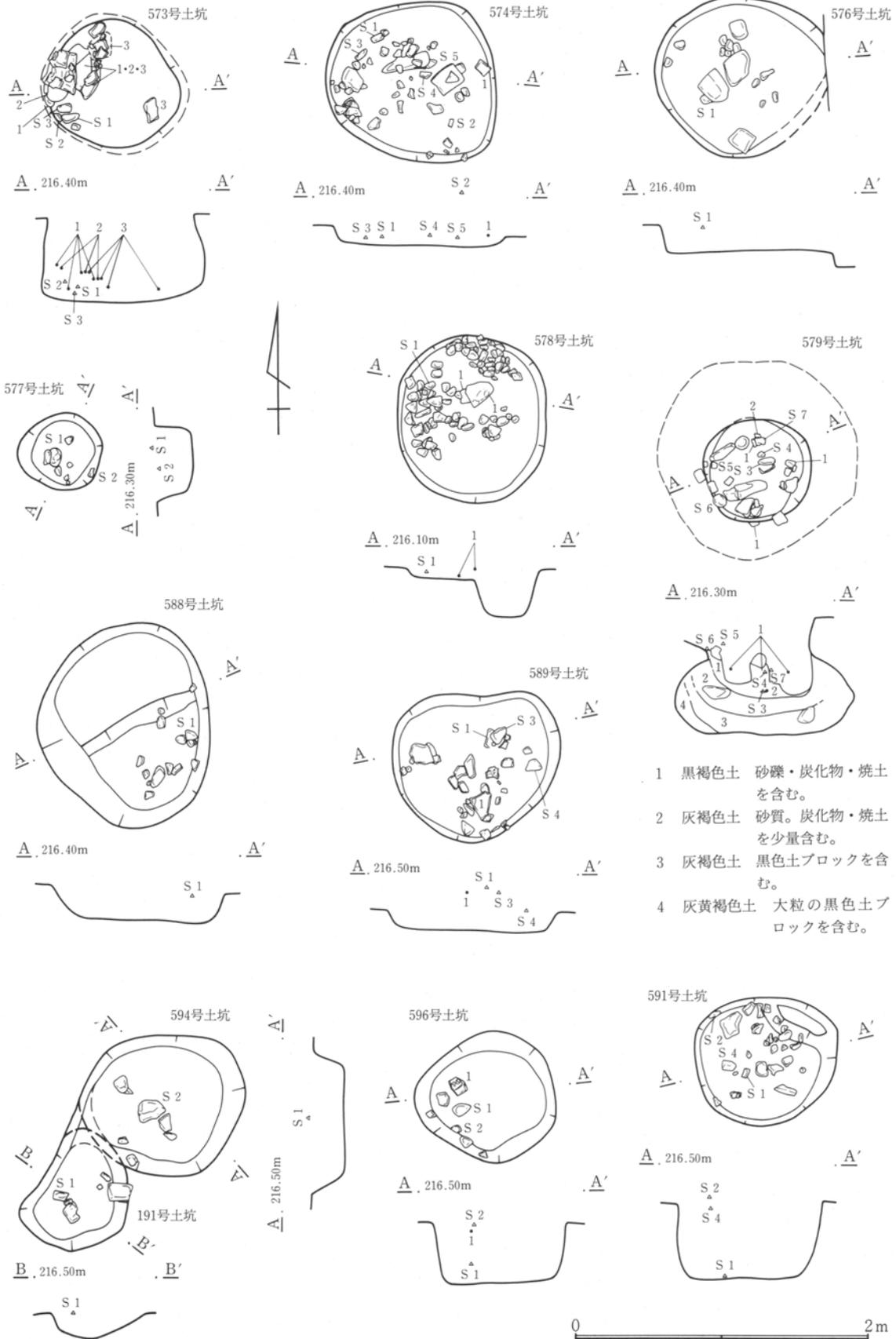
第364図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



第365図 土坑遺構図

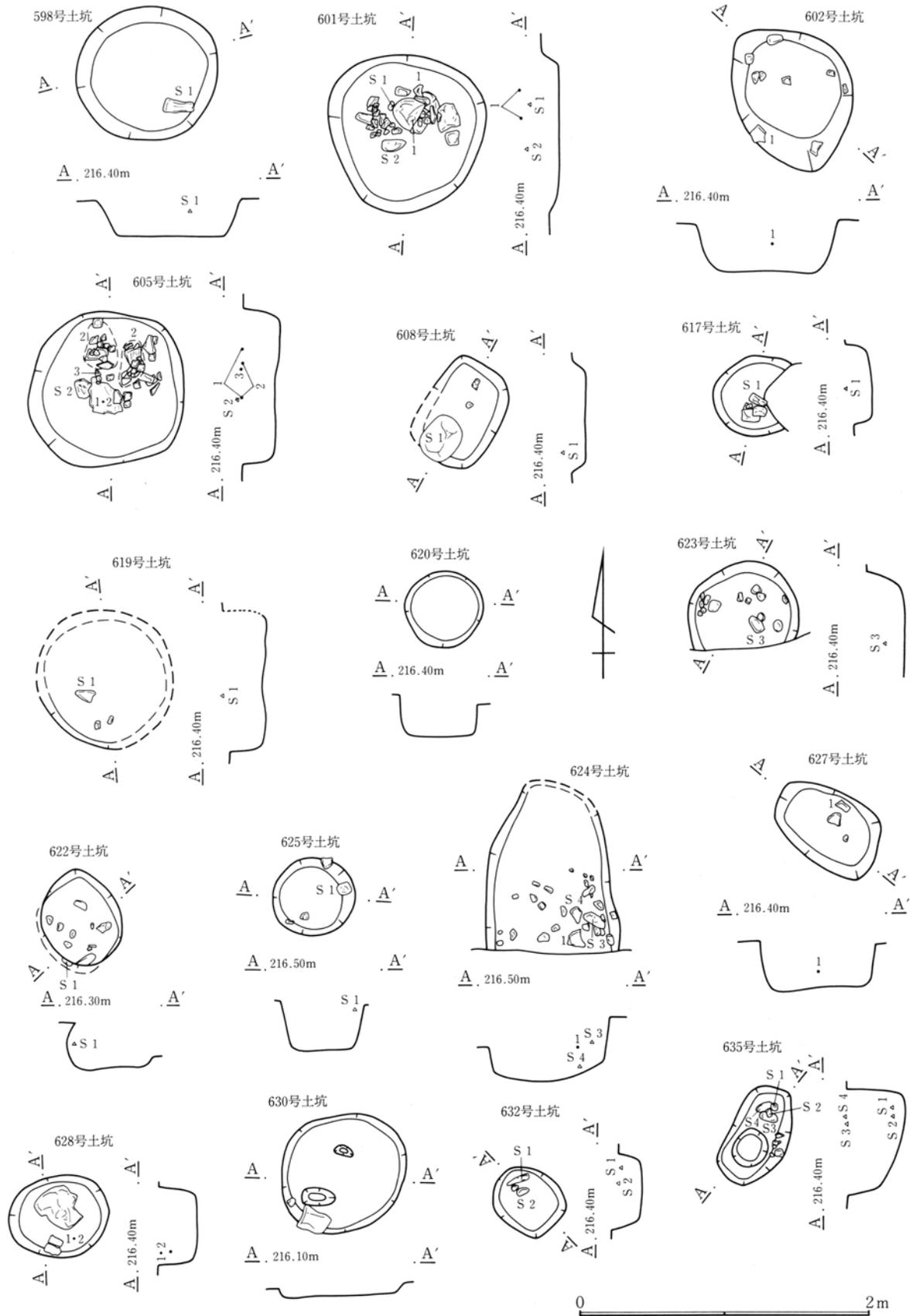
第4節 土坑と出土遺物



- 1 黒褐色土 砂礫・炭化物・焼土を含む。
- 2 灰褐色土 砂質。炭化物・焼土を少量含む。
- 3 灰褐色土 黒色土ブロックを含む。
- 4 灰黄褐色土 大粒の黒色土ブロックを含む。

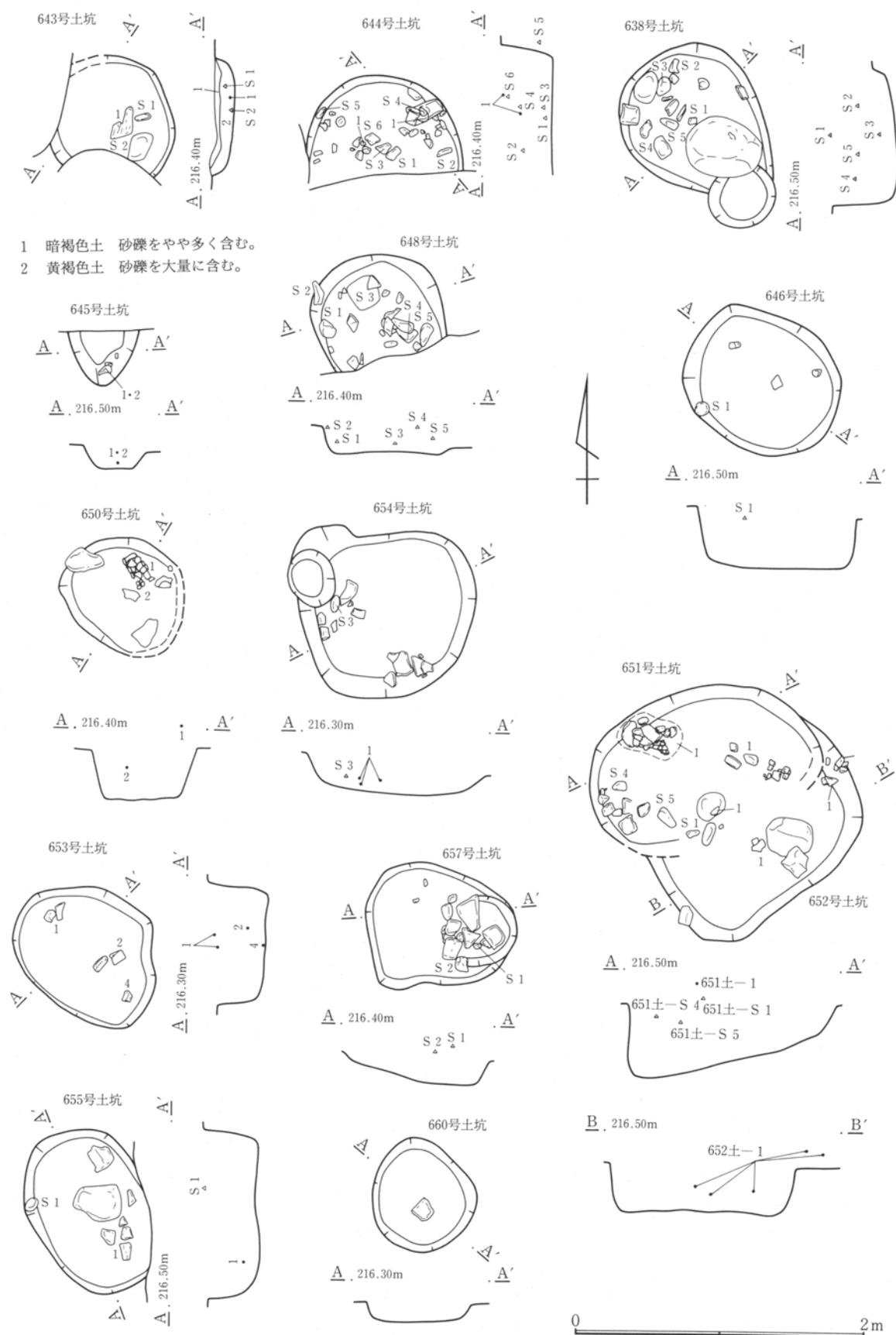
第366図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



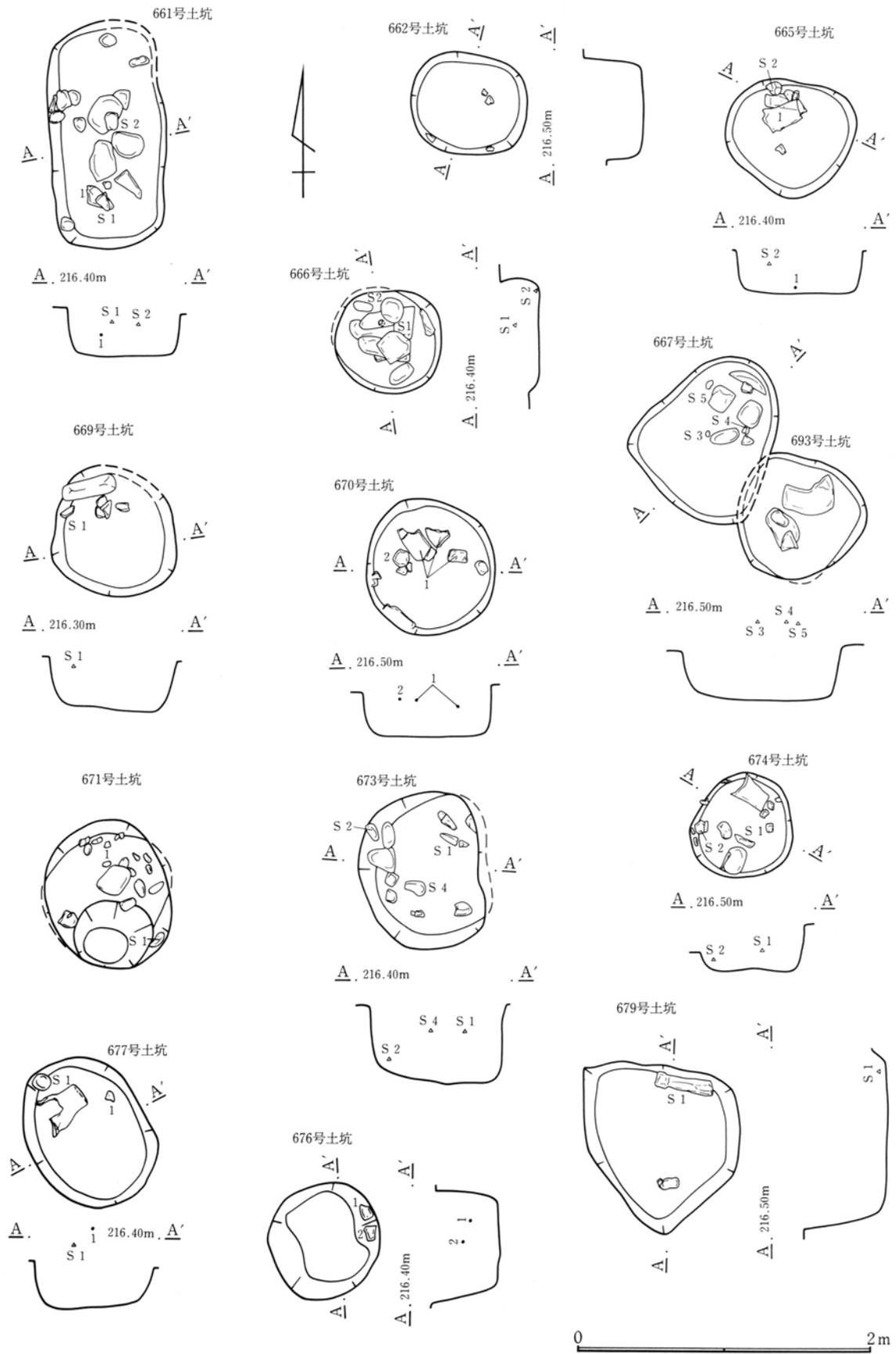
第367図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



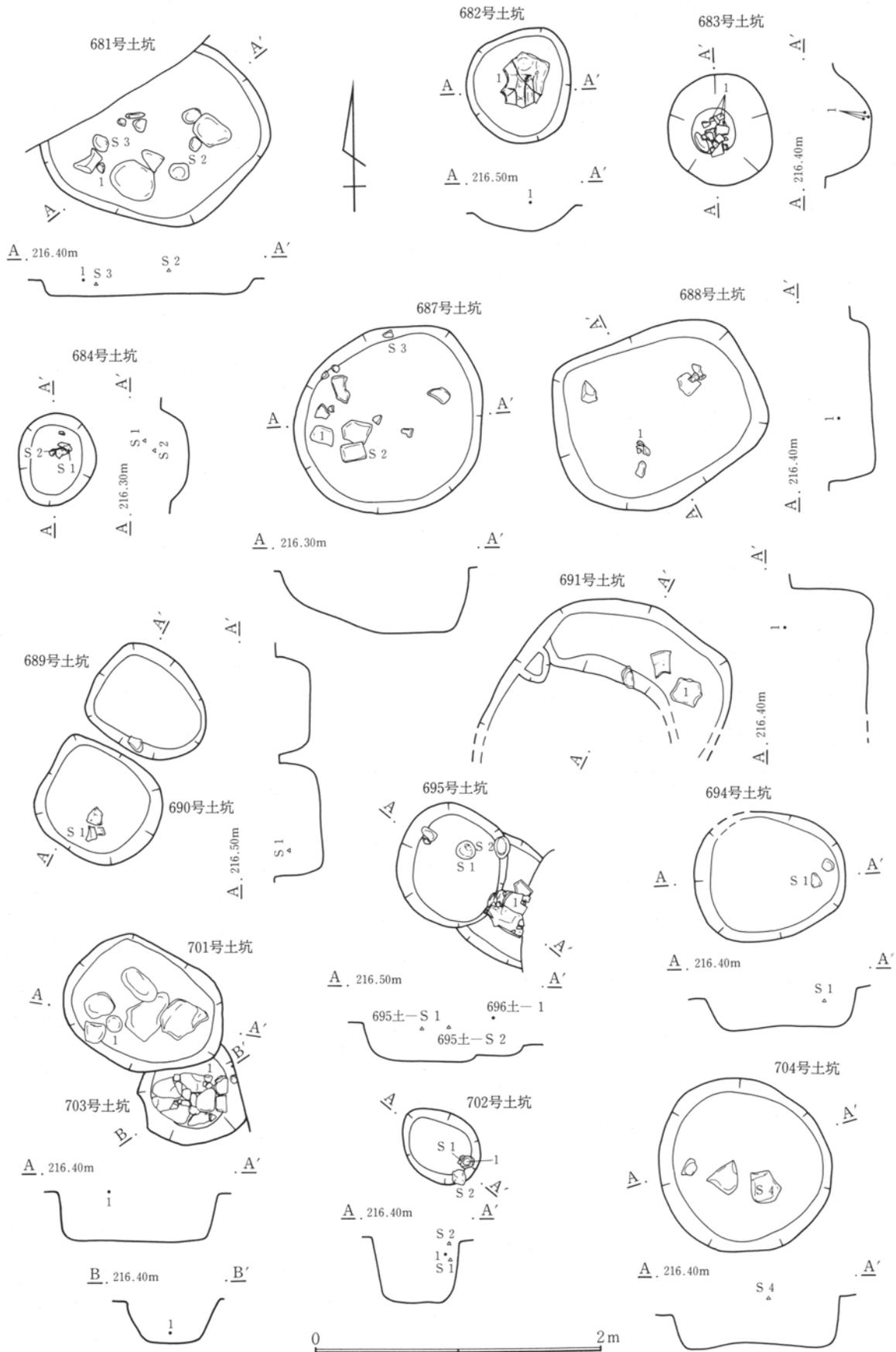
第368図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



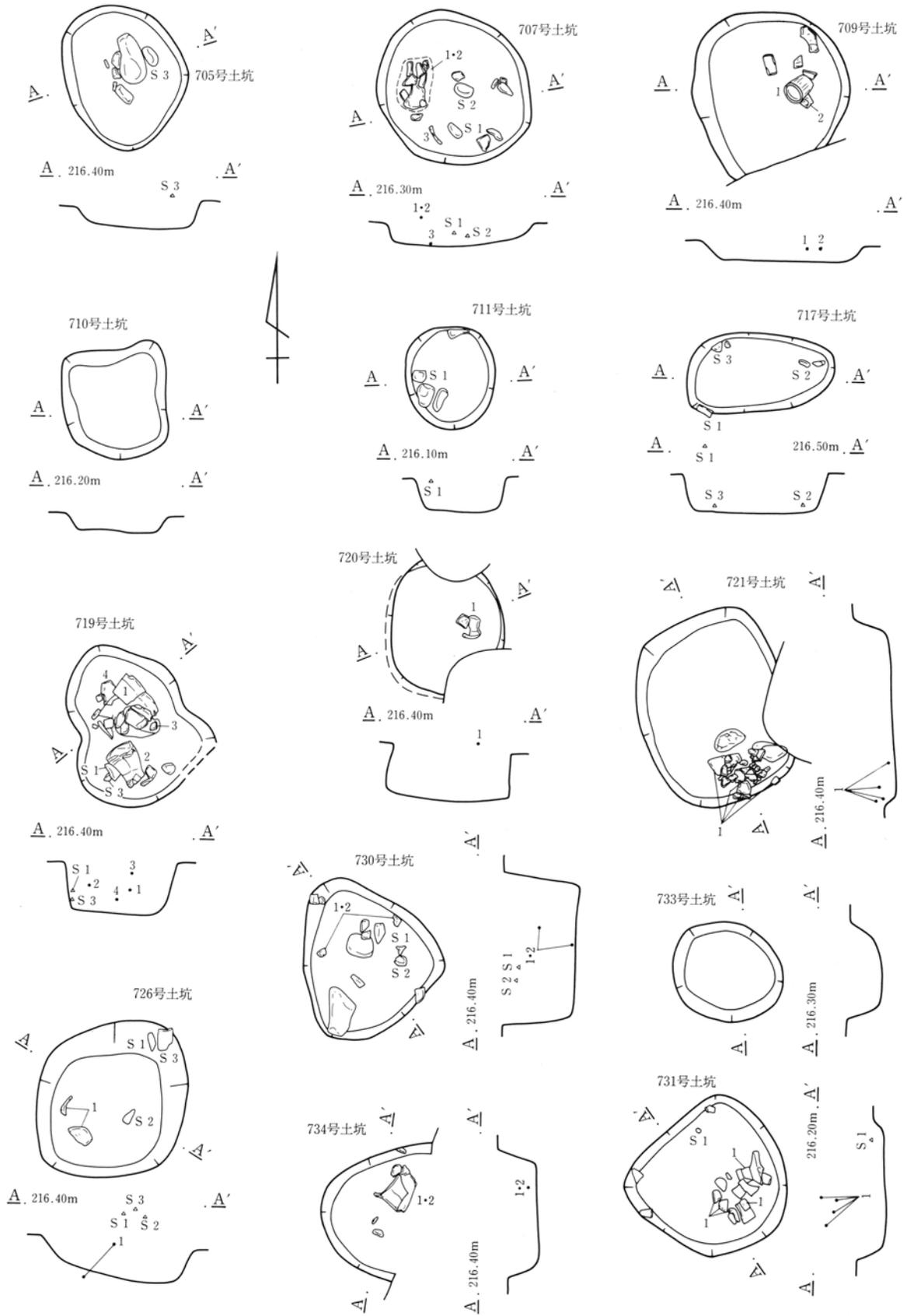
第369図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



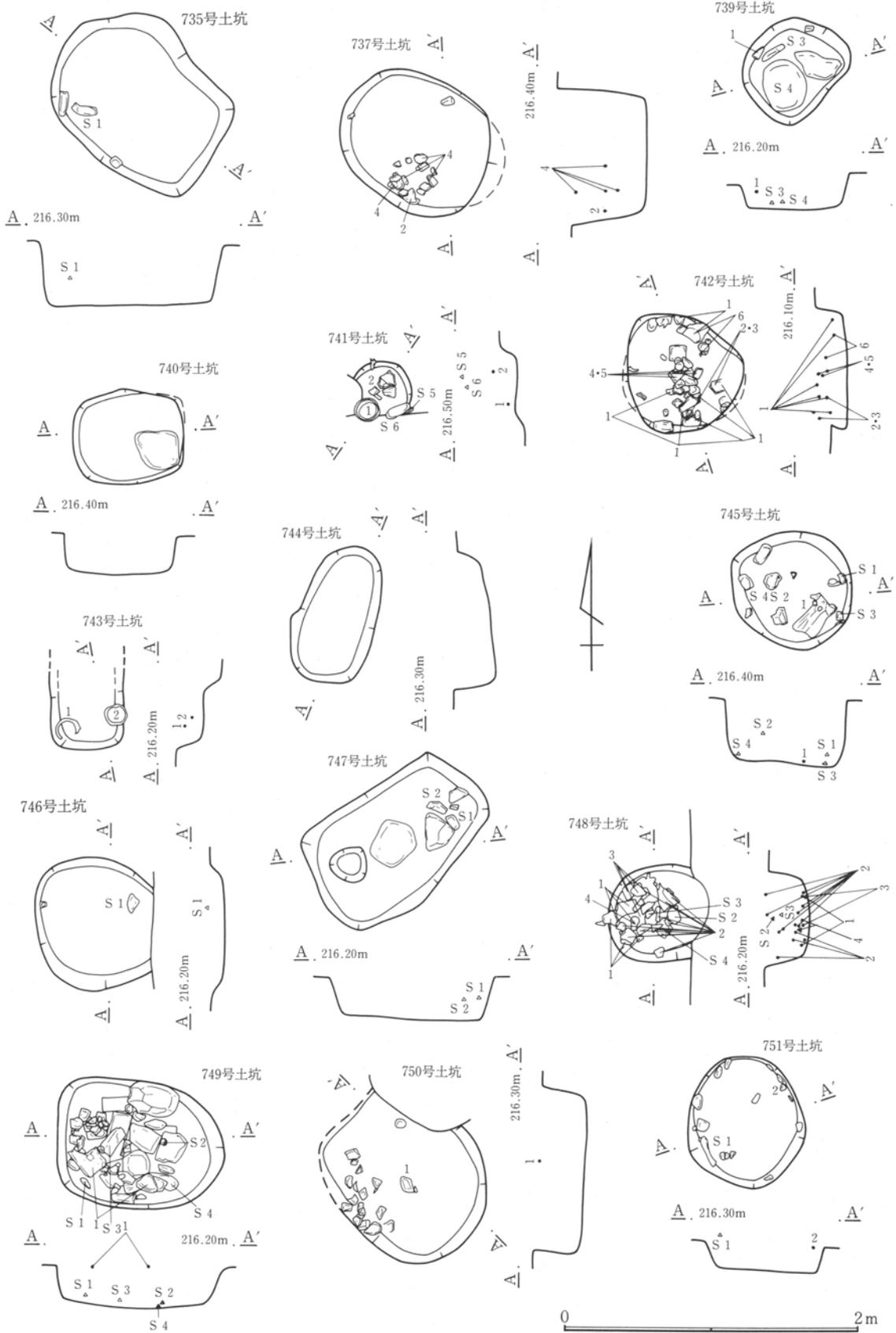
第370図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



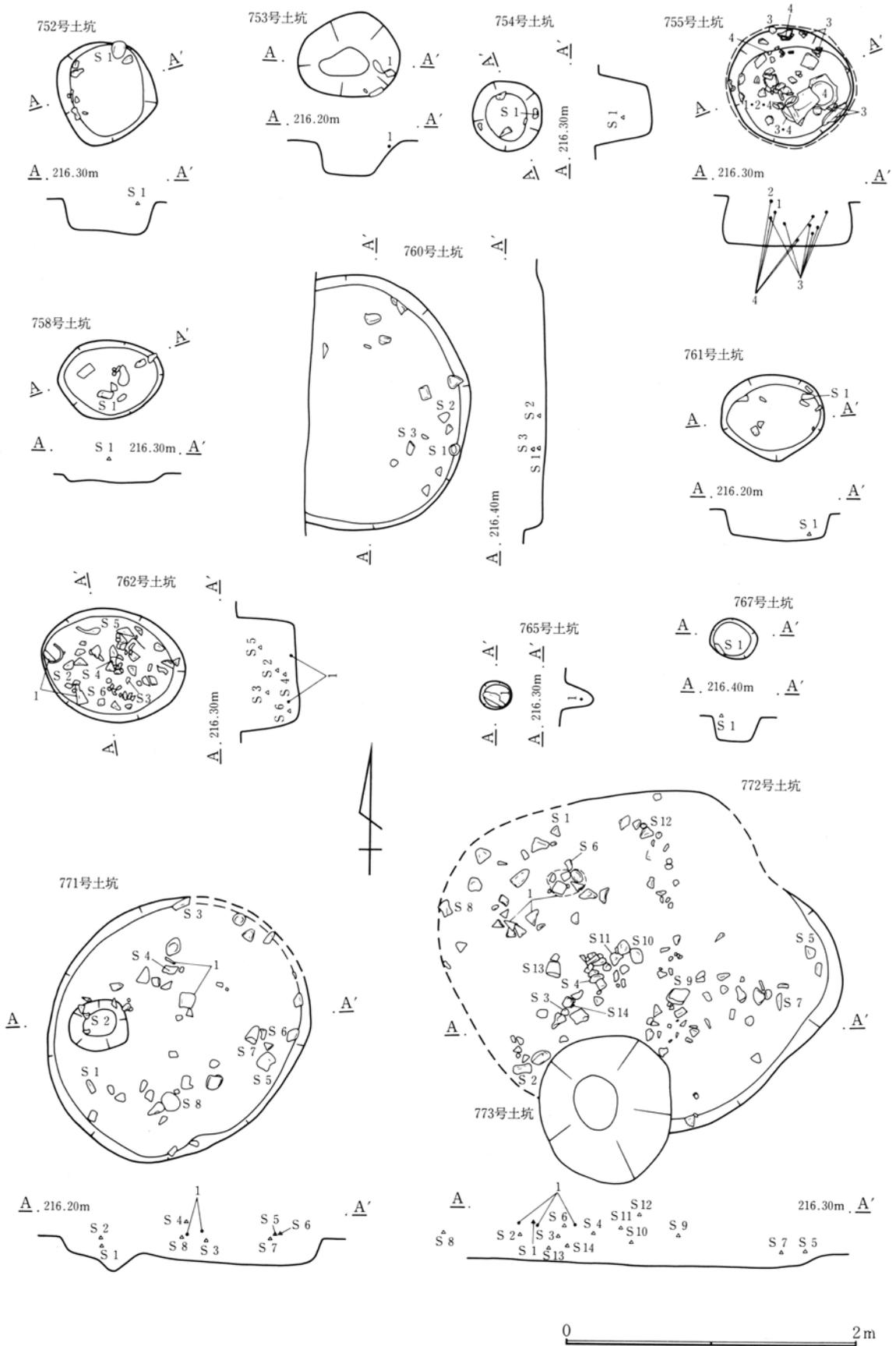
第371図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



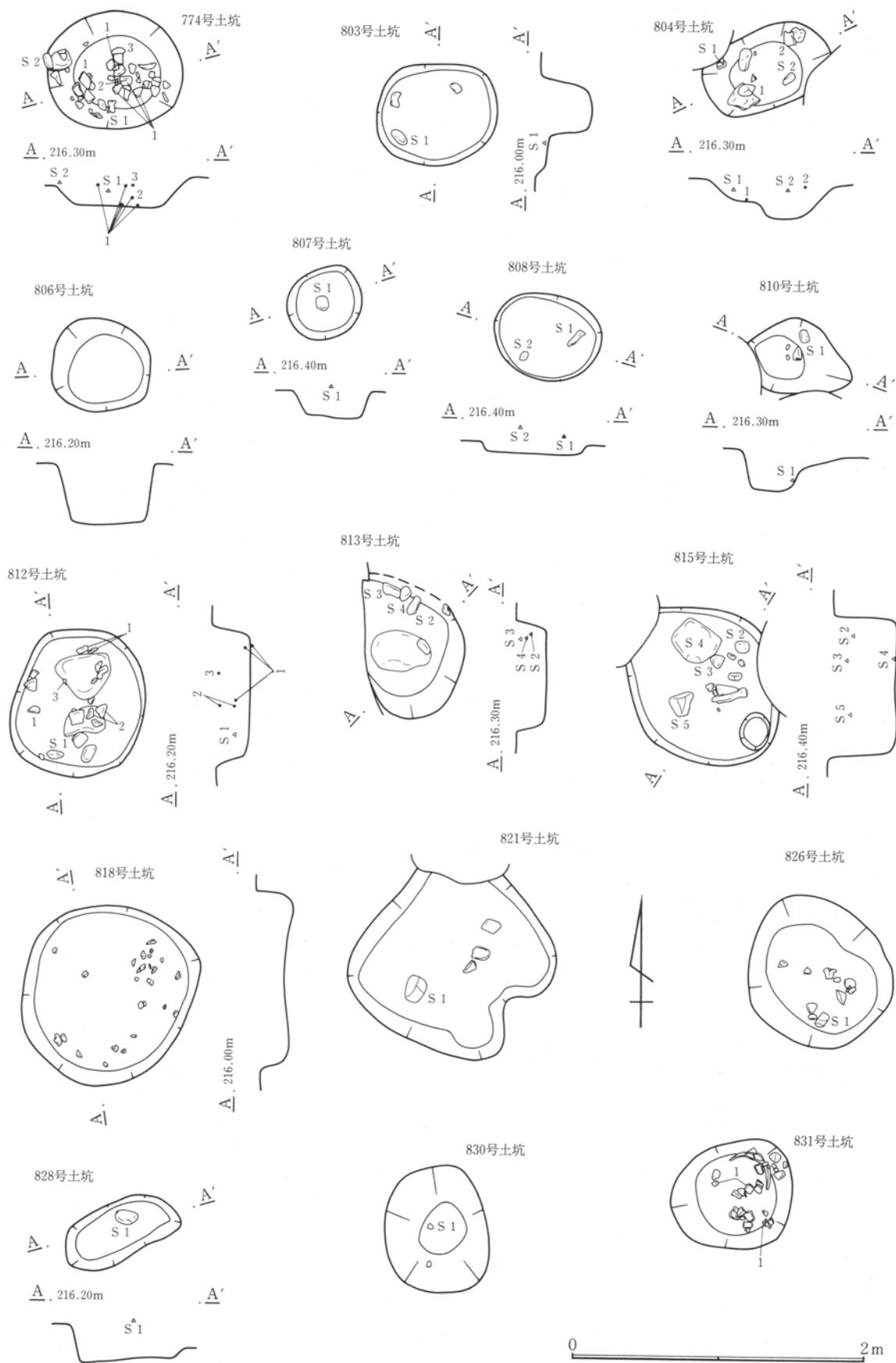
第372図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



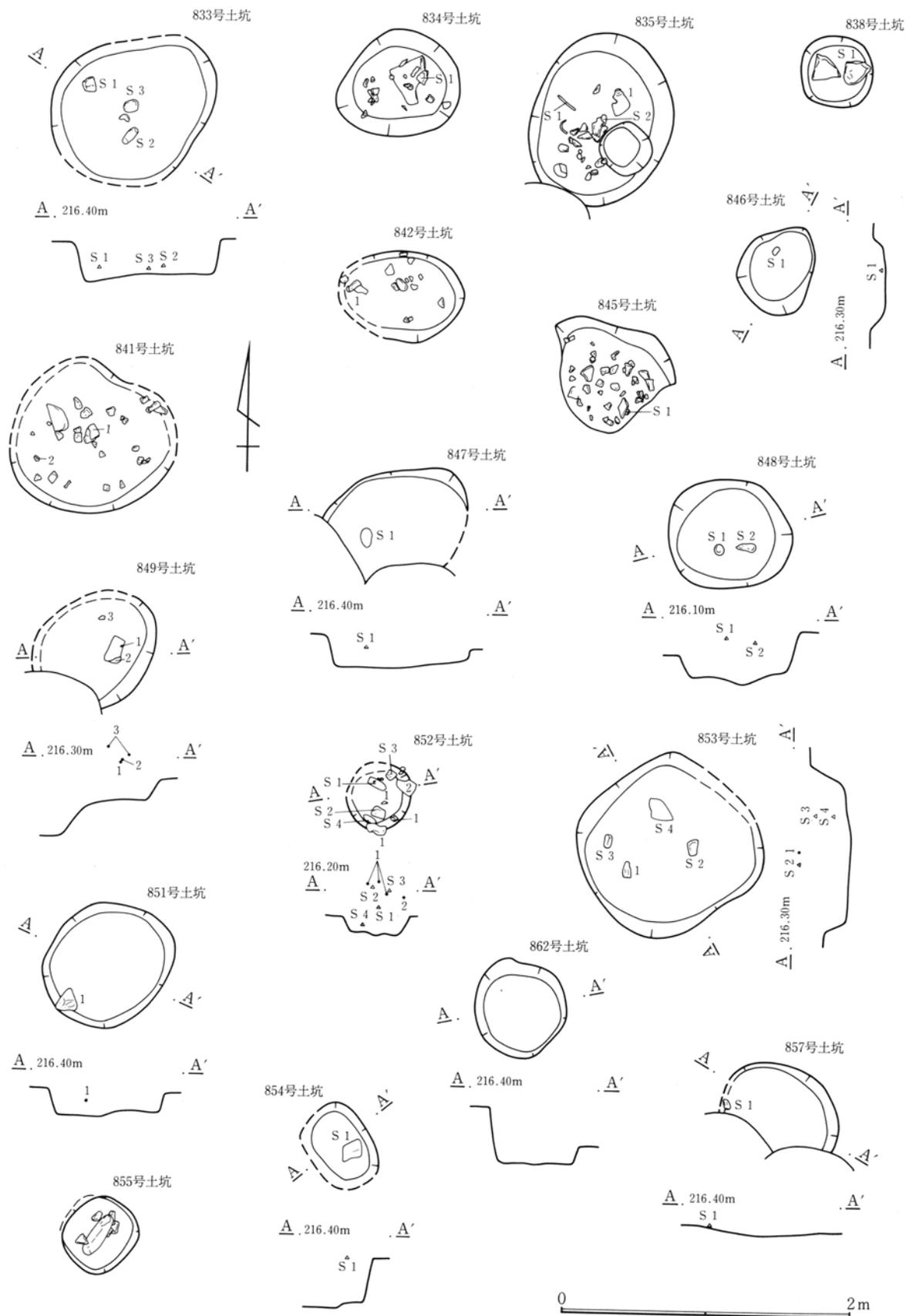
第373図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



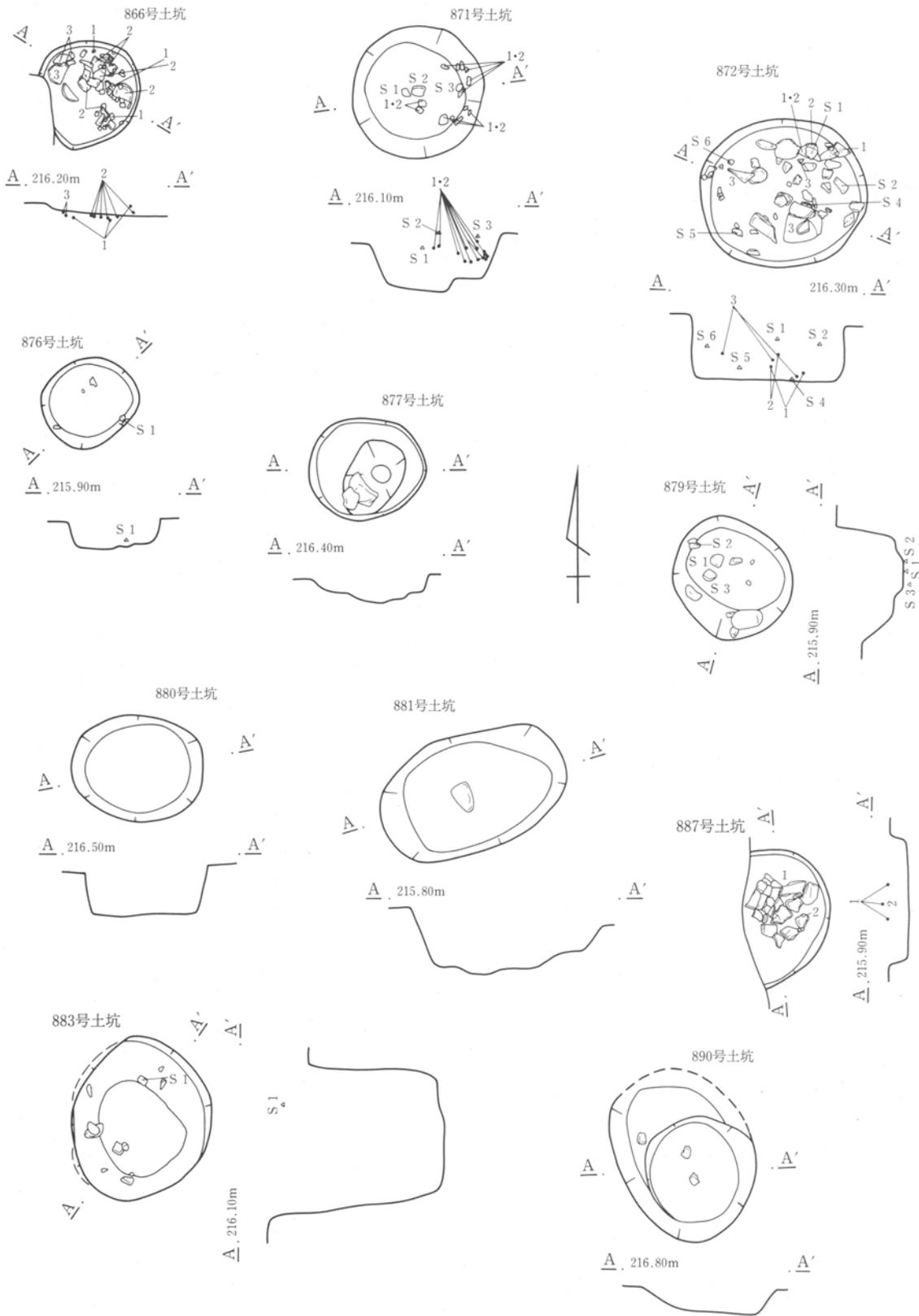
第374図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物



第375図 土坑遺構図

第4節 土坑と出土遺物



第376図 土坑遺構図

第2章 検出された遺構と遺物

D S区土坑一覧表

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
1	D c 54	(長円形)	(1.00)	1.00	0.07	石器	縄文	
2	D c 54	円形	0.75	0.74	0.14	石器	縄文	
3	D c 54	円形	0.80	0.78	0.16		縄文	
4	D b 54	長円形	1.20	0.83	0.08		縄文	
5	D b 54	円形	0.67	0.59	0.17	石器	縄文	
6	D b 54	円形	0.39	0.34	0.15		不明	
7	D c 54	円形	0.54	0.52	0.21		縄文	
8	D c 54	円形	1.30	0.95	0.14		縄文	
9	D c 53	円形	0.92	0.89	0.26	石器	縄文	やや袋状
10	D b 53	不整長円形	1.20	0.96	0.23		縄文中期	袋状
11	D b 53	円形	0.68	0.58	0.12		縄文	
12	D b 53	隅丸方形	0.70	0.66	0.11		縄文	
13	D b 53	円形	0.97	0.95	0.19		縄文	
14	D c 53	円形	0.79	0.70	0.27	縄文土器片 石器	縄文中期	
15	D c 53	円形	0.75	0.74	0.11		縄文	
16	D c 53	円形	0.89	0.75	0.29	縄文土器片 石器	縄文中期	
17	D c 53	円形	0.72	0.71	0.29	縄文土器片 石器	縄文中期	
18	D c 53	円形	0.90	0.67	0.24	石器	縄文	
19	D c 53	長円形	1.70	0.70	0.25	石器	縄文	底面凹凸あり
20	D c 53	不定円形	0.45	0.34	0.41		不明	
21	D b 54	隅丸方形	0.65	0.59	0.05		不明	
22	D b 54	隅丸長方形	0.90	0.60	0.47		縄文	
23	D c 53	隅丸長方形	1.50	0.80	0.33	縄文土器片 石器	縄文中期	やや袋状
24	D c 53	不整円形	0.72	0.68	0.28		縄文	
25	D c 53	不整長円形	0.76	0.50	0.37		不明	
26	D c 52	不整円形	0.85	0.78	0.31		縄文	
27	D c 53	長円形	0.56	0.47	0.18		縄文	
28	D c 52	(円形)	0.95	0.92	0.30	石器	縄文	
29	D c 52	楕円形	1.03	0.85	0.25		縄文	
30	D c 53	隅丸長方形	1.08	0.85	0.07		縄文	
31	D c 53	隅丸方形	0.65	0.56	0.19	石器	縄文	
32	D c 53	円形	0.43	0.42	0.28		縄文	
33	D c 53	長円形	0.78	0.60	0.16		縄文	やや袋状
34	D d 53	隅丸方形	0.88	0.80	0.15		縄文	
35	D d 53	長円形	0.73	0.49	0.25		縄文	
36	D d 53	長円形	0.94	0.61	0.22	縄文土器片	縄文中期	
37	D d 53	隅丸三角形	0.52	0.48	0.21		縄文	
38	D d 53	長円形	0.75	0.53	0.20		縄文	
39	D d 53	不定形	0.76	(0.65)	0.20		縄文中期	
40	D d 53	(円形)	0.68	0.59	0.25	石器	縄文	
41	D d 52	不定形	1.02	0.83	0.45	縄文土器片	縄文中期	
42	D d 52	長円形	0.60	0.48	0.34		縄文	
43	D d 52	長円形	0.65	0.57	0.43		縄文	
44	D d 52	円形	0.61	0.57	0.55	縄文土器片 石器	縄文中期	
45	D d 53	隅丸長方形	1.23	0.72	0.24	縄文土器片 石器	縄文	
46	D d 53	円形	0.62	0.57	0.27		縄文中期	
47	D d 53	不定形	1.42	0.93	0.25		縄文	
48	D e 53	円形	0.78	0.72	0.41		縄文	
49	D e 53	長円形	0.63	0.48	0.39	石器	縄文	
50	D e 52	円形	0.83	0.73	0.45		縄文中期	
51	D e 52	不整円形	0.57	0.49	0.20	石器	縄文	
52	D e 52	不整円形	0.64	0.56	0.13		縄文	
53	D e 52	円形	0.56	0.55	0.39		縄文	
54	D e 53	隅丸方形	0.59	0.50	0.22	石器	縄文	
55	D e 53	円形	0.80	0.70	0.32		縄文	
56	D e 53	長円形	1.80	1.40	0.26	縄文土器片 石器	縄文中期	
57	D e 53	円形	1.00	0.90	0.18		縄文	
58	D e 53	円形	0.32	0.30	0.45		縄文	
59	D e 53	円形	0.80	0.70	0.14		縄文	

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
60	D e 53	円形	0.43	0.35	0.36		縄文	
61	D f 52	円形	0.49	0.45	0.32		縄文	
62	D f 52	円形	0.38	0.36	0.37		縄文	
63	D f 52	円形	0.36	0.35	0.28		縄文	
64	D f 52	長円形	0.81	0.58	0.36	石器	縄文	
65	D e 53	隅丸長方形	0.70	0.50	0.14	縄文土器片	縄文	
66	D e 53	円形	0.42	0.33	0.52		縄文	
67	D f 53	長円形	0.61	0.46	0.51	縄文土器片	縄文中期	
68	D e 53	(隅丸長方形)	0.85	(0.60)	0.23		縄文	
69	D f 53	(長円形)	1.10	(0.63)	0.21		縄文	
70	D f 53	(長円形)	0.76	(0.53)	0.21		縄文	
71	D f 53	円形	0.34	0.31	0.18		縄文	
72	D f 53	円形	0.38	0.37	0.17		縄文	
73	D f 53	円形	0.38	0.35	0.22		縄文	
74	D f 53	不整形	0.72	0.43	0.15		縄文	
75	D f 53	円形	0.41	0.39	0.18		縄文	
76	D f 53	(不整形)	0.72	(0.58)	0.15	縄文土器片	縄文	
77	D f 53	円形	0.50	0.43	0.17	縄文土器片	縄文	
78	D f 52	不整円形	0.75	0.59	0.39		縄文	
79	D f 53	(長円形)	(0.98)	0.80	0.35		縄文	
80	D c 54	隅丸方形	0.91	0.88	0.45	石器	縄文	
81	D c 53	隅丸長方形	0.66	0.45	0.15	縄文土器片	縄文中期	
82	D c 53	円形	0.80	0.66	0.23	縄文土器片	縄文中期	石器
83	D c 54	円形	0.53	0.45	0.17		縄文	
84	D c 54	円形	0.51	0.43	0.20		縄文	
85	D c 54	隅丸方形	0.90	0.85	0.40	石器	縄文	
86	D c 55	不定形	1.13	1.04	0.30	石器	縄文	
87	D d 55	円形	0.78	0.73	0.20	縄文土器片	縄文中期	
88	D d 55	楕円形	0.62	0.53	0.29		縄文	
89	D d 55	隅丸方形	0.46	0.43	0.25		縄文	
90	D d 55	隅丸方形	0.36	0.36	0.24		縄文	
91	D d 55	円形	0.37	0.36	0.16		縄文	
92	D d 55	円形	1.16	1.13	0.57	石器	縄文	
93	D g 53	円形	0.71	0.66	0.10		縄文	
94	D g 53	長円形	0.90	0.67	0.48	縄文土器片	縄文中期	
95	D g 53	長円形	0.41	0.29	0.12		縄文	
96	D d 53	円形	0.57	0.48	0.10		縄文	
97	D d 53	円形	0.63	0.58	0.13	石器	縄文	
98	D d 53	円形	0.24	0.21	0.27		不明	
99	D d 53	円形	0.28	0.29	0.31		不明	
100	D b 53	円形	1.10	1.02	0.20	縄文土器片	縄文中期	石器
101	D b 53	円形	0.91	0.91	0.16	縄文土器片	縄文中期	
102	D b 54	円形	0.54	0.50	0.17		縄文	
103	D b 53	円形	0.54	0.50	0.09	縄文土器片	縄文中期	石器
104	D b 54	円形	0.50	0.49	0.35		縄文	
105	D d 55	円形	0.42	0.40	0.28		縄文	
106	D d 55	(円形)	1.10	(0.50)	0.20		縄文	
107	D d 55	円形	0.85	(0.80)	0.45		縄文	
108	D c 55	隅丸長方形	1.45	0.90	1.19	縄文土器片	縄文中期	
109	D b 55	(円形)	0.93	(0.57)	0.38	縄文土器片	縄文中期	石器
110	D d 55	(長円形)	1.00	(0.55)	0.17	縄文土器片	縄文中期	石器
111	D c 55	不定形	1.80	0.57	0.29	石器	縄文	
112	D f 55	(長円形)	(1.00)	0.90	0.12	縄文土器片	縄文	
113	D f 56	円形	1.10	1.02	0.11	縄文土器片	縄文	石器
114	D f 56	円形	1.14	1.14	0.20	縄文土器片	縄文後期	
115	D e 56	隅丸長方形	1.00	0.60	0.07	石器	縄文	
116	D e 56	円形	0.50	0.47	0.12		縄文	
117	D e 56	円形	0.97	0.96	0.12	縄文土器片	縄文前期	石器
118	D f 55	長円形	0.60	0.25	0.01		近世	鍛冶炉 底面に焼土
119	D f 55	長円形	0.35	0.21	0.01		近世	鍛冶炉

第2章 検出された遺構と遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ) m			出土遺物	時代	備考
120	D f 55	洋梨形	0.80	0.28	0.24		近世	鍛冶炉 底面に炭化物
121	D f 55	洋梨形	0.68	0.30	0.11		近世	鍛冶炉 焼土残存
122	D f 55	円形	0.45	0.45	不明		近世	鍛冶炉 炭化物残存
123	D f 55	円形	0.42	0.37	0.11		近世	鍛冶炉 底面に焼土
124	D f 55	円形	0.29	0.29	不明		近世	鍛冶炉 炭化物残存
125	D f 56	円形	0.36	0.30	不明		近世	鍛冶炉 炭化物残存
126	D f 56	円形	0.20	0.19	不明		近世	鍛冶炉 炭化物残存
127	Dg・Dh53	隅丸長方形	1.50	1.05	不明	縄文土器片	縄文後期	
128	欠番							
129	D g 55	隅丸長方形	1.60	0.54	0.15		平安以降	
130	Dc・Dd54	円形	1.19	1.03	0.17		縄文	
131	D i 47	円形	1.35	1.32	0.35	須恵器片	平安	
132	D c 53	不整円形	1.12	(0.88)	0.29	石器	縄文	
133	D f 53	(長円形)	(0.86)	0.79	0.33		縄文	
134	D g 51	(楕円形)	0.68	(0.41)	0.33		縄文	
135	D i 50	(円形)	0.80	(0.64)	不明	石器	縄文	
136	D j 47	(円形)	1.10	(0.98)	0.44	石器	縄文	
137	D d 53	長円形	0.67	0.48	0.30		縄文	
138	D g 53	円形	0.86	0.85	不明	縄文土器片	縄文中期	
139	D f 54	隅丸長方形	1.58	0.42	0.16		平安以降	
140	D g 49	円形	0.70	0.65	不明		縄文	
141	D f 55	円形	0.84	0.80	0.16	縄文土器片	縄文中期	
142	D h 54	長円形	1.17	0.88	0.43		縄文	
143	D g 53	円形	0.81	0.74	0.16	石器	縄文	
144	D g 53	不整円形	0.65	0.55	0.17		縄文	
145	D h 54	円形	0.54	0.48	0.09		縄文	
146	D h 53	長円形	0.70	0.55	0.06	石器	縄文	
147	D i 53	円形	1.40	1.30	0.55		縄文	
148	D g 54	円形	0.86	0.84	0.65	縄文土器片 石器	縄文中期	
149	D d 52	(円形)	(0.71)	0.70	0.54		縄文	
150	D f 52	(円形)	(0.50)	(0.41)	0.24		縄文	
151	D h 55	(円形)	(0.80)	(0.78)	0.08		縄文	
152	D h 55	不定長円形	1.10	0.70	0.47	縄文土器片	縄文	
153	D h 55	円形	0.90	0.84	0.36		縄文	
154	D d 52	長円形	0.90	0.68	0.79	縄文土器片	縄文	
155	D f 53	(円形)	0.84	(0.85)	0.24	縄文土器片	縄文中期	
156	D f 54	長円形	1.27	1.10	0.46	縄文土器片 石器	縄文	やや袋状
157	De・Df55	(円形)	(1.16)	1.06	0.40	石器	縄文	
158	De・Df55	(長円形)	(1.32)	1.20	0.52		縄文	
159	D b 52	円形	0.33	0.30	0.25		縄文	
160	D i 48	円形	1.21	1.21	0.55		縄文	
161	D j 48	円形	1.10	1.04	0.54	縄文土器片	縄文中期	
162	D e 53	不定長円形	1.01	0.79	0.50	縄文土器片 石器	縄文中期	
163	D f 53	(円形)	(1.14)	1.03	0.28	縄文土器片 石器	縄文中期	
164	D e 55	(隅丸長方形)	(0.46)	不明	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
165	D f 55	不定長円形	(0.80)	0.61	0.15	縄文土器片	縄文	
166	D f 55	(円形)	不明	不明	0.20	縄文土器片 石器	縄文中期	
167	D f 56	円形	1.20	1.11	0.34	縄文土器片 石器	縄文後期	
168	D f 56	円形	1.30	1.20	0.43	縄文土器片 石器	縄文中期	
169	D f 55	不定形	1.40	(1.06)	0.48	縄文土器片 石器	縄文中期	
170	D h 54	長円形	1.05	(0.85)	0.39	縄文土器片 石器	縄文中期	
171	D b 53	長円形	1.36	1.04	0.26	石器	縄文	
172	Db・Dc53	長円形	1.30	1.10	0.34	縄文土器片 石器	縄文	
173	D b 52	(円形)	1.14	(0.82)	0.34	縄文土器片 石器	縄文	
174	D c 53	不定長円形	0.96	0.66	0.16		縄文	
175	D c 54	長円形	0.83	0.54	0.15		縄文	
176	D e 52	(円形)	1.49	(0.90)	0.19		縄文	
177	Dh51・52	円形	1.05	1.03	0.15	縄文土器片 石器	縄文中期	
178	D h 52	円形	0.98	0.95	0.26	石器	縄文	
179	D c 52	円形	0.77	0.71	0.29	縄文土器片 石器	縄文	

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
180	D b 54	円形	0.70	0.67	不明	縄文土器片 石器	縄文	
181	D b 54	不定長円形	1.00	0.80	0.35	石器	縄文	
182	D b 54	円形	1.00	0.94	0.33	縄文土器片 石器	縄文	
183	D b 53	不定長円形	(2.24)	1.80	0.27	石器	縄文	
184	D a 54	円形	1.05	0.97	0.14	石器	縄文	
185	D c 54	円形	0.70	0.63	0.13	石器	縄文	
186	D c 55	(円形)	(0.90)	(0.80)	0.14	縄文土器片 石器	縄文	
187	D c 55	(円形)	(0.73)	不明	0.06		縄文	
188	D b 53	(円形)	(0.92)	(0.90)	0.25	縄文土器片 石器	縄文中期	
189	D b 53	不明	(1.10)	1.28	不明		縄文	
190	D c 53	長円形	0.40	0.26	0.23		縄文	底面U字形
191	D e 46	(不定形)	(0.79)	0.64	0.16	石器	縄文	
192	D g 47	長円形	1.50	1.00	0.22		縄文	
193	D b 53	不明	不明	(0.95)	0.21	石器	縄文	
194	D e 51	円形	0.40	0.35	0.15		縄文	
195	D e 51	不定形	0.75	0.45	不明		縄文	
196	欠番							
197	D f 53	円形	0.80	0.77	0.76	石器	縄文	
198	欠番							
199	Db・Dc54	隅丸長円形	0.54	0.36	不明	石器	縄文	
200	D i 45	長円形	1.53	1.20	0.49	縄文土器片 石器	縄文	
201	D c 54	(長円形)	(1.10)	(0.79)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
202	D c 55	不定円形	0.83	0.75	0.22		縄文	
203	D c 55	円形	0.50	0.49	0.13		縄文	
204	D c 55	(円形)	0.58	(0.50)	0.35		縄文	
205	D c 55	(不定円形)	(0.64)	0.54	0.29	縄文土器片	縄文前期	
206	欠番							
207	D c 54	不整円形	0.13	0.89	0.12	石器	縄文	
208	D g 54	長円形	0.75	0.58	不明	石器	縄文	
209	D d 55	円形	1.42	1.33	0.27		縄文	
210	D e 55	不定形	(1.21)	0.71	0.24		縄文	
211	D c 52	(隅丸長方形)	0.98	(0.47)	0.30	縄文土器片 石器	縄文	
212	D c 53	(円形)	0.84	(0.50)	0.17		縄文	
213	D c 53	長円形	1.53	0.96	0.28		縄文	
214	D b 53	(長円形)	(1.64)	(0.56)	0.30		縄文	
215	D c 53	(不定長円形)	0.87	(0.67)	0.35	縄文土器片 石器	縄文	
216	D a 54	不定長円形	1.46	1.16	不明		縄文	
217	D e 54	(円形)	1.93	(1.11)	0.24	縄文土器片 石器	縄文中期	
218	D g 52	円形	0.80	0.65	不明	石器	縄文	
219	D c 54	円形	0.52	0.42	不明		縄文	
220	D c 53	不定長円形	1.10	(0.68)	0.17	縄文土器片	縄文	
221	D c 53	円形	0.45	0.45	0.11	石器	縄文	
222	D b 53	円形	0.49	0.42	0.24		縄文	
223	D g 52	隅丸長方形	0.41	0.39	不明		不明	
224	D g 51	(円形)	0.51	(0.41)	0.31		縄文	
225	D b 53	円形	2.11	2.04	0.51	縄文土器片 石器	縄文前期	
226	D b 54	円形	1.56	1.34	不明	石器	縄文	
227	D d 55	円形	1.35	1.26	0.36	縄文土器片	縄文	
228	D e 55	円形	0.88	0.81	不明		縄文	
229	D g 56	長円形	1.73	1.04	不明		縄文	
230	D i 55	(隅丸方形)	1.58	(0.73)	0.23	縄文土器片 石器	縄文中期	
231	D i 50	(円形)	0.75	0.56	不明		縄文	
232	D i 50	円形	0.74	0.60	不明		縄文	
233	D i 49	不定円形	1.16	0.93	不明	石器	縄文	
234	D i 49	円形	0.53	0.46	不明	石器	縄文	
235	D i 49	長円形	1.55	1.23	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
236	De・Df53	(隅丸長方形)	1.25	不明	不明		縄文	
237	D i 49	円形	0.68	(0.46)	不明		縄文	
238	D i 49	長円形	1.51	0.97	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
239	D i 48	円形	1.23	0.93	不明	縄文土器片 石器	縄文	

第2章 検出された遺構と遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
240	D i 48	円形	0.47	0.43	不明		縄文	
241	D i 48	(円形)	1.22	(0.86)	0.34	縄文土器片 石器	縄文中期	
242	D i 47	円形	1.10	1.00	0.40	石器	縄文	
243	D j 47	円形	1.00	1.00	0.55	石器	縄文	
244	D b 52	(長円形)	不明	0.50	0.17		縄文	
245	D j 47	円形	1.27	1.26	0.29	縄文土器片 石器	縄文中期	
246	D e 50	円形	0.56	0.45	不明		縄文	
247	D e 51	円形	0.50	0.47	不明	縄文土器片 石器	縄文	
248	D i 47	円形	0.98	0.78	0.48	石器	縄文	
249	D j 47	円形	0.95	0.80	0.54	石器	縄文	
250	D i 47	円形	0.35	0.35	0.55		縄文	
251	D j 46	不定形	1.27	0.98	0.53		不明	
252	D i 47	(円形)	0.55	(0.32)	0.18		縄文	
253	D i 46	円形	0.59	0.43	0.55	石器	縄文	
254	D i 47	(長円形)	1.28	(0.64)	0.62		縄文	
255	D j 47	円形	0.53	0.54	0.20	縄文土器片	縄文中期	
256	D g 51	不定円形	2.03	1.65	0.26	縄文土器片 石器	縄文中期	
257	D i 50	円形	0.87	0.85	0.39	石器	縄文	
258	D e 53	不整形	0.60	0.60	0.23		縄文	
259	D f 48	円形	0.35	0.35	不明		縄文	
260	D i 46	長円形	1.08	0.90	不明	縄文土器片 石器	縄文	
261	D i 46	洋梨形	0.96	0.72	0.30	縄文土器片 石器	縄文中期	
262	D i 47	円形	0.58	0.56	0.15		縄文	
263	D h 47	円形	0.95	0.73	0.12	縄文土器片 石器	縄文中期	
264	D h 46	円形	0.89	0.80	0.80	縄文土器片 石器	縄文中期	
265	D h 47	(円形)	1.03	(0.82)	0.10	縄文土器片	縄文	
266	D i 47	不定長円形	0.50	0.32	0.52		縄文	
267	D i 46	円形	1.14	0.92	0.32	縄文土器片 石器	縄文	
268	D i 48	(円形)	0.82	(0.70)	不明	縄文土器片	縄文	
269	D f 48	円形	0.35	0.35	0.25	石器	縄文	
270	D i 49	円形	0.70	0.67	不明		縄文	
271	D i 50	円形	0.75	0.68	不明		縄文	
272	D i 50	円形	0.68	0.47	不明		縄文	
273	D i 47	長円形	0.87	0.70	0.10	縄文土器片 石器	縄文	
274	D i 47	円形	0.93	0.88	0.25	縄文土器片	縄文	
275	D i 47	円形	0.45	0.31	0.17		縄文	底面U字形
276	D g 48	円形	0.78	0.70	不明		縄文	底面U字形
277	D g 48	隅丸方形	0.82	0.72	0.27	縄文土器片 石器	縄文中期	
278	D h 48	長円形	1.12	0.91	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
279	D h 48	(長円形)	(1.15)	0.70	不明	縄文土器片 石器	縄文	
280	D h 48	(隅丸長方形)	(1.15)	(0.95)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
281	D h 47	隅丸方形	1.12	0.94	0.27		縄文	
282	D i 46	円形	0.85	0.72	0.13		縄文	
283	D j 46	(円形)	0.76	(0.43)	0.52		縄文	
284	D j 46	(円形)	0.34	(0.20)	0.45	石器	縄文	
285	欠番							
286	D h 46	(円形)	0.54	(0.43)	不明	縄文土器片	縄文	
287	D i 49	円形	0.50	0.40	不明		縄文	
288	D j 48	(円形)	0.67	0.31	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
289	D g 48	(円形)	2.34	(1.19)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
290	D g 54	(不整形)	(0.93)	0.89	0.27	縄文土器片 石器	縄文中期	
291	D f 53	楕円形	1.16	0.91	0.22	縄文土器片 石器	縄文中期	
292	D f 52	不定長円形	1.30	0.93	不明		縄文	
293	D g 52	円形	0.80	0.79	0.18		縄文	
294	D g 51	円形	0.53	0.48	0.09		縄文	底面U字形
295	D e 52	円形	0.70	0.65	不明		縄文	
296	D h 52	不定円形	1.02	0.88	0.53	縄文土器片 石器	縄文中期	
297	D h 52	隅丸長方形	1.15	0.74	不明		縄文	
298	D e 52	円形	0.58	0.50	不明		縄文	
299	D h 51	円形	0.66	0.58	0.18		縄文	

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
300	D h 53	不定円形	1.17	1.03	0.06	縄文土器片 石器	縄文中期	
301	D g 50	円形	1.06	0.93	0.75	縄文土器片 石器	縄文中期	やや袋状
302	D h 51	円形	0.85	0.70	0.25		縄文	
303	D h 51	円形	0.90	0.60	0.26		縄文	
304	D i 51	円形	0.80	0.80	不明		縄文	袋状
305	D i 51	円形	0.80	0.70	不明		縄文	
306	D i 51	円形	0.80	0.77	不明		縄文	
307	D i 51	隅丸方形	0.90	0.90	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
308	D h 51	不定円形	1.10	0.90	0.14		縄文	
309	D i 50	円形	0.90	0.80	0.60	縄文土器片	縄文	
310	D h 53	円形	1.12	0.98	0.15	縄文土器片 石器	縄文中期	
311	D i 51	不定形	1.40	0.80	不明	石器	縄文	
312	D e 52	不定円形	1.00	0.78	0.09		縄文	
313	D h 51	不定円形	1.00	1.00	0.18		縄文	中央に Pit 有り
314	D g 51	不定円形	0.81	0.73	0.22		縄文	
315	欠番							
316	D g 50	(不定円形)	1.45	(0.92)	0.38		縄文	
317	D g 50	不定長円形	1.63	1.15	0.29	縄文土器片 石器	縄文中期	
318	D g 50	不定円形	1.08	0.93	0.31		縄文	
319	D i 50	円形	1.10	1.00	不明		縄文	袋状
320	D h 50	(円形)	1.05	(0.74)	0.51	縄文土器片 石器	縄文中期	
321	D h 50	長円形	1.45	1.05	0.21	縄文土器片 石器	縄文	
322	D h 47	長円形	0.55	0.42	0.15		縄文	
323	D h 46	隅丸方形	0.40	0.33	0.09		不明	
324	D i 51	(隅丸方形)	0.78	(0.62)	不明		縄文	
325	D i 51	不定円形	0.76	0.72	不明		縄文	
326	D h 49	円形	0.80	0.68	不明		縄文	
327	Dh・Di52	長円形	(0.78)	0.70	不明		縄文	
328	D h 52	隅丸菱形	0.55	0.48	不明		縄文	
329	D h 52	(長円形)	(1.40)	1.12	不明		縄文	
330	D h 52	円形	0.97	0.78	不明		縄文	
331	D g 44	長円形	0.45	0.40	0.17		縄文	
332	D g 46	円形	1.00	0.90	0.51		縄文	
333	D g 45	円形	0.65	0.60	不明		縄文	
334	D i 46	円形	0.98	0.95	0.11	石器	縄文	
335	D g 45	隅丸長方形	1.00	0.75	0.68	縄文土器片 石器	縄文中期	
336	D i 46	長円形	0.45	0.35	0.06		縄文	
337	D g 45	円形	0.70	0.65	0.27		縄文	
338	D i 45	長円形	0.95	0.75	0.40	石器	縄文	
339	D i 44	円形	0.55	0.55	0.18		縄文	
340	D g 44	円形	0.90	0.90	0.28	縄文土器片 石器	縄文中期	
341	D i 45	不定円形	0.90	0.75	0.06	石器	縄文	
342	D i 45	隅丸方形	1.00	1.10	0.23	縄文土器片 石器	縄文中期	
343	D i 49	隅丸方形	1.15	1.04	不明	縄文土器片	縄文中期	
344	D g 46	円形	0.80	0.75	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
345	D i 45	円形	0.45	0.45	0.12	石器	縄文	
346	D g 45	(円形)	0.55	(0.29)	0.07		縄文	
347	D g 46	(円形)	0.85	(0.65)	0.47	縄文土器片 石器	縄文中期	
348	D g 45	(円形)	0.48	(0.25)	不明		縄文	
349	D g 45	楕円形	1.00	0.73	0.67	縄文土器片 石器	縄文	
350	D i 45	(円形)	(1.00)	0.95	0.02		縄文	
351	D i 55	不定形	不明	不明	不明	軟質陶器	中世	底面凹凸あり
352	D h 54	円形	1.55	1.41	0.50	石器	縄文	
353	D h 54	隅丸長方形	1.21	0.91	0.45	石器	縄文	底面U字形
354	D g 49	長円形	0.91	0.65	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
355	D e 52	円形	0.40	0.38	不明		縄文	
356	D g 50	円形	0.88	0.86	不明	石器	縄文	
357	D g 49	円形	0.85	0.83	不明		縄文	
358	D e 52	隅丸方形	0.57	0.55	不明		縄文	
359	D g 49	長円形	0.93	0.74	不明	縄文土器片	縄文中期	

第2章 検出された遺構と遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
360	D d 51	円形	0.65	0.54	0.19	石器	縄文	底面U字形
361	D h 49	(円形)	1.29	(0.45)	不明		縄文	
362	D h 49	洋梨形	0.95	0.57	不明		縄文	
363	D h 49	不定円形	0.75	0.72	不明		縄文	
364	D i 50	長円形	1.15	0.80	不明	縄文土器片	縄文	
365	D h 48	長円形	0.77	0.55	不明		縄文	
366	D h 49	(不定形)	1.20	(0.78)	不明	石器	縄文	底面凹凸あり
367	D g 49	円形	0.64	0.61	不明		縄文	
368	D h 49	(長円形)	(1.61)	(1.24)	不明	石器	縄文	
369	D i 45	(円形)	0.99	(0.58)	0.09		縄文	
370	D i 45	長円形	0.50	0.40	不明		縄文	
371	D i 45	円形	0.54	0.45	不明	石器	縄文	
372	D h 45	(不定円形)	0.89	0.69	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
373	D i 45	(円形)	0.92	0.56	0.10		縄文	
374	D h 47	(円形)	0.76	(0.42)	不明		縄文	
375	D h 47	(不定形)	(0.29)	(0.39)	不明		縄文	
376	D h 47	(円形)	0.73	(0.50)	不明	縄文土器片	縄文中期	
377	D h 47	円形	0.39	0.34	不明		縄文	
378	D i 46	不整円形	0.92	0.83	不明		縄文	
379	D i 47	(円形)	0.49	0.35	不明	石器	縄文	
380	D i 47	円形	0.82	0.77	0.40	石器	縄文	
381	D f 52	円形	0.85	0.70	不明		縄文	
382	D h 52	楕円形	0.57	0.38	不明		縄文	
383	D i 46	隅丸長方形	1.10	0.80	0.24	縄文土器片 石器	縄文中期	
384	D i 46	(長円形)	1.15	0.60	0.20		縄文	
385	D i 46	(円形)	(0.72)	(0.58)	0.08	縄文土器片	縄文中期	
386	D h 46	(不定形)	(1.07)	(0.51)	0.13	縄文土器片	縄文	
387	D g 49	(円形)	0.77	0.75	不明	縄文土器片	縄文中期	
388	D i 45	(隅丸長方形)	0.96	(0.97)	(0.12)	縄文土器片 石器	縄文中期	
389	D h 49	(隅丸長方形)	(1.02)	(0.92)	不明		縄文	
390	D i 47	不整円形	0.95	0.80	0.66	縄文土器片 石器	縄文中期	
391	D g 50	不整長円形	1.22	0.81	0.18	石器	縄文	
392	不明	不明	不明	不明	不明	縄文土器片 石器	縄文	
393	Dh・Di52	長円形	0.55	0.42	不明	石器	縄文	
394	D f 51	不整円形	1.00	0.95	0.42	縄文土器片 石器	縄文	
395	D i 52	隅丸長方形	0.90	0.75	不明		縄文	
396	D e 52	(長円形)	0.70	(0.32)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
397	D g 48	円形	0.40	0.40	0.29		縄文	
398	D e 53	円形	1.02	0.97	不明		縄文	
399	D g 51	(円形)	(0.75)	(0.80)	0.29		縄文	
400	D h 52	長円形	0.60	0.46	不明		不明	掘り方2段
401	D f 55	(隅丸長方形)	1.04	(0.90)	0.25	縄文土器片 石器	縄文	
402	D h 45	(円形)	0.50	(0.39)	0.22		縄文	
403	D e 52	円形	0.50	0.48	0.13		縄文	
404	D f 52	長円形	2.35	1.53	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
405	D h 50	円形	0.77	0.75	不明		縄文	
406	D h 50	不定円形	1.30	1.10	不明	縄文土器片	縄文	
407	D h 50	円形	不明	0.65	不明	石器	縄文	
408	D h 50	不定円形	0.95	1.00	不明	石器	縄文	
409	D h 50	隅丸長方形	2.10	1.00	不明	縄文土器片	縄文	
410	D h 49	円形	0.91	0.80	不明		縄文	
411	D h 51	不定形	1.21	1.07	0.30		縄文	
412	D h 48	長円形	1.20	0.65	不明	縄文土器片	縄文中期	
413	D h 48	円形	0.70	0.70	不明		縄文	
414	D f 53	長円形	1.01	0.77	不明	石器	縄文	
415	D f 53	長方形	1.16	0.58	0.20	縄文土器片 石器	縄文中期	
416	D h 49	長円形	0.98	0.46	不明	石器	縄文	
417	D g 51	隅丸長方形	0.76	0.68	0.17		縄文	
418	D g 49	(長円形)	(0.77)	(0.60)	0.28		縄文	
419	D i 51	(円形)	(0.60)	不明	不明	石器	縄文	

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
420	D i 51	円形	1.28	0.99	0.12	石器	縄文	やや袋状
421	D h 51	不定形	0.90	0.45	0.73		縄文	
422	D e 53	円形	0.70	0.62	0.24		縄文	
423	D d 52	長円形	0.97	0.80	0.73	縄文土器片 石器	縄文中期	やや袋状
424	D d 52	円形	0.65	0.60	0.44		縄文	
425	D d 53	円形	0.52	0.50	0.41		縄文	
426	D d 52	円形	0.93	0.80	0.34		縄文	
427	D d 52	円形	0.59	0.50	0.33	石器	縄文	
428	D e 53	円形	1.20	1.09	0.43		縄文	
429	D e 53	円形	0.45	0.44	0.36		縄文	
430	D e 52	円形	0.86	0.80	0.60	縄文土器片 石器	縄文中期	
431	D e 52	不定形	1.82	1.06	0.35		縄文	
432	D e 53	円形	(0.70)	(0.65)	0.29		縄文	
433	D f 52	円形	0.70	0.65	0.35	石器	縄文	
434	D f 52	(円形)	0.55	(0.50)	0.21		縄文	
435	D f 52	円形	0.47	0.40	0.18		縄文	
436	D h 51	円形	1.00	0.84	0.14		縄文	
437	D f 51	円形	0.72	0.62	0.39		縄文	
438	D f 51	円形	0.35	0.30	0.46	石器	縄文	
439	D f 51	円形	0.42	0.30	0.47		縄文	
440	D f 51	円形	0.45	0.40	0.44		縄文	
441	D f 51	円形	0.30	0.23	0.34		縄文	
442	D f 52	円形	0.55	0.50	0.40	縄文土器片 石器	縄文中期	
443	D e 53	円形	1.80	1.60	0.35	石器	縄文	
444	D d 52	(長円形)	(1.12)	0.87	0.78	縄文土器片 石器	縄文中期	
445	D d 52	(長円形)	(0.70)	0.45	0.41	縄文土器片 石器	縄文中期	
446	D e 52	円形	1.17	1.12	0.65	縄文土器片	縄文中期	
447	D d 52	長円形	0.65	0.53	0.40		縄文	
448	D f 53	円形	1.10	0.91	0.50	石器	縄文	
449	D f 51	(不定形)	0.77	(0.73)	0.19		縄文	
450	D g 51	(円形)	0.85	0.61	0.23		縄文	
451	D f 51	楕円形	0.51	0.46	0.50		縄文	
452	D e 52	円形	0.80	0.80	0.40		縄文	掘り方2段
453	D d 52	円形	0.60	0.60	0.61	石器	縄文	袋状
454	D f 48	円形	1.19	1.15	0.41		縄文	
455	D g 48	長円形	1.15	0.97	0.43		縄文	
456	D g 48	長円形	0.77	0.66	0.36		縄文	
457	D g 48	円形	0.50	0.48	0.31		縄文	
458	D g 47	不整円形	0.80	0.70	0.37	石器	縄文	
459	D f 50	円形	0.67	0.67	0.41		縄文	
460	D g 50	円形	1.40	1.20	0.40	石器	縄文	
461	D g 50	円形	0.53	0.45	0.54	石器	縄文	
462	D g 50	円形	0.65	0.65	0.20		縄文	
463	D g 50	円形	0.30	0.30	0.46		縄文	
464	D e 52	(円形)	1.01	0.69	0.19	石器	縄文	
465	D e 53	隅丸方形	1.31	1.23	0.44		縄文	
466	D g 49	不定長円形	0.93	0.75	0.20	石器	縄文	
467	D g 49	円形	0.84	0.75	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
468	D f 53	円形	0.83	(0.83)	0.30	縄文土器片 石器	縄文中期	
469	D e 51	円形	1.30	1.10	0.45		縄文	
470	D e 51	不定長円形	0.61	0.38	0.45		縄文	
471	D c 52	円形	1.02	0.88	0.45		縄文	
472	D c 51	隅丸方形	1.40	1.18	0.41		縄文	
473	D c 51	隅丸方形	1.30	1.00	0.30	縄文土器片	縄文	
474	D c 52	円形	0.70	0.65	0.46		縄文	
475	D c 52	円形	0.99	0.97	0.32	石器	縄文	
476	D c 53	円形	0.73	0.70	0.95		縄文	
477	D d 52	円形	0.70	0.70	0.30		縄文	
478	D d 52	円形	0.72	0.68	0.37	石器	縄文	
479	D e 46	円形	1.36	1.25	0.38		縄文	

第2章 検出された遺構と遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
480	D h 51	円形	0.84	0.74	不明		縄文	
481	D c 53	楕円形	0.74	0.61	0.27		縄文	
482	D c 52	(方形)	(1.17)	(1.10)	0.37	縄文土器片 石器	縄文	
483	D c 52	長円形	3.03	1.70	0.44	縄文土器片 石器	縄文中期	
484	D f 50	不定円形	0.75	0.60	0.33		縄文	
485	D f 50	円形	1.05	1.00	0.50	縄文土器片 石器	縄文中期	
486	D d 51	円形	0.65	0.61	0.40		縄文	
487	D d 51	隅丸長方形	1.15	0.73	0.31		縄文	
488	D c 52	(隅丸方形)	(1.45)	(1.15)	0.21	縄文土器片 石器	縄文中期	
489	D c 52	(長円形)	(3.00)	(1.10)	0.46	石器	縄文中期	
490	D d 52	隅丸方形	1.20	0.97	0.57	縄文土器片 石器	縄文中期	
491	D c 51	(不定形)	2.04	(1.70)	0.49	縄文土器片 石器	縄文中期	
492	D h 51	(円形)	0.78	(0.68)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
493	D g 48	隅丸方形	1.00	0.77	0.53	石器	縄文	
494	D g 48	不定形	0.75	0.55	0.37		縄文	
495	D h 47	円形	0.87	(0.75)	0.32	石器	縄文	
496	D i 45	(円形)	(1.25)	1.05	0.20	縄文土器片 石器	縄文中期	
497	D g 49	長円形	0.86	0.64	0.20		縄文	
498	D f 48	円形	1.30	1.15	0.55	縄文土器片 石器	縄文中期	
499	D f 48	不定形	1.34	1.20	0.50	縄文土器片 石器	縄文中期	
500	D e 51	不定長方形	1.28	0.76	0.28	縄文土器片 石器	縄文中期	
501	D e 52	(長円形)	1.61	(0.77)	0.28		縄文	
502	D e 52	隅丸長方形	0.80	0.70	0.28	石器	縄文	
503	D e 52	隅丸長方形	0.89	0.68	0.65	縄文土器片 石器	縄文中期	
504	D e 48	円形	0.96	0.87	0.23	縄文土器片	縄文中期	
505	D f 48	不定形	1.08	0.77	0.36	石器	縄文	
506	D f 48	(円形)	0.59	0.61	0.42	縄文土器片 石器	縄文中期	
507	欠番							
508	D d 52	(楕円形)	(0.96)	(0.74)	0.21	縄文土器片 石器	縄文	
509	D d 51	円形	1.18	0.95	0.35		縄文	
510	D d 52	円形	0.55	0.52	0.36		縄文	
511	D e 46	円形	0.96	0.89	0.32	石器	縄文	
512	D e 45	円形	0.85	0.76	0.17	石器	縄文	
513	D e 45	円形	0.98	0.90	0.05	縄文土器片 石器	縄文中期	
514	D f 45	円形	0.48	0.48	0.30		縄文	
515	D e 45	不整円形	0.93	0.72	0.52	石器	縄文	底面U字形
516	D e 51	円形	0.92	0.80	0.40	縄文土器片 石器	縄文中期	
517	D d 51	長円形	0.90	0.66	0.36		縄文	
518	D d 52	長円形	0.84	0.74	0.26	石器	縄文	
519	D e 51	(長円形)	0.82	0.70	0.03	縄文土器片 石器	縄文中期	
520	D e 51	円形	0.95	0.75	0.36	石器	縄文	
521	D e 52	円形	1.05	0.92	0.11	縄文土器片 石器	縄文中期	
522	D e 52	円形	0.58	0.57	0.13		縄文	掘り方2段
523	D d 52	隅丸長方形	0.95	0.77	0.59	縄文土器片 石器	縄文中期	
524	D c 52	長円形	1.70	0.85	0.32	縄文土器片 石器	縄文	
525	D d 52	円形	0.49	0.49	0.23		縄文	
526	D d 52	隅丸方形	0.59	0.57	0.34		縄文	
527	D d 52	隅丸方形	0.65	0.58	0.31		縄文	
528	D d 51	不整円形	0.73	0.61	0.12	縄文土器片 石器	縄文	
529	D e 51	長円形	0.82	(0.56)	0.20	縄文土器片 石器	縄文中期	
530	D d 50	隅丸長方形	1.27	0.75	0.17	縄文土器片 石器	縄文	
531	D d 50	円形	1.07	1.05	0.22	縄文土器片 石器	縄文中期	
532	D e 51	隅丸長方形	1.54	0.88	0.16	石器	縄文	
533	D d 51	不整円形	(0.55)	0.47	0.16		縄文	
534	D d 51	円形	0.85	0.73	0.30		縄文	
535	D f 52	不定形	1.38	1.04	0.29	縄文土器片	縄文中期	
536	D d 51	円形	0.94	0.90	0.13		縄文	
537	D c 50	(円形)	1.05	(0.68)	0.15	縄文土器片 石器	縄文中期	
538	D e 50	円形	0.89	0.84	0.48	石器	縄文	
539	D c 50	円形	1.09	0.89	0.20	縄文土器片	縄文中期	

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
540	D c 50	(円形)	0.90	(0.60)	0.18	縄文土器片 石器	縄文	
541	D d 50	不定形	0.94	0.80	0.50	縄文土器片 石器	縄文中期	
542	D e 52	円形	0.37	0.37	0.15		縄文	
543	D g 52	円形	0.90	0.78	0.18	縄文土器片	縄文中期	
544	D e 51	円形	0.82	0.70	0.32		縄文	掘り方2段
545	D f 48	不整円形	0.77	0.62	0.23	縄文土器片	縄文	
546	D f 48	(隅丸方形)	(0.94)	(0.68)	0.17		縄文	
547	D e 48	円形	0.76	0.72	0.41	縄文土器片 石器	縄文中期	
548	D e 48	(円形)	0.80	0.70	0.27		縄文	
549	D e 48	(円形)	0.84	0.74	0.22		縄文	
550	D i 46	円形	0.80	0.80	0.25	石器	縄文	
551	D e 46	円形	0.55	0.46	0.15		縄文	
552	D e 45	長円形	0.51	0.35	0.18		縄文	
553	D e 45	円形	0.45	0.44	0.24		縄文	
554	D e 45	楕円形	0.31	0.25	0.14		縄文	
555	D e 45	円形	0.59	0.57	0.23		縄文	
556	D h 44	円形	1.20	1.15	0.20	縄文土器片	縄文中期	
557	D h 44	長円形	1.40	0.85	0.17	縄文土器片 石器	縄文	
558	D h 44	円形	1.20	1.05	0.16	縄文土器片 石器	縄文中期	
559	D h 43	円形	1.04	(0.97)	0.22	縄文土器片 石器	縄文中期	
560	D h 44	円形	1.05	0.90	0.15		縄文	
561	D h 44	(長円形)	(1.20)	0.86	0.20	縄文土器片 石器	縄文中期	
562	D h 43	不定円形	1.10	0.90	0.15	石器	縄文	
563	D h 44	円形	0.41	0.39	0.15		縄文	
564	D h 44	円形	0.30	0.26	0.18		縄文	
565	D h 44	円形	0.45	0.40	0.13		縄文	
566	D h 44	円形	0.28	0.28	0.21		縄文	
567	D e 46	円形	0.94	0.85	0.47		縄文	
568	D g 46	(円形)	1.33	(0.90)	0.05	石器	縄文	
569	D g 44	円形	1.25	1.15	0.37	縄文土器片 石器	縄文中期	
570	欠番							
571	欠番							
572	D i 45	円形	0.92	0.86	0.50	縄文土器片 石器	縄文中期	
573	D h 45	円形	1.00	0.90	0.59	縄文土器片 石器	縄文中期	
574	D h 45	楕円形	1.17	1.06	0.13	縄文土器片 石器	縄文中期	
575	D h 44	(長円形)	(1.82)	(0.95)	0.34	石器	縄文	
576	D g 45	円形	(1.17)	1.10	0.18	石器	縄文	
577	D g 46	円形	0.56	0.51	0.26	石器	縄文	
578	D g 46	円形	1.15	1.02	0.06	縄文土器片 石器	縄文	
579	D h 44	円形	0.60	0.45	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
580	D g 46	円形	0.45	0.43	0.20		縄文	
581	D g 46	円形	0.35	0.32	0.16		縄文	底面U字形
582	D g 46	円形	0.72	0.65	0.23		縄文	
583	D g 46	円形	0.42	0.34	0.12		縄文	
584	D g 46	円形	0.49	0.48	0.27		縄文	
585	D g 45	円形	0.93	0.90	0.21		縄文	
586	欠番							
587	D g 46	円形	0.36	0.30	0.09		縄文	底面U字形
588	D f 46	不整円形	1.36	1.19	0.25	石器	縄文	
589	D f 46	不整円形	1.17	0.97	0.14	縄文土器片 石器	縄文中期	
590	D f 46	円形	0.35	0.29	0.22		縄文	底面U字形
591	D f 46	円形	0.97	0.88	0.51	石器	縄文	
592	D f 46	円形	0.39	0.38	0.12		縄文	
593	D f 46	長円形	0.37	0.30	0.11		縄文	
594	D e 45	不定形	1.08	1.00	0.23	石器	縄文	
595	欠番							
596	D e 47	円形	0.94	0.86	0.42	縄文土器片 石器	縄文中期	
597	D e 47	円形	0.85	0.79	0.25		縄文	
598	D e 47	円形	1.01	0.92	0.25	石器	縄文	
599	D e 46	円形	0.40	0.38	0.23		縄文	

第2章 検出された遺構と遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
600	D e 46	円形	0.55	0.50	0.42		縄文	
601	D e 47	円形	1.10	1.05	0.12	縄文土器片 石器	縄文中期	
602	D e 46	不整円形	0.67	0.40	0.17	縄文土器片	縄文中期	
603	D e 46	隅丸方形	0.25	0.22	0.08		縄文	
604	D e 46	長円形	0.30	0.18	0.10		縄文	
605	D e 46	円形	1.53	1.53	0.11	縄文土器片 石器	縄文中期	
606	D e 46	円形	0.48	0.45	0.38		縄文	底面U字形
607	D e 47	不明	不明	不明	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
608	D e 45	隅丸長方形	0.63	0.55	0.08	石器	縄文	
609	D e 45	円形	0.27	0.27	0.09		縄文	
610	D e 45	円形	0.18	0.15	0.08		縄文	
611	De・Df45	隅丸方形	0.42	0.35	0.19		縄文	
612	D f 45	不定形	0.27	0.19	0.15		縄文	
613	D f 45	円形	0.17	0.15	0.10		縄文	
614	D f 45	長円形	0.33	0.25	0.22		縄文	
615	D e 45	円形	0.97	0.82	0.23	石器	縄文	
616	D f 45	隅丸方形	0.30	0.26	0.11		縄文	
617	D f 45	(円形)	(0.60)	0.55	0.08	石器	縄文	
618	De・Df45	隅丸方形	0.19	0.16	0.11		縄文	
619	D g 47	(円形)	(0.50)	(0.47)	0.15	石器	縄文	
620	D g 47	円形	0.27	0.26	0.13		縄文	
621	D g 47	楕円形	0.70	0.64	0.38	石器	縄文	
622	D g 47	円形	0.60	0.55	0.40	石器	縄文	
623	D g 47	(円形)	0.78	(0.70)	0.23	石器	縄文	
624	D g 47	(長円形)	(1.34)	0.84	0.21	縄文土器片 石器	縄文中期	
625	D g 48	円形	0.28	0.27	0.15	石器	縄文	
626	D g 48	隅丸長方形	1.09	0.90	0.12		縄文	
627	D g 48	隅丸長方形	0.78	0.50	0.30	縄文土器片	縄文中期	
628	D g 48	長円形	0.70	0.56	0.16	縄文土器片 石器	縄文中期	
629	欠番							
630	D g 47	円形	0.86	0.78	0.04	石器	縄文	
631	D e 47	円形	0.52	0.49	0.14		縄文	
632	D h 44	隅丸長方形	0.50	0.38	0.09	石器	縄文	
633	D h 44	(円形)	(0.70)	0.65	0.24		縄文	
634	D h 44	(長円形)	(0.60)	0.44	0.18	石器	縄文	
635	D h 44	隅丸長方形	0.70	0.40	0.30	石器	縄文	
636	D h 44	(円形)	0.90	(0.84)	0.17		縄文	
637	D h 44	円形	0.35	0.35	0.08		縄文	
638	D f 45・46	円形	1.34	0.94	0.45	石器	縄文	
639	D g 47	(長円形)	(1.13)	(1.10)	不明	縄文土器片 石器	縄文前期	
640	D f 44	長円形	0.47	0.35	0.20		縄文	
641	欠番							
642	欠番							
643	D h 45	(円形)	(0.98)	0.84	0.12	縄文土器片 石器	縄文中期	
644	D g 47	(円形)	(0.98)	0.35	0.38	縄文土器片 石器	縄文中期	
645	D e 46・47	(長円形)	(0.56)	0.42	0.10	縄文土器片 石器	縄文中期	
646	D i 44	長円形	1.10	0.95	0.34	石器	縄文	底面凹凸あり
647	D i 44	長円形	0.55	0.30	0.40		縄文	底面U字形
648	D i 44	(円形)	不明	0.90	0.06	石器	縄文	
649	D g 47	(長円形)	(0.62)	(0.84)	0.38		縄文	
650	D g 47	(円形)	(0.90)	0.74	0.36		縄文	
651	D e 50	(長円形)	0.58	(0.98)	0.31	縄文土器片 石器	縄文	
652	D e 50	(隅丸長方形)	1.30	(0.86)	0.36	縄文土器片 石器	縄文中期	
653	D d 51	不定長円形	0.17	0.87	0.38	縄文土器片 石器	縄文中期	
654	D d 51	不定形	1.37	1.23	0.27	縄文土器片 石器	縄文中期	
655	D f 48	長円形	1.14	0.78	0.34	縄文土器片 石器	縄文中期	
656	D c 51	円形	0.94	0.84	0.32	石器	縄文	
657	D c 52	不整円形	1.06	0.80	0.10	石器	縄文	
658	欠番							
659	欠番							

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
660	D c 52	円形	0.75	0.70	0.05		縄文	
661	D f 48	隅丸長方形	1.58	0.78	0.18	縄文土器片 石器	縄文中期	
662	D f 48	長円形	0.40	0.34	0.15	石器	縄文	
663	D f 48	円形	0.70	0.64	0.33		縄文	
664	D f 48	(長円形)	1.04	(0.78)	0.18	石器	縄文	
665	D g 48	円形	0.84	0.74	0.18	縄文土器片 石器	縄文中期	
666	D f 48	円形	0.75	0.65	0.25	石器	縄文	
667	D f 48	(不定形)	1.16	0.97	0.31	石器	縄文	
668	D f 48	円形	0.62	0.60	0.28		縄文	やや袋状
669	D f 48	不整円形	0.83	0.82	0.17	石器	縄文	
670	D c 51	円形	0.92	0.87	0.32	縄文土器片	縄文	
671	D d 49	長円形	0.10	0.84	不明	縄文土器片	縄文中期	やや袋状
672	D d 49	長円形	1.04	0.84	不明	縄文土器片	縄文中期	
673	D f 50	長円形	1.05	0.80	0.55	石器	縄文	
674	D f 50	円形	0.70	0.70	0.20	石器	縄文	
675	D f 48	円形	0.60	0.60	0.15		縄文	
676	D e 48	円形	0.77	0.74	0.44	縄文土器片	縄文中期	
677	D e 51	長円形	1.05	0.80	0.15	縄文土器片 石器	縄文中期	
678	D e 51	円形	0.60	0.54	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
679	D f 52	不整五角形	1.18	1.04	0.53	石器	縄文	
680	D f 53	長円形	1.40	0.94	0.27	縄文土器片 石器	縄文	
681	D e 54	(不整円形)	1.40	(1.26)	0.10	縄文土器片 石器	縄文	
682	D g 51	円形	0.80	0.74	0.15	縄文土器片	縄文中期	
683	D g 52	円形	0.75	0.72	0.15	縄文土器片	縄文中期	
684	D b 51	長円形	0.64	0.54	0.10	縄文土器片 石器	縄文中期	
685	D b 50	(不整円形)	(0.90)	(0.75)	0.29		縄文	
686	D c 49・50	(円形)	(0.96)	(0.74)	不明		縄文	
687	D f 52	円形	1.30	1.25	0.40	縄文土器片 石器	縄文中期	
688	D e 50・51	隅丸長方形	1.28	1.16	0.34	縄文土器片	縄文中期	
689	D e 50	隅丸長方形	0.84	0.70	0.23		縄文	
690	D e 50	隅丸長方形	0.84	0.78	0.30	石器	縄文	
691	D e 50・51	隅丸方形	1.40	0.57	0.40	縄文土器片 石器	縄文	
692	欠番							
693	D f 48	(不整円形)	(0.60)	(0.58)	0.31		縄文	
694	D e 50	円形	1.04	0.88	0.15	石器	縄文	
695	D f 50	(円形)	(1.18)	0.76	0.24	石器	縄文中期	
696	不明	不明	不明	不明	不明	縄文土器片	縄文	
697	欠番							
698	D e 51・52	円形	0.48	0.44	0.05		縄文	
699	D f 48	(円形)	0.57	0.48	0.32	縄文土器片 石器	縄文	
700	D c 49	(長円形)	(0.70)	(0.90)	0.23		縄文	
701	D c 49	長円形	1.10	0.85	0.34	縄文土器片	縄文	
702	D e 50	長円形	0.60	0.46	0.45	縄文土器片 石器	縄文前期	やや袋状
703	D c 49	楕円形	0.70	0.66	0.20	縄文土器片	縄文中期	
704	D c 50	円形	1.23	1.16	0.35	縄文土器片 石器	縄文中期	
705	D f 51	長円形	1.00	0.81	0.20	石器	縄文	
706	欠番							
707	D f 50	円形	1.05	1.05	0.15	縄文土器片 石器	縄文中期	
708	D e 50	(隅丸方形)	1.16	不明	0.16		縄文	
709	D e 51	不整円形	(1.12)	1.06	0.12	縄文土器片	縄文中期	
710	D f 49	不整方形	0.75	0.70	0.14		縄文	
711	D e 49	円形	0.70	0.60	0.24	石器	縄文	
712	D e 50	(長円形)	(1.00)	0.90	0.24		縄文	
713	D d 50	円形	1.10	1.00	0.19		縄文	
714	欠番							
715	欠番							
716	D g 50	不定形	1.31	0.78	0.33	石器	縄文	
717	D g 50	長円形	0.97	0.60	0.27	石器	縄文	
718	D f 50	長円形	1.10	0.73	0.29		縄文	
719	D e 50	不定形	1.13	0.70	0.36	縄文土器片	縄文中期	

第2章 検出された遺構と遺物

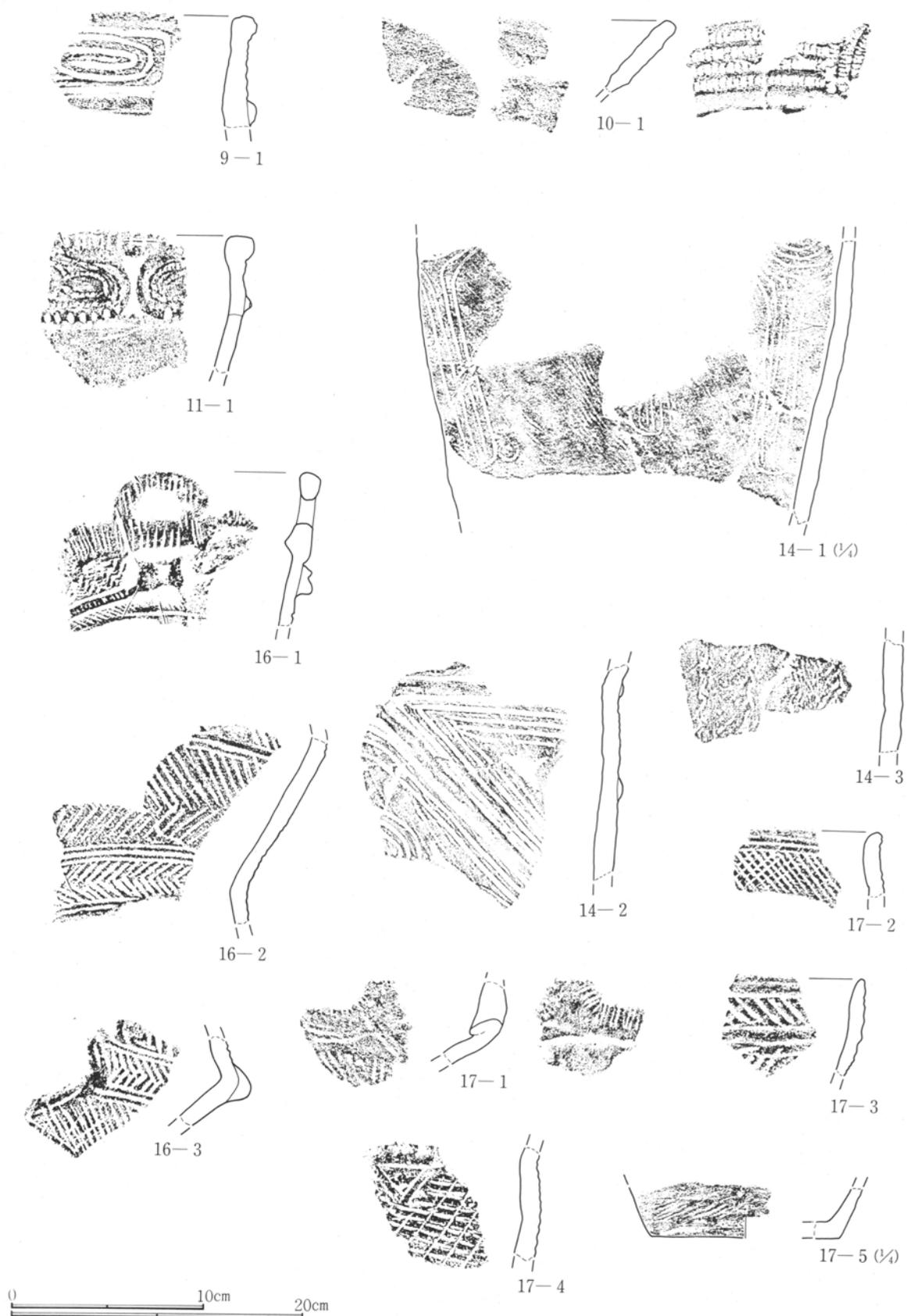
番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
720	D f 48	長円形	(0.95)	0.76	0.36	縄文土器片	縄文	
721	Df・Dg49	隅丸長方形	1.27	1.00	0.29	縄文土器片	縄文中期	
722	D e 47	円形	(0.96)	0.80	0.24		縄文	
723	D e 47	(長円形)	(0.42)	不明	0.33		縄文	
724	D e 47	(長円形)	0.60	(0.35)	0.04		縄文	
725	D e 48	長円形	0.90	(0.63)	0.20		縄文	
726	D d 50	隅丸方形	1.15	1.05	0.30	縄文土器片 石器	縄文	
727	D f 51	不定長円形	(0.79)	0.50	0.31		縄文	
728	D e 51	円形	0.54	0.53	0.54		縄文	
729	D e 51	(円形)	1.16	不明	0.26	縄文土器片 石器	縄文中期	
730	D e 51	不定円形	1.10	0.87	0.46	縄文土器片 石器	縄文中期	
731	D e 51	不定円形	1.10	1.06	0.21	縄文土器片 石器	縄文中期	
732	D e 50	長円形	0.62	0.45	0.49		縄文	
733	D e 49・50	円形	0.74	0.69	0.21	縄文土器 石器	縄文中期	
734	D e 52	(長円形)	不明	不明	0.25	縄文土器片 石器	縄文中期	
735	D f 49	不定長円形	1.25	0.90	0.43	石器	縄文	
736	D e 51	(円形)	(0.96)	0.90	0.25		縄文	
737	D d 48	長円形	1.06	0.90	0.60	縄文土器片 石器	縄文中期	
738	D d 48	(長円形)	(0.52)	(0.50)	不明	縄文土器片	縄文中期	
739	D e 49	不整円形	0.72	0.60	0.24	縄文土器片 石器	縄文中期	
740	D f 50	隅丸長方形	0.75	0.64	0.28		縄文	
741	D f 50	(円形)	0.40	不明	0.06	縄文土器片 石器	縄文	
742	D e 49	(円形)	0.92	0.76	0.21	縄文土器片	縄文中期	
743	D e 49	(隅丸長方形)	0.49	(0.46)	0.19	縄文土器片	縄文中期	
744	D e 49	長円形	0.94	0.52	0.28	石器	縄文	
745	Df・Dg50	円形	0.80	0.80	0.45	縄文土器片 石器	縄文中期	
746	D e 48・49	円形	0.90	0.79	0.11	石器	縄文	
747	D e 49	隅丸長方形	1.29	0.79	0.29	縄文土器片 石器	縄文中期	
748	D e 49	(円形)	0.65	(0.55)	0.31	縄文土器片 石器	縄文中期	やや袋状
749	D e 49	長円形	1.10	0.85	0.27	縄文土器片 石器	縄文中期	
750	D d 50	(円形)	(1.17)	1.00	0.35	縄文土器片 石器	縄文	
751	D f 45	円形	0.87	0.80	0.20	縄文土器片 石器	縄文中期	
752	D f 45	円形	0.69	0.65	0.22	石器	縄文	
753	D d 46	円形	0.80	0.56	0.37	縄文土器片	縄文中期	
754	D f 45	円形	0.48	0.47	0.38	石器	縄文	
755	D g 46	円形	0.86	0.87	0.31	縄文土器片	縄文中期	
756	D g 46	円形	0.75	0.65	0.32		縄文	
757	D g 46	円形	0.32	0.30	0.31		縄文	
758	D f 46	長円形	0.73	0.52	0.08	石器	縄文	
759	D d 46	(長円形)	(1.14)	0.96	0.21		縄文	
760	D f 46	(円形)	1.74	(1.10)	0.10	石器	縄文	
761	D g 45	長円形	0.71	0.59	0.20	石器	縄文	
762	D g 44	長円形	0.98	0.87	0.42	縄文土器片 石器	縄文中期	
763	D g 45	隅丸長方形	0.95	0.55	不明		縄文	底面凹凸あり
764	D i 44	円形	0.36	0.35	0.16		縄文	
765	D f 45	円形	0.20	0.18	0.22	縄文土器片	縄文	
766	欠番							
767	D h 44	円形	0.32	0.27	0.27	石器	縄文	
768	D g 47	(長円形)	0.90	0.65	不明	石器	縄文	
769	D g 46・47	(長円形)	0.86	(0.80)	0.03		縄文	
770	D h 44	不明	不明	不明	0.14		縄文	
771	D f 44・45	円形	(1.96)	1.80	0.18	縄文土器片 石器	縄文	
772	D f 45	不定形	(2.65)	(2.30)	0.10	縄文土器片 石器	縄文	
773	D f 45	円形	1.00	0.90	0.21		縄文	底面U字形
774	D h 45	円形	0.86	0.80	0.20	縄文土器片 石器	縄文	
775	欠番							
776	D d 42	長円形	0.55	0.36	不明		縄文	底面U字形
777	D g 43	不明	不明	不明	不明	石器	縄文	
778	欠番							
779	欠番							

第4節 土坑と出土遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ)m			出土遺物	時代	備考
780	欠番							
781	欠番							
782	欠番							
783	欠番							
784	欠番							
785	欠番							
786	欠番							
787	欠番							
788	欠番							
789	欠番							
790	欠番							
791	欠番							
792	欠番							
793	欠番							
794	欠番							
795	欠番							
796	欠番							
797	欠番							
798	欠番							
799	欠番							
800	欠番							
801	欠番							
802	不明	(円形)	不明	不明	不明	縄文土器片	縄文	
803	D c 49	長円形	0.81	0.70	0.45	石器	縄文	
804	D d 52	長円形	0.86	0.51	0.45	縄文土器片 石器	縄文	
805	D d 49	円形	0.67	0.50	0.58		縄文	
806	D d 48	円形	0.67	0.64	0.51		縄文	
807	D d 48	円形	0.53	0.48	0.30	石器	縄文	
808	D d 48	長円形	0.73	0.58	0.24	石器	縄文	
809	D d 52	(円形)	0.83	0.80	0.25		縄文	
810	D d 52	不定形	0.73	0.53	0.43	石器	縄文	
811	D c 52	円形	0.88	0.75	0.36		縄文	
812	Db・Dc52	円形	1.03	0.88	0.50	縄文土器片 石器	縄文中期	
813	D d 49	(円形)	1.02	0.75	0.31	石器	縄文	
814	D b 52	(円形)	(0.89)	(0.89)	0.12		縄文	底面に凹凸あり
815	D b 52	円形	1.17	1.05	0.59	石器	縄文	
816	D b 50	長円形	0.89	0.64	0.44		縄文	底面U字形
817	D d 49	不整円形	0.80	0.79	0.29		縄文	底面U字形
818	D d 50	円形	1.29	1.23	0.33		縄文	
819	D d 50	円形	0.90	0.90	0.07		縄文	
820	D d 50	円形	0.83	0.77	0.23		縄文	
821	D d 49	隅丸方形	1.28	1.19	不明	縄文土器片 石器	縄文	
822	D d 49	不整円形	0.55	0.50	0.16		不明	底面U字形
823	D d 49	不定長円形	0.65	0.45	0.70		縄文	
824	D c 51	円形	1.18	0.94	0.55		縄文	
825	D c 51	長円形	0.76	0.64	0.44		縄文	
826	D c 51	円形	1.06	0.98	0.24	石器	縄文	
827	D c 49	円形	0.56	0.54	0.51		縄文	
828	D d 50	長円形	0.81	0.38	0.39	石器	縄文	
829	D c 49	(長円形)	(1.54)	(1.25)	不明		縄文	
830	D c 49	長円形	0.86	0.69	不明	石器	縄文	
831	D d 48	円形	0.85	0.72	不明	縄文土器片	縄文中期	
832	D c 52	長円形	1.05	0.87	0.42		縄文	
833	D d 52	長円形	1.20	1.03	0.39	石器	縄文	
834	D d 49	円形	0.86	0.73	不明	石器	縄文	
835	D d 50	長円形	1.18	0.95	不明	縄文土器片 石器	縄文	
836	欠番							
837	D d 50	長円形	0.93	0.49	0.31		縄文	
838	D d 48	円形	0.49	0.49	不明	石器	縄文	
839	D d 49	円形	不明	不明	不明		縄文	

第2章 検出された遺構と遺物

番号	グリッド	形状	規模(長軸 短軸 深さ) m			出土遺物	時代	備考
840	D d 49	不明	(1.33)	(1.30)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
841	D c 47	(円形)	(1.14)	(0.97)	不明	縄文土器片 石器	縄文中期	
842	D c 47	(長円形)	(0.85)	0.64	不明	縄文土器片 石器	縄文	
843	D c 51	(不整円形)	1.06	(0.80)	0.34		縄文	
844	不明	円形	不明	不明	不明	縄文土器片 石器	縄文	
845	D d 48	(不定形)	(0.92)	(0.72)	不明	石器	縄文	
846	D c 48	円形	0.59	0.49	0.27	石器	縄文	
847	D d 48	(長円形)	(1.00)	(0.63)	0.38	石器	縄文	
848	D d 48	円形	0.75	0.84	0.42	石器	縄文	
849	D c 51	(円形)	(0.84)	(0.77)	不明	縄文土器片	縄文	
850	欠番							
851	D d 48	円形	0.89	0.80	0.30	縄文土器片	縄文	
852	D d 48	円形	0.39	0.39	0.30	縄文土器片 石器	縄文中期	
853	D c 51	隅丸方形	1.23	1.12	0.40	縄文土器片 石器	縄文中期	
854	D c 51	(長円形)	(0.57)	(0.45)	(0.46)	石器	縄文	
855	D d 47	隅丸方形	0.51	0.46	不明		縄文	
856	D c 51	円形	0.80	0.77	0.42		縄文	
857	D d 48	(長円形)	(0.86)	(0.74)	0.21	石器	縄文	
858	欠番							
859	D c 47	不整円形	0.47	0.40	不明		縄文	
860	D c 47	長円形	0.70	0.53	不明		縄文	
861	D d 50	不明	不明	不明	不明	石器	縄文	
862	Dd47・48	円形	0.65	0.63	0.51		縄文	
863	D d 50	(長円形)	(0.74)	(0.70)	不明		縄文	
864	D d 50	(円形)	(0.54)	(0.44)	不明		縄文	
865	D d 50	(円形)	(0.70)	(0.70)	(0.10)	縄文土器片 石器	縄文中期	
866	D d 50	円形	0.72	0.67	0.18	縄文土器片	縄文中期	
867	D c 48	(不整円形)	(0.57)	(0.48)	0.14		縄文	
868	D c 48	円形	0.60	0.50	不明		縄文	
869	D c 51	長円形	0.75	0.65	0.47		縄文	
870	D d 48	不整円形	0.70	0.60	不明	石器	縄文	
871	D c 48	円形	0.87	0.86	0.56	縄文土器片 石器	縄文中期	
872	D d 48	円形	1.04	1.00	0.57	縄文土器片 石器	縄文中期	
873	不明	不明	不明	不明	不明	縄文土器片	縄文中期	
874	不明	不明	不明	不明	不明	縄文土器片	縄文	
875	D b 51	隅丸方形	0.81	0.69	0.37		縄文	
876	D c 52	円形	0.61	0.55	0.25	石器	縄文	
877	D c 50	円形	0.77	0.66	0.27		縄文	段あり
878	D b 52・53	円形	0.71	0.63	0.33		縄文	
879	D c 51	円形	0.80	0.77	0.49	石器	縄文	
880	D b 52	長円形	0.86	0.70	0.40		縄文	
881	D c 51	長円形	1.26	0.88	0.44		縄文	
882	D b 53	円形	0.57	0.57	0.52		縄文	
883	D c 52	円形	1.03	0.90	1.30	石器	縄文	
884	不明	不明	不明	不明	不明	縄文土器片	縄文	
885	欠番							
886	欠番							
887	D e 43	不明	(0.87)	不明	0.25	縄文土器片	縄文前期	
888	D e 43	楕円形	0.54	0.51	0.31		縄文	
889	欠番							
890	D e 44	(長円形)	(1.15)	(1.00)	0.23		縄文	
891	D e 44	長円形	0.93	0.60	0.33		縄文	



第377図 土坑出土縄文土器(1)

土坑出土縄文土器

調査区内において検出された土坑は総数838基で、この内、縄文時代に属すると思われるものが810基である。時期は前期末から後期にわたるが、中期初頭に比定されるものが最も多かった。

9号土坑 (第377図、PL139)

1は口縁部片、隆帯で画された口縁部文様帯に沈線による重楕円文。

10号土坑 (第377図、PL139)

1は浅鉢型土器の口縁部。内面に連続結節文が多段施文される。

11号土坑 (第377図、PL139)

1は口縁部片、口縁部肥厚し、刻みを有す隆帯で口縁部文様帯を画し、隆帯で楕円文、内側に結節文を巡らす。

14号土坑 (第377図、PL139)

1は深鉢型土器の胴部。地文に縄文LRを縦位施文後、沈線による渦巻文と垂下文からなるモチーフを描く。2は隆線および、沈線による幾何学文により重三角文が構成され、中央部には三角の印刻文。3は胴部片である。縦位「S」字状結節文。

16号土坑 (第377図、PL139)

1は口縁部片。口縁部に環状把手。把手下位に突起文を付し、縦位沈線が施文される。2・3は横位沈線で区画し間には矢羽状文。3は屈曲部に突起文が付される。

17号土坑 (第377図、PL139)

1は口縁部片。口唇部に縦位沈線、以下縄文が施文される。2は口縁部片。口縁部に横位沈線を廻し、斜格子文。3は口縁部片。横位沈線、斜位沈線文。4は沈線による三角文、斜格子文。5は底径(13.0cm)縄文が施文される。

20号土坑 (第378図、PL139)

1は注口土器の注口部分。

22号土坑 (第378図、PL139)

1は口縁部に2本の沈線が廻る。2は鉢型土器。口縁部無文で紐線文。3は縦位弧状の集合沈線文。

23号土坑 (第378図、PL139)

1は深鉢型土器。口径(16.6cm)、口縁部、胴部地文にRLの縄文が施文される。沈線により頸部と胴下部に横位複数の沈線を廻し、4本の縦位沈線でつなぐ。区画内には多重円文を描き、縦横に連結沈線。口縁部下位に円形文を持つ。2は胴部片、全面に縄文RLが施文される。3は底部片。底径18cm。縄文が施文される。

28号土坑 (第378図、PL140)

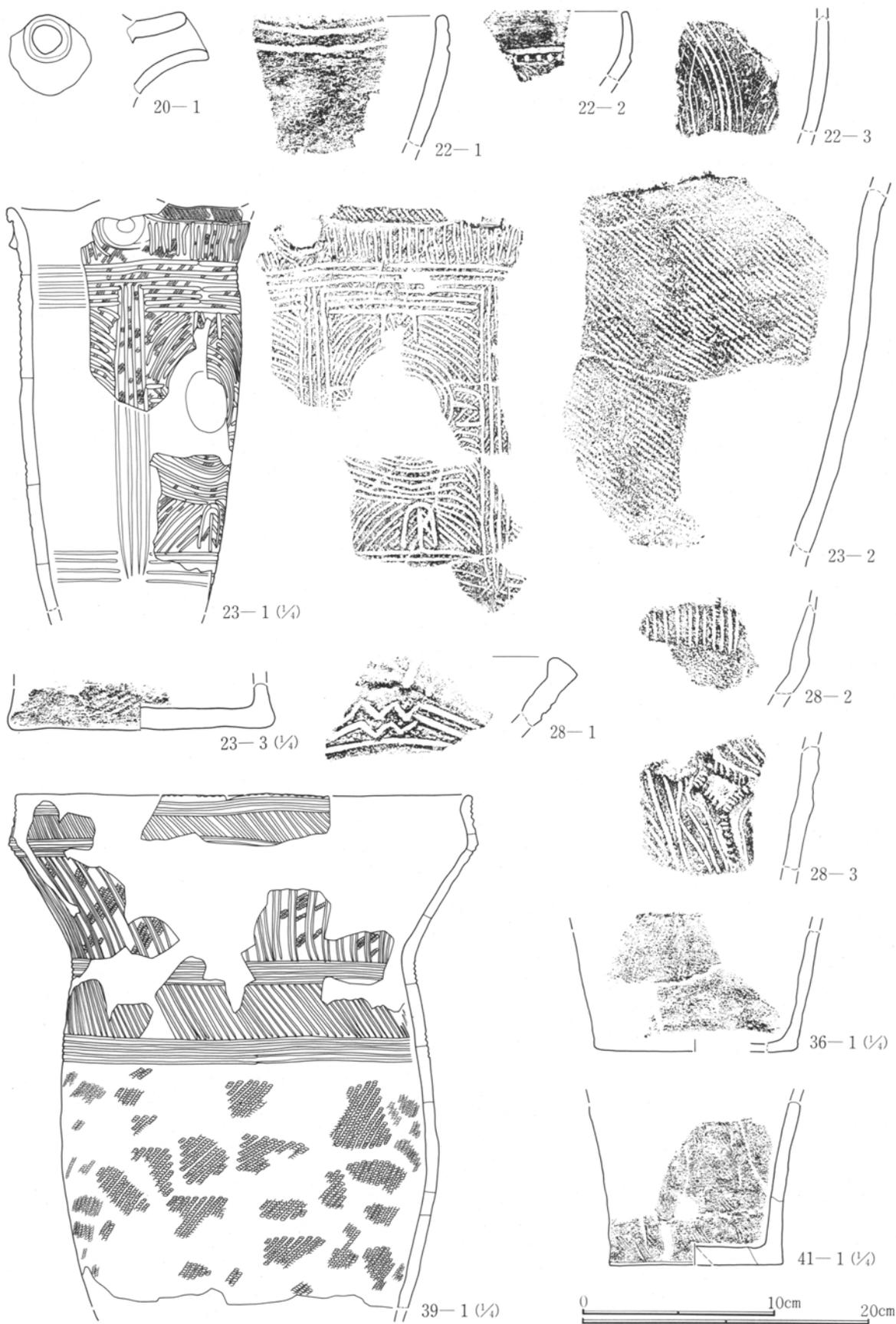
1は口縁部。口唇部内側に肥厚する。沈線による山形文。2は胴部片、縦位条線文。3は刻みを持つ隆線文、縦位沈線文。

36号土坑 (第378図、PL139)

1は底部片。底径(14.0cm)、縄文RLが縦位施文される。

39号土坑 (第378図、PL140)

1は深鉢型土器。頸部で括れ、口縁部が「く」の字に内屈する。口径31.4cm。口縁部に2段、頸部に2段の横位沈線帯を廻し斜位沈線を施文する。この間の区画帯には縦位平行沈線が施文され地文にはRLの縄文が施文される。



第378図 土坑出土縄文土器(2)

第2章 検出された遺構と遺物

41号土坑 (第378図、PL141)

1は深鉢の底部片。底径(12.0cm) 端部がやや張る。縄文LRが縦位施文される。

44号土坑 (第379図、PL140)

1は深鉢の口縁部。口径39.3cm。口縁端部が短く外反する。口唇部には縦に撚糸圧痕文が施文される。口縁部に2段、頸部に2段の横位沈線帯を廻し斜位沈線を施文する。この間に縦位沈線が施文され地文にはRLの縄文が施文される。

45号土坑 (第379図、PL140・141)

1は深鉢型土器。口径(39.5cm)、口縁部に橋状の把手が付され、把手部分がやや高くなる。口縁部は横位沈線で画された文様帯を持つ。縦位の曲線文、斜線文が付される。胴部にも沈線で画された文様帯が見られ、曲線文、斜格子文が描かれる。胴下位には縄文RLが縦位施文される。2は胴部片。横位沈線で画され、斜格子文、縄文が施文される。3は横位、縦位の沈線による区画を構成、斜格子文、縄文が施文される。4は底径(13.0cm) 無文。

50号土坑 (第379図、PL140)

1は底部片、底径17.0cm。横位の羽状縄文が施文され結節文が見られる。

51号土坑 (第379図、PL141)

1は口縁部片。口唇部が薄く仕上げられた無文土器。

52号土坑 (第379図、PL140)

1は口縁部片。横位に廻る隆線の上に刻みが付される。

56号土坑 (第379・380図、PL140・141)

1は深鉢の胴部。押圧文を持つ隆帯が四本垂下し、間には2段の爪形文が横位に施文される。

2は口縁部片。口縁部が外反する。3は無文の胴部片。

65号土坑 (第380図、PL141)

1は鉢型土器か。無文である。

67号土坑 (第380図、PL140)

1は口縁部片。口縁部の環状把手部分。沈線による山形文が見られる。

76号土坑 (第380図、PL141)

1は口縁部片。口縁部が外反する。2本の横位沈線、縄文RLが施文される。2は沈線による縦位、渦巻文。

77号土坑 (第380図、PL140・141)

1は口縁部片。縦位の隆帯文。2は無文。3は縄文施文後、平行沈線による幾何学文。

81号土坑 (第380図、PL141)

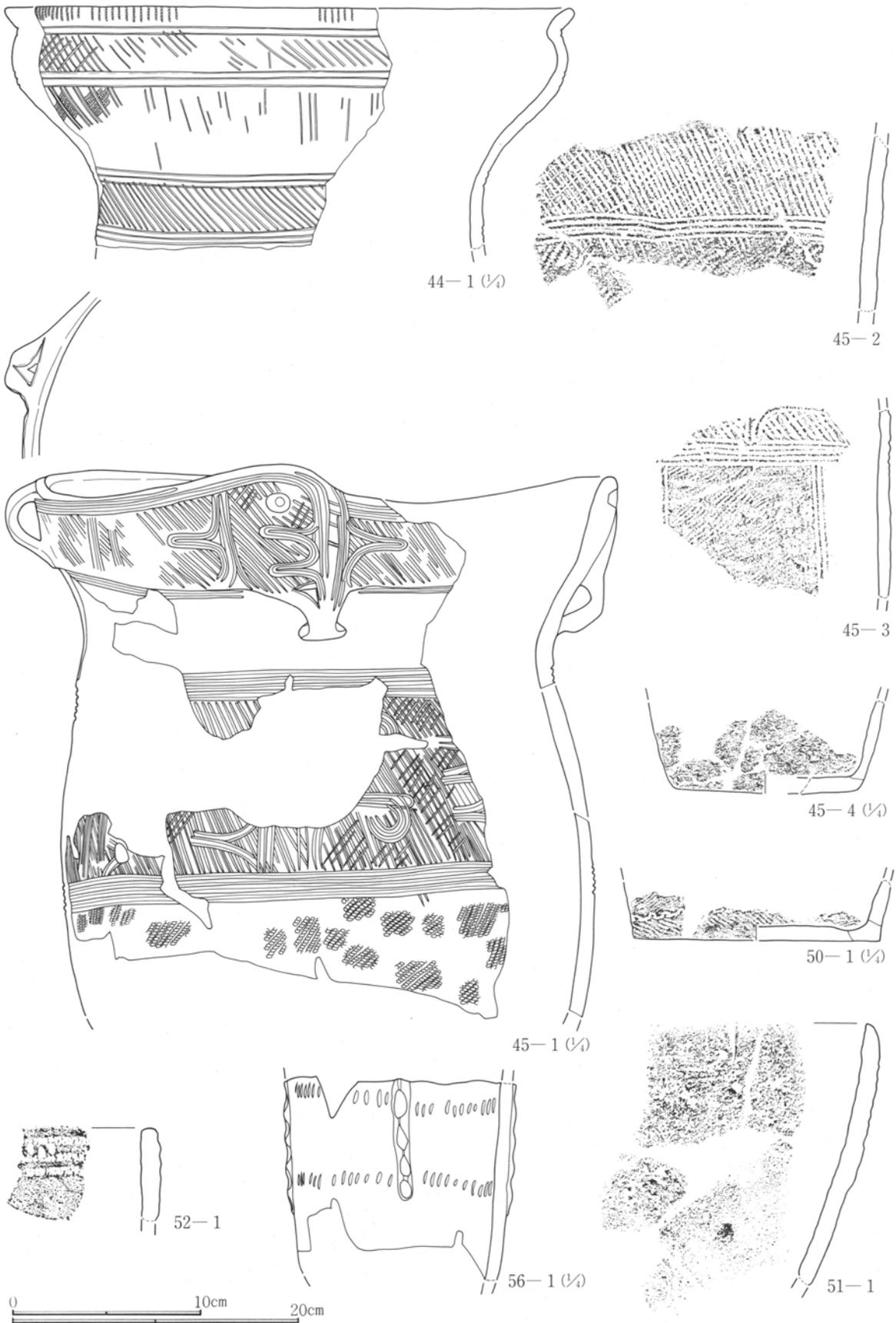
1は深鉢型土器。口径(19.0cm)、口縁部はやや内側に入り込み、口唇部は直立する。頸部に2条の沈線を廻し、胴部には縄文RLが全面施文される。

82号土坑 (第380図、PL141)

1は深鉢型土器。口径(19.5cm)。口縁部は3本単位の沈線に画された横位文様帯の上下に三角の印刻文を配す。胴部にはややくずれた波状沈線文が垂らされる。

87号土坑 (第381図、PL142)

1は深鉢型土器の口縁部。「く」の字に内屈する。横位沈線で区画帯を作り、格子目文。屈曲部に隆起する円形文が付される。2・3は胴部片。



第379図 土坑出土縄文土器(3)

第2章 検出された遺構と遺物



第380図 土坑出土縄文土器(4)

94号土坑 (第380図、PL141)

1は横位の沈線文、縦位条線が施文される。

100号土坑 (第380図、PL141)

1は鉢型土器の口縁部片。内外面に沈線が廻り、口縁部は山形に突起する。突起部内面に「T」字状の沈線文。

101号土坑 (第381図、PL141・142)

1はほぼ完形の深鉢型土器。口径12.5cm、器高20.5cm、底径7.6cm。口縁部に山形の突起。無文である。2は浅鉢型土器。口径(21.8cm)、器高8.1cm、底径(10.0cm)。口唇部がわずかに内屈。無文である。

103号土坑 (第381図、PL142)

1は口縁部片。口縁部に横位沈線、隆線による渦巻文。2は胴部片。横位の沈線、縄文が施文。

108号土坑 (第381図、PL142)

1は深鉢型土器。胴部は丸みを持って膨らむ。頸部には横位沈線を廻し、斜沈線、横位連続結節文を多段施文。胴部には縦位の集合沈線、結節文さらには平行沈線で山形、L字形文を描く。2は口縁部から胴部片。口縁部から胴部にかけて平行沈線で横位文様帯を区画、その間を斜の集合沈線で埋める。

109号土坑 (第381図、PL142)

1は底径(13.4cm)。無文である。

110号土坑 (第381図、PL142)

1は胴下部から底部。底径(9.0cm)。縄文が施文される。

111号土坑 (第381図、PL142)

1は深鉢の胴部片。沈線文を持つ。

113号土坑 (第382図、PL142)

1は深鉢の口縁部片。口径(24.6cm)。頸部は緩く「く」の字に括れる。無文である。

114号土坑 (第382図、PL142)

1は深鉢の口縁部片。薄手で口縁部は内湾する。沈線で画された横位縄文帯を持つ。

117号土坑 (第382図、PL143)

1～3は同一個体。口縁部は内屈し、耳状の貼りつけ文を付す。縦位、横位の集合沈線。胴部には縦区画の集合沈線文が描かれ円形貼付文を持つ。

127号土坑 (第382図、PL142)

1は口縁部片。斜めに走る沈線で区画された口縁部分に縄文LRが横位施文され、刺突文を付した横位隆線が廻る。

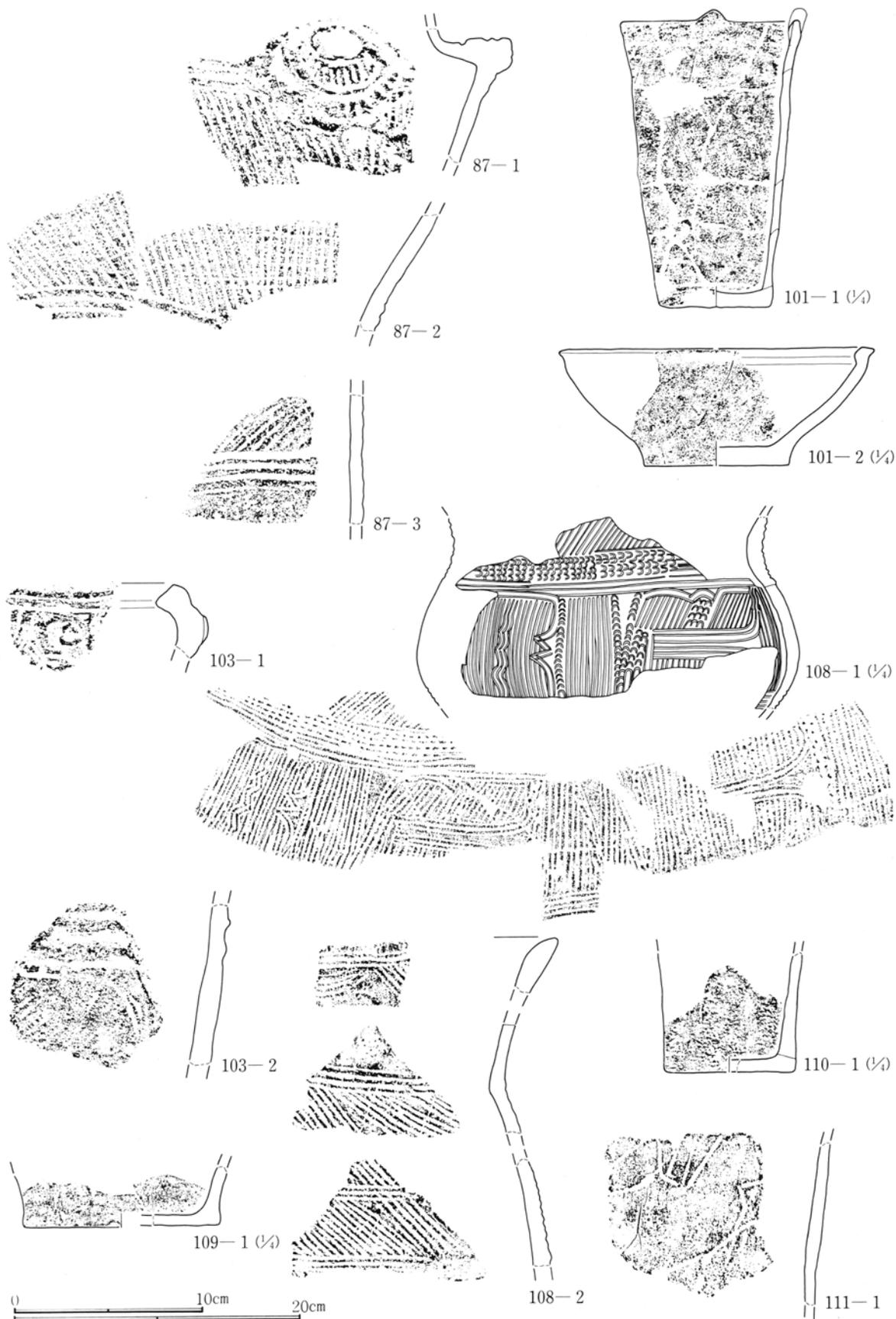
138号土坑 (第383図、PL143)

1は深鉢型土器。口縁部分を欠く。底径12.0cm。胴上位部分に押圧を持つ隆帯が廻り、上区画には隆線による渦巻文が、下には唐鋏状の隆線文様が8単位垂らされ、間には縦位沈線が充填されている。

141号土坑 (第383図、PL145)

1は深鉢型土器の口縁部から胴部。口径27.2cm。やや厚手で胴部から口縁部に向かって直線的に開く。口縁部には4単位の突起が付され、平坦な上面に三叉文が配されている。胴部文様は刻みを持つ隆帯で4単位の三角形に近い楕円文を配し、中には沈線で渦巻文、三叉文を描く。以下胴部には縦位の沈線文。

148号土坑 (第382図、PL142)



第381図 土坑出土縄文土器(5)

1は刻みを持つ隆帯で曲線文。2は隆線による渦巻状の突起部分、隆線に沿って爪形文が付される。

152号土坑 (第382図、PL143)

1は底部。底径(14.0cm)。無文。

155号土坑 (第382図、PL143)

1は口縁部片。口縁部に刻みを持つ横位沈線。2は刻みを持つ横位隆帯。

156号土坑 (第382図、PL143)

1は刻みを持つ隆帯、沈線による幾何学文様。

161号土坑 (第382図、PL143)

1は横位、斜位の押圧を持つ隆帯文。

162号土坑 (第384図、PL144・145)

1は鉢型土器。口径21.0cm、器高15.0cm、底径8.3cm。逆「ハ」の字に開く胴部から口縁部はやや内湾、4単位の波状をなし、上から見ると四角形を呈す。底部は四方から指で押さえられ窪んでいる。口縁部に横位沈線で画された文様帯を持ち、縦位の沈線が充填されている。胴部は縦位結節文が見られるが、器面の風化が著しく、不明瞭である。2は深鉢型土器である。胴部はわずかに膨らみを持って立ち上がり、頸部で「く」の字に折れて口縁部は外傾する。口径30.0cm。口縁部には燃糸Rの圧痕文で3重の横長楕円文を作り、最中央部には、やはり燃糸文でC字状の横位連続押圧を行っている。胴部にはLR・RLで横位羽状縄文を全面施文する。比較的薄手で、砂粒が目立ち硬質な感じを受ける土器である。3は底部片。底径13.6cm。横位結節文。

163号土坑 (第383図、PL144)

1は口径(23.0cm)。4単位の波状突起を持つ。隆帯が波頂部より垂下し、隆帯で画された口縁部には斜位の集合沈線、胴部は沈線による方形の区画を作り、内側には刻み文が配される。

164号土坑 (第383図、PL144・145)

1は口縁部片。口縁部に突起文、横位沈線で画された文様帯内には綾杉状の集合沈線文。2・3・4は横位、縦位の集合沈線文。同一個体か。4は底径12.0cm。

165号土坑 (第383図、PL143・144)

1は口縁部片。隆帯により、楕円文が構成される。2は縄文RLが縦位施文された底部。底径9.0cm。

166号土坑 (第383図、PL145)

1は口縁部片。大きく隆起した渦巻状文、隆線で文様を描き、連続結節文。三叉文が配される。

167号土坑 (第383図、PL144)

1は口縁部片。縄文施文後横位沈線を多段施文。2は底部片。胴部は大きく開く。底径5.4cm。横位の沈線文。

168号土坑 (第384図、PL144・145)

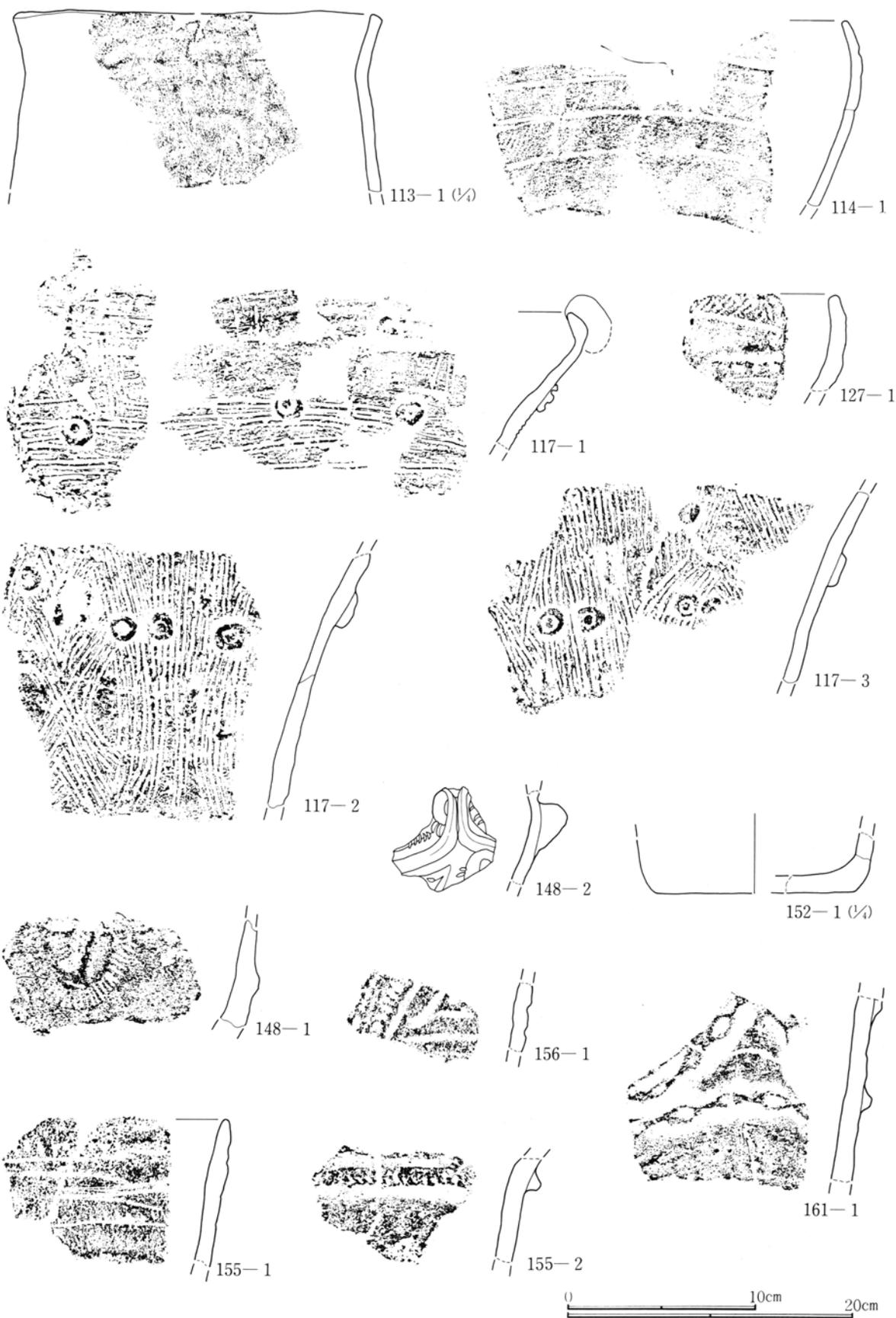
1は胴部片。「Y」字状の隆帯文が垂下する。2は小型深鉢型土器。口径9.6cm。無文である。

169号土坑 (第384図、PL144)

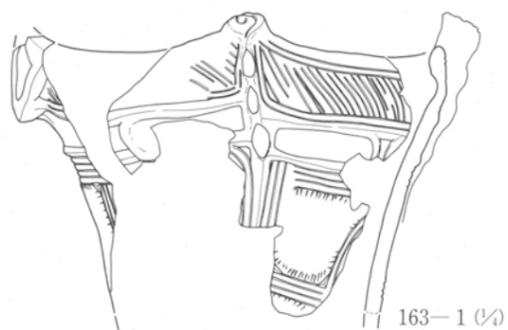
1は深鉢型土器の口縁部。口径15.8cm。口縁部は内屈し無文。頸部に横位の隆帯が廻る。2は口縁部片。口唇部が肥厚する。3は横位、斜位の沈線に刻み文が伴う。

170号土坑 (第385図、PL146)

1は深鉢型土器。ほぼ完形である。口径16.8cm、器高17.2cm、底径8.2cm。口縁部に4単位の扇状把手を有し、下位に隆帯による上向き「C」字状文を連結させている。胴部には横位に廻した隆帯から4単位の曲線



第382図 土坑出土縄文土器(6)



163-1



164-1



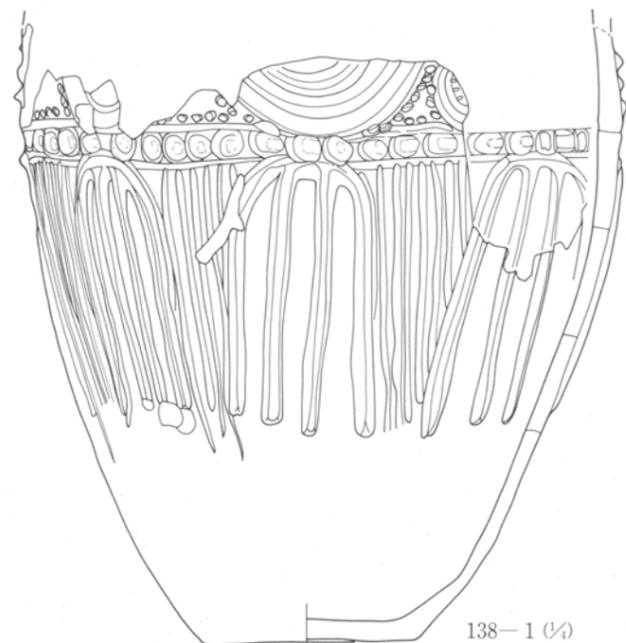
164-2



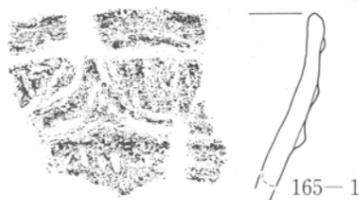
164-3



164-4



138-1



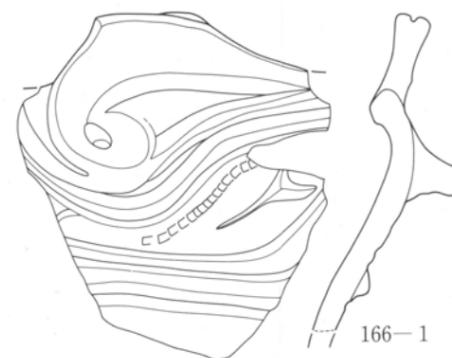
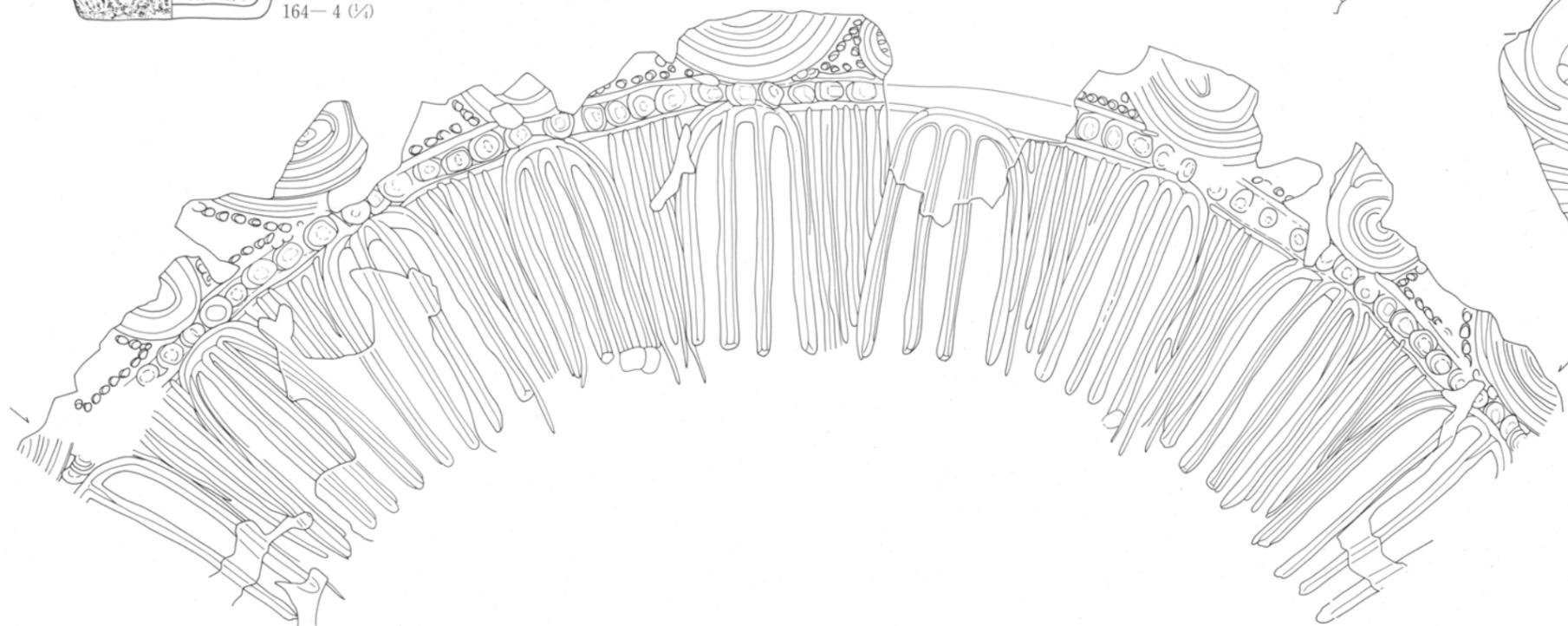
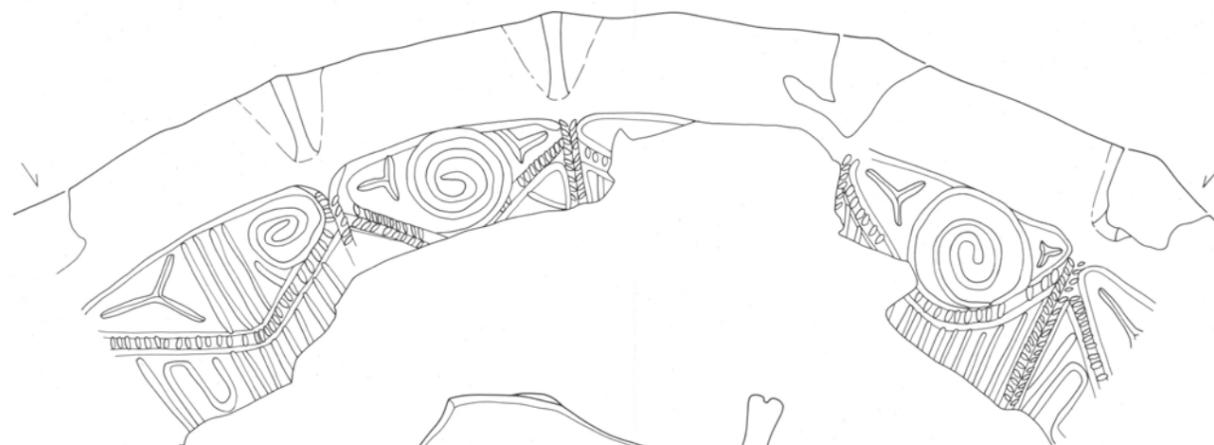
165-1



165-2



141-1



166-1



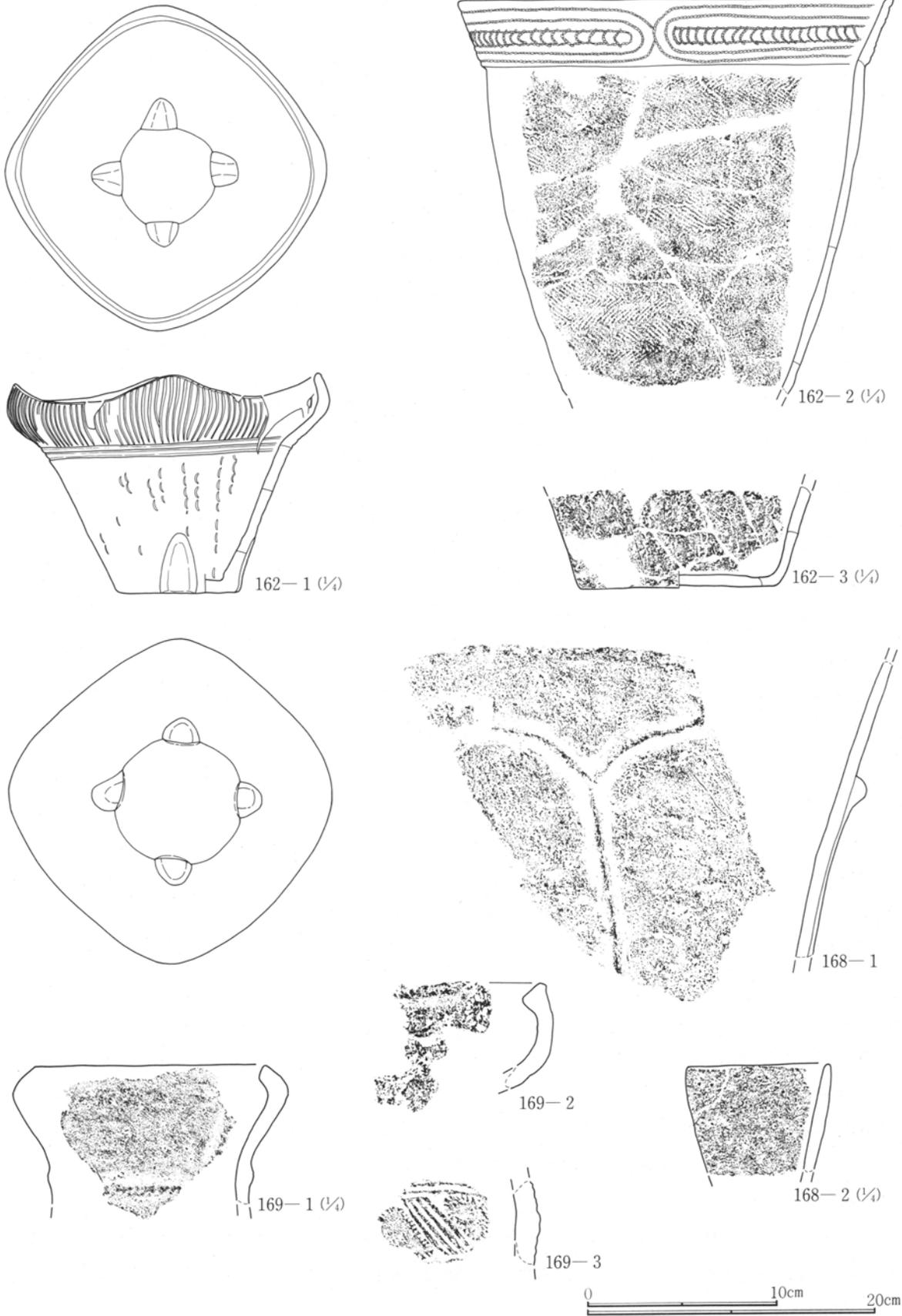
167-1



167-2



第383図 土坑出土繩文土器(7)



第384図 土坑出土縄文土器(8)

文が垂下する。

172号土坑 (第385図、PL145)

1は撚糸文Lが施文された胴部片。2は縄文施文後隆起文。

173号土坑 (第385図、PL144)

1は底部。縄文施文。底径(11.0cm)。

177号土坑 (第385図、PL146)

1は深鉢型土器の胴部片。上半部に隆帯で渦巻文による意匠文を描く。隆帯上には矢羽状の沈線文。周囲には縦位沈線、刺突文が付される。胴下半には縦位沈線文を充填する。

179号土坑 (第385図、PL146)

1は無文の底部片。底径14.3cm。

180号土坑 (第385図、PL146)

1は胴部片。横位連続結節文を持つ横位隆帯と沈線文。以下、無節の絡条体施文後、平行沈線による曲線文が描かれる。

182号土坑 (第386図、PL146)

1は浅鉢型土器。口径36.0cm。口縁部が外側に折り返されて肥厚する。無文である。2は口縁部片。口唇部は肥厚し隆帯文が見られる。3は縦位沈線文。

186号土坑 (第386図、PL147)

1は深鉢型土器。口径(22.4cm)。無文である。

188号土坑 (第386図、PL147)

1は深鉢型土器。口径(20.0cm)。キャリパー形を呈す。口縁部は隆帯による曲線文が4単位付される。胴部に縦位沈線施文後、横位沈線を多段に配す。2は比較的大型の深鉢型土器底部片。底径13.0cm。縦位の集合条線文か。

200号土坑 (第386図、PL147)

1は大形の鉢型土器か。底径(16.0cm)。無文。

201号土坑 (第386図、PL146)

1は口縁部片。隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。

205号土坑 (第386図、PL146)

1・2は口縁部片。口縁部には大きく廻る耳状の貼りつけ文、および棒状の貼付文が付される。地文には横位沈線。

211号土坑 (第386図、PL147)

1は深鉢型土器の胴部。細縄文が施文される。

215号土坑 (第386図、PL146)

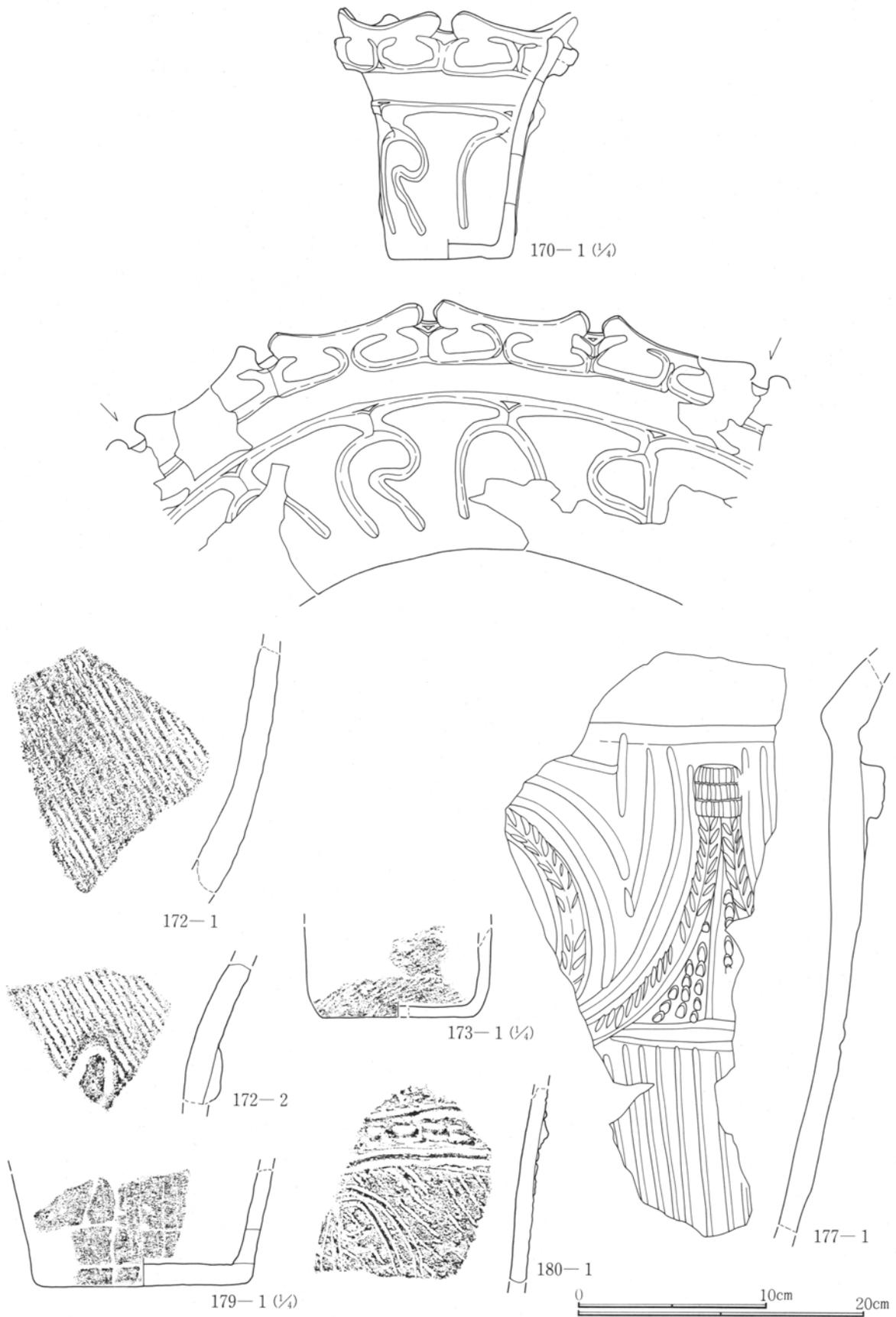
1は内屈する口縁部片。口縁部に3本の沈線文。以下斜沈線が付される。

217号土坑 (第387図、PL147)

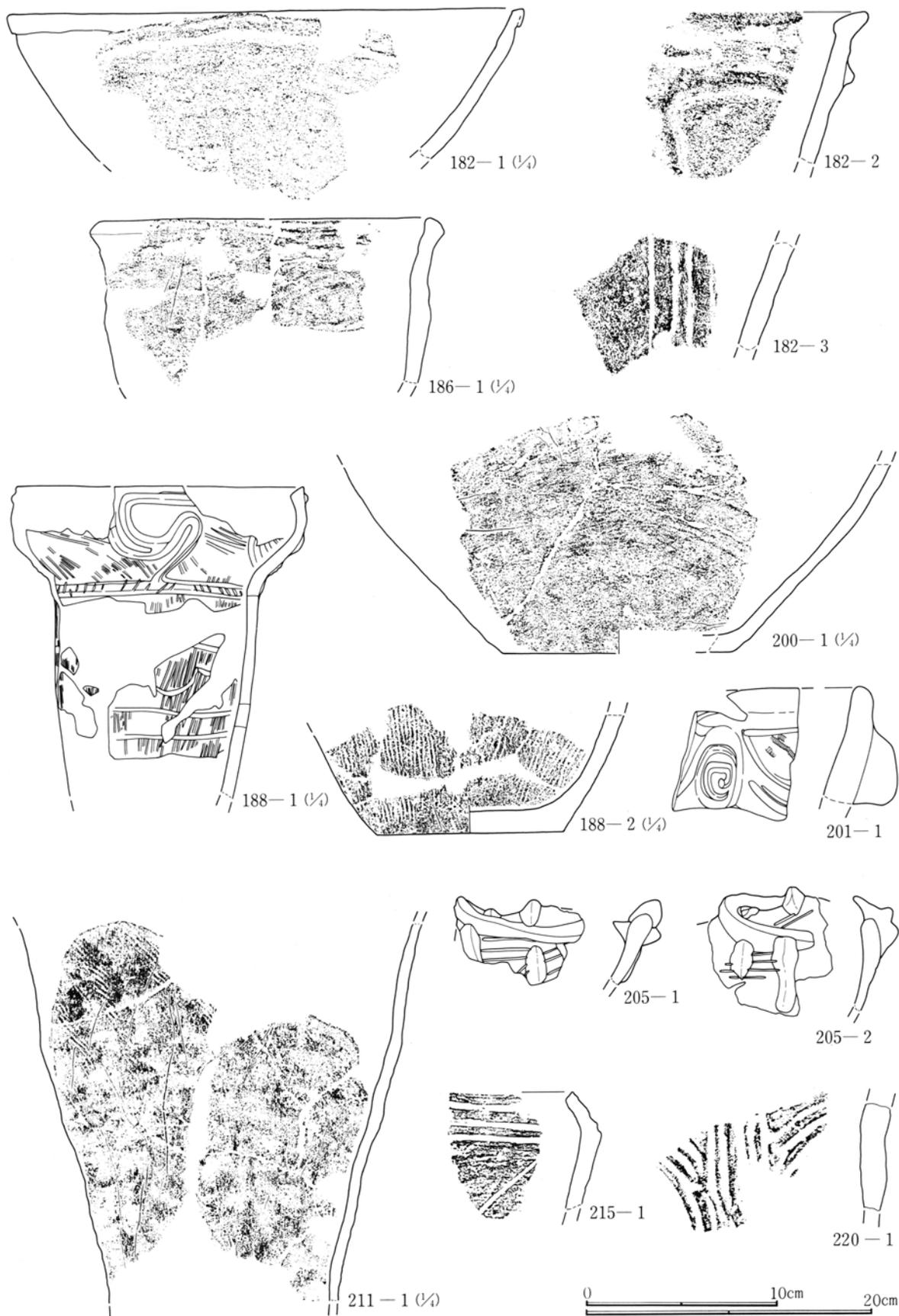
1は深鉢型土器。口径27.0cm、器高52.8cm、底径13.4cm。長胴でやや膨らみを持って立ち上がり、頸部で締まり口縁部がやや内湾する。口縁部に隆帯による区画文、胴上半部に2本の隆帯を廻し、X状文が下がる。

220号土坑 (第386図、PL146)

1は隆線による曲線文。



第385図 土坑出土縄文土器(9)



第386図 土坑出土縄文土器(10)

225号土坑 (第387図、PL148)

1は縦位集合沈線文を持ち、複数の棒状貼付文が付される。

227号土坑 (第387図、PL146)

1は底部。底径(8.0cm)。無文。

230号土坑 (第387図、PL147・148)

1は胴下半部。底径(9.8cm)。押圧文を持つ横位隆帯が廻る。2は厚手の底部片。底径15.0cm。3は押線、円形文を持つ縦位の隆帯。4は押圧文を持つ隆帯。5は浅鉢型土器の波頂口縁部片。内面に結節文が多段施文される。円孔を持つ。

235号土坑 (第387図、PL147・148)

1は口径17.3cm。

2は円形文を持つ突起文、沈線文が見られる。

238号土坑 (第388図、PL148)

1は隆線による曲線文を描く。2は底部片。底径(12.0cm)。隆線による曲線文、爪形文が見られる。

239号土坑 (第388図、PL149)

1は胴部片。刻みを持つ隆線。

241号土坑 (第388図、PL148・149)

1はほぼ完形の深鉢型土器である。口径23.7cm、器高35.2cm、底径10.5cm。胴部は開きながら立ち上がり、口縁部は内湾する。口縁部には4単位の鶏冠状突起が付く。胴部は4単位の縦位分割され、隆帯による組み合わせ「S」字状文が描かれる。隆帯上には刻み目、間隙には三角文、渦巻状文が配される。胴下部には隆帯による5単位の楕円文が描かれ、2本の隆帯で連結されている。赤褐色を呈す、立体的な装飾土器である。2は深鉢型土器で口縁部を欠く。底径11.8cm。頸部に刻みを持った隆線を廻し、口縁部にかけて環状把手が付される。胴中位にかけて横位隆帯で画された文様帯が作られる。山形に走る隆帯で三角区画され、中には爪形刺突文が付される。3は深鉢型土器。口径25.8cm。胴部はあまり開きを持たずに立ち上がり、口縁部がやや開く。口唇部は平らで内側に肥厚する。無文である。4は無文の深鉢胴部。

245号土坑 (第389図、PL149)

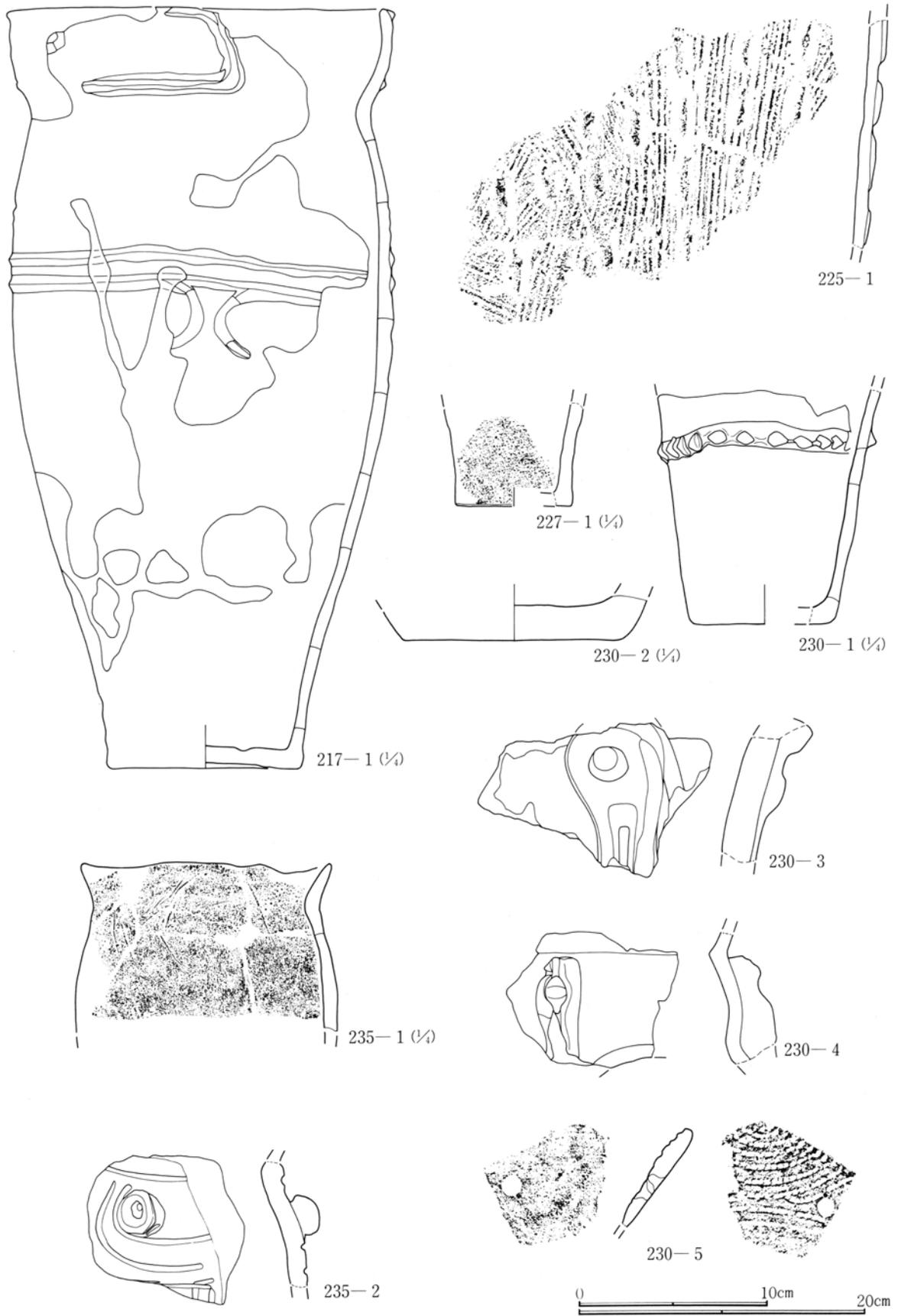
1は深鉢型土器の胴部から底部。底径(8.8cm)。中位にかなり高まった隆帯で横位曲線文を描き、下位に2本の横位隆帯を廻す。各隆帯には刻み目が付され、部分的に連続結節文が隆帯に沿って付されている。2は底部片。底径11.0cm。隆帯により、横位楕円文が構成される。3は底部。底径(11.8cm)。胴中位に廻された2本の横位隆帯間に楕円文が描かれる。4は鶏冠状の把手部分。刻みを持った隆線で形成され、隆線に沿って爪形の刺突文を鎖状に施文する。内側は袋状に作られている。5は三角状を呈す環状把手部分。

255号土坑 (第389図、PL146・150)

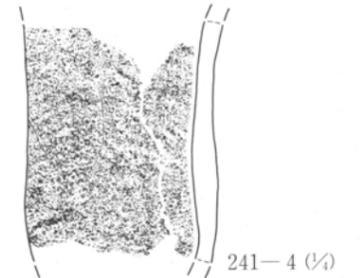
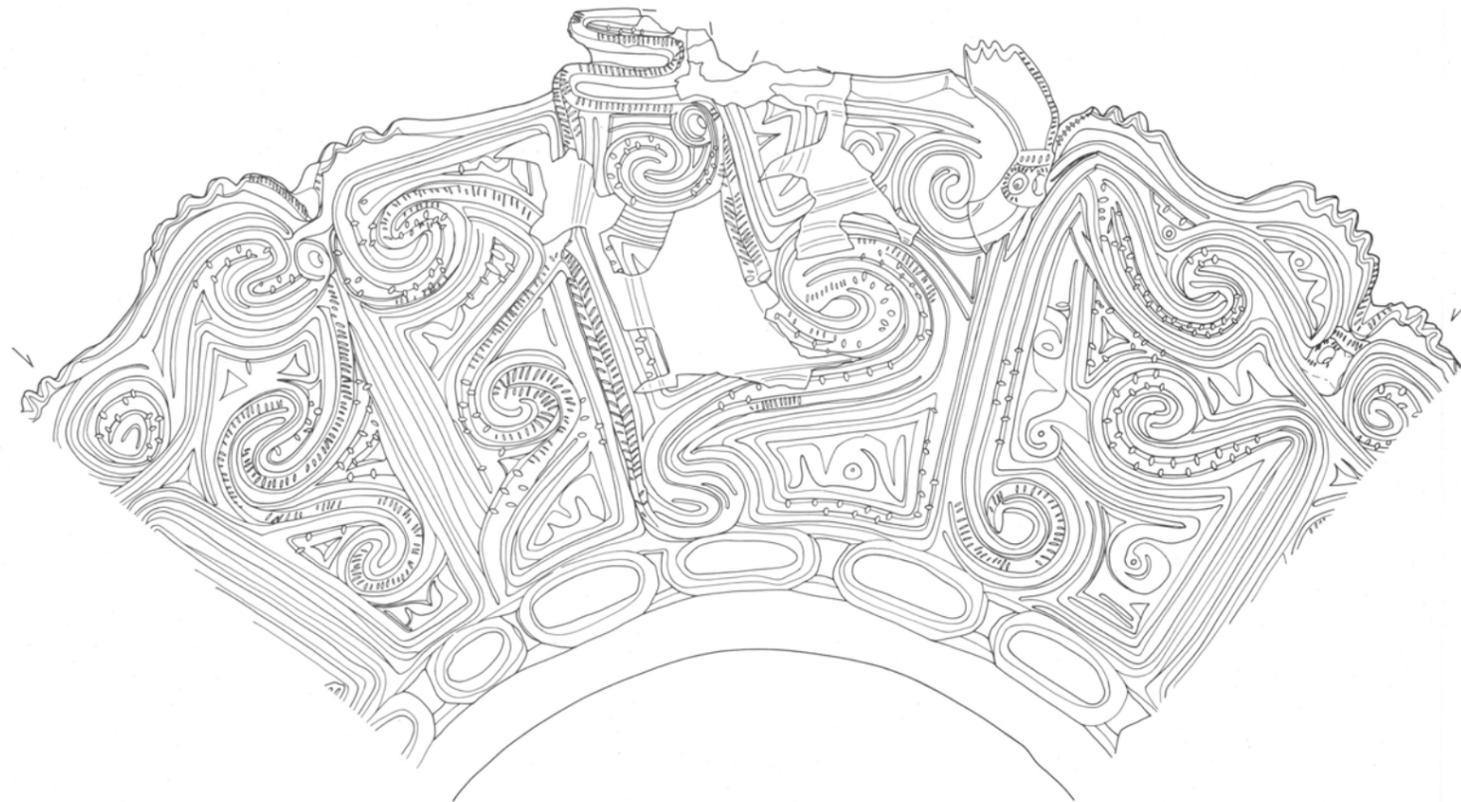
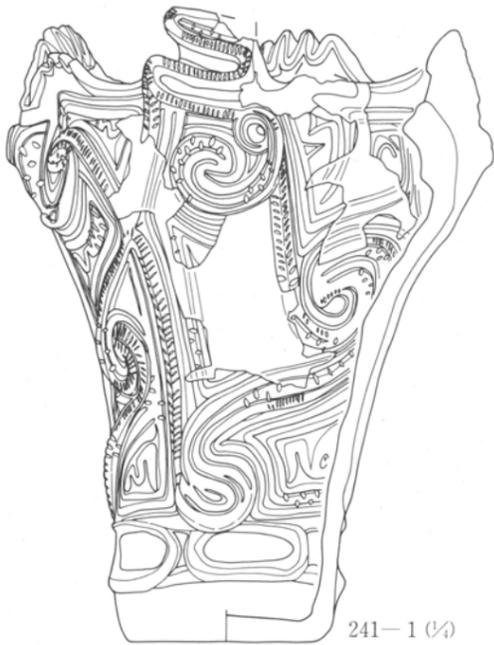
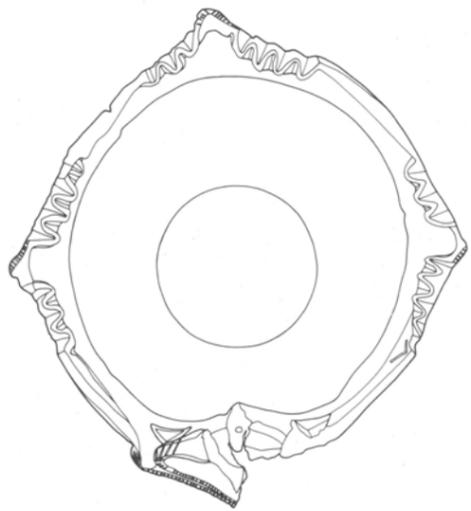
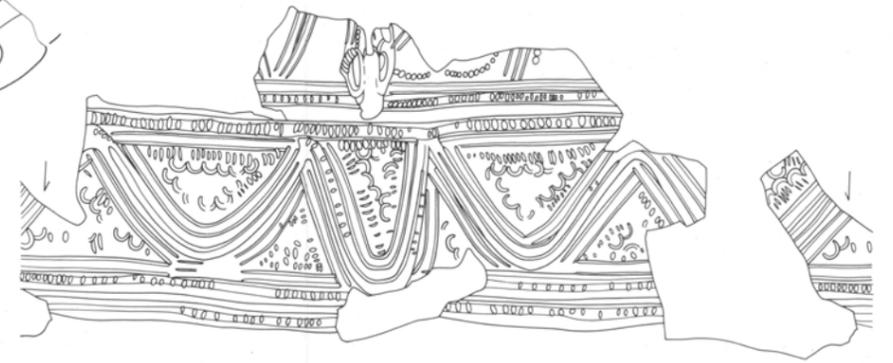
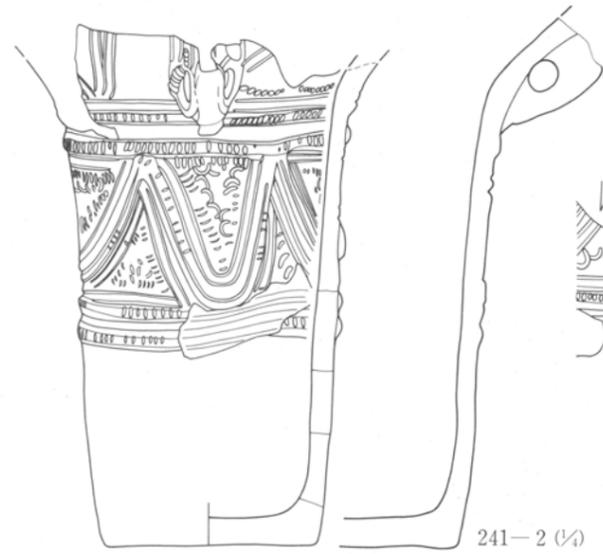
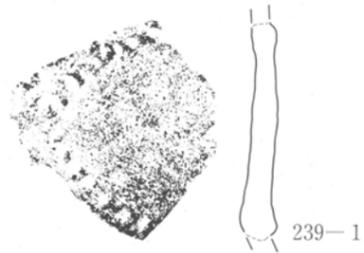
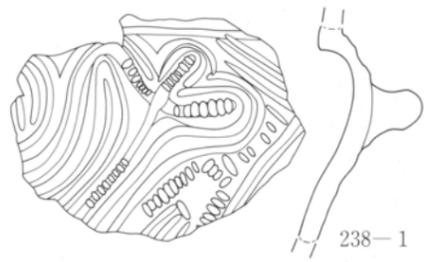
1は胴部片。隆帯により楕円文が構成され、刻み、縦位の沈線文が付される。2は縄文地文、隆線による曲線文。3は口縁部に付された環状把手部分。稜線部分に刻み目。

256号土坑 (第390図、PL150)

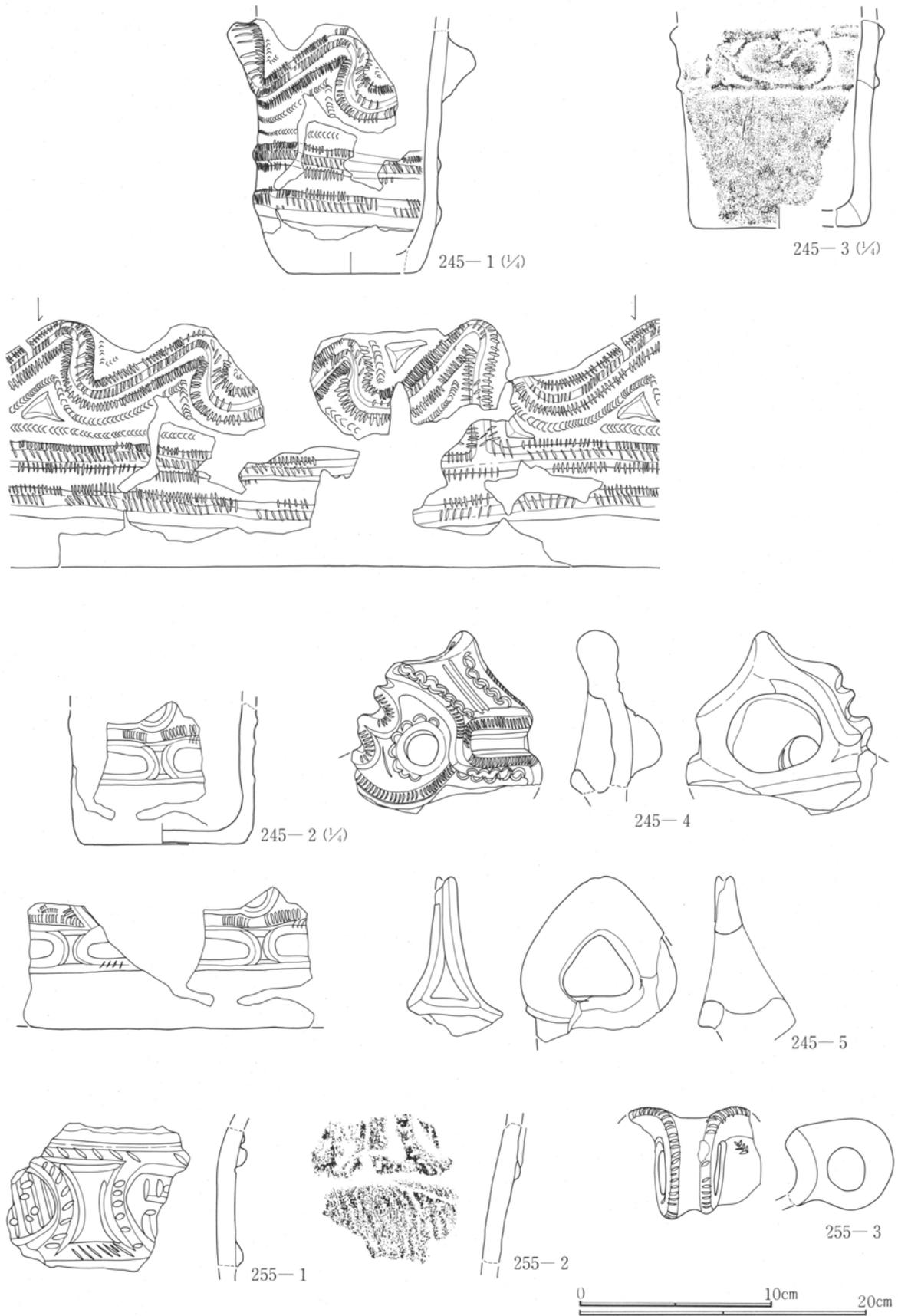
1はやや長胴の深鉢型土器。胴部は円筒状で口縁部は開き「く」の字に内屈して口唇部は短く外反する。口径は(26.2cm)、器台(41.2cm)、底径(15.3cm)。口唇部には縦位の沈線文が付される。以下横位沈線で3区画帯に分けられ、最上部分には斜格子、矢羽状、中段部は矢羽、最下段部分には斜位沈線、曲線文が描かれている。また胴下部には縦位の結節文が見られる。



第387図 土坑出土縄文土器(11)



第388图 土坑出土绳文土器(12)



第389図 土坑出土縄文土器(13)

第2章 検出された遺構と遺物

260号土坑 (第390図、PL149)

1は結節沈線文。2は無文。

261号土坑 (第390図、PL150)

1は小型の深鉢型土器。口径(11.5cm)、器高18.3cm、底径(8.6cm)。円筒状を呈す無文土器である。2は深鉢型土器の口縁部。口径32.0cm。口縁部に円孔を持った円形の突起文および棒状の突起文が付される。横位沈線で画された口縁部区画帯には斜格子文、下位には縦位の平行沈線が見られる。3は底部片。無文と思われる。

263号土坑 (第390図、PL150)

1は隆帯により、楕円文、円形文が構成され、内部には半截竹管による連続爪形文が配される。また楕円文からは上下に隆線が延びる。

264号土坑 (第390図、PL150)

1は口縁部片。沈線で画された口縁部文様帯に縦位の沈線文。

265号土坑 (第390図、PL150)

1は胴部片。無文か。

267号土坑 (第390図、PL150)

1は浅鉢型土器の底部。底径12.6cm。大きく開きながら立ち上がる。無文。

268号土坑 (第391図、PL150)

1は鉢型土器。逆「ハ」の字に立ち上がる。口縁部は内削ぎ状でやや肥厚する。口径(28.0cm)。無文である。

273号土坑 (第391図、PL151)

1は胴部片。2本の沈線による曲線文が描かれる。

274号土坑 (第391図、PL151)

1は口縁部片。沈線による平行線、縦の楕円文が描かれる。口唇部に溝状の沈線。2は隆線文を持ち、突起部が見られる。3は胴部片。沈線による平行線、楕円文が見られる。1と同一個体片。

277号土坑 (第391図、PL151)

1は胴部。縄文施文後横位平行沈線、鋸歯文。2・3は底部片。2は底径(10.3cm)。3は底径(10.6cm)。

278号土坑 (第391図、PL151)

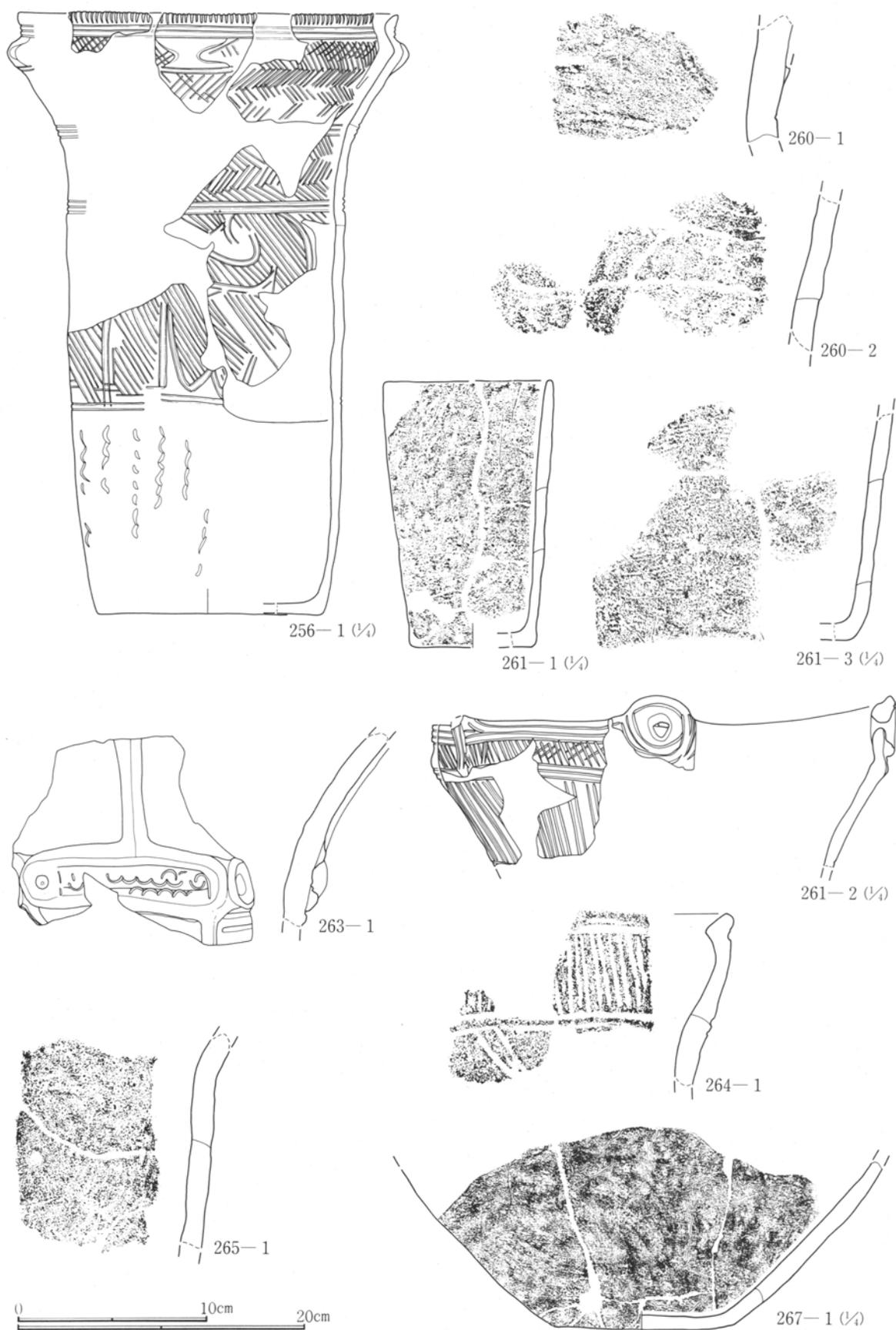
1は深鉢型土器の口縁部。口径(27.2cm)。先端部が割れた4単位の大形把手を持つ。下位には三角形を合わせた区画内に結節沈線を2重に廻す。以下横位爪形文、隆帯文が見られる。2は深鉢型土器の口縁部。口径(22.6cm)。口縁部に4単位の突起文。口唇部には刻みが見られ、胴部には横位爪形文が多段施文される。3は口縁部片。口唇部が肥厚し、横位のキャタピラ文、刺突文が施文される。4は胴部片。貼りつけ文、キャタピラ文、刺突文による幾何学文を描く。

279号土坑 (第391図、PL153)

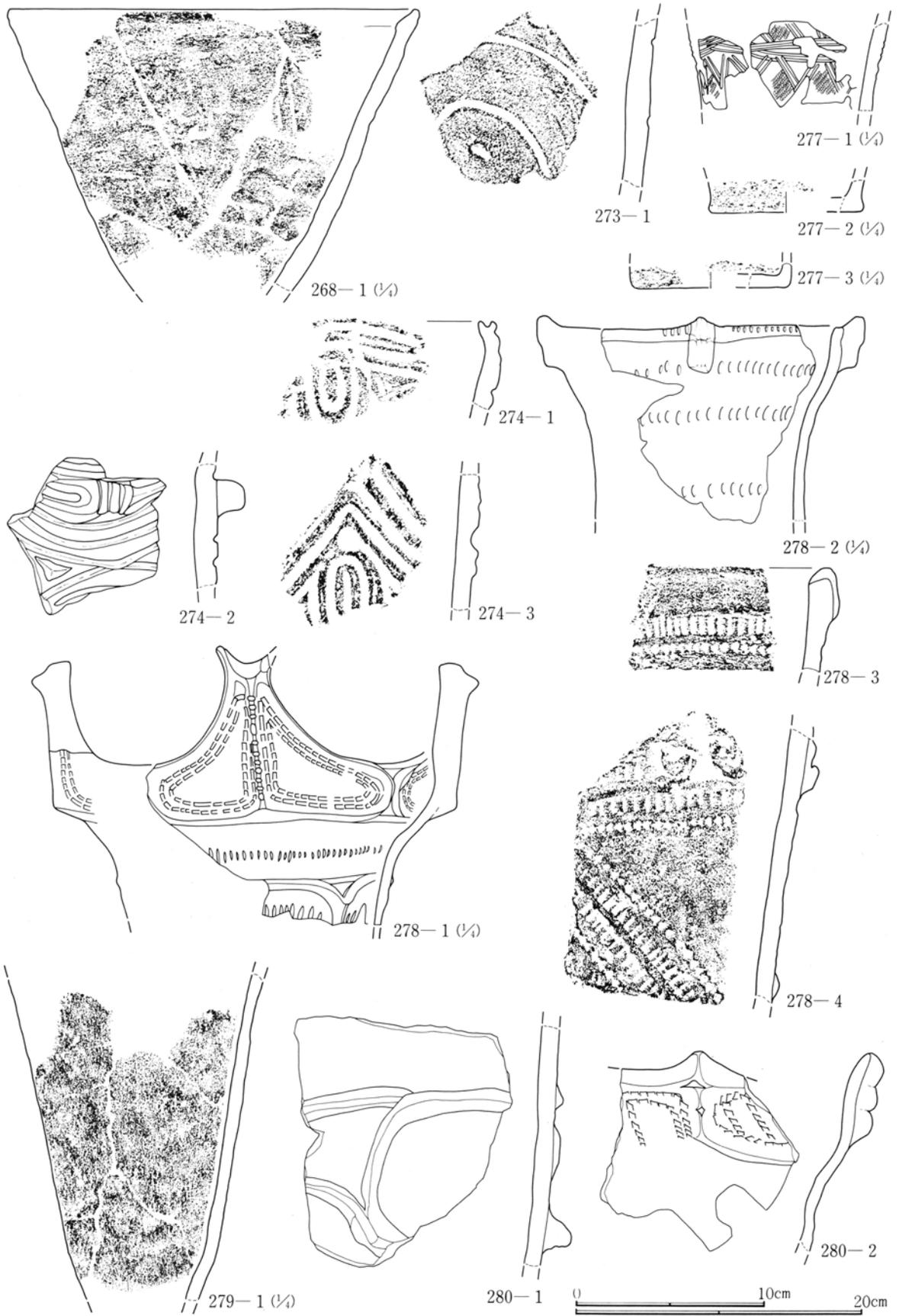
1は深鉢型土器の胴部。底部は比較的小さく、開きながら立ち上がる。無文である。

280号土坑 (第391図、PL151)

1は隆帯による曲線文。2は口縁部片。小波状を呈し、波頂部には瘤状の高まりが下がる。隆帯により、楕円文が構成され、結節文が付される。

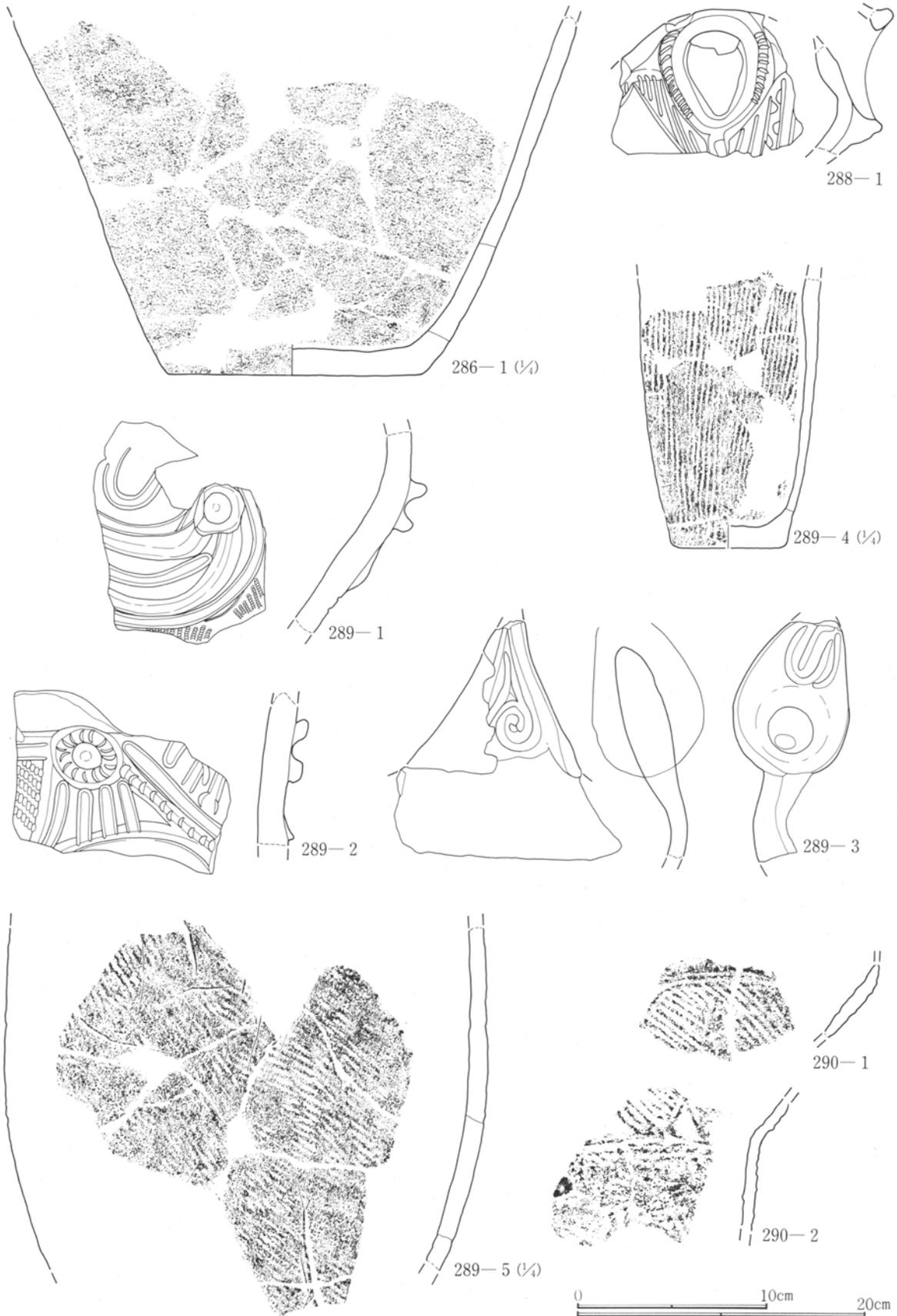


第390図 土坑出土縄文土器(14)



第391図 土坑出土縄文土器(15)

第4節 土坑と出土遺物



第392図 土坑出土縄文土器(16)

第2章 検出された遺構と遺物

286号土坑 (第392図、PL152)

1は大形の深鉢型土器底部。底径17.5cm。無文。

288号土坑 (第392図、PL151)

1は環状の把手部分。楕円形に空けられた部分に沿って刻みを持った隆帯が廻る。周囲には縦位の沈線文が施文される。

289号土坑 (第392図、PL151~153)

1は口縁部分であるが口唇部を欠いている。隆線による曲線文の端に中央部がくぼむ円形の突起文が付される。縄文 RL が施文。2は爪形文を持つ円形文から隆帯、沈線文が延びる。縄文 RL が施文。3は把手部分。側面が宝珠形で、中央が漏斗状に窪んでいる。文様は沈線による渦巻文が見られる。4は深鉢型土器の胴から底部。底径7.8cm。縦位の撚糸文 L が全面施文される。5はわずかに膨らみを持った深鉢型土器の胴部。縄文 RL が全面に施文。

290号土坑 (第392図、PL153)

1は横位、斜位の沈線文。2は鋸歯状の区画内に斜位の沈線。

291号土坑 (第393図、PL151・152)

1・2は刻みを有す隆帯で曲線文。2は底径14.5cm。3は底部。底径8.5cm。横位隆帯、沈線が見られる。

296号土坑 (第393図、PL152・153)

1はほぼ完形の深鉢型土器。口径27.3cm、器高42.1cm、底径10.5cm。胴上半部で膨らみ、頸部はやや括れ口縁部は内湾する。口縁部は無文で、胴部には縄文 RL が全面に縦位施文され、肩部に頭部が三角形を呈す隆帯文が4単位付される。垂下する隆帯は蕨手状、直線文と交互に配され、直線文1本には矢羽状の刻みが付される。2は深鉢型土器。胴下半部を欠く。口径18.3cm。口縁部の隆帯で画された文様帯には、口縁沈線からつながる「C」「I」字状文が垂下する。縄文 LR が全面に施文されている。

300号土坑 (第393図、PL153)

1は沈線、隆線による曲線文。2は底径9.2cm。縦位の隆帯、沈線文。

301号土坑 (第393図、PL153)

1は深鉢型土器の口縁部。口径(42.6cm)。口縁部に押圧を持つ隆帯が横位に施文され、「C」状の貼りつけ文が口縁部に配される。2~4は胴部片。

307号土坑 (第394図、PL153)

1は底部。底径(11.8cm)。隆帯による楕円文が構成され、楕円文内には爪形文が配される。

309号土坑 (第394図、PL153)

1は深鉢型土器の底部。底径12.4cm。無文。

310号土坑 (第394図、PL152・154)

1・2は口縁部片。隆帯により、渦巻文、楕円文が構成され、縄文が施文される。

313号土坑 (第394図、PL153)

1は「く」の字に折れた胴部片。隆帯で画された上には縦位の沈線。

317号土坑 (第394図、PL154)

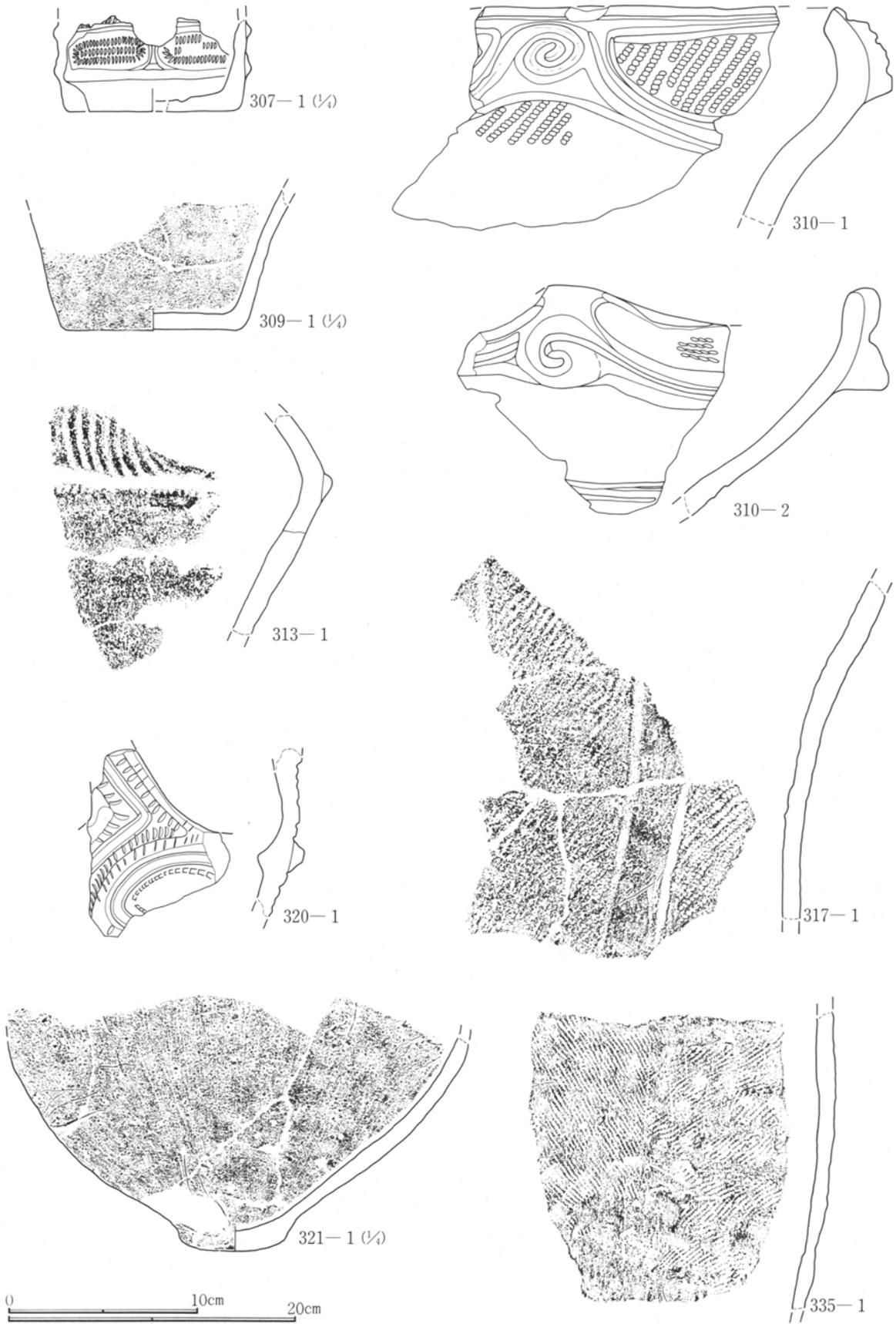
1は胴部片。縦位沈線が垂下し沈線間は縄文が磨り消される。縄文 RL が縦位施文される。

320号土坑 (第394図、PL153)

1は刻みを持つ隆帯で曲線文。



第393図 土坑出土縄文土器(17)



第394図 土坑出土縄文土器(18)

321号土坑 (第394図、PL154)

1は底部。底径7.1cm。底径小さく、胴部は丸みを持って大きく開く。無文である。

335号土坑 (第394図、PL154)

1は胴部片。縄文LRが縦位、一部横位に施文され部分的に羽状構成をとる。

340号土坑 (第395図、PL153・154)

1は深鉢型土器。口径28.2cm。胴部はやや膨らみを持ち、頸部から口縁部分で緩く「く」の字に折れて口縁部分は直立気味となる。口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。渦巻文上の口縁部が突出する。区画内には燃糸文Lが施文される。以下無文帯を有す。頸部横位隆帯と口縁部文様帯は垂下隆帯でつながれる。胴部にも燃糸文Lが施文される。2は底部。底径9.9cm。縦位の集合沈線が施文される。

342号土坑 (第395図、PL154)

1は胴から底部。底径9.8cm。連続爪形文を伴う隆帯で区画文を構成し、連結部分には円形の突起文が付される。2は脚状土製品。一端が開いた筒状を呈す。径6.4cm、高さ4.0cm、孔径1.8cm。

343号土坑 (第396図、PL153)

1は口縁部。口径(13.2cm)。口縁部には沈線による横位平行線、鋸歯文。胴部には隆帯による楕円区画文が配される。

344号土坑 (第396図、PL153)

1は環状把手部分。沈線が廻る。

347号土坑 (第396図、PL154・155)

1はほぼ完形の深鉢型土器。口径(21.0cm)、器高23.7cm、底径(12.4cm)。4単位の波状口縁を呈し波頂部を除き口唇部に結節沈線文が付される。波頂部は平坦で刻み文。波頂部下位に沈線文で三角形の意匠文。胴部には渦巻文。楕円文、垂下文が見られるが、文様は結節文で描かれる部分と、沈線で描かれる部分が見られる。2は口縁部片。口径(27.0cm)。口縁部に4カ所につまみ出された突起部が見られ、縄文施文されている。以下縦位の平行沈線文。頸部に隆帯が廻り、「Y」字状の垂下隆帯が付く。左右には横位集合沈線文。

349号土坑 (第397図、PL155)

1は深鉢型土器の底部。底径(15.0cm)。燃糸文Lが施文されていると思われるが、極めて不鮮明である。

354号土坑 (第396図、PL155)

1は胴部。頸部に横位の沈線。以下縦区画の鋸歯状、矢羽状の集合沈線文。2は平行沈線で区画された中に斜格子文。鋸歯状文が描かれる。3は斜格子文。

359号土坑 (第397図、PL155・156)

1～3は同一個体片。平行沈線による横位縦位の集合線文。曲線文。4は縄文施文後横位平行沈線。5・6は平行線文、斜格子文。

360号土坑 (第397図、PL154)

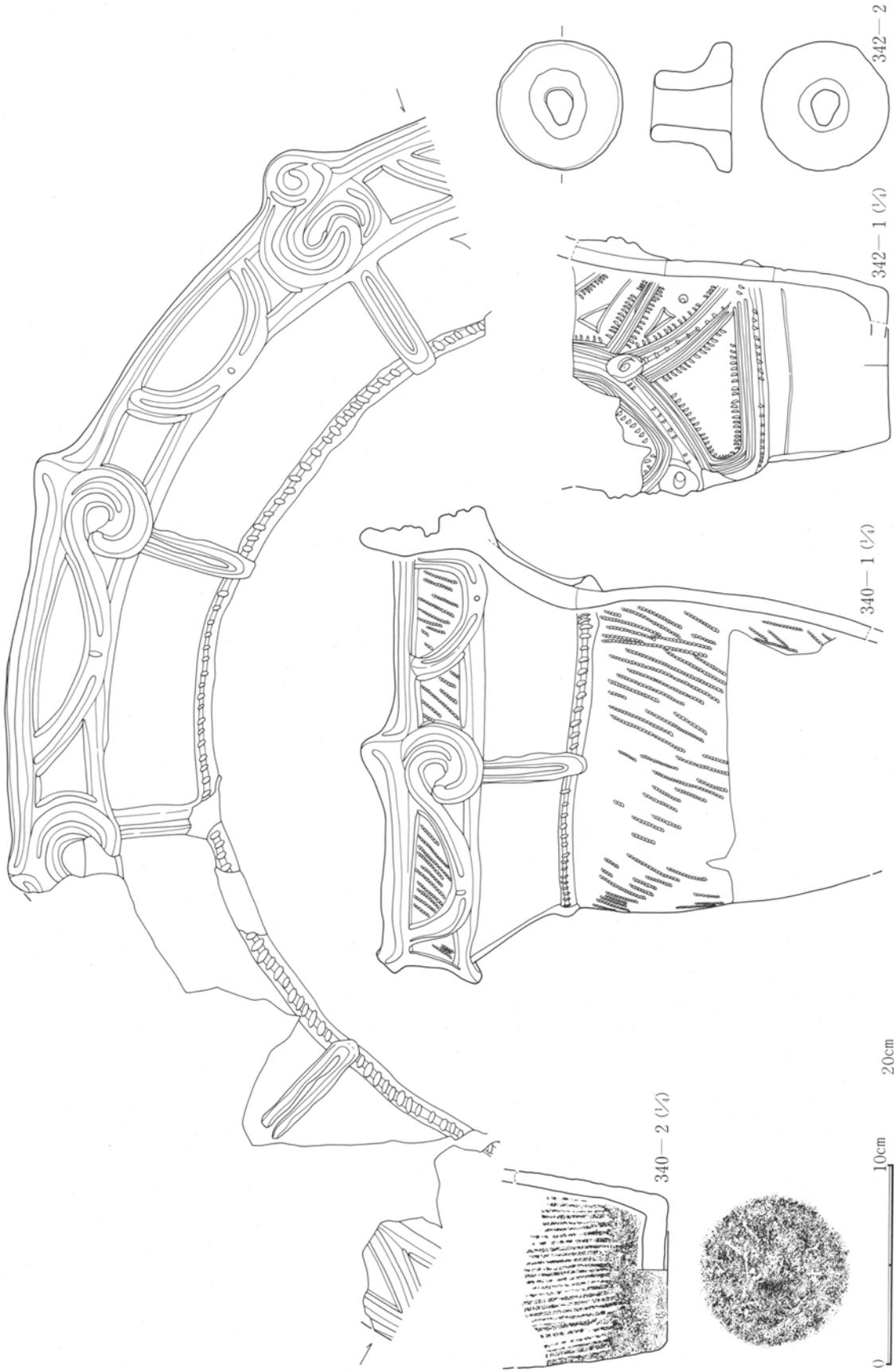
1は押圧を持つ隆帯が口縁部に廻る。

364号土坑 (第397図、PL155)

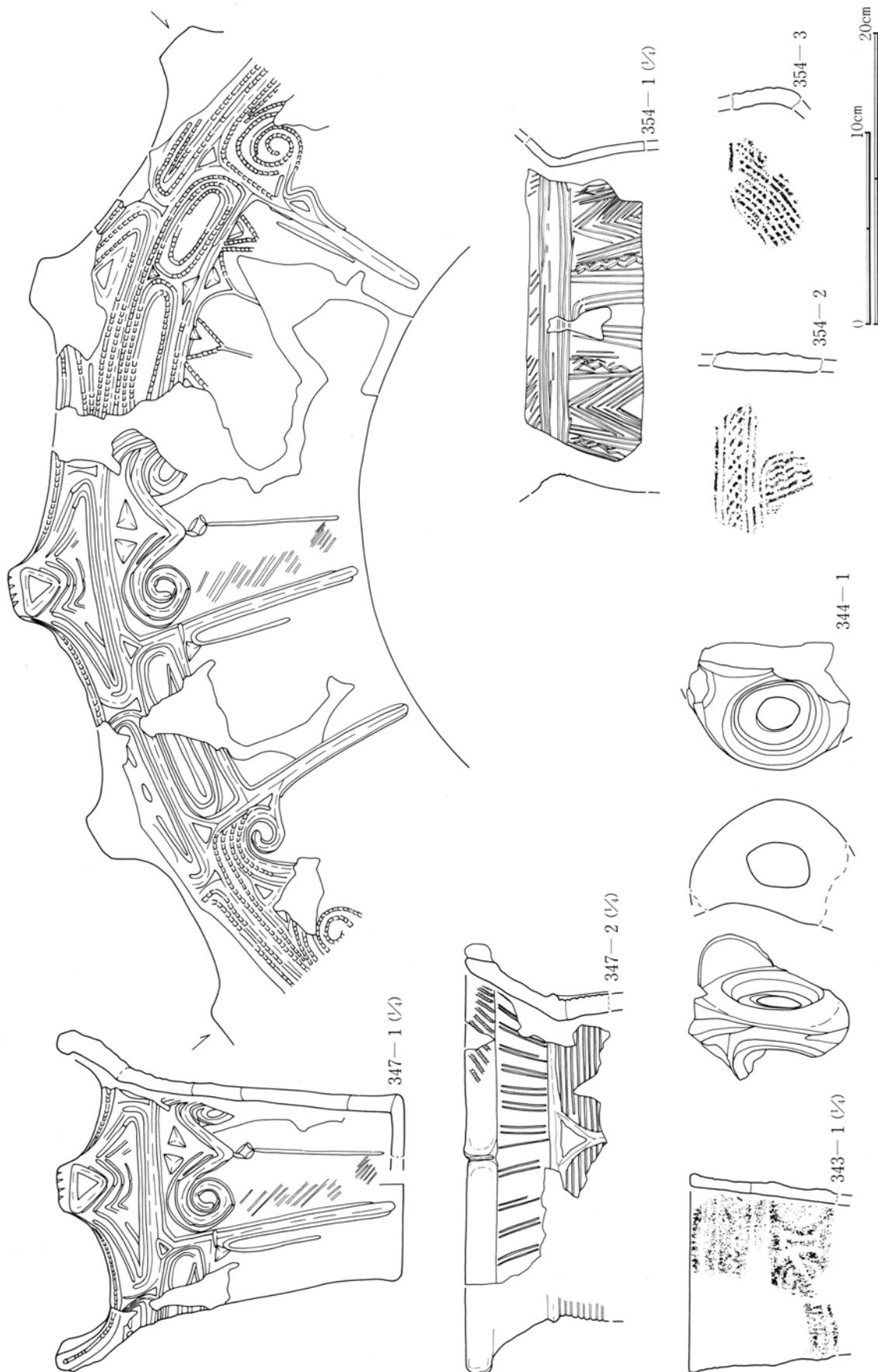
1は底部。底径9.8cm。無文。

372号土坑 (第397図、PL156)

1は口縁部片。隆帯による区画文、区画内には結節文で曲線文。下位には弧状文を描く。さらに隆帯が廻り横位爪形文が見られる。



第395図 土坑出土縄文土器(19)



第396図 土坑出土縄文土器(20)



第397図 土坑出土縄文土器(21)

第2章 検出された遺構と遺物

376号土坑 (第397図、PL155)

1は胴部片。刻みを伴う隆帯で幾何学文を構成。

383号土坑 (第397図、PL156)

1は深鉢型土器。口径20.1cm、器高20.3cm、底径(8.1cm)。頸部で括れ、口縁部やや内湾する。口縁部文様帯胴部に2段の横位沈線帯を廻し格子目文を施文する。この間に縦位沈線が施文される。胴下位には「Y」字文。2は平行沈線により横位文様帯を作る。口縁部には結節文、文様帯には縦位、斜格子沈線文。縄文LRが施文されている。

385号土坑 (第398図、PL156)

1は円形の突起文、隆線による曲線文が描かれ沈線文、刺突文が配される。

386号土坑 (第398図、PL156)

1は横位隆帯、縦位の沈線文で区画される。

387号土坑 (第398図、PL155)

1は口縁部片。「く」の字に折れ、刺突文、縦位沈線が見られる。

388号土坑 (第398図、PL155・156)

1は深鉢型土器。口径(15.6cm)。口縁部はやや内湾する。横位に2本の隆帯が廻る。2は把手部分。3カ所に円窓を持ち、上面には「S」字状に沈線が廻る。下位には結節文、沈線、縄文が施文される。3は沈線による同心円文で、突起文が見られる。中央部分に刺突文。

390号土坑 (第398図、PL157)

1は口縁部に人面状の把手が付される。竹管による刺突文、爪形文が配され、円孔を持つ。口縁部には隆線による曲線文様描かれ、平行沈線、爪形文が付される。

392号土坑 (第398図、PL157)

1～3は横位沈線で区画帯を作り、縦位、斜格子文を沈線で描く。胴部には縄文RLが施文される。

396号土坑 (第398・399図、PL156・157)

1は深鉢型土器。胴中で膨らみを持ち、頸部でやや括れ口縁部はやや内湾する。口径31.0cm。頸部に10本程の沈線を横位施文するが、沈線が途切れ不連続である。また「山」字状の沈線文様が見られる。胴部には6本の集合沈線がおそらく4単位垂下するものと思われる。沈線に沿って刺突文が施される。2は底部片。底径(12.0cm)。無文。

401号土坑 (第399図、PL157)

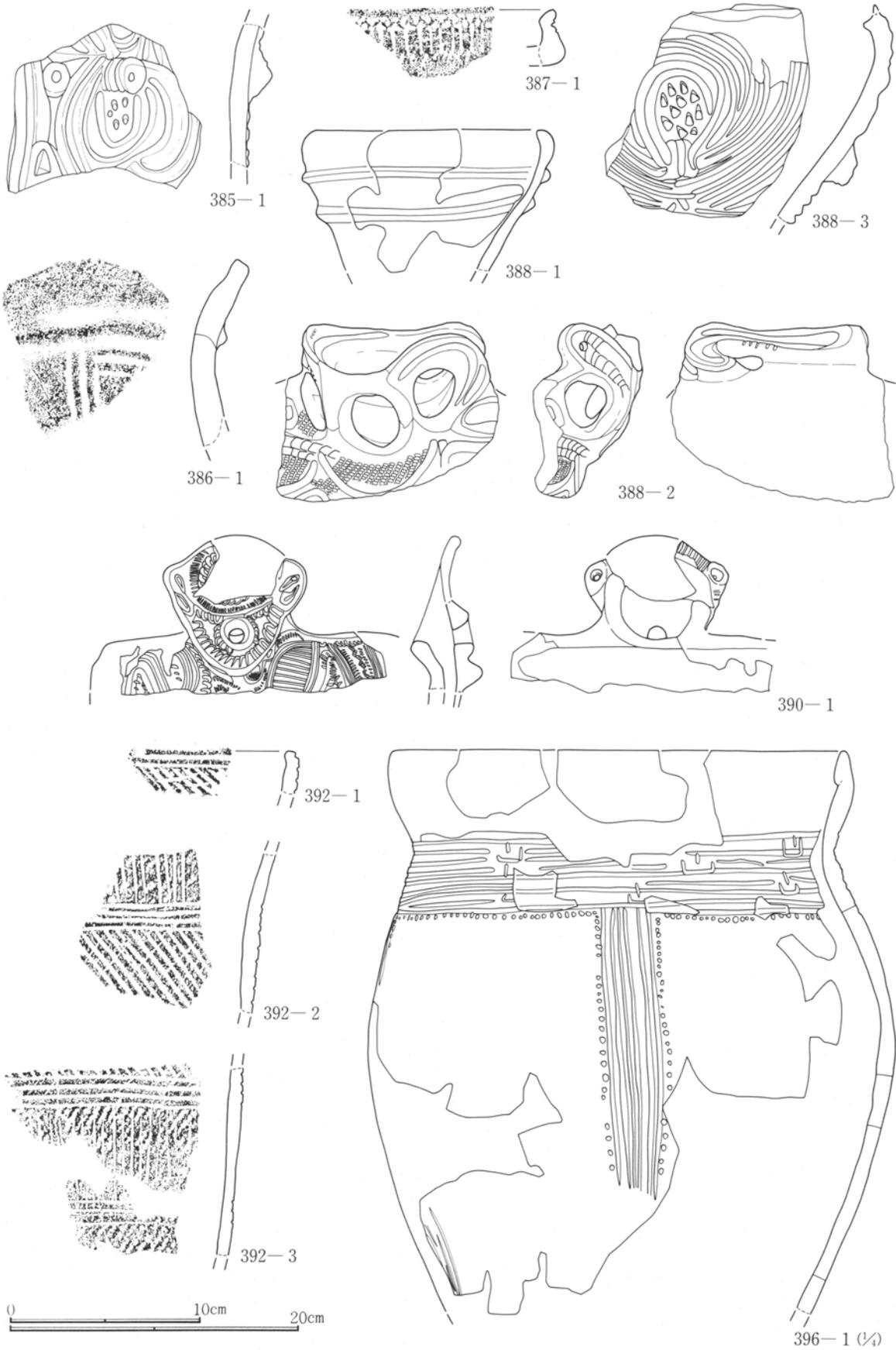
1は無文。2は縦位の隆帯文。

403号土坑 (第399図、PL157)

1は縄文が施文された口縁部片。

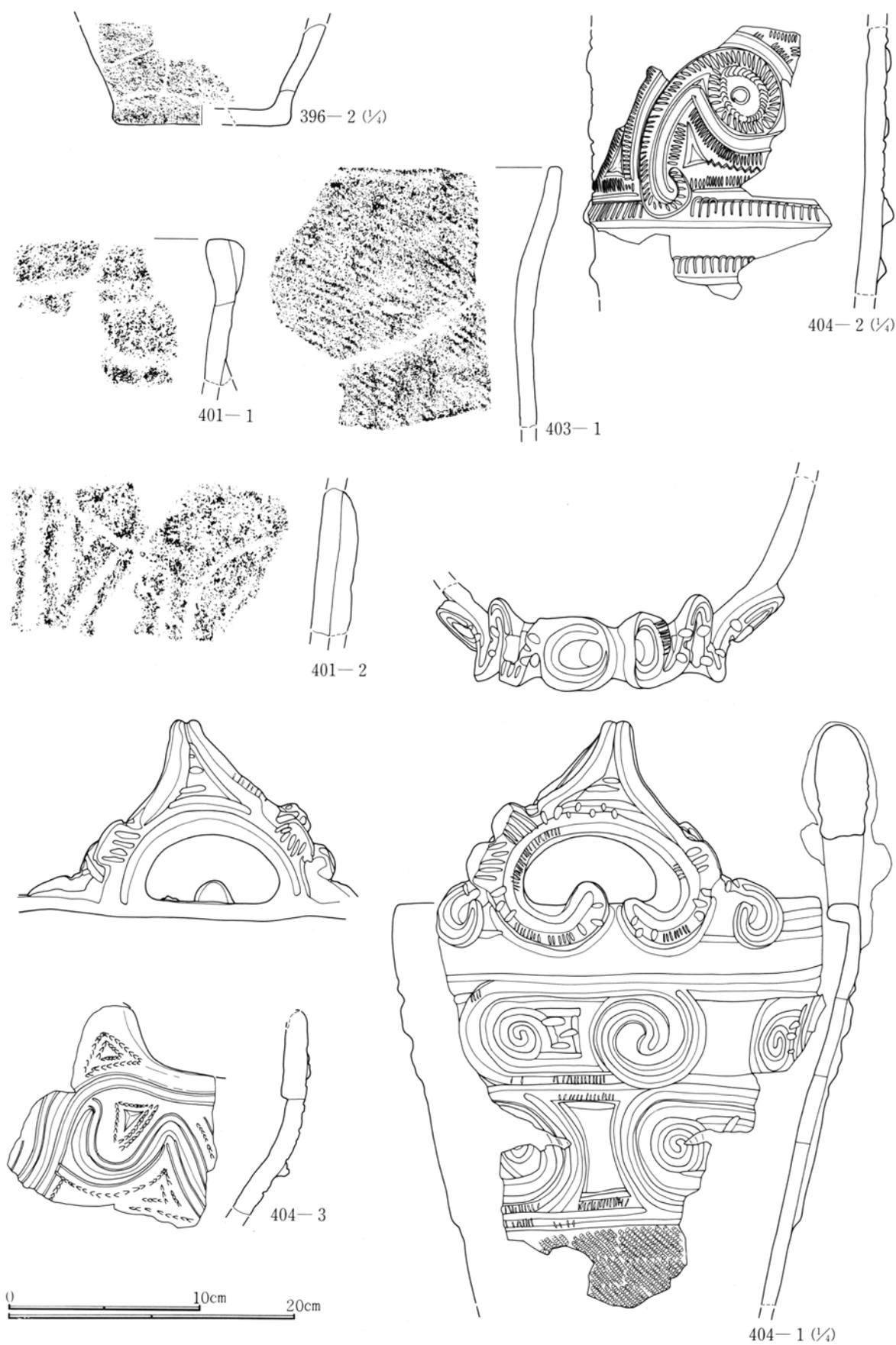
404号土坑 (第399図、PL157・158)

1は深鉢型土器。かなり厚手で、隆帯による極めて立体的な文様を持つ。口径(31.6cm)。口縁部に逆ハート状の把手が付く。刻みを持った隆帯で加飾され、上部には「S」字「8」の字文を描く。口縁部は無文帯で以下隆帯で2段の文様帯が構成され、隆帯により、渦巻文、楕円文が描かれる。胴下部には縄文LRが縦位施文される。2は胴部片。横位隆帯で区画された文様帯に刻みを持った隆帯による蕨手状文が描かれる。空隙には三叉文、山形文が描かれている。3は口縁部。隆線による曲線文とペン先状の連続刺突文で重三角文が描かれ三角印刻文を持つものも見られる。



第398図 土坑出土縄文土器(22)

第2章 検出された遺構と遺物



第399図 土坑出土縄文土器(23)

406号土坑 (第400図、PL158)

1は浅鉢型土器。口径(35.5cm)。口縁部は「く」の字に内屈する。無文。

408号土坑 (第400図、PL158)

1は口縁部片。口唇部が肥厚し、凹線が廻る。

409号土坑 (第400図、PL158)

1は強く外反し底状に張り出す。張りだし部はやや下がり、緩い波状を呈し、円形文が付される。2は波状口縁部の波頂部分である。内外面に三角文が作られる。

412号土坑 (第400図、PL157)

1は胴部に付された眼鏡状の突起である。

415号土坑 (第400図、PL158)

1は隆帯により、楕円文が構成され、内側に波状沈線が廻る。

423号土坑 (第400図、PL158)

1は横位、斜位の沈線文による区画帯。

430号土坑 (第400図、PL158・159)

1は深鉢型土器。胴部の膨らみ、頸部の括れ共に弱い。口径(28.6cm)。頸部に横位平行沈線、横位刺突文を交互に施文。口縁部、胴部共に縦位のS字状結節文を伴うLRの縄文が施文される。2は深鉢型土器である。口径(12.0cm)。口縁部がすぼまるあまり類例を見ない器形である。口縁部に1本の沈線が廻り、ここから両側に刻みを持った縦位沈線が垂下する。3は円筒状を呈す深鉢型土器。口径(18.4cm)、器高33.6cm、底径(14.0cm)。無文。4は底径(12.4cm)。無文の底部片。

442号土坑 (第400図、PL158)

1は刻みを持った隆帯で曲線文を描く。2は底状に張りだした把手部分。円形文、三角文が付される。

444号土坑 (第401図、PL159)

1は深鉢型土器。頸部で強く「く」の字に折れ、口縁部が受け口状を呈す。口径(28.5cm)。縄文RLがまばらに縦位施文される。2は胴から底部。底径(12.7cm)。結節を持ったRLが縦位帯状に全面施文され、縦位に4単位の隆帯が垂下し、さらに縦位沈線が垂下する。

445号土坑 (第401図、PL159)

1は口縁部片。横位沈線で区画し縦位の集合沈線文。2は縦位沈線、矢羽状文。3は沈線で横位、縦位の区画を作り曲線文が描かれる。

446号土坑 (第401図、PL158・159)

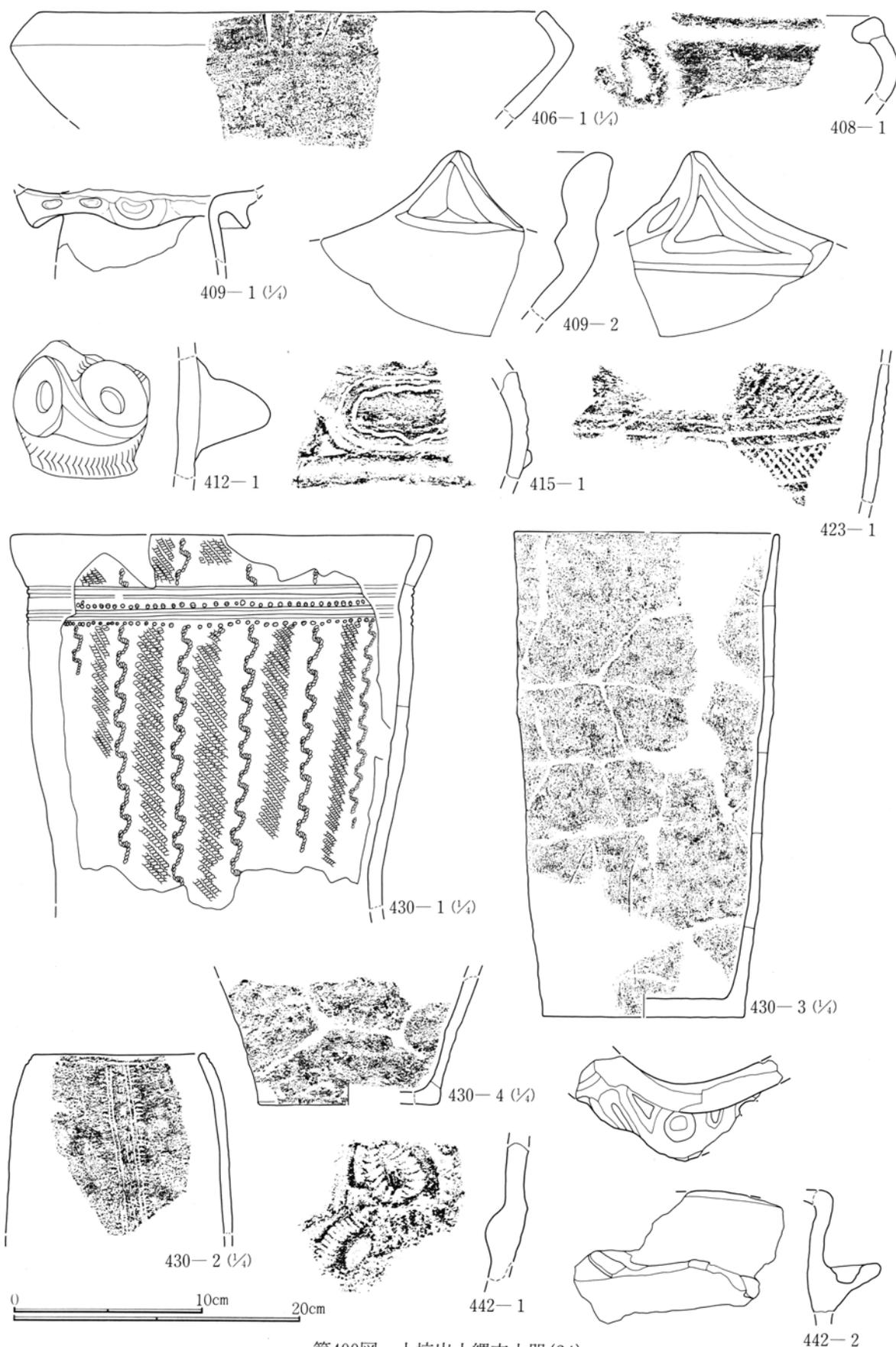
1は口縁部片。縦位楕円文を隆線で描き、両側には横位、斜位の沈線文。円孔を持つ。2は耳栓である。鼓状を呈す。両面に刺突文。長さ2.5cm、径2.0cm。

467号土坑 (第402図、PL160)

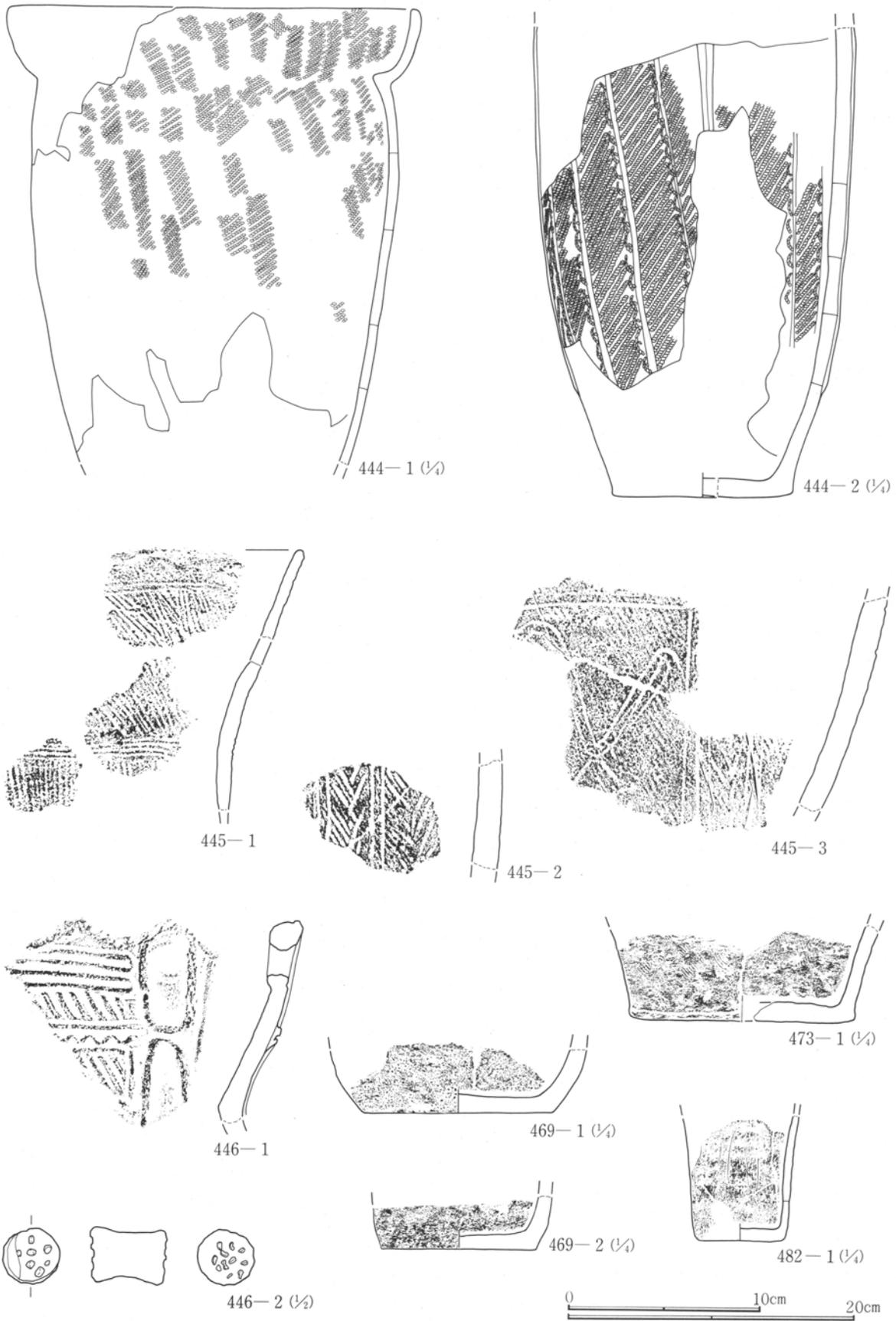
1は深鉢型土器。口径37.0cm。口縁部に2ないしは3箇所の円形の突起文が付される。口唇内外面に刻み目文。横位の集合沈線で横位区画され斜位集合、鋸歯状文が付され、胴部は縦位に集合沈線と鋸歯状文が交互に配される。

468号土坑 (第402図、PL159)

1は胴部。一部に突起を有す隆帯による曲線文から垂下隆帯、波状沈線が垂下。隆帯上、隆帯に沿って連続爪形文が配される。



第400図 土坑出土縄文土器(24)



第401図 土坑出土縄文土器 (25)

第2章 検出された遺構と遺物

469号土坑 (第401図、PL159・161)

1・2は無文の底部。1は底径13.1cm。2は底径11.0cm。

473号土坑 (第401図、PL160)

1は底部。底径(15.6cm)。縄文RLが横位施文される。

482号土坑 (第401図、PL159)

1は無文の底部。底径6.0cm。

483号土坑 (第402図、PL159・161)

1は深鉢型土器。口径16.8cm。口縁部に大形の環状突起が付く。短沈線で「U」字文、三叉文が付される。頸部に隆帯が廻り胴部には撚糸文Lが縦位に施文される。2は横位隆帯文、縦位の沈線文、地文に縄文が施文される。3は結節を持つ隆線を横位施文。胴部にソーメン状の浮線による網目状文。

485号土坑 (第402図、PL160・161)

1は深鉢型土器の口縁部。口径28.0cm。口縁部に幅狭の無文部分を持つ。沈線で横位の区画帯を作り、斜位、矢羽状の集合沈線文を付す。胴部には「Y」字状の垂下文。2は口縁部片。沈線による横位区画文を作り、矢羽状、斜位の集合沈線文を充填。3は胴部片。RL・LRで横位羽状縄文が多段施文される。4は横位沈線による区画帯、間を縦位、斜位、斜格子文で埋める。下位には鋸歯状の沈線文。5は底部。端部は丸みを持つ。底径(5.6cm)。縄文施文。

488号土坑 (第402図、PL159)

1は沈線による文様を描く。

491号土坑 (第402・403図、PL159~161)

1は口縁部片。縦位、横位の連続結節文。貼付文を有す。2は口縁部片。小波状で円形の突起を持つ。外面に横位沈線、内面には沈線で連続三角文を描く。3は3本の縦位沈線文に沿って斜沈線、刺突文が付される。4は口縁部片。数本の横位沈線を廻し楕円文、円形文を付す。胴部には「Y」字状文が垂下し、区画を作り波状文、渦巻文が描かれる。地文には縄文が施文される。

496号土坑 (第403図、PL161)

1は底部。底径12.6cm。下部が強く張りだす。縄文が全面に施文される。

498号土坑 (第403図、PL161・162)

1はキャリパー形を呈す深鉢型土器。口径(20.8cm)。口縁部は内湾し口唇部が肥厚する。口縁部に横位沈線を廻し、縦位沈線、円形文を描く。胴部には四角の区画文を隆帯によって構成。区画内には連弧状の刺突文、縦位沈線文が施文される。2は口縁部。口径(25.0cm)。4単位の渦巻状の突起文を有し、そこから橋状の把手が付く。口縁部は隆帯により、楕円文が構成され、縦位沈線文が充填される。

499号土坑 (第403図、PL162)

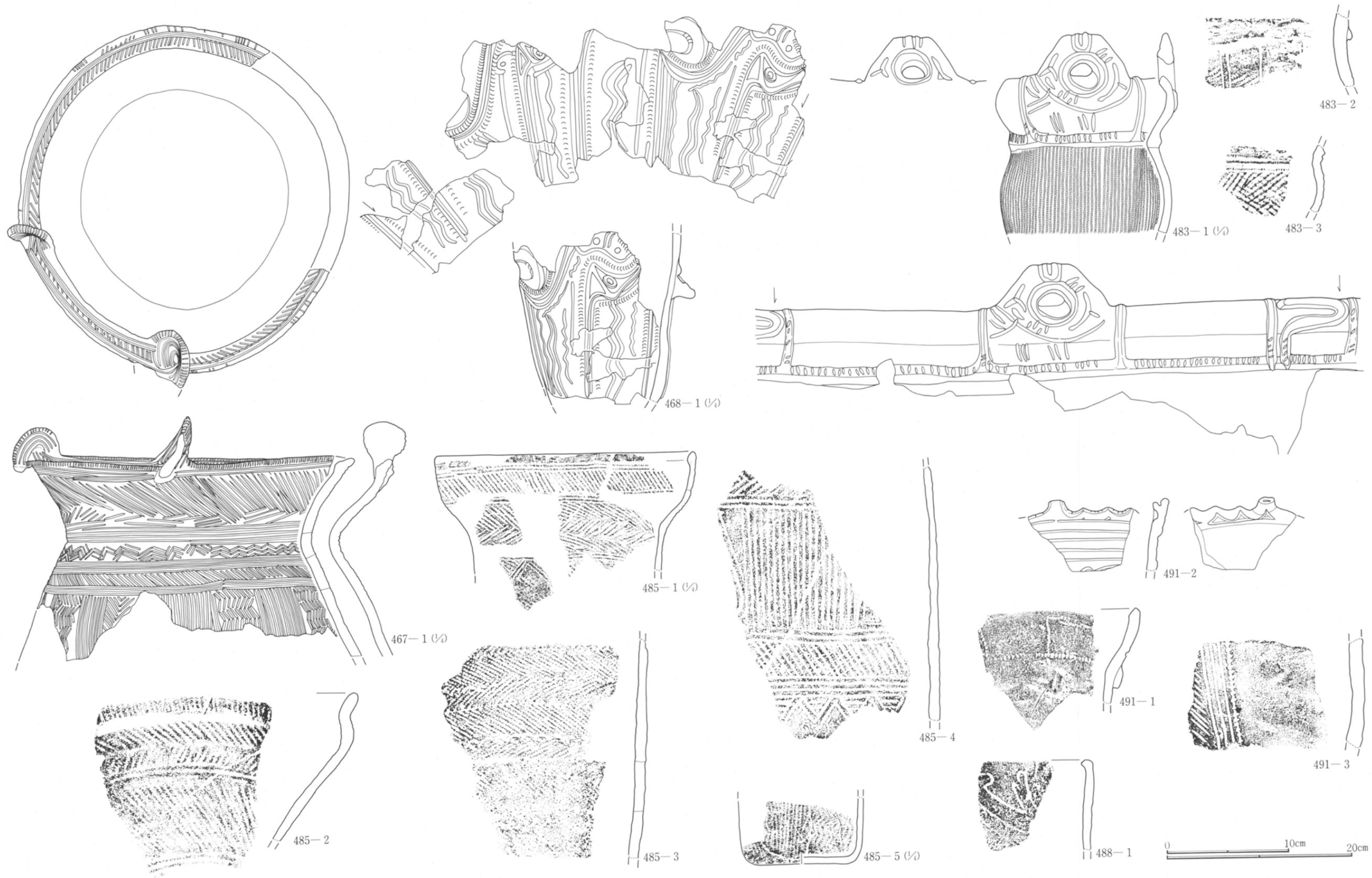
1は深鉢型土器。底径(11.8cm)。頸部に4単位の横位棒状貼付文が付される。無文。

500号土坑 (第403図、PL162)

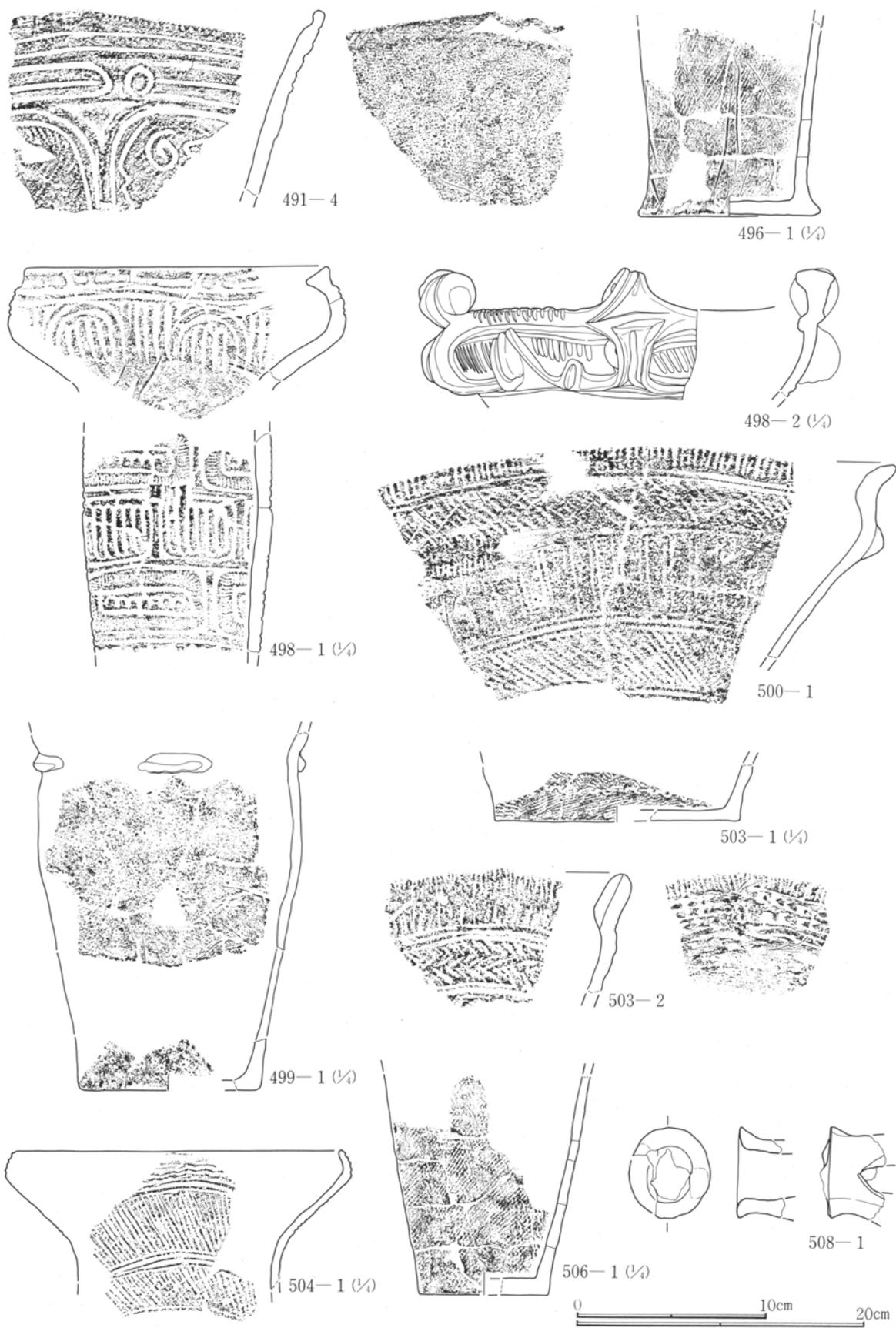
1は口縁部に撚糸文、横位沈線で区画し斜格子、縦位、斜位の沈線文。瘤状文を付す。

503号土坑 (第403図、PL162)

1は底部。底径(17.0cm)。結節を持つ横位縄文。2は口縁部片。口縁部に縦位沈線施文。口縁部肥厚。内面に結節文を多段施文。横位沈線文間に矢羽状の沈線文。



第402图 土坑出土绳文土器(26)



第403図 土坑出土縄文土器(27)

第2章 検出された遺構と遺物

504号土坑 (第403図、PL161)

1 は横位沈線区画帯に斜位の集合沈線文。口径 (22.4cm)。

506号土坑 (第403図、PL161)

1 は胴から底部。底径 (9.0cm)。結節を持つ縦位の縄文が全面施文。

508号土坑 (第403図、PL162)

1 は円形の把手部分片。径4.6cm。注口状で、側面に三角の透かし孔。

513号土坑 (第404図、PL162)

1 は胴部片。押圧を持つ横位隆帯、連続爪形文、沈線文が施文される。

516号土坑 (第404図、PL162)

1 は円筒状の深鉢型土器。口径 (13.0cm)、器高22.1cm、底径 (11.2cm)。無文。

519号土坑 (第404図、PL163)

1 は口縁部片。口縁部に斜格子文を持つ文様帯。以下縦位の結節縄文。

521号土坑 (第404図、PL162)

1・2 は縄文施文後、沈線で円形文、波状文を描く。

523号土坑 (第404図、PL163)

1 は深鉢型土器。口径(25.2cm)。口縁部に撚糸文。横位沈線で文様帯を画し、縦位の集合沈線文、平行線文。胴部には縄文が施文される。

524号土坑 (第404図、PL163)

1 は隆帯文、沈線による円形文。2 は無文土器。

528号土坑 (第404図、PL161)

1 は底部。縦位の連続結節文。底径 (6.6cm)。

529号土坑 (第404図、PL162)

1 は無文の底部。底径 (12.1cm)。

530号土坑 (第404図、PL161)

1 は無文の底部。底径 (13.2cm)。

531号土坑 (第404・405図、PL163・165)

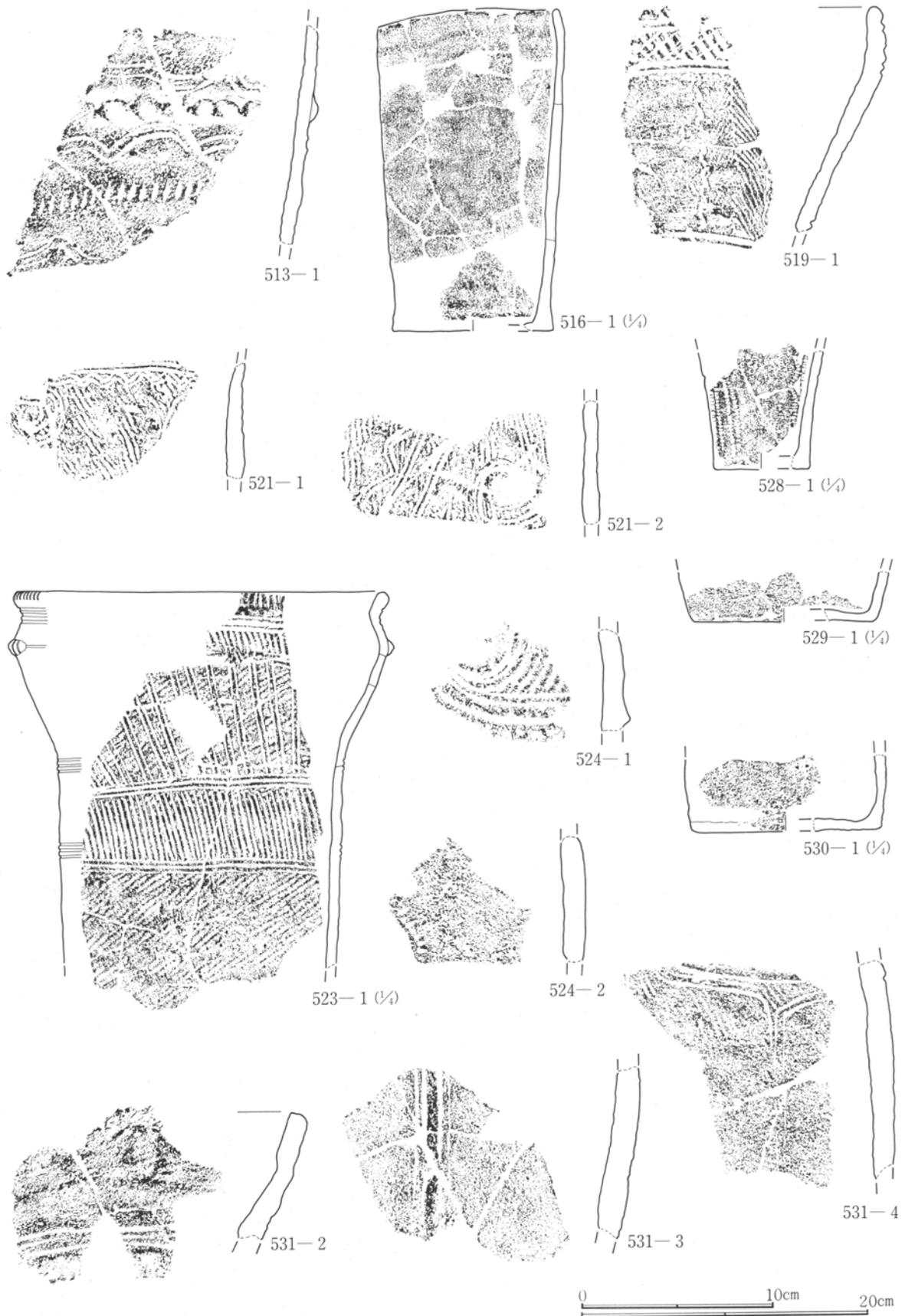
1 は深鉢型土器。胴部はわずかに膨らみながら立ち上がり口縁部は短く外傾。無文土器。口径23.6cm。2 は口縁部片。口縁部は無文で横位沈線が廻る。3 は縦位の隆帯。4 は縄文施文後、沈線文。

535号土坑 (第405図、PL163・165)

1 は底部。底径 (8.1cm)。縦位結節縄文。2 は口縁部片。横位沈線で画し斜格子文を施文。3 は縄文が施文される。

537号土坑 (第405図、PL163~165)

1 は深鉢型土器。口径(31.2cm)。球胴形を呈し、円形の突起を有す波状口縁。突起は1つと2つのものが対になるものと思われる。波頂部から「M」字状に連続結節文が左右に延び、三角文が1対付される。頸部にも結節文を廻し、胴部には連続結節文または平行線による四角形の区画文が2段構成され、上段の区画内には円形文、鋸歯文を結節文と沈線文で描き、空隙に三角印刻文が配される。2 は深鉢型土器。口径 (24.0 cm)、器高28.1cm、底径 (13.5cm)。4 単位の波状口縁を呈し波頂部はさらに2つの小波状となる。波頂部下位に沈線文で山形文。縦位結節文。三角印刻文が見られる。胴部には隆線が垂下し、これに沿って横位、縦



第404図 土坑出土縄文土器(28)

第2章 検出された遺構と遺物

位の沈線文。3は波状を呈す深鉢型土器。口径(25.4cm)。波頂部は二つに割れる。口縁部から延びた隆線が「Y」字状に下がって頸部、胴部につながる。口縁部には沈線で渦巻文、矢羽状文。胴部には区画内に縦位の集合沈線文。

539号土坑 (第405・406図、PL163~166)

1は隆帯により、楕円文が構成され、結節沈線で波状文、楕円文が描かれる。2・3は胴部片。隆帯による曲線文が垂下、横位沈線文が見られる。4は胴部。断面三角の隆帯で横位区画帯を作り、爪形文、波状文を付す。また棒状の短隆帯で隆帯を連結する。下半部には曲線文が垂下。5は深鉢型土器。口径(22.2cm)。口縁部に円孔を持つ突起文。胴部無文で、頭部肥厚した隆帯文が垂下する。6は口縁部片。隆帯により、楕円文が構成される。結節沈線による波状文、楕円文が付される。7は底部。底径(13.1cm)。2本単位の隆帯が垂下。

540号土坑 (第406図、PL164)

1は底部片。底径14.7cm。縦位沈線文。

541号土坑 (第406図、PL163・165)

1~3は同一個体片。口縁部は隆帯により、楕円文が構成される。横位沈線部分に沿って刺突文が付される。4は沈線により曲線文様が描かれる。

542号土坑 (第406図、PL164)

1は器台形土器の一部と思われ、円孔が見られる。2は隆帯による区画文および結節沈線による楕円文が描かれる。

543号土坑 (第406図、PL164)

1は隆帯による横位文、円形文。

545号土坑 (第406図、PL166)

1は土笛。底が平らな球形を呈し、吹き口部分がやや高まる。胴下半部に浅い沈線が廻り、胴の対面には不鮮明であるが沈線で曲線文様が描かれる。高さ3.0cm、径3.0cm。

547号土坑 (第406図、PL166)

1は地文に縄文を施文、横位縦位の平行沈線文。

556号土坑 (第407図、PL167)

1は口縁部片。口唇部が肥厚し、口縁に沿って隆帯が廻る。以下沈線による矩形文、円形文が描かれる。2は縄文施文後沈線による曲線文。3は横位隆帯間に楕円文が描かれる。

557号土坑 (第407図、PL166)

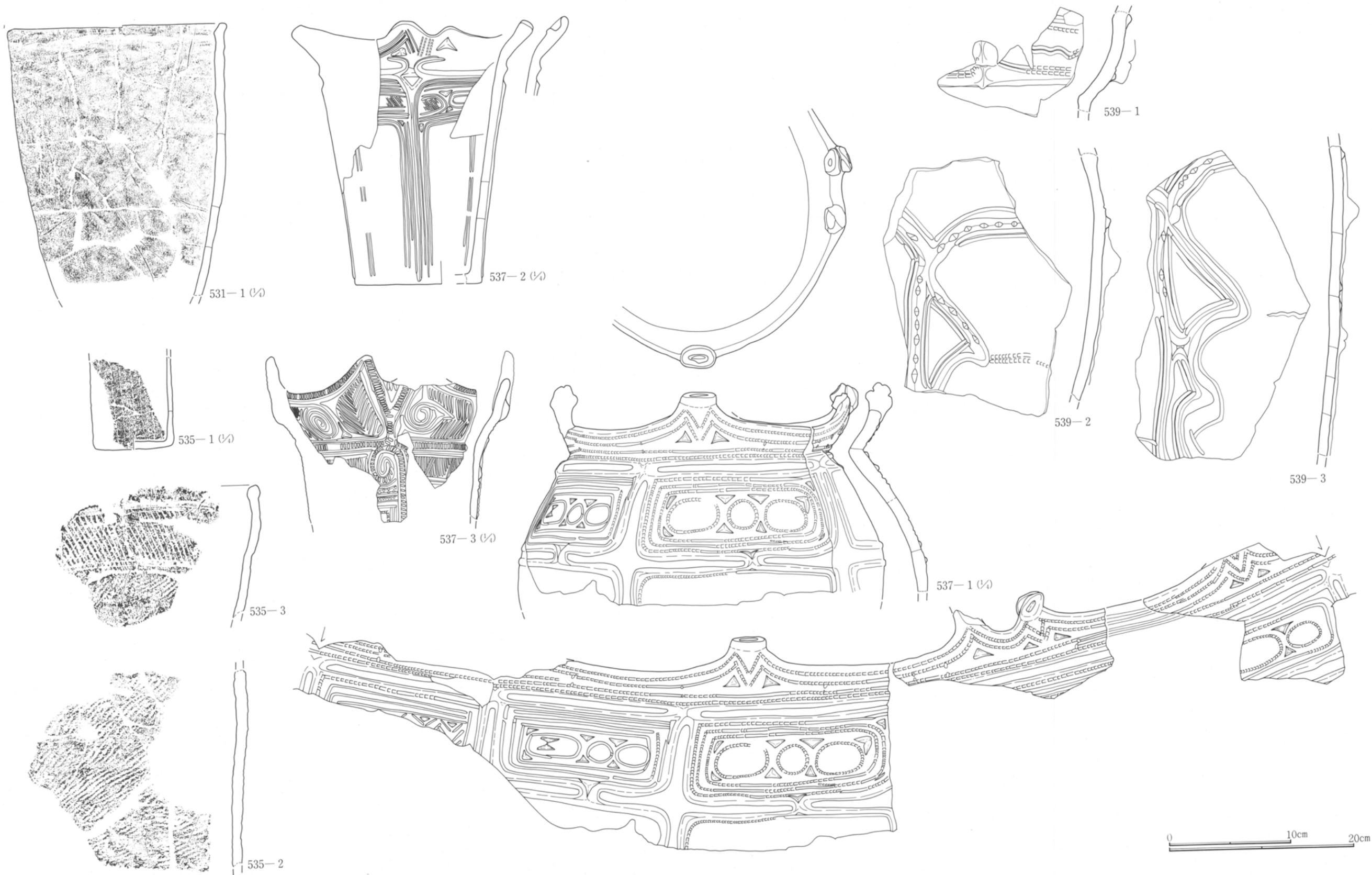
1は棒状に突起した隆帯を持つ。

558号土坑 (第407図、PL167)

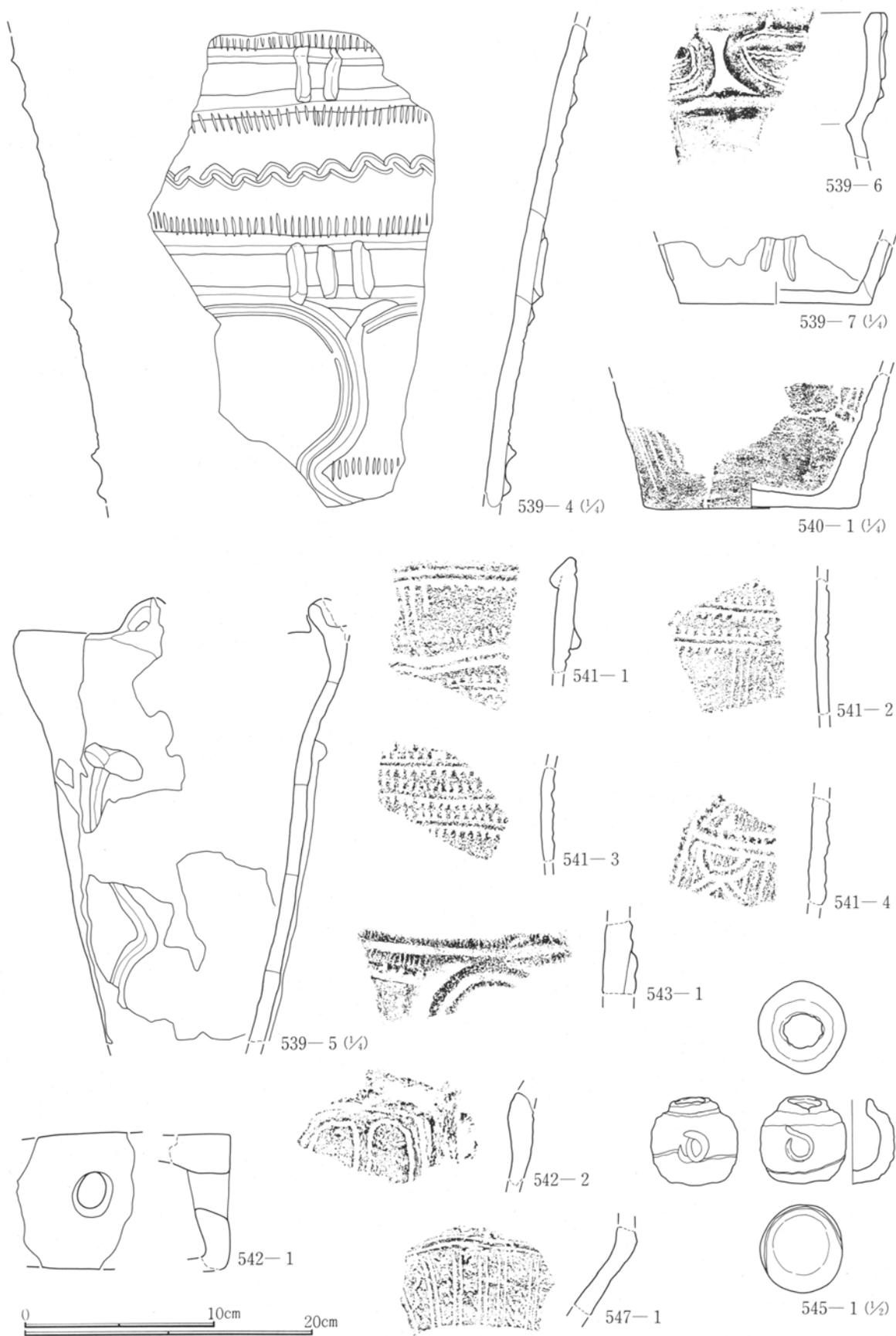
1は横位の隆帯間に楕円文、円形文が描かれ、縦位沈線が隆帯上に施文される。

559号土坑 (第407・408図、PL167・168)

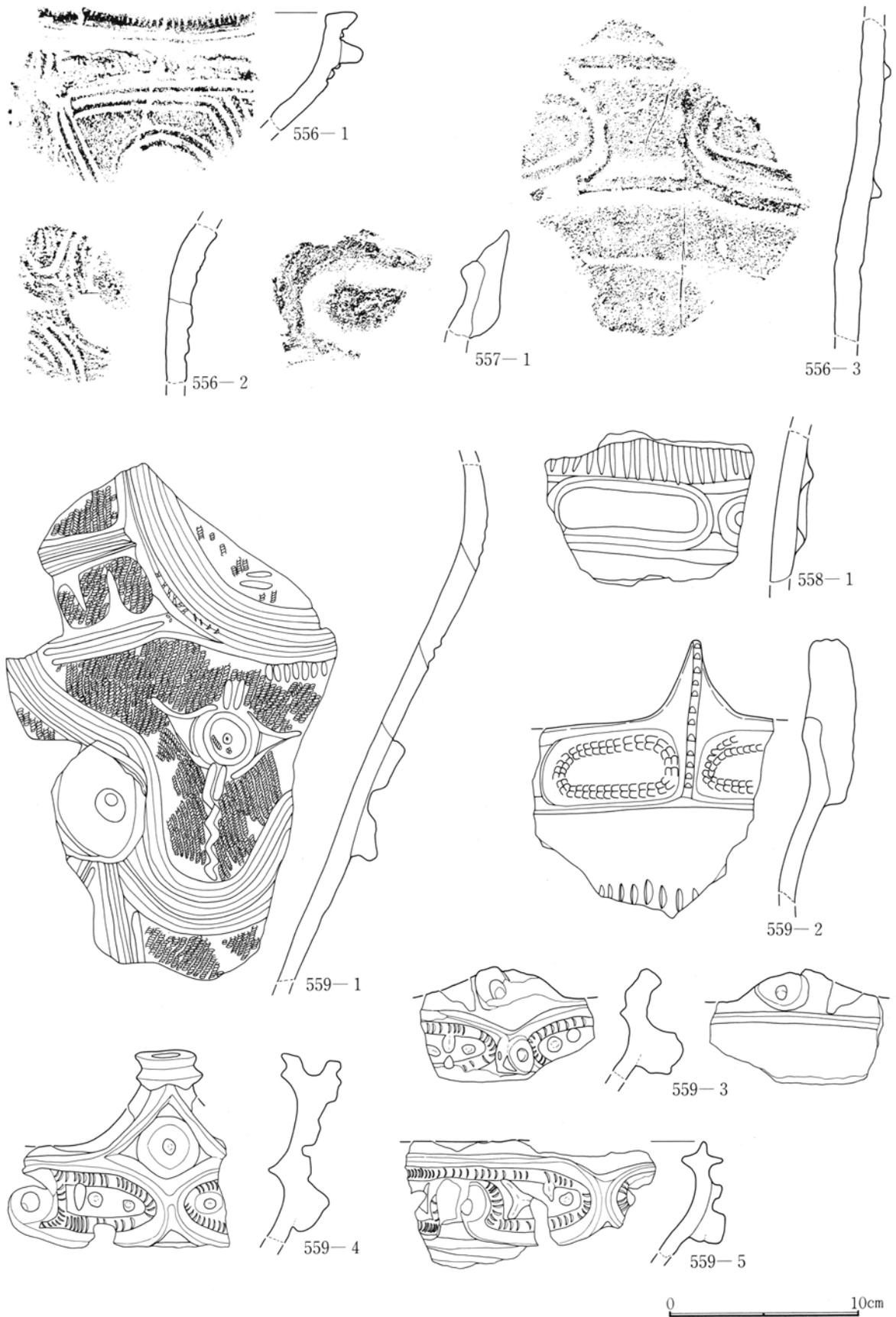
1は隆線による曲線文円形の突起文を有し、縄文 RL 施文。円形文、三角文を組み合わせたモチーフ文様が見られる。2は口縁部片。突起を有し、隆帯により、楕円文が構成され、内側に2条の結節沈線が廻る。胴部には横位の爪形文。3~5は同一個体。口縁部は刻みを有す隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。楕円文内には三叉文、円形文が配される。3は山形突起を有し先端部は円形で円文を持つ。6は無文の口縁部片。



第405図 土坑出土繩文土器(29)



第406図 土坑出土縄文土器(30)



第407図 土坑出土縄文土器(31)

561号土坑 (第408図、PL168)

1は隆帯および突起文、2本の結節沈線が隆帯下位に沿って走る。2は口縁部片。結節沈線が横位多段施文される。

569号土坑 (第408図、PL165)

1は胴部から底部。底径11.2cm。円筒状を呈す。胴上半部に隆帯で画された文様帯を持ち、胴部には曲線文が描かれる。沈線文、三叉文が見られる。

572号土坑 (第408図、PL164)

1は底部。底径(6.4cm)。縦位沈線が2条垂下し沈線間は縄文が磨り消される。

573号土坑 (第408・409図、PL167~169)

1は深鉢型土器。口径24.5cm。胴部はわずかに開きながら立ち上がり、口縁部はやや外反する。4単位の突起を有し、2つの山形状、円形文を持つもの、3本の棒状文を持つものが見られる。口唇部には縦位沈線、突起下位には橋状の把手が付される。口縁部文様帯には刺突文を持つ沈線による幾何学文が描かれる。胴部には縦位の結節を持つ縄文が施文され、沈線による平行線文、渦巻文、三角文が描かれる。2は深鉢型土器。口径40.3cm。ほとんど膨らみを持たない胴部、口縁部はやや外反する。無文である。3は深鉢型土器。口縁部はわずかに受け口状を呈す。口縁部に横位沈線、隆線で画した文様帯を持つ。さらに頸部にも隆線、集合沈線を廻す。沈線間、胴部には縄文 RL が施文され、平行沈線による縦、横の文様が描かれる。

574号土坑 (第408図、PL168)

1は口縁部。口径(17.6cm)。口縁に沿って横位の平行沈線を廻し、口唇部には縦位に集合沈線および爪形文を横に連続施文。沈線下位には縄文が充填された幾何学文様を爪形文で画し、印刻文も付される。

578号土坑 (第408図、PL168)

1は底部。底径(10.0cm)。縦位の沈線文。

579号土坑 (第409図、PL167・169)

1は円筒状の胴部。底径(14.0cm)。胴部上半に隆帯で画した文様帯、刻みを持つ隆帯で蕨手状、「U」字状文を描き、空隙に集合沈線が充填される。2は口縁部片。口縁部に瘤状の隆起文、結節沈線文。

589号土坑 (第409図、PL165・169)

1は隆線、沈線による渦巻文、中心部には刺突文が付される。2は刻みを有す横位隆帯、以下横位、縦位の沈線文。

596号土坑 (第410図、PL168)

1は口縁部片。隆帯により、渦巻文が構成される。以下胴部には縄文が施文される。

601号土坑 (第410図、PL169)

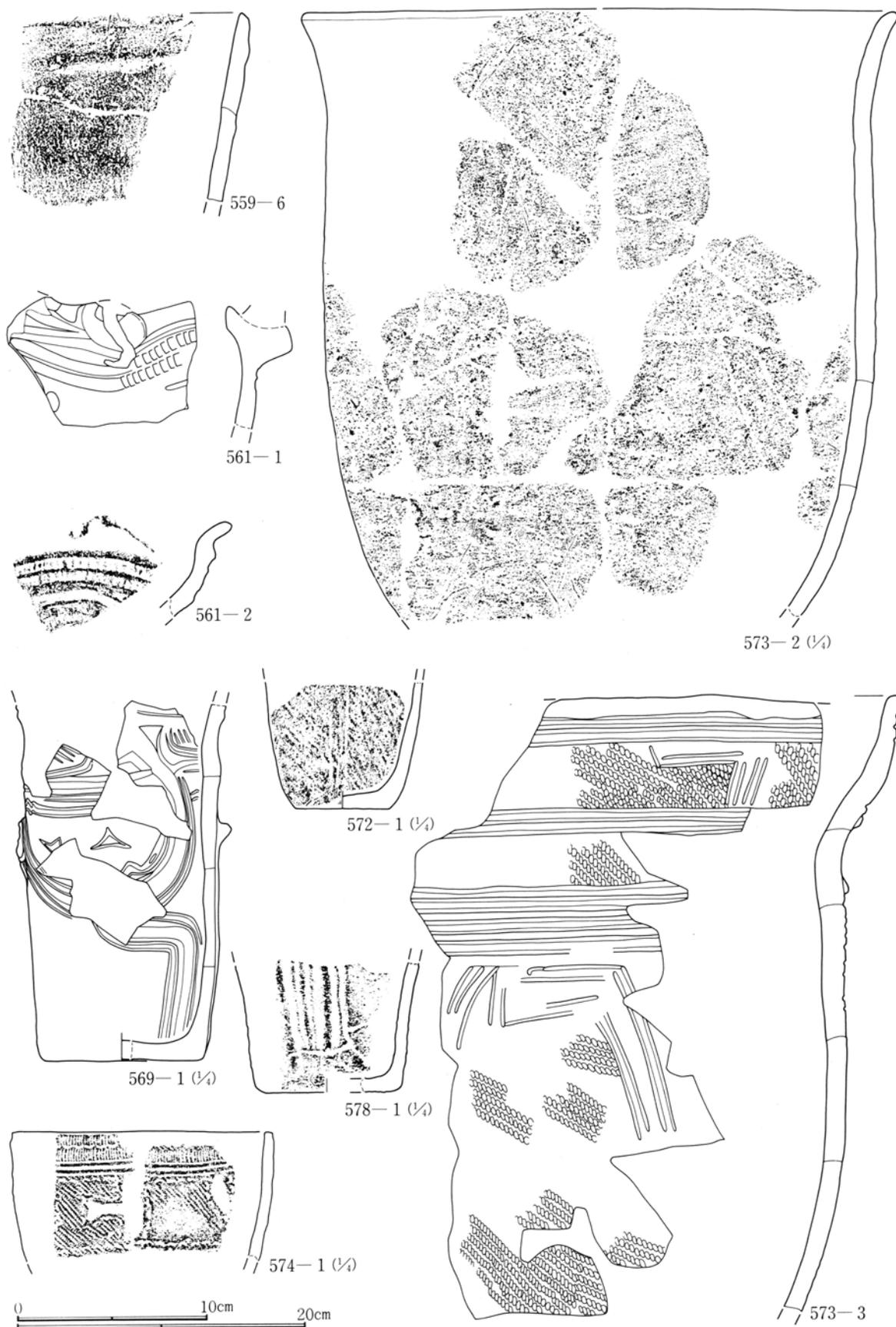
1は凹線を伴う幅広の隆帯による円形文を描き、胴部には縦位に3本の沈線、地文には多方向より施文された縄文 RL が見られる。

602号土坑 (第410図、PL169)

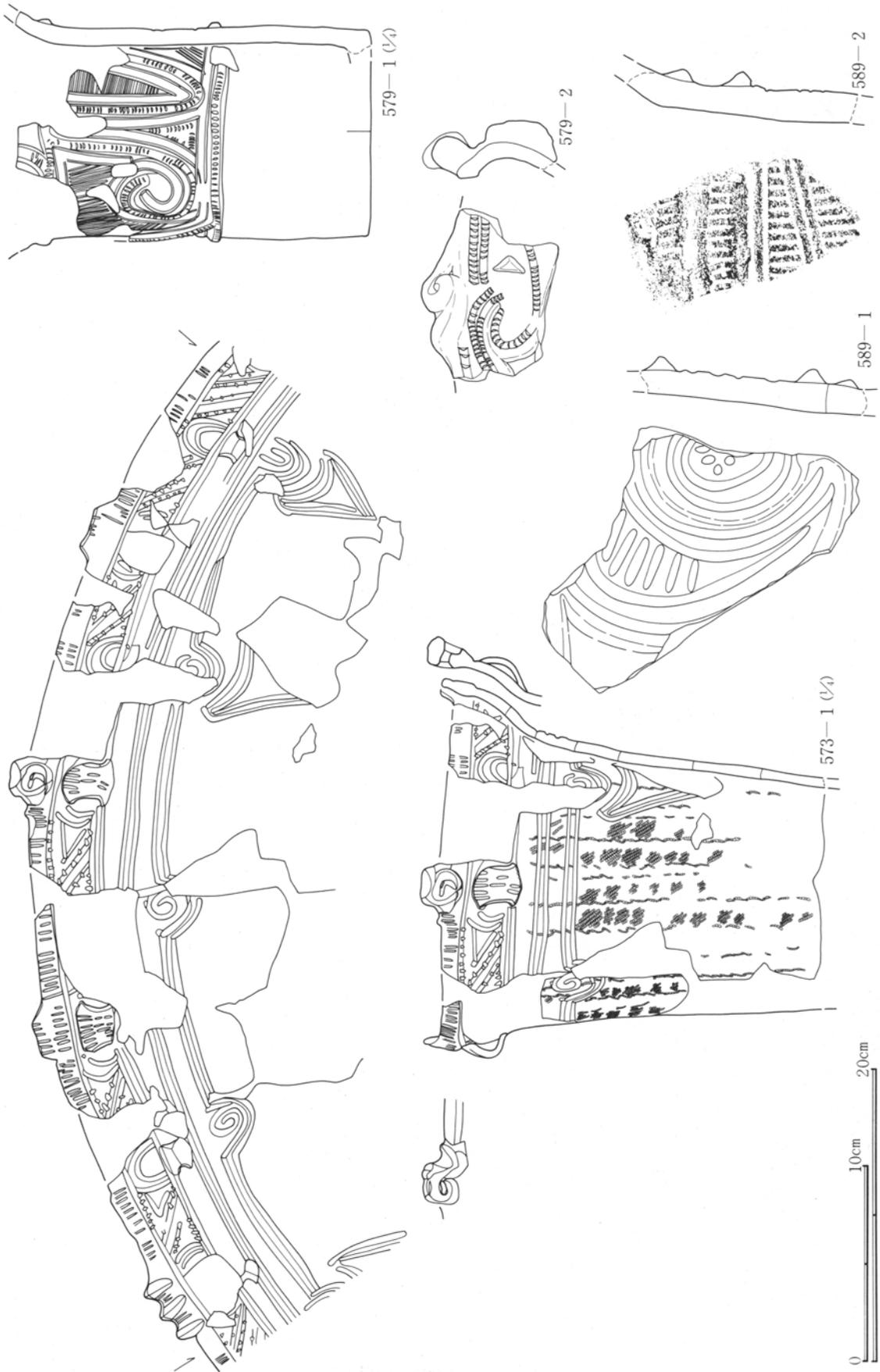
1は口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成され、沈線が配される。

605号土坑 (第410図、PL168~170)

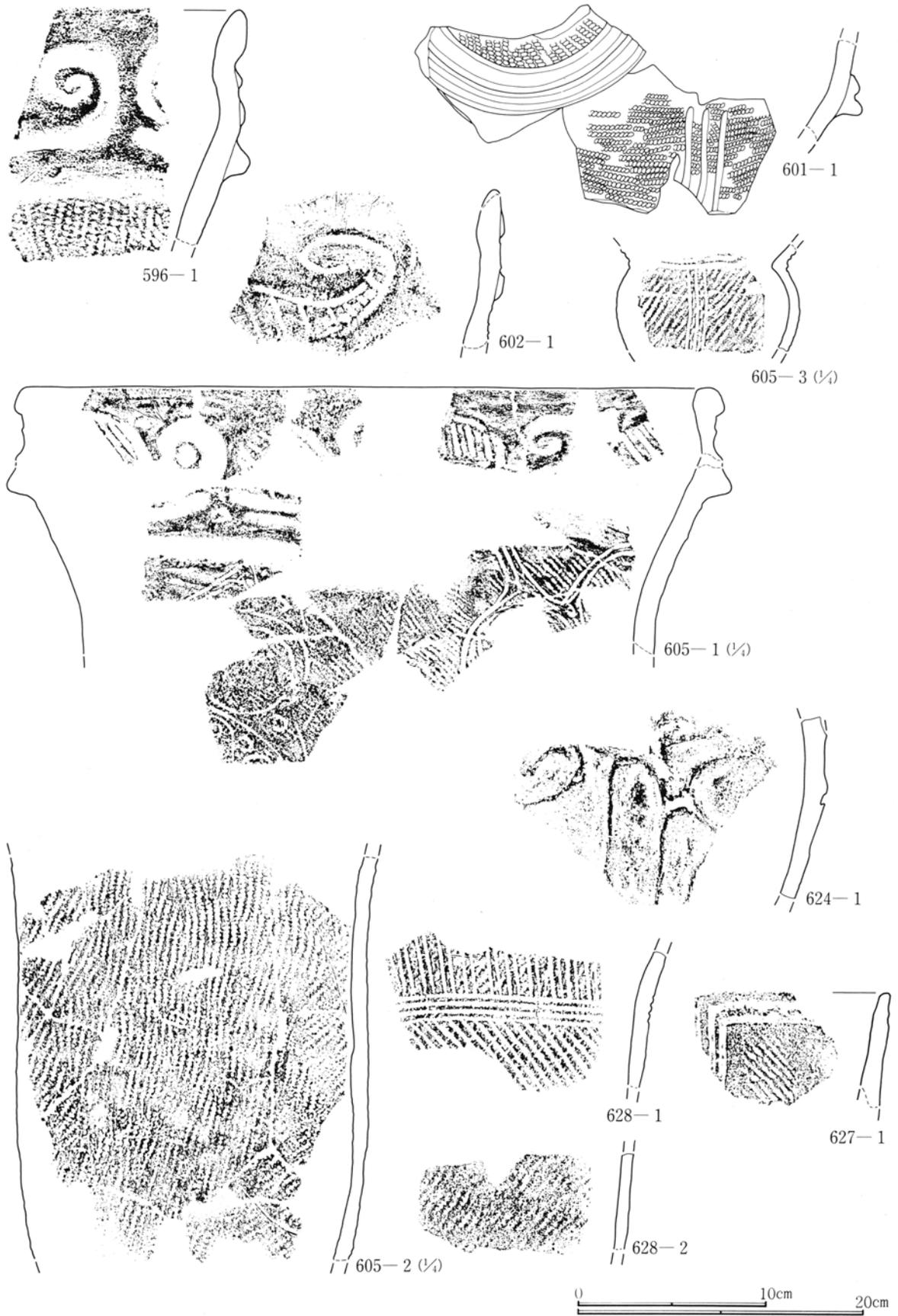
1は口縁部、口径(47.5cm)。隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。区画文内には縦位の沈線文。胴部には縄文施文後、沈線による曲線文様が描かれる。2は深鉢型土器の胴部。縄文 RL が全面施文される。3は小型の深鉢型土器。胴部丸みを持ち、頸部で「く」の字に折れて口縁部は外反する。頸部に3本の横位



第408図 土坑出土縄文土器(32)



第409図 土坑出土縄文土器(33)



第410図 土坑出土縄文土器(34)

沈線、胴部には3本の沈線が垂下する。地文に縄文RL、0段多条が施文される。

607号土坑 (第411図、PL169・170)

1は口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。胴部には縄文が施文される。2は胴部片、縦位沈線が垂下し沈線間は縄文が磨り消される。3は底部。底径(8.8cm)。縦位の隆線。

624号土坑 (第410図、PL169)

1は隆線による曲線文様が描かれる。

627号土坑 (第410図、PL169)

1は口縁部片。沈線による矩形区画を作り区画内には縄文が施文される。

628号土坑 (第410図、PL170)

1は胴部片。横位、縦位の沈線文、斜格子文が付される。2は縄文施文された胴部片。

639号土坑 (第411図、PL170)

1は口縁部。地文に横位の集合沈線、口縁部には棒状、円形の貼付文が付される。

643号土坑 (第411図、PL170)

1は口縁部片。口縁に沿って横位沈線、縦位沈線、円形文が見られる。

644号土坑 (第411図、PL170)

1は深鉢型土器。口径(13.3cm)。口縁部4カ所に橋状把手が付される。口縁部は結節沈線で横位区画し、縦位の結節沈線文。胴部は横位隆帯で楕円の区画文を有す4段の区画帯が作られ、結節沈線で連弧状文、縦位文、曲線文が描かれる。

645号土坑 (第411図、PL171)

1・2は把手部分。同一個体と思われる。口縁部に大きく延びる角状を呈し、両面に沈線による文様が描かれる。2は「く」の字に折れる。

650号土坑 (第412図、PL170・171)

1は完形の深鉢型土器。口径13.2cm、器高21.0cm、底径7.3cm。口縁部は隆帯により、楕円文が構成される。口縁部、胴部に縄文RLが縦位施文され、胴上位には沈線による波状文が付される。2は深鉢型土器の胴から底部。底径14.1cm。胴部は中位で締め、底端部が張る。集合沈線による菱形文を描き、中には渦巻文。

651号土坑 (第412図、PL171)

1は縄文施文された胴部片。

652号土坑 (第412図、PL170)

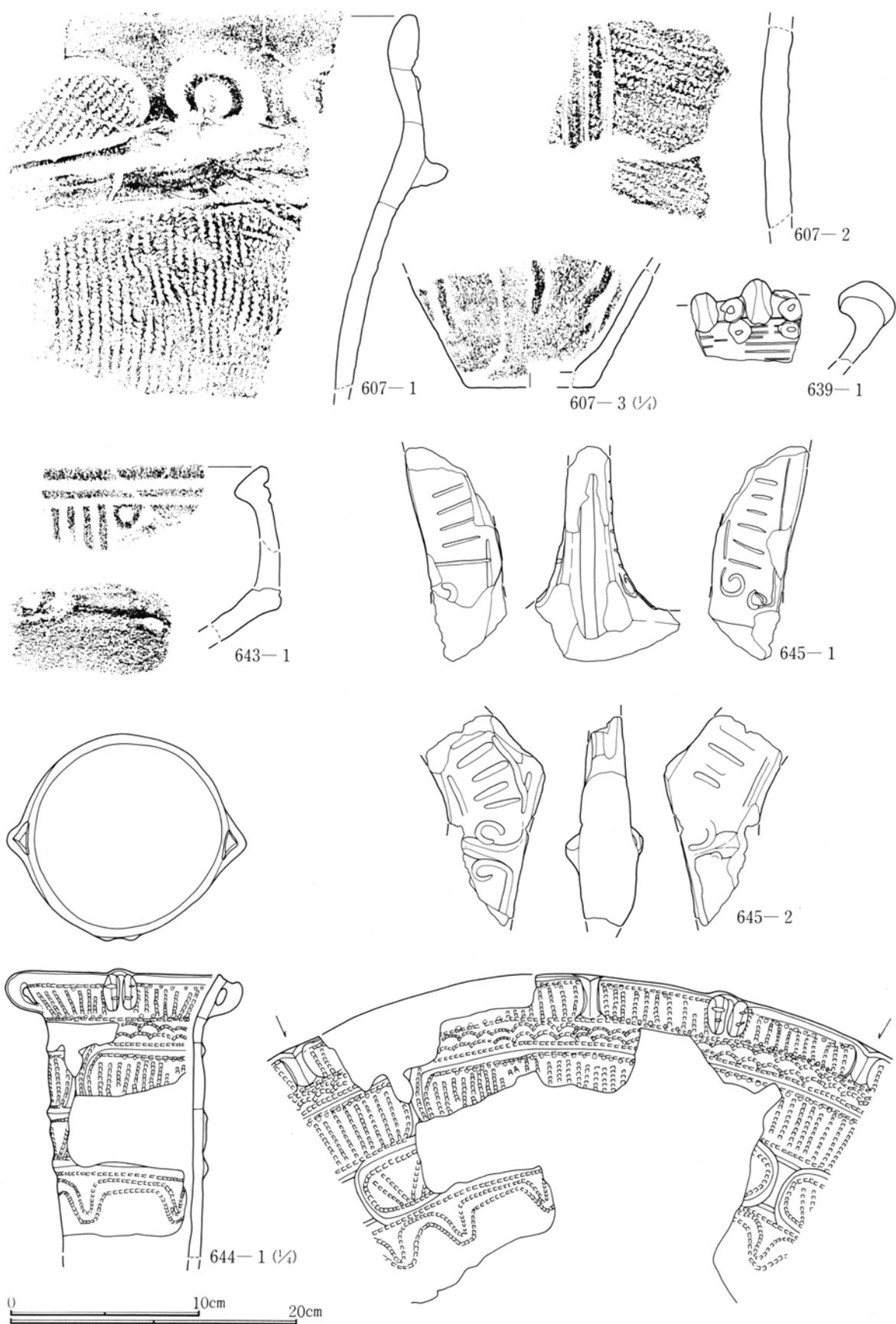
1は口縁部。口径(25.5cm)。口縁部に横位沈線、沈線に沿って刺突文が付される。口縁部は隆帯により、楕円文が構成され、内側には沈線が廻る。

653号土坑 (第412図、PL169・170)

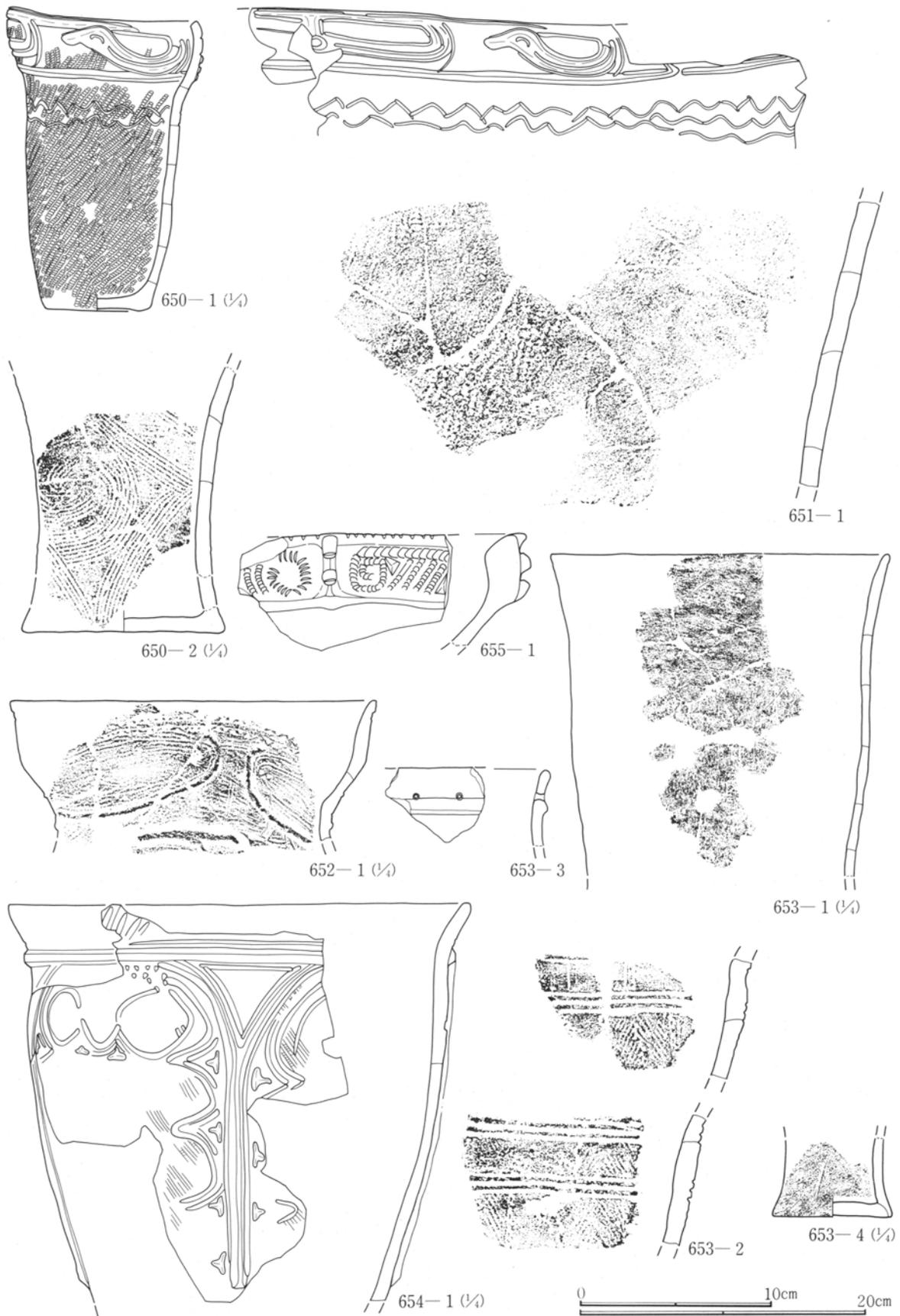
1は深鉢型土器。口径(23.4cm)。無文。2は縦位羽状縄文施文後、横位の沈線帯。3は口縁部片。口縁部に横位隆帯が廻り、円孔が見られる。4は底径8.2cm。無文で底端部が張る。

654号土坑 (第412図、PL172)

1は深鉢型土器。口径(32.3cm)。口縁部には斜沈線文。頸部に隆帯が廻され、「Y」字状の隆帯が4本垂下する。胴部には沈線による「C」状文、連弧状文が描かれ、三叉文、刺突文が付されている。地文の縄文がわずかに見られる。



第411図 土坑出土縄文土器(35)



第412図 土坑出土縄文土器(36)

第2章 検出された遺構と遺物

655号土坑 (第412図、PL171)

1は口縁部片。口唇部に刻み、口縁部は隆帯により、楕円文が構成され、結節文による円形文、斜線文。

661号土坑 (第413図、PL171)

1は浅鉢型土器。口縁内面に結節文を多段施文する。

665号土坑 (第413図、PL172)

1は深鉢型土器。口径20.4cm。口縁部に2単位の円孔を持つ突起文。口唇部には撚糸文が施文される。口縁部文様帯には横位沈線と斜位の沈線文。胴部は横位沈線で画され、縦位平行沈線、斜格子文が施文される。地文には縄文 RL が縦位施文される。

670号土坑 (第413図、PL171・172)

1は円筒状の無文胴部。2は底部。底径10.7cm。無文。

671号土坑 (第413図、PL171)

1は口縁部片。口唇部に撚糸文。口縁部は横位沈線で画され斜格子文、以下縦位の平行沈線が施文される。

672号土坑 (第413図、PL171)

1は横位平行沈線で画され、鋸歯状文、縦位平行沈線文。

676号土坑 (第413図、PL171)

1は沈線による縦位平行線、楕円文。2は横位「S」字状結節を持つ縄文。

677号土坑 (第413図、PL172)

1は深鉢型土器。口径22.7cm、器高29.3cm、底径14.0cm。肩部でやや張り、頸部括れて口縁部は外反する。無文である。

678号土坑 (第414図、PL173)

1は深鉢型土器。口径15.5cm。口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。区画文内、胴部には縄文 LR が施文される。

680号土坑 (第414図、PL171)

1は底部。底径(8.8cm)。無文。

681号土坑 (第414図、PL171)

1は底部。底径(11.5cm)。無文。

682号土坑 (第414図、PL173)

1は深鉢型土器。頸部は「く」の字に折れて口縁部は外反する。頸部に横位隆帯、胴部には「Y」字状文が垂下。区画内は横位沈線帯、沈線による横位、縦位の楕円文が描かれる。

683号土坑 (第414図、PL173)

1は深鉢型土器。口径(12.6cm)。頸部が括れて内側に入り、口縁部は直立。頸部屈曲部には刺突文を伴う沈線が廻る。胴部は撚糸文 L が縦位全面施文される。

684号土坑 (第414図、PL173)

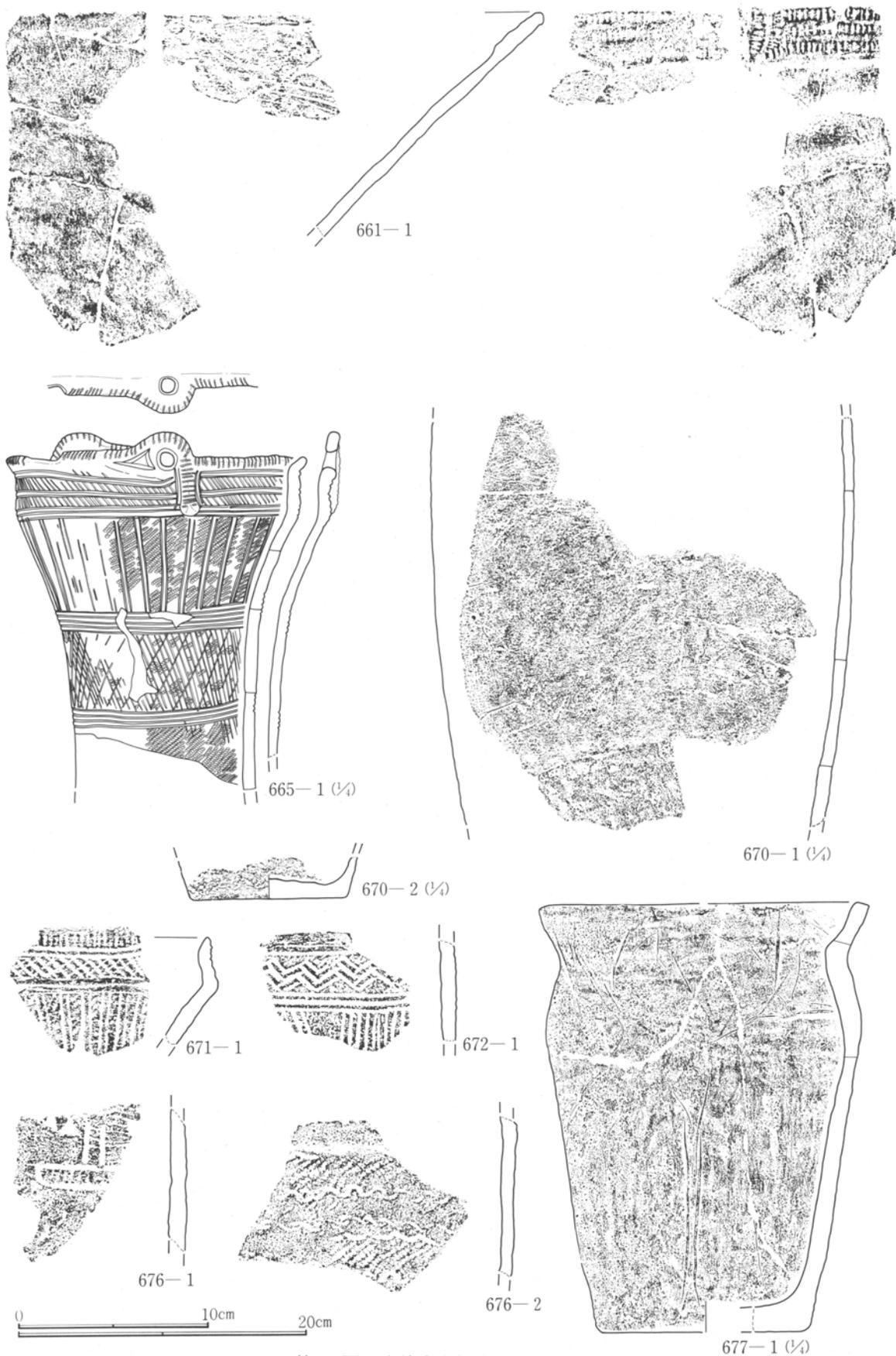
1は底径(12.1cm)。底部縦位のS字状結節文。

687号土坑 (第414図、PL173)

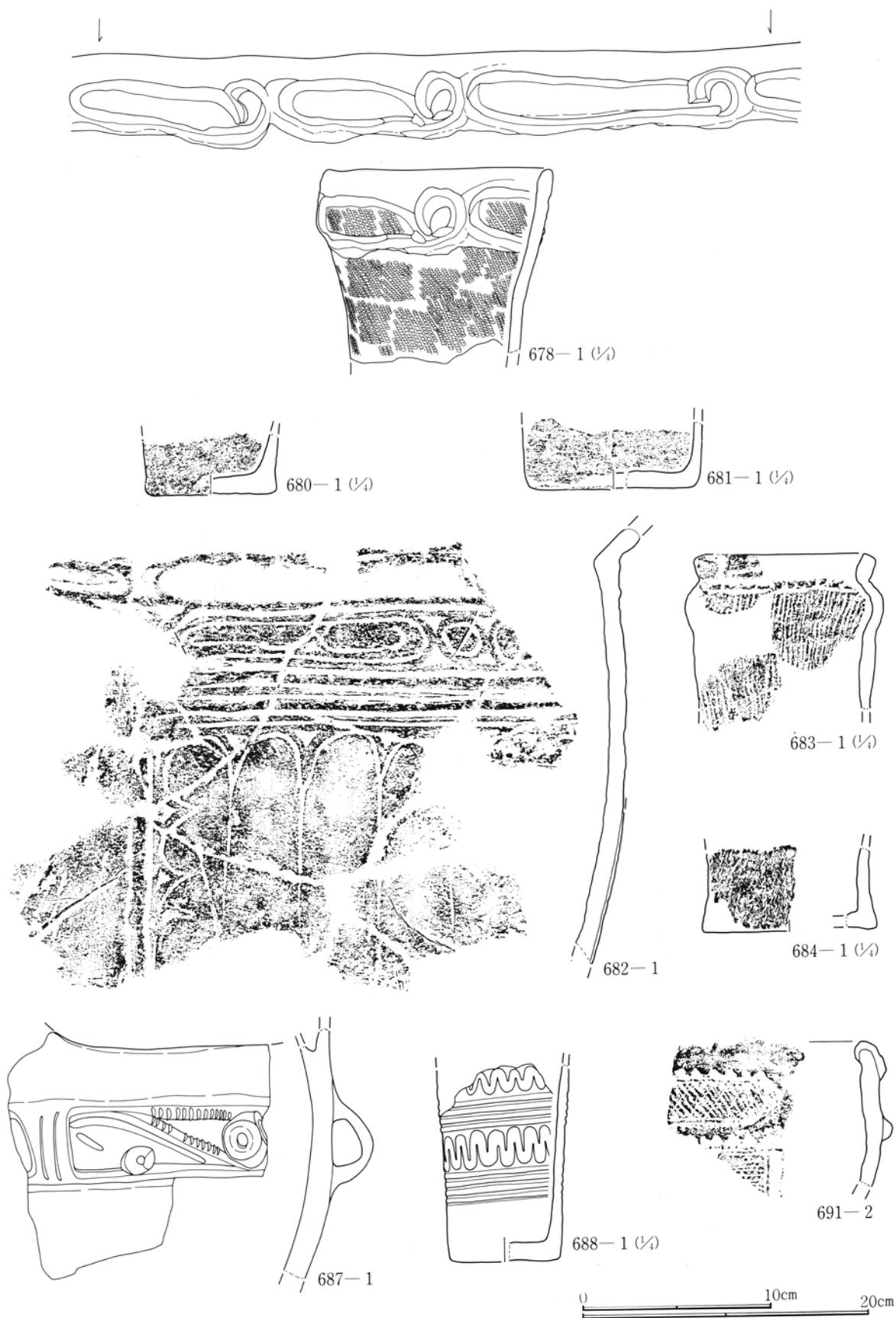
1は隆帯で画された横位文様帯部分に橋状把手を持つ胴部片。

688号土坑 (第414図、PL173)

1は胴から底部。底径(7.7cm)。削り出しによる波状文と沈線文帯が横位交互施文される。

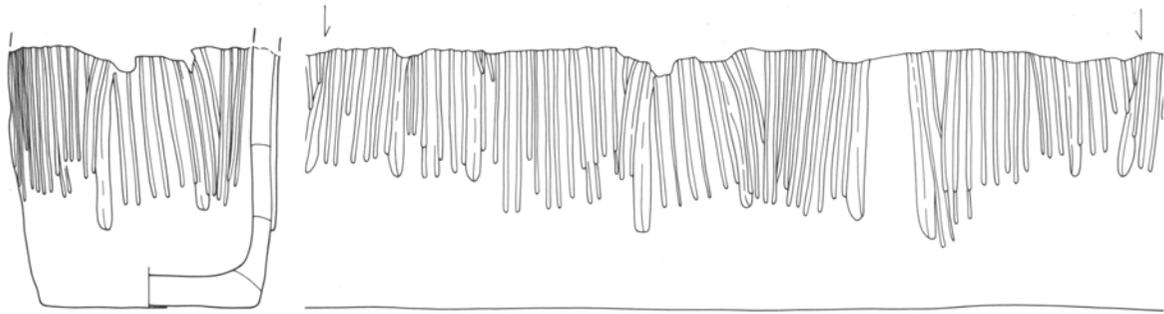


第413図 土坑出土縄文土器 (37)

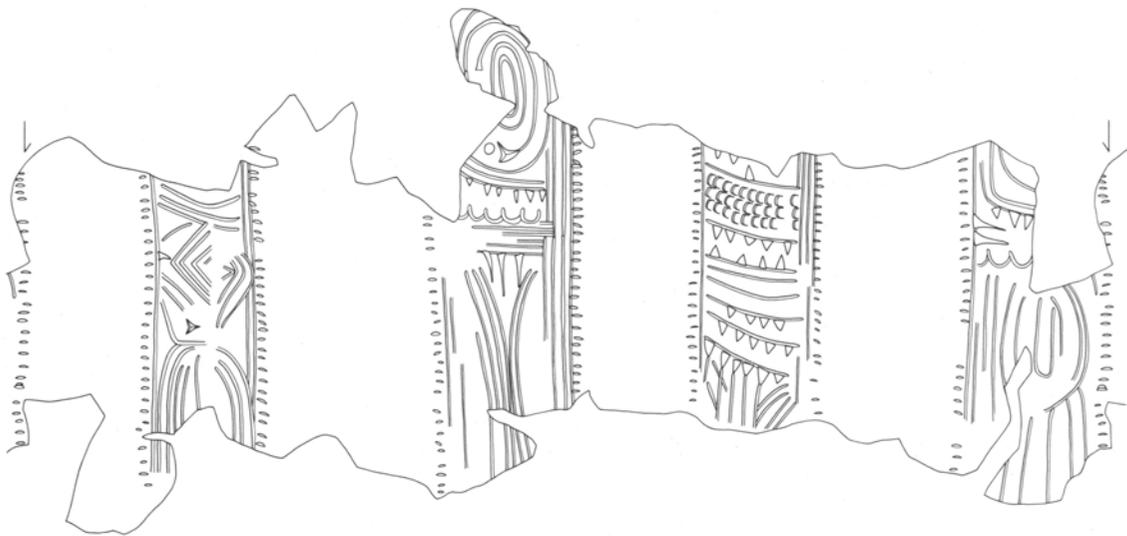


第414図 土坑出土縄文土器(38)

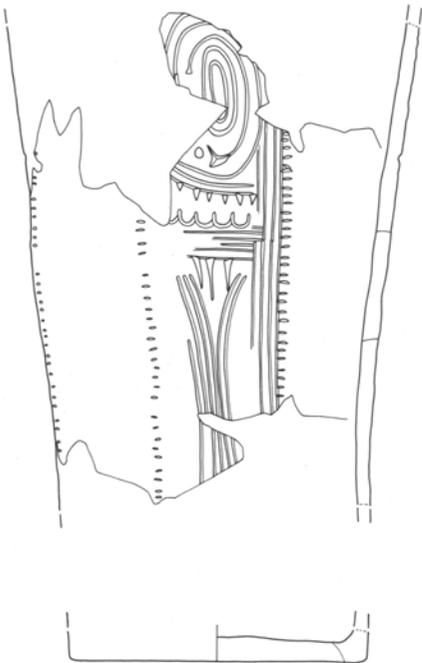
第4節 土坑と出土遺物



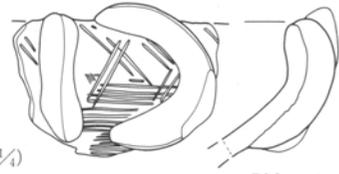
691-1 (1/4)



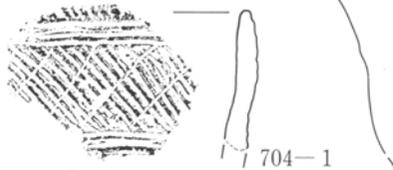
696-1 (1/4)



701-1 (1/4)



702-1



704-1



707-1 (1/4)



第415図 土坑出土繩文土器(39)

第2章 検出された遺構と遺物

691号土坑 (第414・415図、PL173)

1は底部。底径(11.2cm)。縦位の隆帯と沈線文。2は口縁部片。隆帯により、楕円文が構成され、隆帯に沿って三角形の刺突文が配され、区画内には斜格子文。以下縦位の平行沈線、斜格子文。

696号土坑 (第415図、PL174)

1は深鉢型土器。底径(15.7cm)。刻み文による8単位の縦位区画が有文と無文が交互描出される。有文区画内には沈線による渦巻文、横位、縦位の文様が描かれ、刺突による三角文、連弧文が付される。

701号土坑 (第415図、PL173)

1は無文の底部。底径9.0cm。

702号土坑 (第415図、PL173)

1は口縁部片。横位、斜位集合沈線施文後、耳状、棒状の貼付文が付される。

703号土坑 (第416図、PL174)

1はほぼ完形の深鉢型土器。口径34.1cm、器高47.2cm、底径13.0cm。キャリパー形を呈す。刻みを持つ隆帯を口縁部から頸部に廻す。胴部には撚糸文Rを縦位施文。

704号土坑 (第415図、PL173)

1は口縁部片。横位区画内に斜格子文。

707号土坑 (第415・416図、PL174)

1は隆帯による横位の連弧状文。胴部に撚糸文がわずかに観察される。2は把手部分。先端部に向かってトンネル状に中空となり、楕円形に窓が開く。側縁部には沈線による楕円文、蕨手文が描かれる。3は刻みを持つ隆帯。4は隆起する渦巻き文が描かれる。

709号土坑 (第416図、PL175)

1は深鉢型土器。口径14.5cm。円筒状を呈す。口縁部に2本の平行沈線で区画帯、縦位の平行沈線文施文。胴部には鋸歯文、渦巻文等が描かれる。地文「S」字状結節を持つ縄文が施文されている。2は縁辺に刻みを有す眼鏡状の突起文で、上面は三角形となる。

719号土坑 (第417図、PL175・176)

1は深鉢型土器。口径22.6cm、器高35.4cm、底径13.2cm。口縁部は小波状を呈す。施文は口縁部縦位、頸部は横位の集合沈線帯。共に三角形状の刺突文列を伴う。胴部には口縁部から続く縦位の集合沈線文が垂下する。2は深鉢型土器。口径18.5cm、器高23.0cm、底径14.0cm。口縁部に1カ所円孔を持つ円形の突起を有す。口縁部文様は横位沈線文帯、内側には上下の三角印刻文列、外側には刺突文列が見られる。また底部にも刺突文横位列を伴う沈線文が付される。3は口縁部片。口唇部に刻み、2条廻された口縁部横位沈線は刺突文を伴う。4は端部円形文を持つ隆線文と沈線が見られる。

720号土坑 (第417図、PL176)

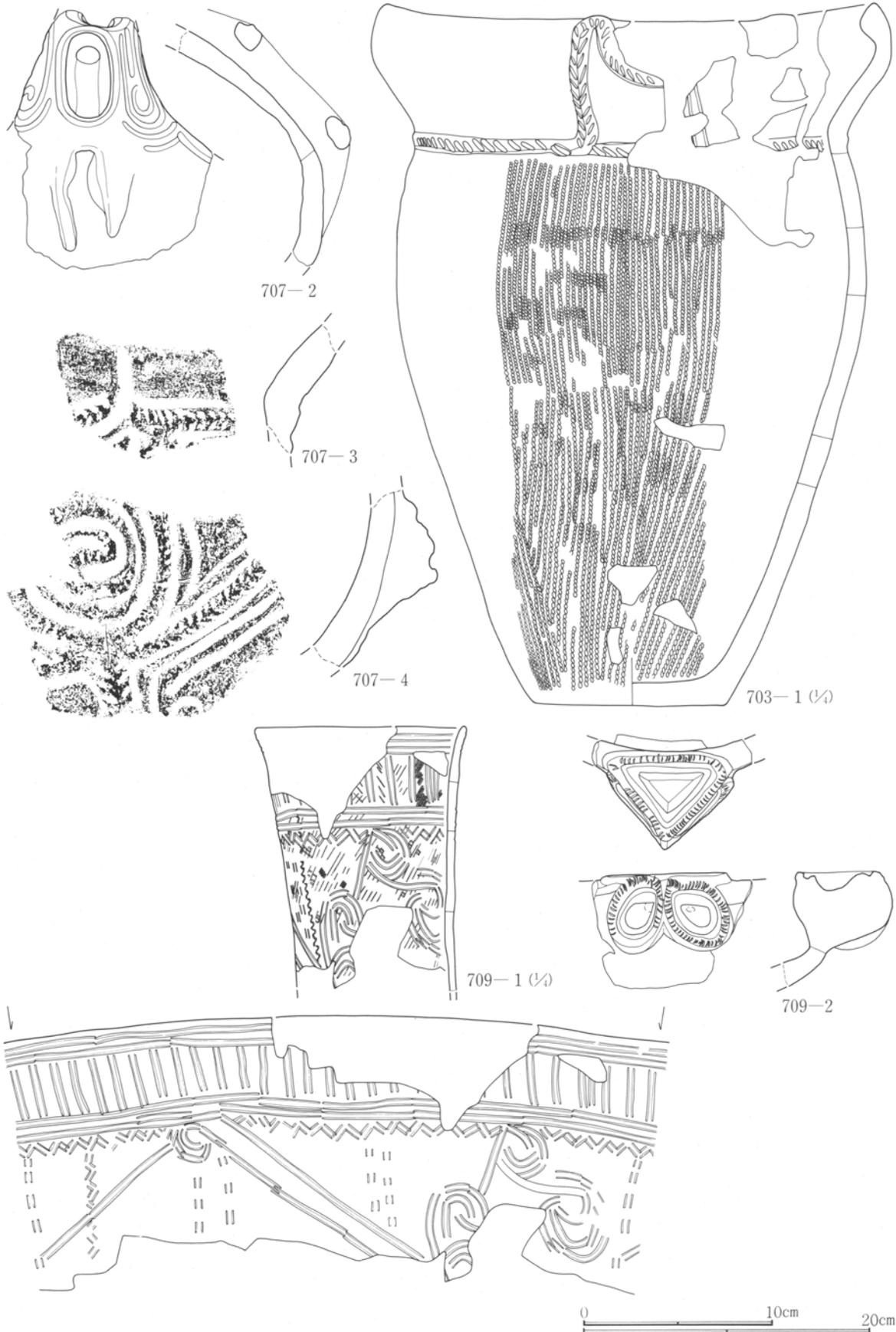
1は底部。底径10.6cm。撚糸文Lが縦位施文される。

721号土坑 (第417図、PL173・176)

1は浅鉢型土器。4単位の波状を呈す。口径(42.6cm)、器高15.6cm、底径13.6cm。口唇部に刻み、口縁部に沈線による弧状文を描く。2・3は土偶の足部分である。断面円形で下の部分が開く。内部に制作痕と思われる細い穴が見られ、2は貫通し、3は途中で終わっている。

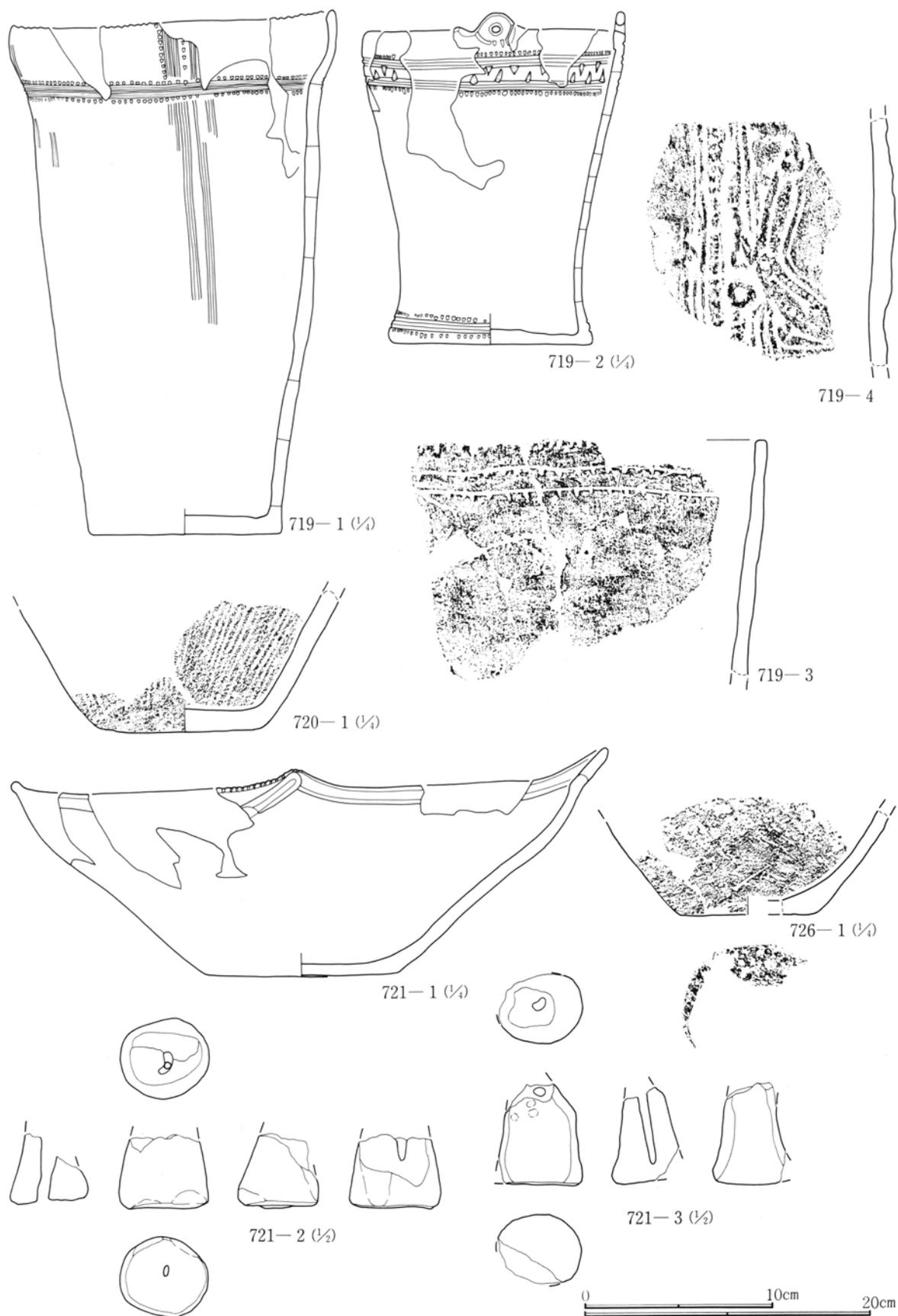
726号土坑 (第417図、PL173)

1は無文の底部片。底径(9.5cm)。底面にわずかに網代痕が見られる。



第416図 土坑出土縄文土器(40)

第2章 検出された遺構と遺物



第417図 土坑出土縄文土器(41)

729号土坑 (第418図、PL175)

1は口縁部片。横位沈線で画し矢羽状、斜格子文。2は横位、斜沈線文。

730号土坑A (第418図、PL174)

1は口縁部片。口縁部横位区画文に縦位の棒状突起。区画内に斜格子文。2は横位沈線区画内に斜沈線文。

731号土坑 (第418図、PL176)

1は深鉢型土器。口径(24.7cm)。口縁部4単位の片波状を呈す。波頂部から棒状の隆起帯。口縁部は横位沈線で画され、縦位の撚糸文Lが施文される。

733号土坑 (第419図、PL175・177)

1は完形の深鉢型土器。口径13.0cm、器高22.4cm、底径8.9cm。底端部が外側に張り出す。胴部は中位でわずかに膨らみ頸部が縮まり、口縁部はわずかに開く。肩部に4カ所の突起文を有し、この内1つは上向き注口状に突起する。他は沈線による渦巻沈線文を持つ。横位沈線文が口縁部、頸部、突起部分に廻り、三角印刻文が頸部2本の沈線上下に配される。地文には縦位の平行沈線が密接施文される。底部には4方向から押圧がなされ、沈線が三角に施文されている。2は深鉢型土器の胴部から底部。底径(11.4cm)。無文。

734号土坑 (第418図、PL175・176)

1は深鉢型土器。口径24.4cm。4単位の波状を呈し、波頂部には刻みが付される。胴部には縦位の縄文LRが施文される。2は深鉢型土器。口径(11.2cm)。円筒状で、口縁部は外側に折り返されて肥厚する。無文。

737号土坑 (第418図、PL176・177)

1は深鉢型土器の胴部。頸部に横位沈線帯、胴部は「S」字状結節文を有すRLが縦位全面施文される。2は口縁部片。口唇部に撚糸文Rが施文される。横位沈線で区画し斜格子文。口縁部内面には結節沈線が多段施文される。3・4は「S」字状結節文を有すLRが縦位施文される。

738号土坑 (第419図、PL176)

1は口縁部片。口縁部は外側に折り返され肥厚。「S」字状結節文を有す細縄文LRが縦位施文される。

739号土坑 (第419図、PL177)

1は「S」字状結節文を有す縄文LRが横位施文される。

741号土坑 (第419図、PL176)

1は底部。底径11.4cm。縄文RLが縦位施文。2は底部。底径11.0cm。縄文LRが縦位施文。

742号土坑 (第419図、PL176・177・179)

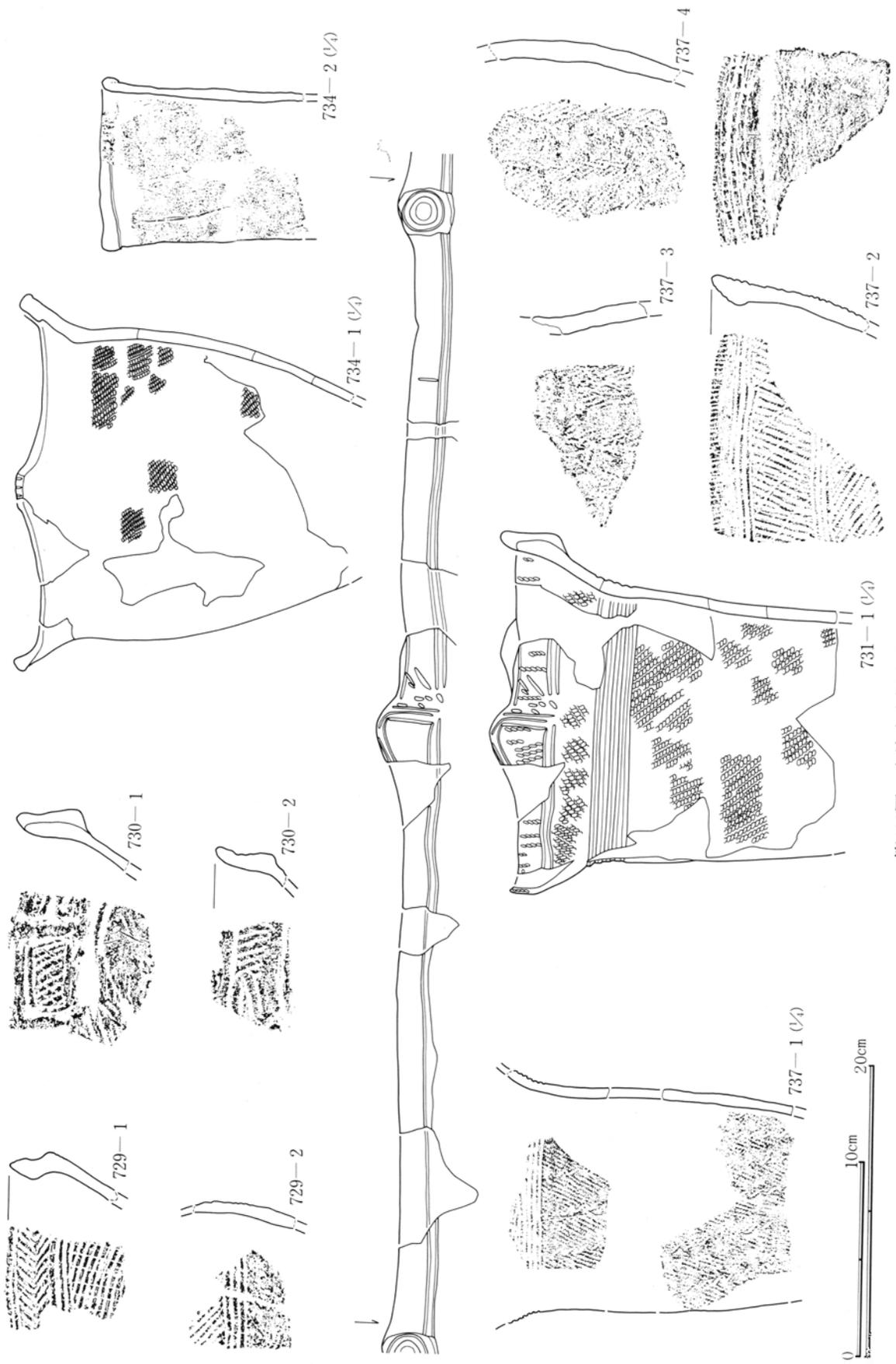
1は横位沈線で区画された上位に縦位の平行沈線文。地文には縄文LRが横位施文される。2は口縁部片。「S」字状結節文を有す縄文RLが縦位施文される。3は無文の底部片。4は口縁部片。横位沈線による区画帯に縦位、斜位の斜格子文を持つ沈線帯。5は沈線による格子、斜格子文。6は口縁部片。口縁部に三角の突起文。横位斜位の沈線文。

743号土坑 (第420図、PL175・178)

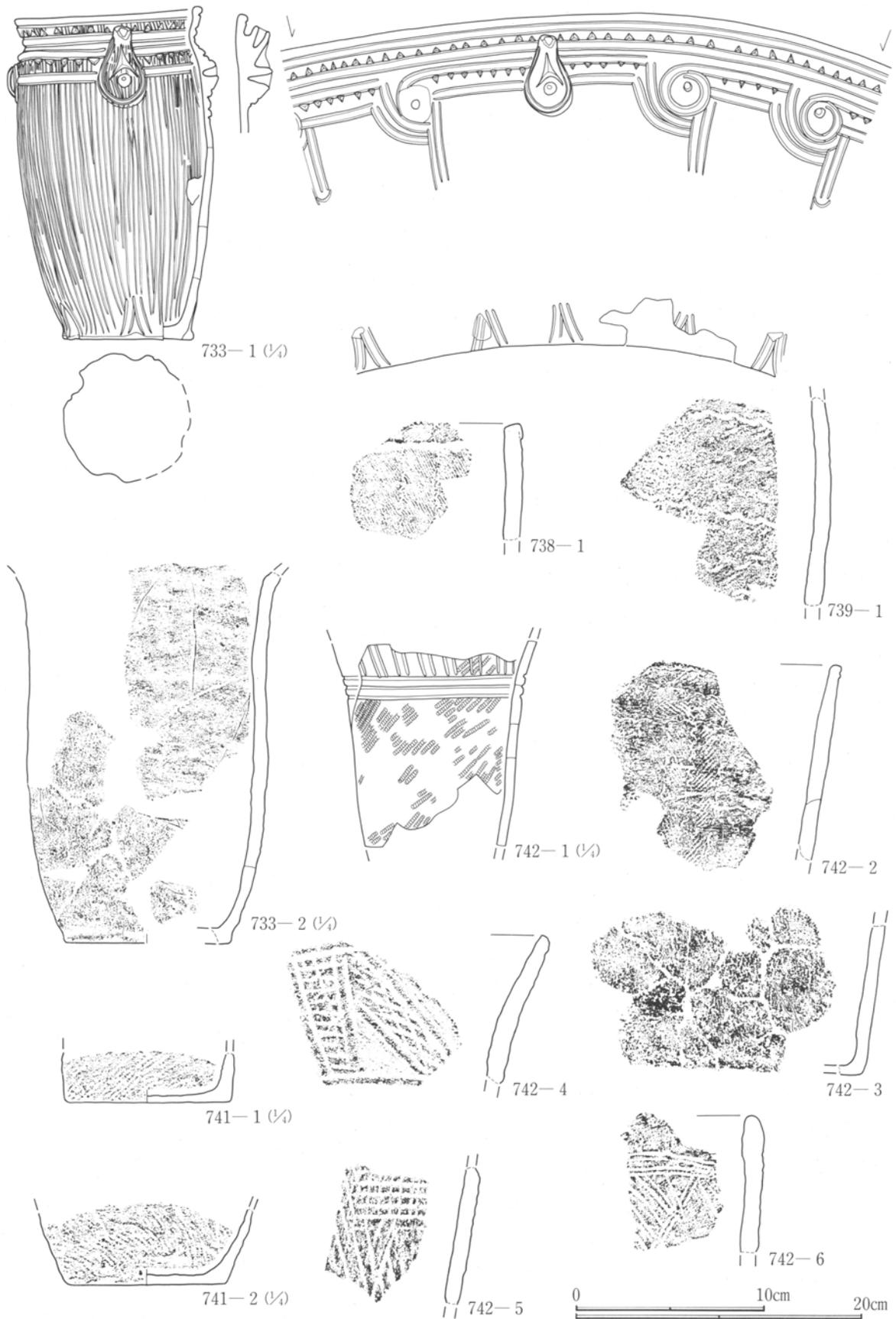
1は底部。底径10.0cm。縄文RLが縦位施文。2は底部。底径12.6cm。底端部が外に強く張り出す。縄文LRが縦位施文。

745号土坑 (第420図、PL178)

1は口縁部。口径(28.9cm)。口縁部に撚糸文。横位沈線による区画帯を作り、斜格子文、多段の結節文、斜格子文の順で配される。



第418図 土坑出土縄文土器(42)



第419図 土坑出土縄文土器(43)

747号土坑 (第420図、PL176)

1は口縁部片。地文に縄文。横位沈線で画された口縁部には平行沈線による波状文。

748号土坑 (第420図、PL178・179)

1は深鉢型土器。口縁部がやや開く円筒状を呈す。口径27.2cm、器高41.0cm、底径17.2cm。口縁部に平行沈線2条が廻り、胴部には平行沈線による銚状を基調とした曲線文様が6単位垂下施文される。また、沈線文の内側に沿って三角形の刺突文が配される。2は深鉢型土器。口径(30.0cm)。沈線により2段の横位区画帯が作られ、下位には斜格子文が付される。地文には縄文が施文される。3は深鉢型土器。口縁部、底部を欠く。頸部は括れ、口縁部は直立する。横位の沈線文帯で区画帯を作る。口縁部には斜格子文、頸部には縦位の平行線文が付される。頸部、胴部には地文縄文RLが施文されている。胴下位には「Y」字状文が垂下する。4は横位、縦位の平行線文、斜格子文。

749号土坑 (第420図、PL178)

1は胴部。底径(16.0cm)。刻みを持った垂下隆帯に沈線文が沿って付され、横位の沈線文がつなぐ。

750号土坑 (第420図、PL178)

1は胴部片。隆線による三角文。地文に縄文が施文される。

751号土坑 (第420図、PL179・180)

1は口縁部片。口縁部文様帯には斜格子文。以下縦位の平行沈線文。2は口縁部片。撚糸文Lを横位施文後横位の沈線を伴う隆線が付される。

753号土坑 (第420図、PL177)

1は縄文施文された横位隆帯下位に「S」字状結節文を有すLRが縦位施文される。

755号土坑 (第421図、PL179・180)

1は深鉢型土器。口径(21.2cm)。口縁部は隆帯により、楕円文が構成される。2は胴部。隆帯により、楕円文が構成され、縦位の隆帯が垂下する。3は胴部。「S」字状の突起文。2本の横位隆帯に楕円文が配され、以下楕円を基調とした曲線文を描く。隆帯にそって結節沈線が廻る。4は浅鉢型土器。底径14.0cm。無文。

762号土坑 (第421図、PL180)

1は底部。刻みを持った縦位、横位隆帯による区画帯。底径(12.2cm)。

765号土坑 (第421図、PL180)

1は横位爪形文、横位沈線。

771号土坑 (第421図、PL180)

1は口縁部片。口縁部が一部突起する。縄文RLが横位、縦位に施文される。

772号土坑 (第421図、PL180)

1は浅鉢型土器。内面に結節沈線が多段施文。

774号土坑 (第422図、PL180)

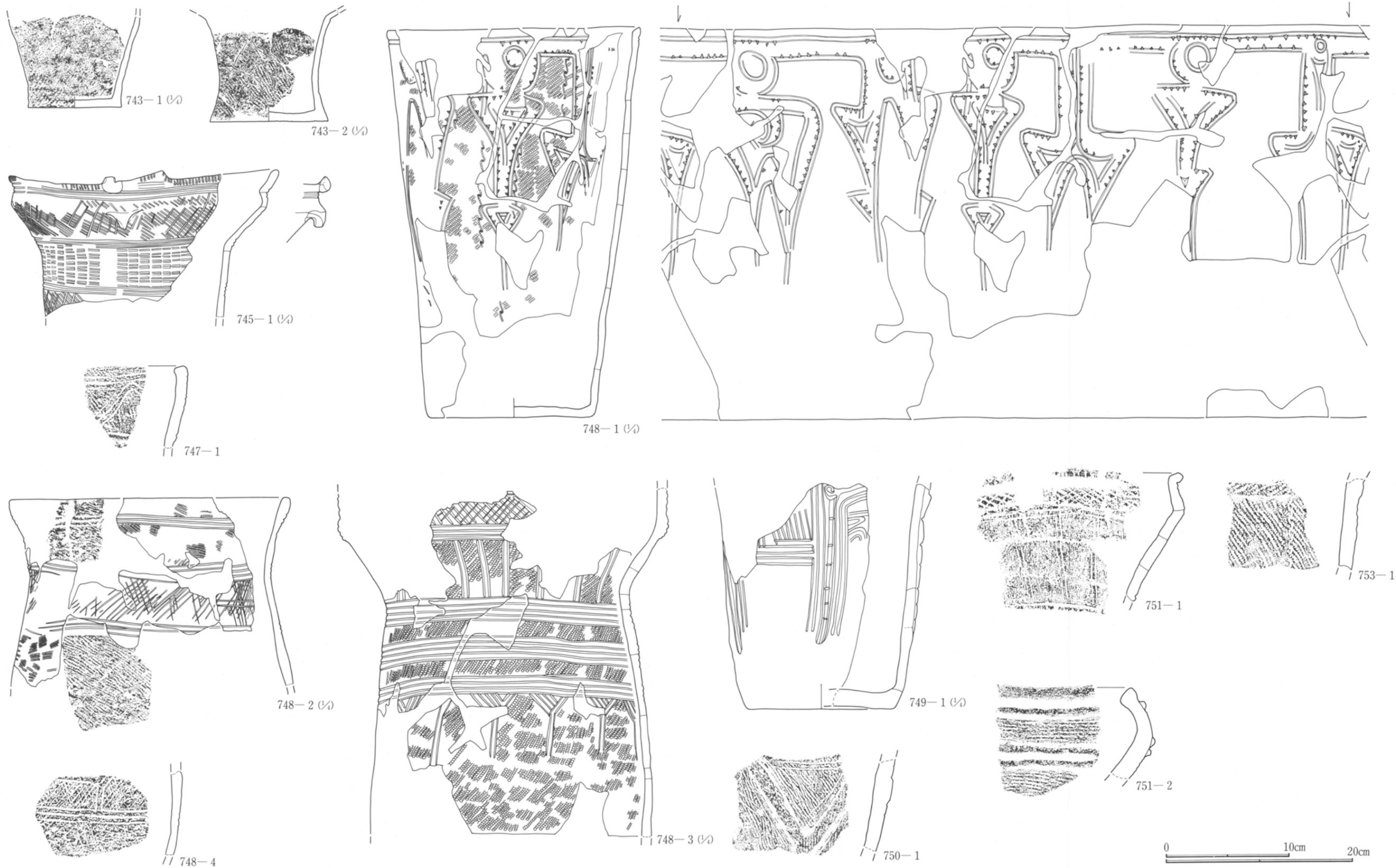
1は口縁部片。三角形の突起部分。2は口縁部片。縦位の平行線文。3は横位縦位の沈線文。

802号土坑 (第422図、PL181)

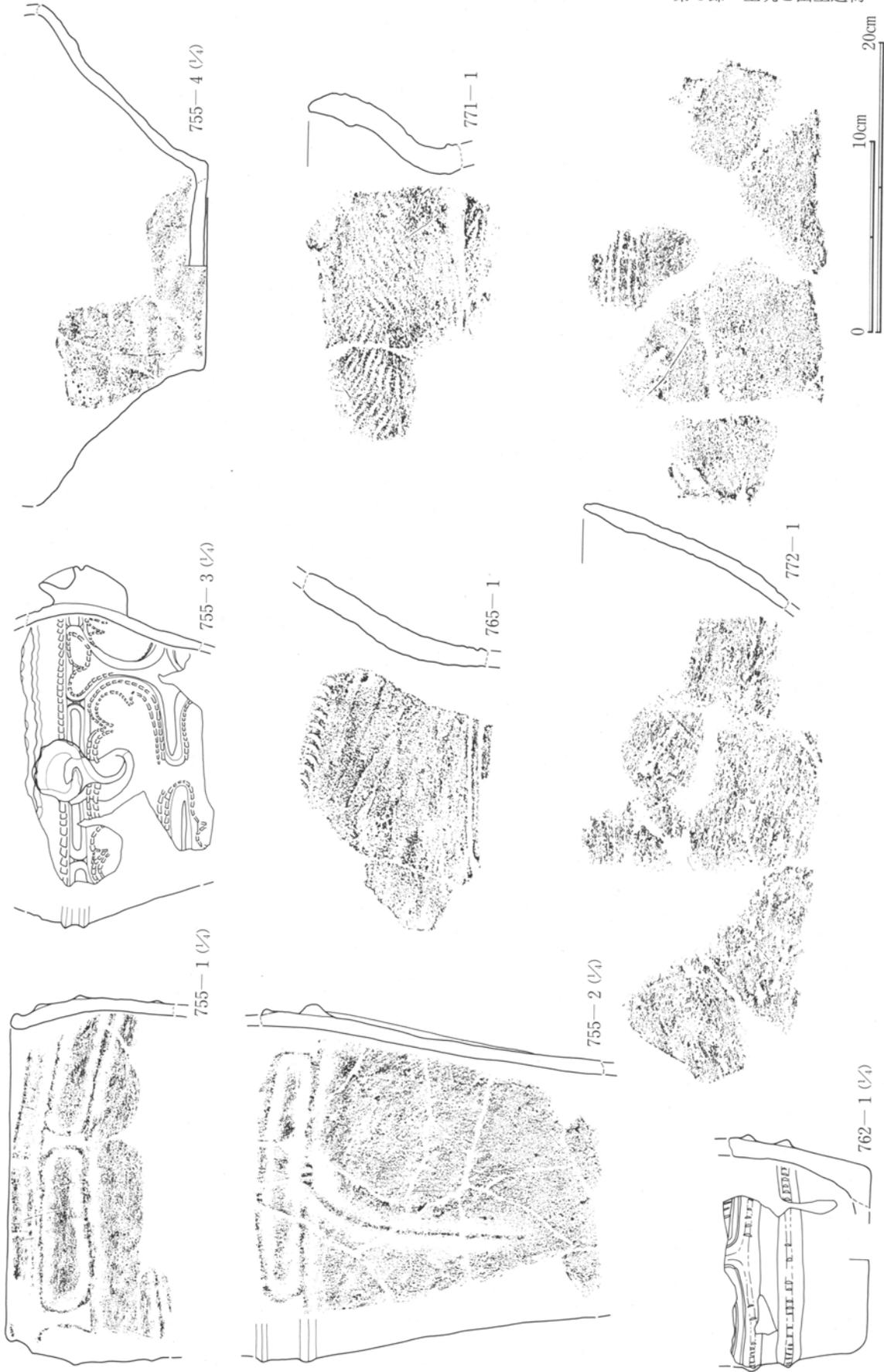
1は胴部片。地文に縄文施文後、縦位の沈線文。

804号土坑 (第422図、PL180・181)

1は口縁部片。横位沈線区画内に縦位の平行沈線、斜位沈線文。2は胴下半部。縦位の垂下隆帯が見られる。

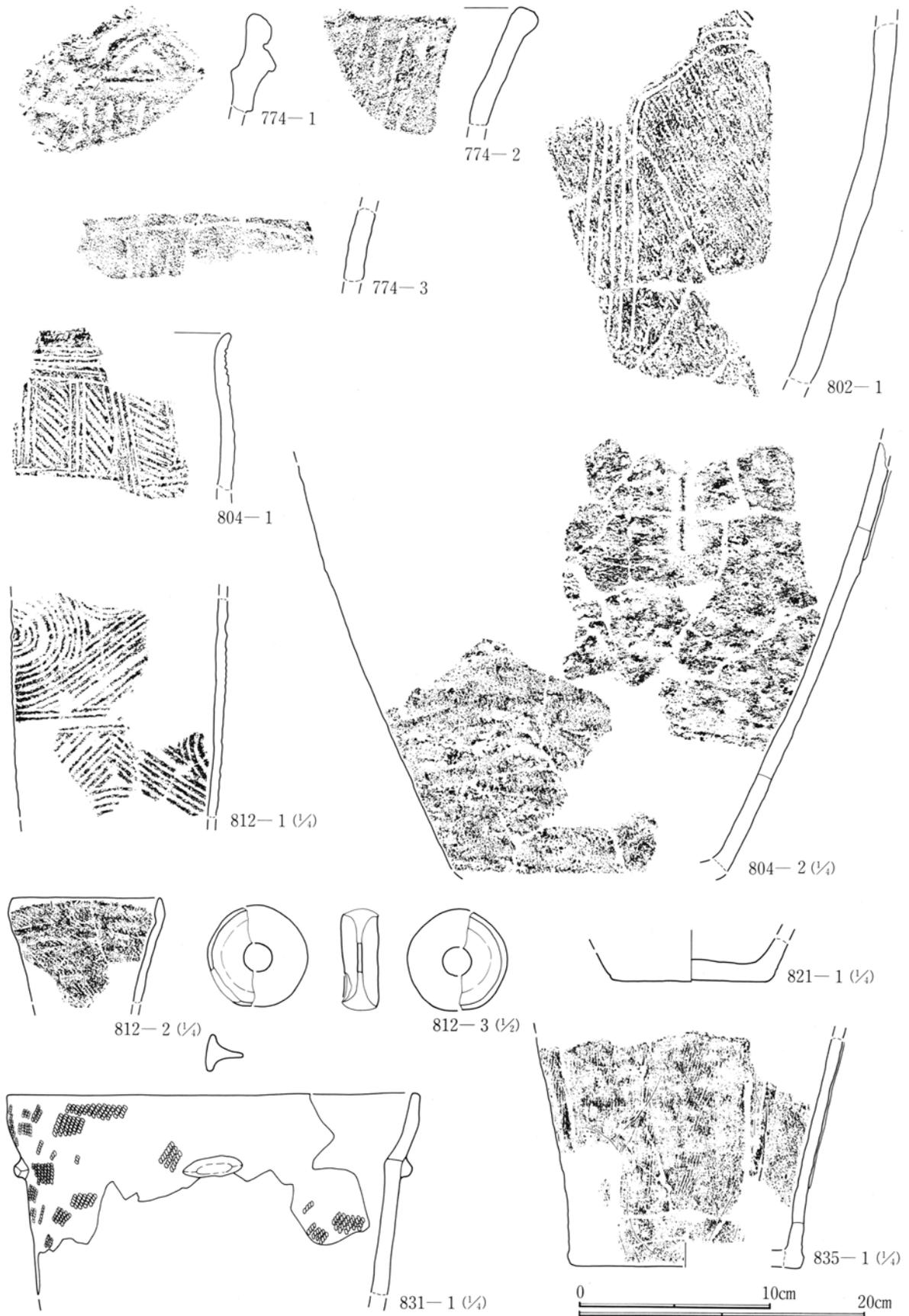


第420図 土坑出土縄文土器(44)



第421図 土坑出土縄文土器(45)

第2章 検出された遺構と遺物



第422図 土坑出土縄文土器(46)

812号土坑 (第422図、PL180・181)

1は円筒状の胴部。集合沈線による同心円文、三角文を2段に施文。2は小型の深鉢型土器。薄手の作りで、口唇部は薄く仕上げられる。口径10.4cm。縄文 RL が横位施文される。3は耳栓と思われるが端部断面丸みを呈す。かなり風化している。径(3.5cm)、高さ(1.3cm)、孔径(1.0cm)。

821号土坑 (第422図、PL181)

1は無文の底部。底径11.0cm。

831号土坑 (第422図、PL181)

1は深鉢型土器。口径(28.7cm)。口縁部がやや受け口状を呈す。縄文 RL が施文され、頸部に4単位の横長棒状突起文が付される。

835号土坑 (第422図、PL181)

1は地文に無節の絡条体施文後、低い垂下隆帯。底径(16.0cm)。

840号土坑 (第423図、PL181)

1は深鉢型土器。口径20.0cm。口縁部に廻された横位沈線間に縦位の刻み。以下「S」字状結節文を有す LR が縦位施文される。

841号土坑 (第423図、PL181)

1は口縁部片。隆帯により、渦巻文が構成される。2は土偶の足部分。縦位の沈線が見られる。平面形はやや丸みを持った長方形を呈す。製作痕の穴が貫通している。

842号土坑 (第423図、PL181)

1は刻み文。

844号土坑 (第423図、PL181・182)

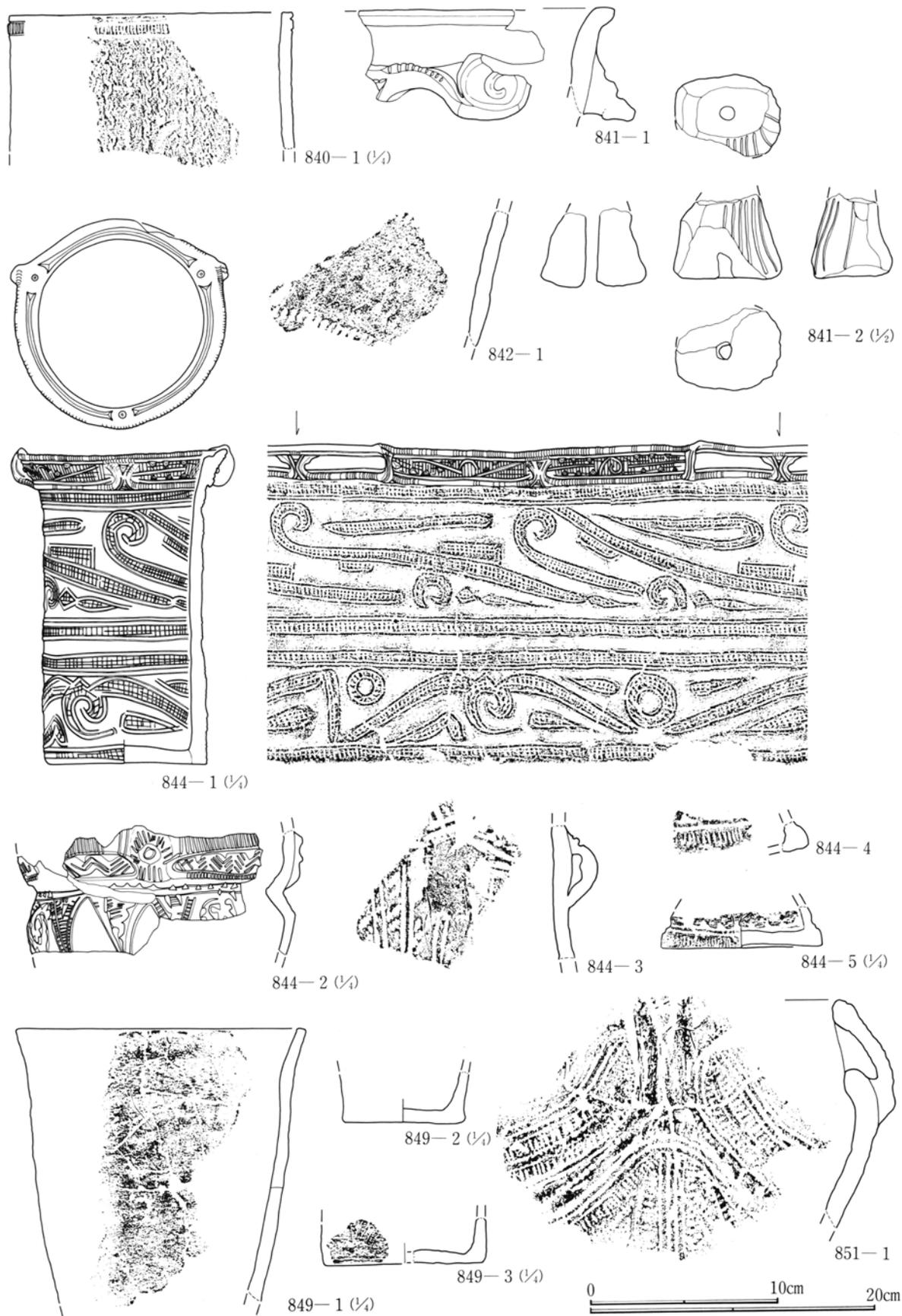
1は完形の深鉢型土器。口径14.6cm、器高22.3cm、底径11.3cm。円筒状を呈し、口唇部は平坦で幅広となり、把手部の位置に円孔文、この間に弧状沈線が付される。口縁部には3単位の把手が付される。口縁部は隆帯で画され、楕円文が構成される。4つの区画文中2つは無文である。施文を持つ区画文内には縦位、横位さらには弧状、渦巻状の沈線文。胴部は格子状の沈線が付された削り出しによる隆帯で横位2段に区画され、やはり削り出しの隆帯で蕨手、円形文、棒状文、紡錘文を描く。2は頸部で「く」の字に括れる。口縁部には沈線による楕円区画文。区画文の周囲には縦位の沈線文、区画内は鋸歯状の沈線文。頸部には三角刺突文を伴う横位沈線。胴部には「V」字状の区画を沈線で描き、沈線文で埋める。この間には三角刺突文を伴う渦巻文が描かれる。3は橋状把手を持つ胴部片。地文に縄文施文後縦位の沈線。4は刻みを持つ隆帯。5は底部片。底径(11.1cm)。端部が隆带状になり刻みを有す。

849号土坑 (第423図、PL181・182)

1は深鉢型土器。口径(20.0cm)。無文。2は無文の底部。底径8.2cm。3は底部。底径(11.0cm)。縄文 RL が縦位施文される。

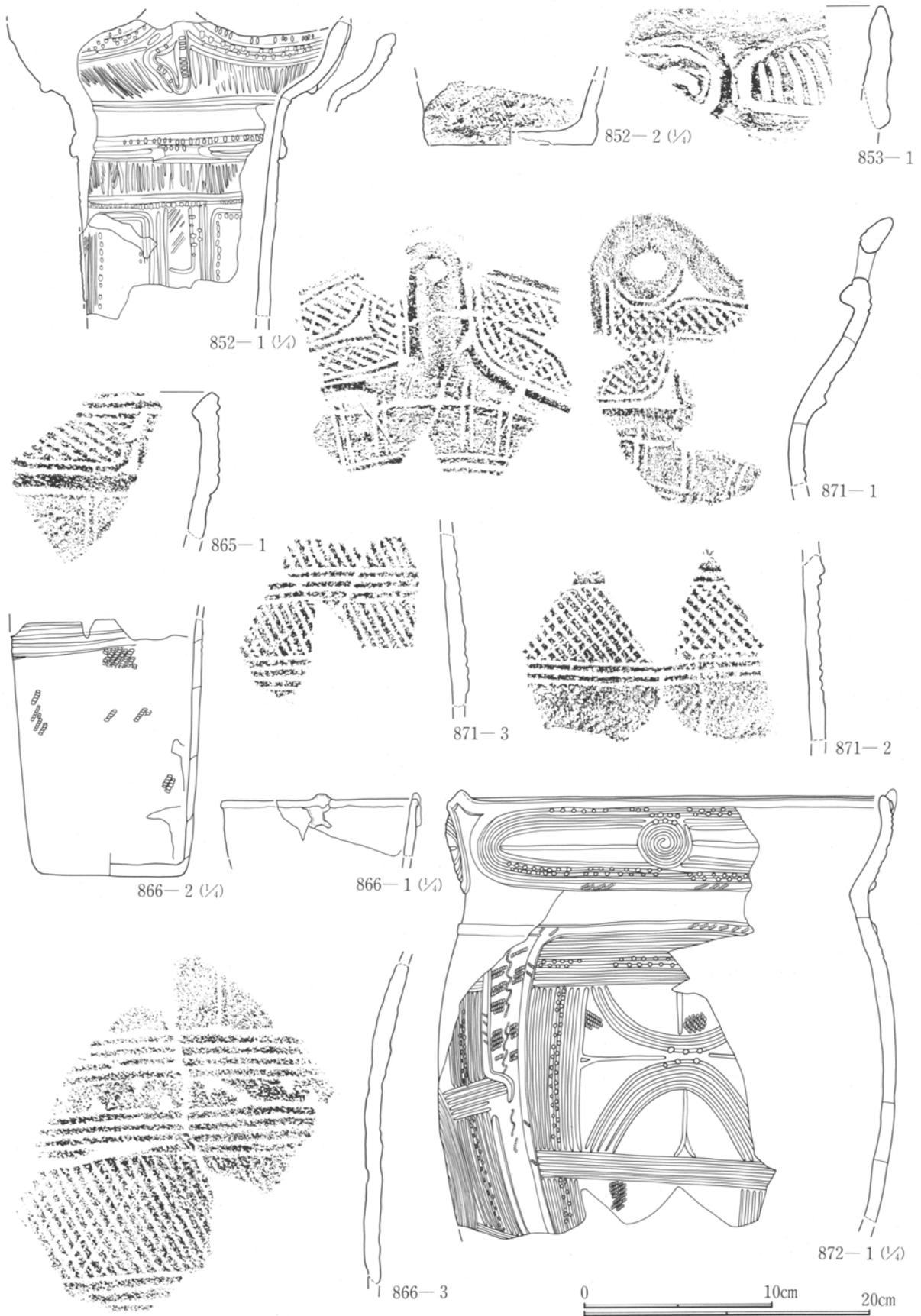
851号土坑 (第423図、PL182)

1は波状口縁部片。口縁部には隆帯で楕円区画文。区画内には刻みを伴う沈線で平行線文。波頂部は2段に作られ膨らみを持つ。



第423図 土坑出土縄文土器(47)

第4節 土坑と出土遺物



第424図 土坑出土縄文土器(48)

第2章 検出された遺構と遺物

852号土坑 (第424図、PL182)

1は深鉢型土器。口径(22.8cm)。4単位の波状口縁を呈す。口縁部に沿って3条の沈線文、沈線に沿って刺突文。波頂部から三角形に隆線が垂下。頸部に無文部以下横位、縦位の矩形区画文を作る。2は底部。底径(11.4cm)。縄文が施文。

853号土坑 (第424図、PL182)

1は口縁部片。隆帯により、楕円文が構成される。区画内は縦位沈線文。

865号土坑 (第424図、PL182)

1は口縁部片。口縁部は横位沈線による区画帯。斜位沈線文が充填。以下縦位の平行沈線が垂下。縄文施文。

866号土坑 (第424図、PL182・183)

1は口縁部。口径(14.0cm)。口縁部外側にやや肥厚、瘤状文が付く。2は胴部から底部。底径10.0cm。横位沈線文、以下縄文RLが縦位施文される。3は胴部片。横位沈線文帯による横位区画、斜格子文、沈線文帯間上下に三角の印刻文が見られる。

871号土坑 (第424図、PL184)

1は口縁部。円孔のある円形突起を持つ。口縁部に斜格子目文様、以下縦位の平行沈線。2は胴部片。平行沈線による横位区画内を斜格子文が埋める。3は平行沈線帯、斜沈線文。

872号土坑 (第424・425図、PL183)

1は深鉢型土器。口径(30.0cm)、口縁部は隆帯による楕円文を構成し、中央に渦巻文。胴部は縦位横位に沈線帯で区画し、直線文、弧状文で埋める。また沈線帯には刺突文が付される。地文に縦位「S」字状結節文を伴う縄文RLが施文されている。2は口縁部片。横位斜位の沈線文。3は底部。底径15.2cm。無文。

873号土坑 (第425図、PL182)

1は口縁部片。口縁部が突起。平行沈線で画された区画内に矢羽状の沈線文。

874号土坑 (第425図、PL183)

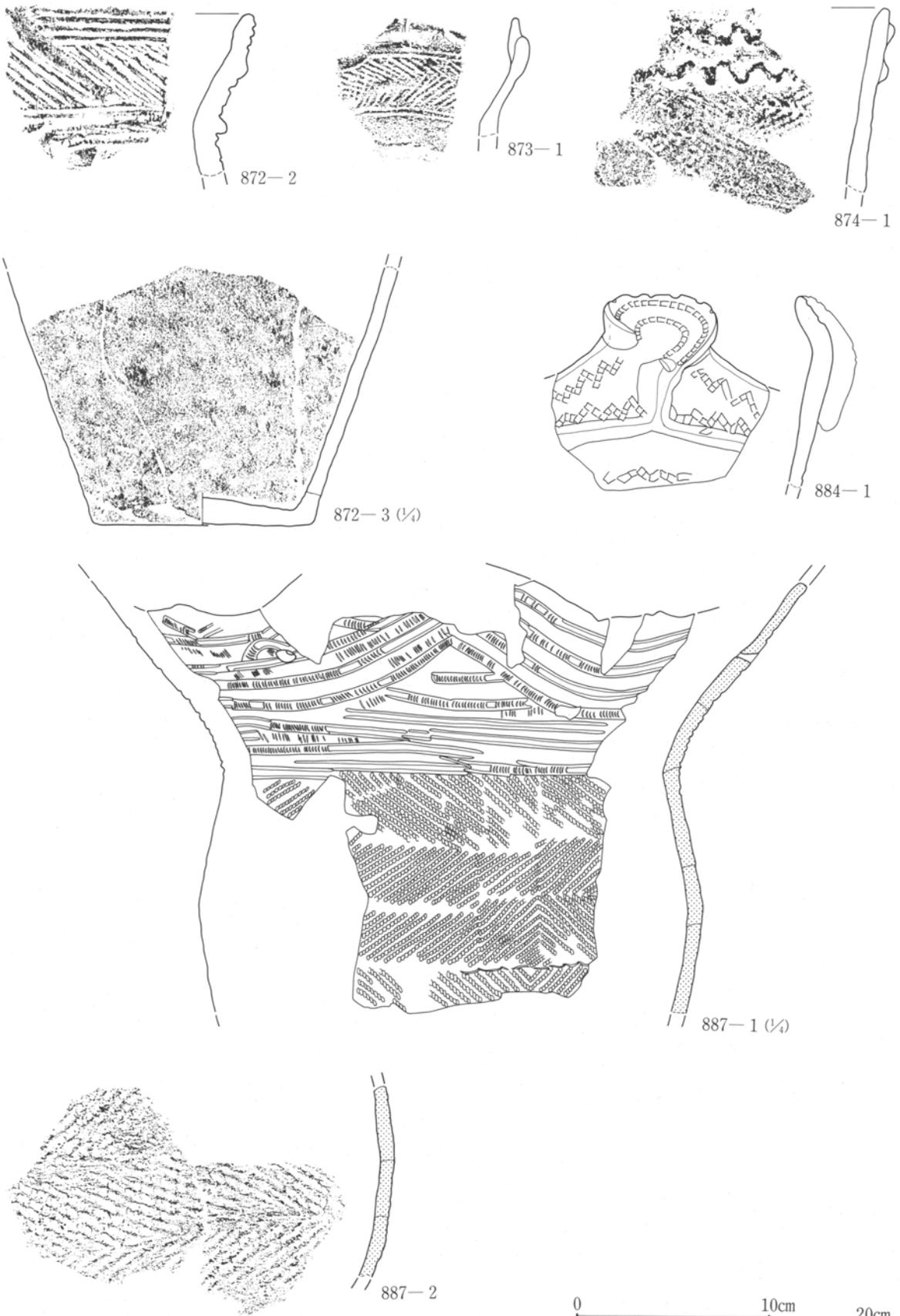
1は口縁部片。口縁部に2条のソーメン状の波状文、以下羽状縄文が施文される。

884号土坑 (第425図、PL184)

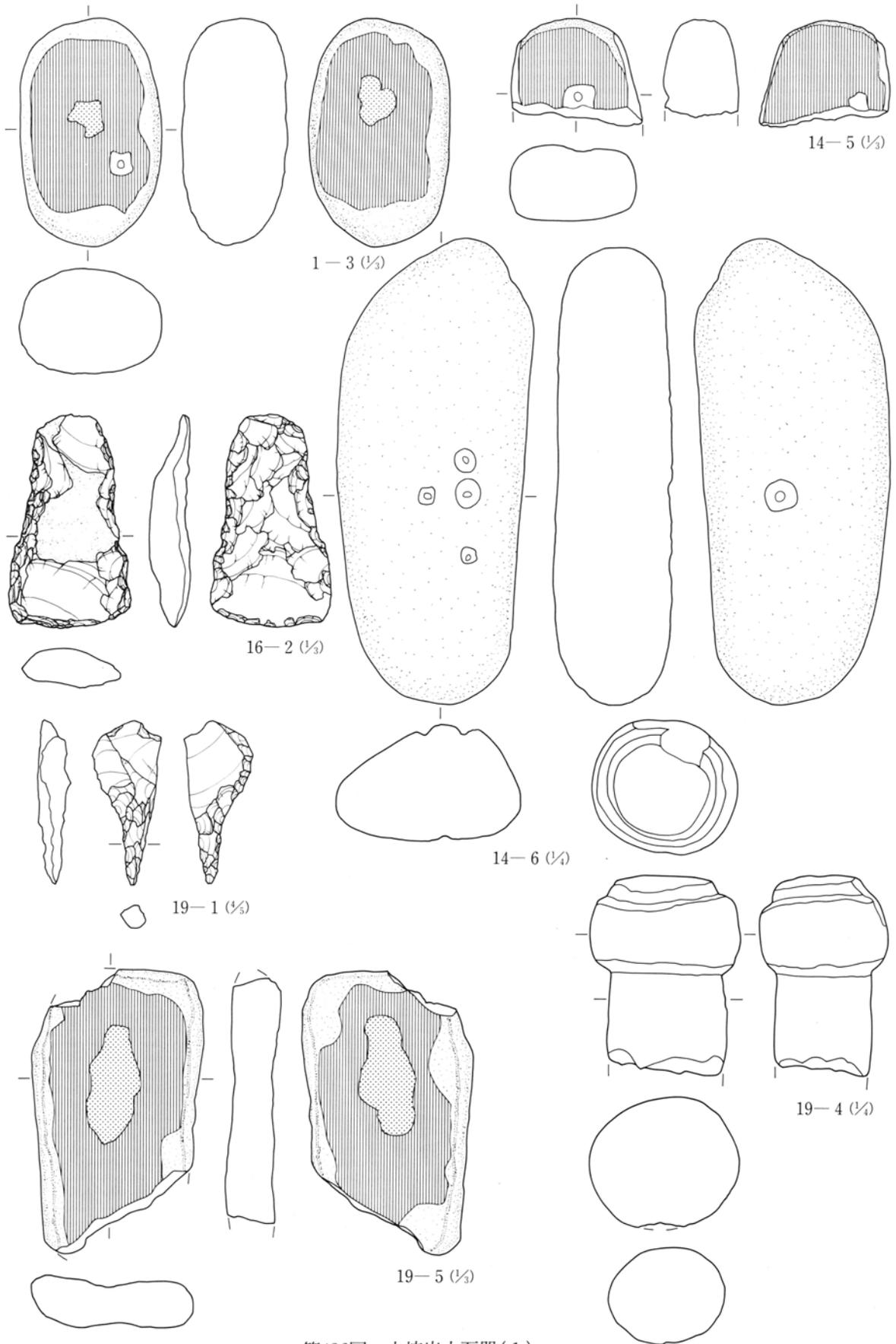
1は口縁部片。扇状の把手部分。端部に刻みを有し、隆帯で画された口縁部、胴部には結節文による鋸歯文様が描かれる。

887号土坑 (第425図、PL184)

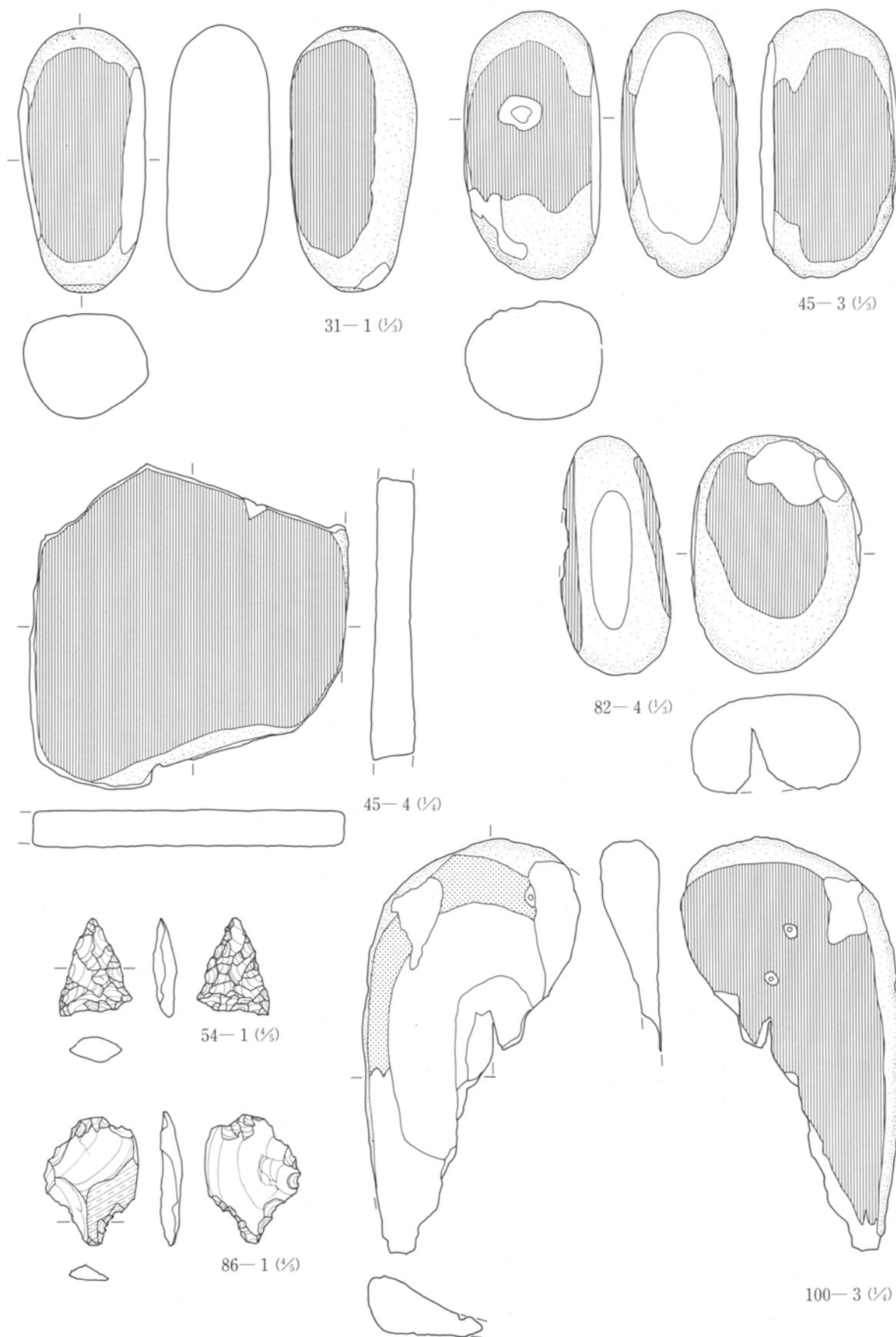
1は4単位の波状を呈す深鉢型土器。波底部にも小突起が見られる。口縁部文様は連続爪形文による三角形を基調とした文様構成をとる。胴部にはRL・LRで横位羽状縄文を構成する。繊維土器である。2は1の胴部片と思われる。



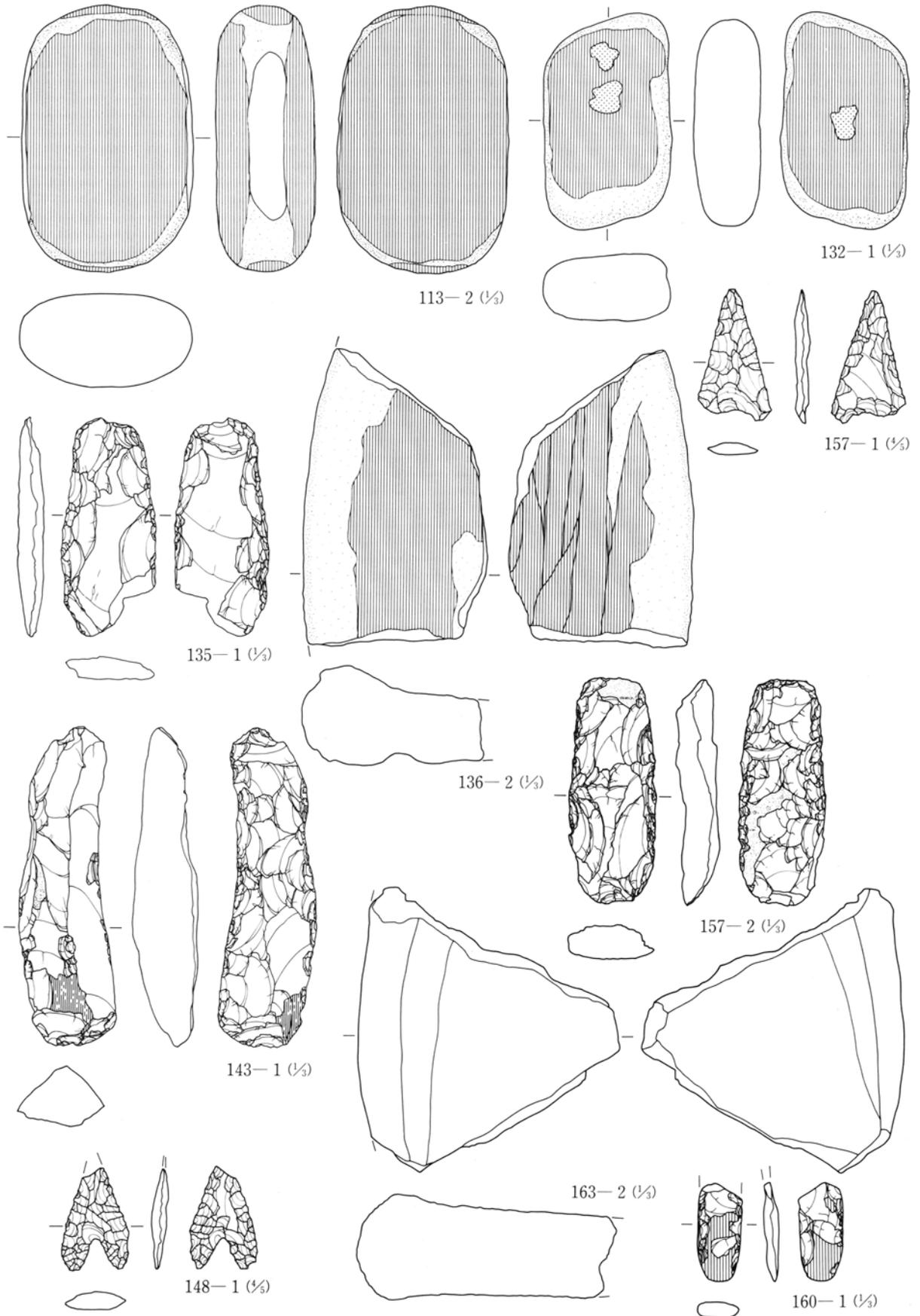
第425図 土坑出土縄文土器(49)



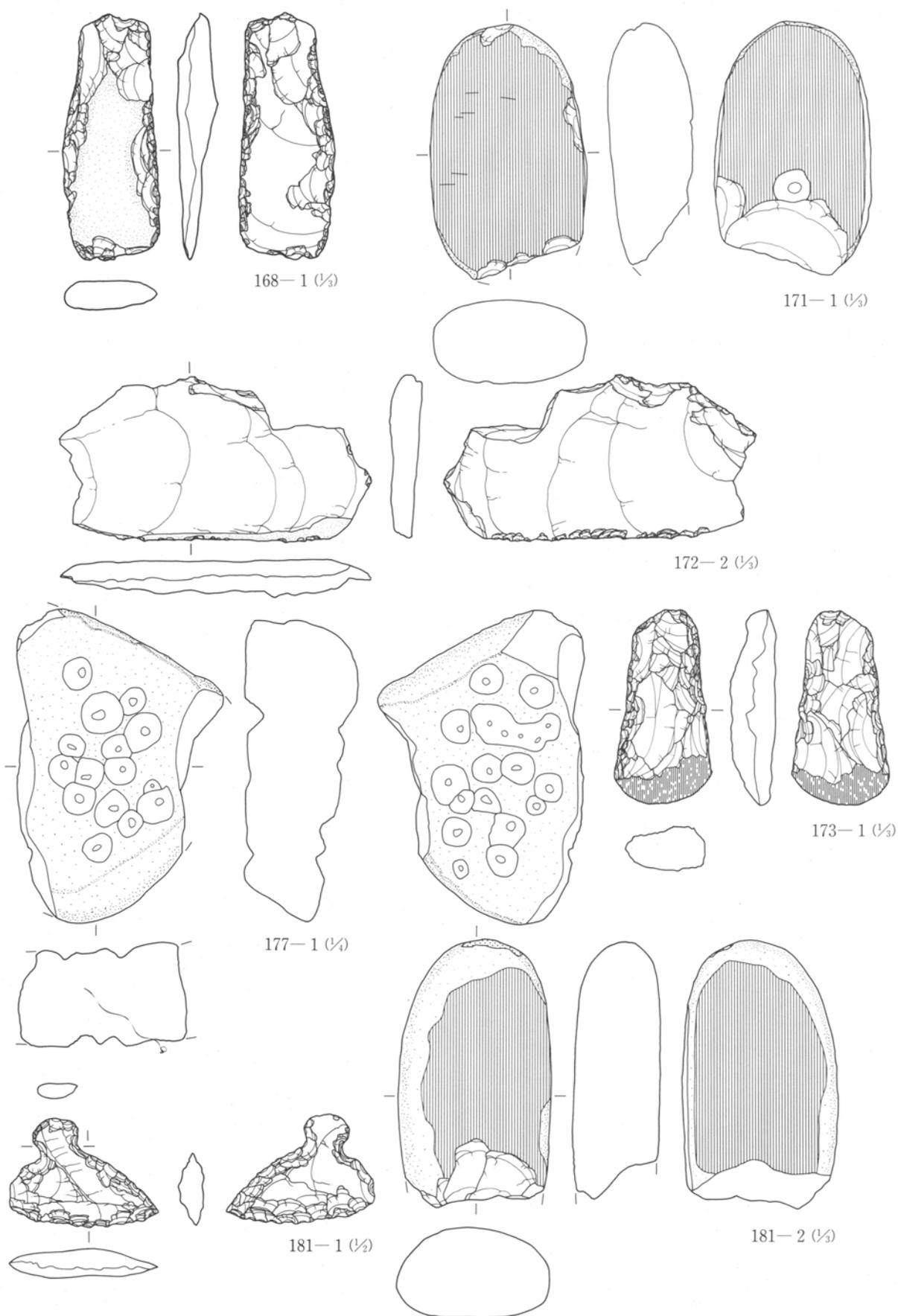
第426図 土坑出土石器(1)



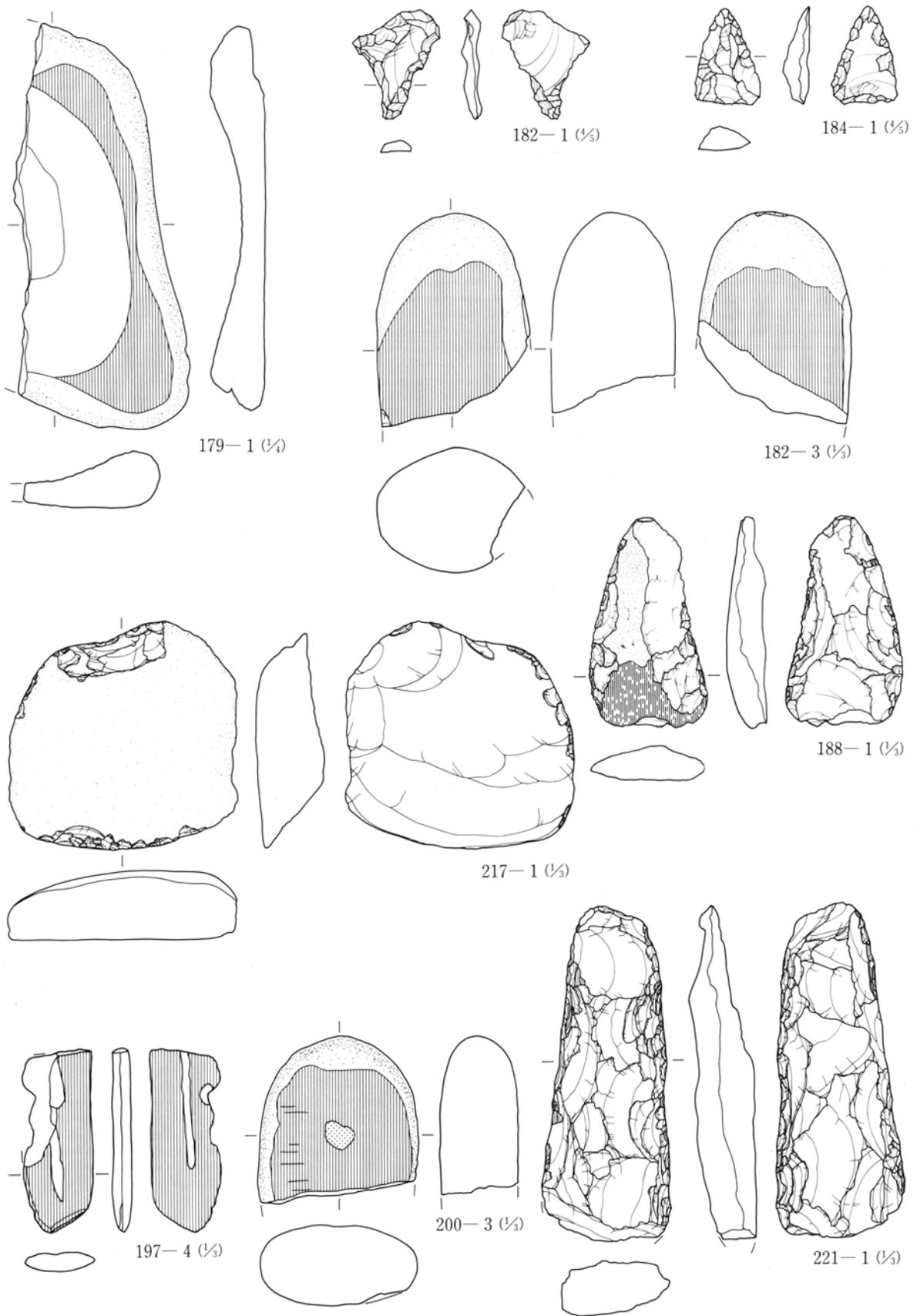
第427図 土坑出土石器(2)



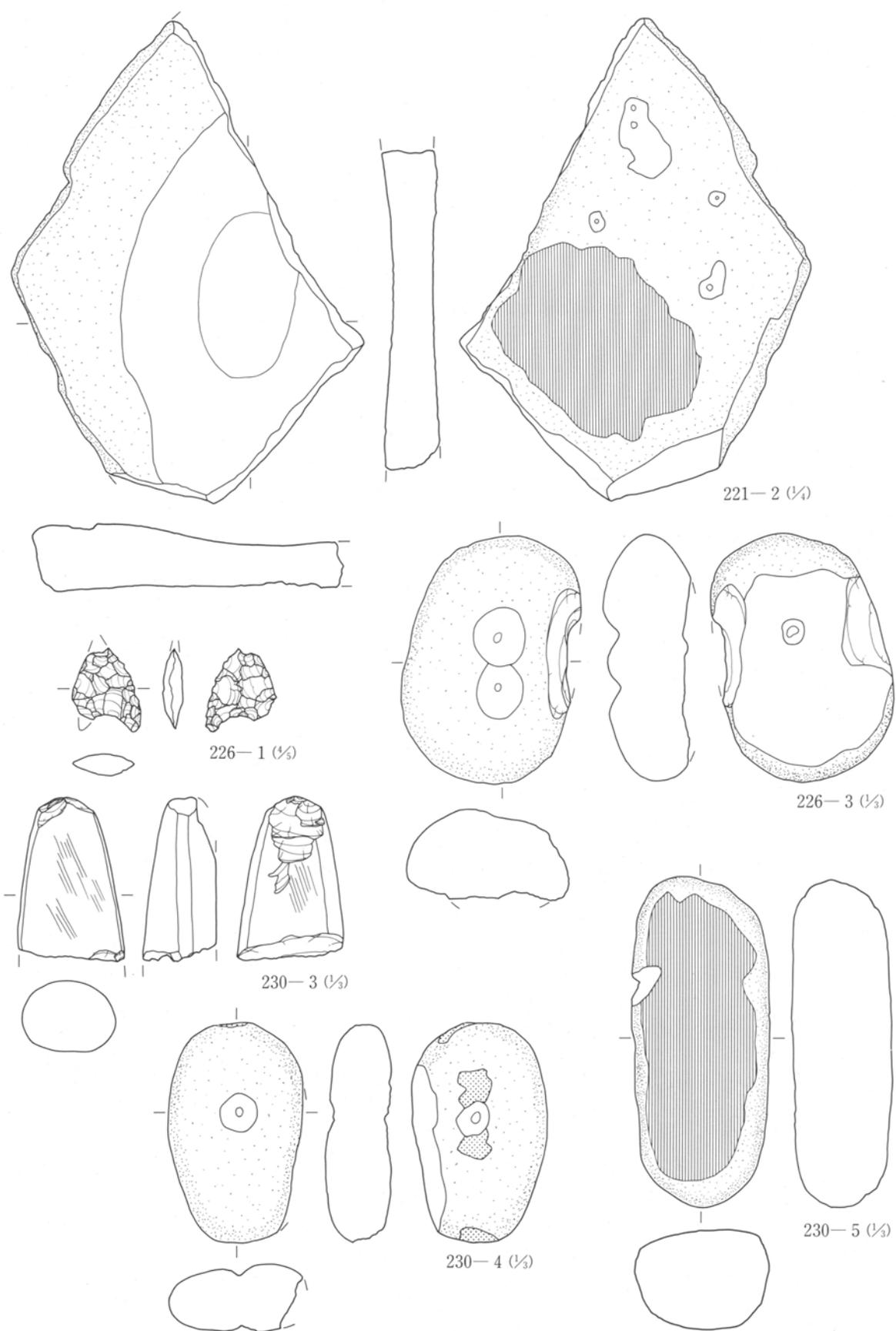
第428図 土坑出土石器(3)



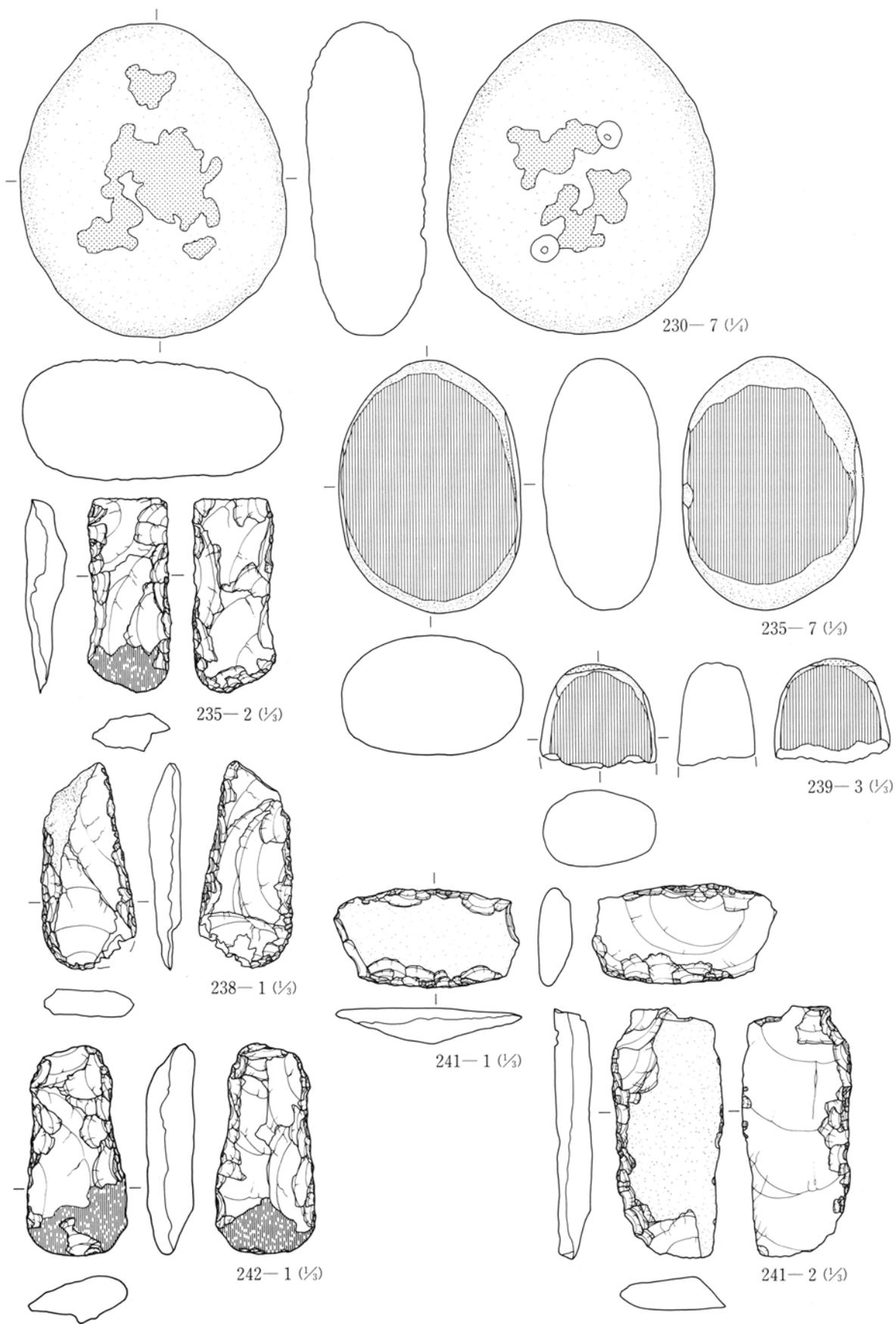
第429図 土坑出土石器(4)



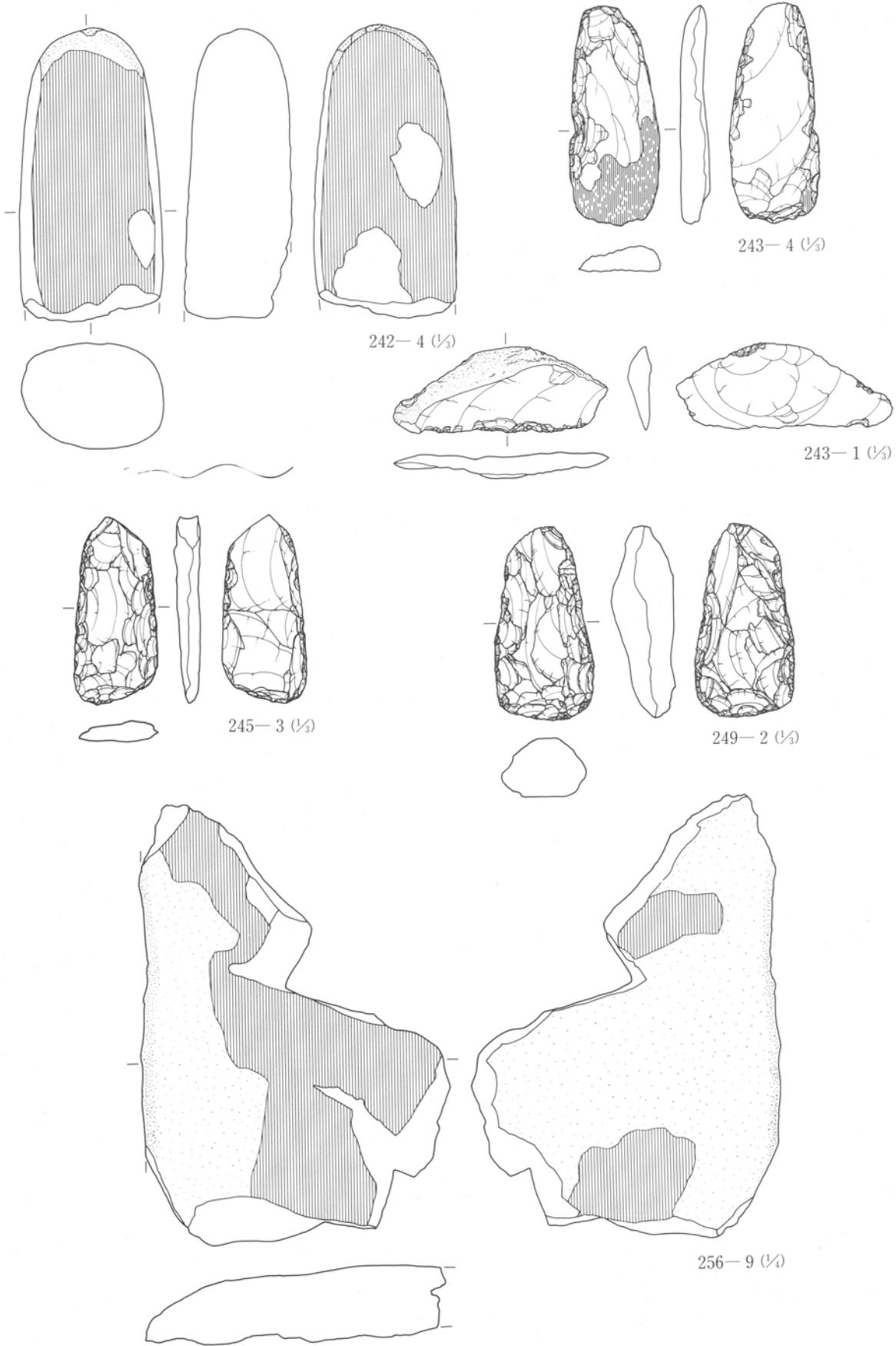
第430図 土坑出土石器(5)



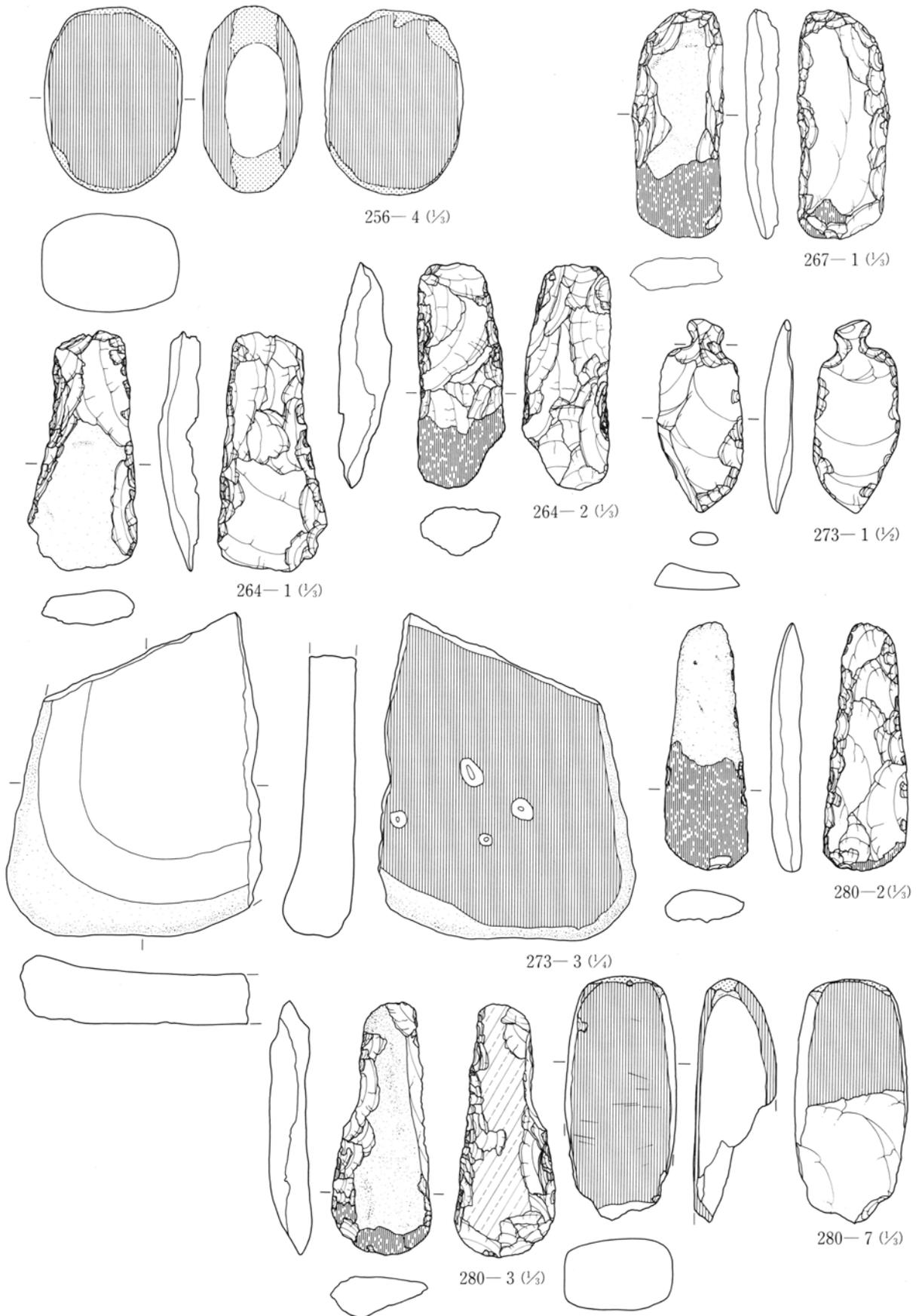
第431図 土坑出土石器(6)



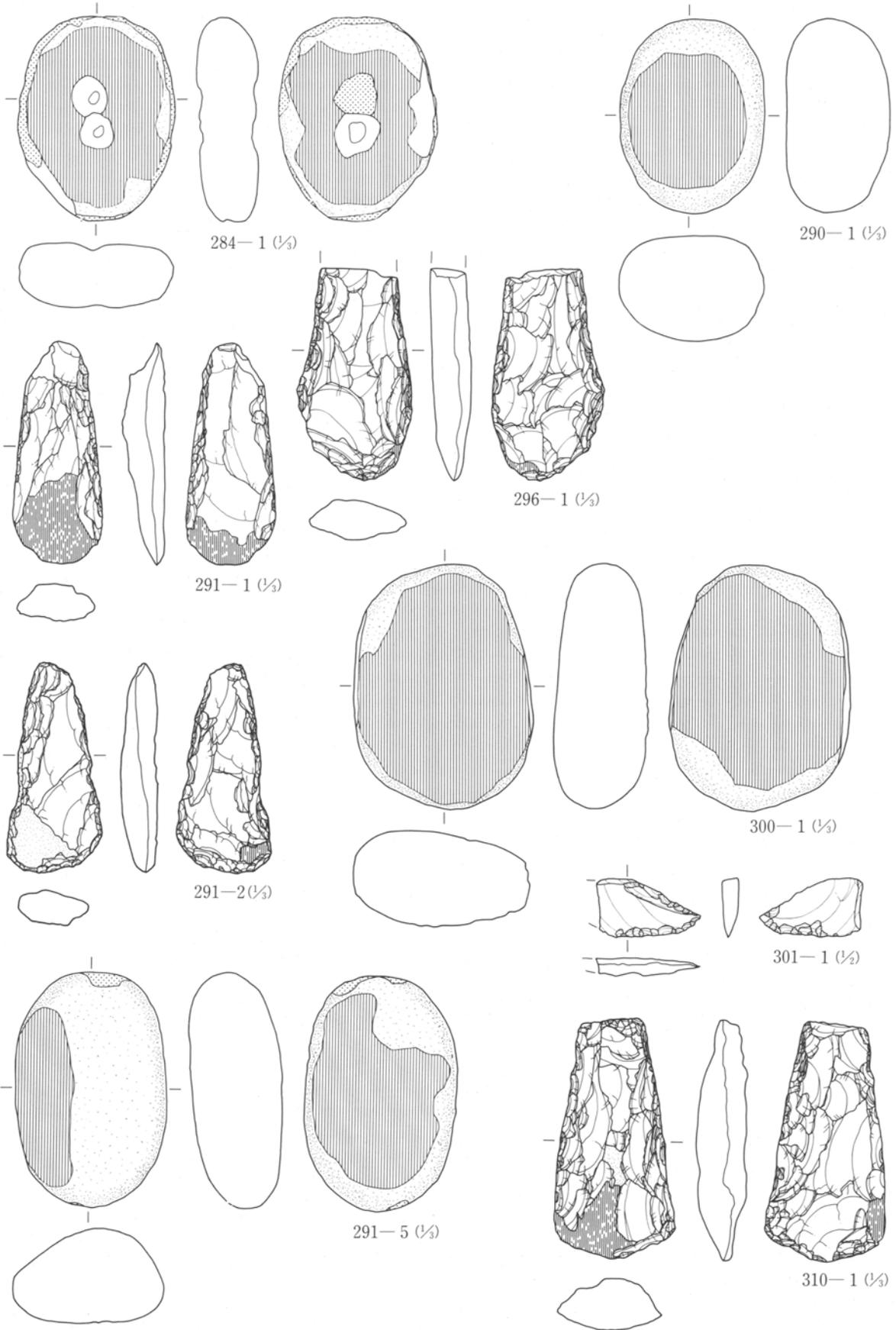
第432図 土坑出土石器(7)



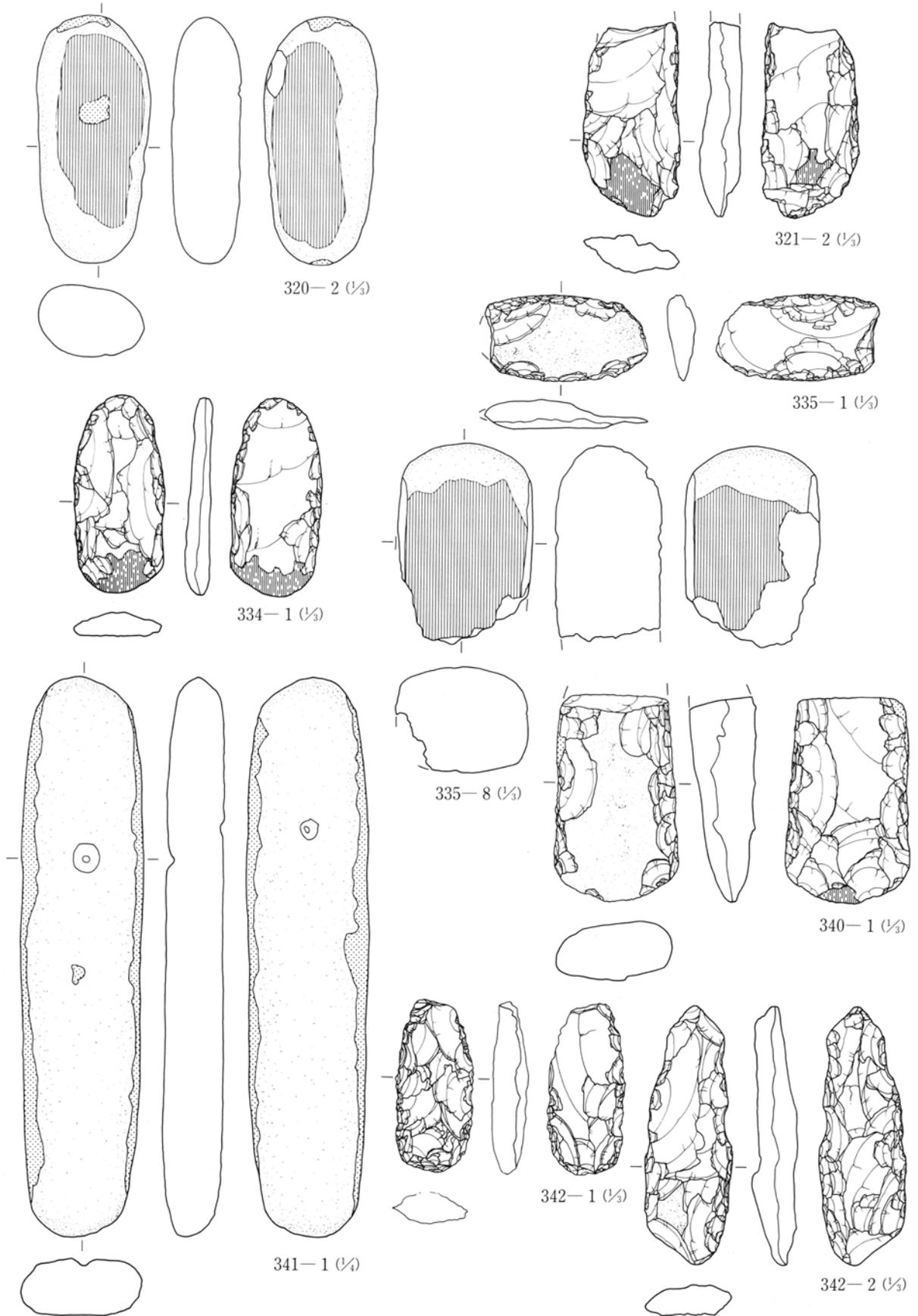
第433図 土坑出土石器(8)



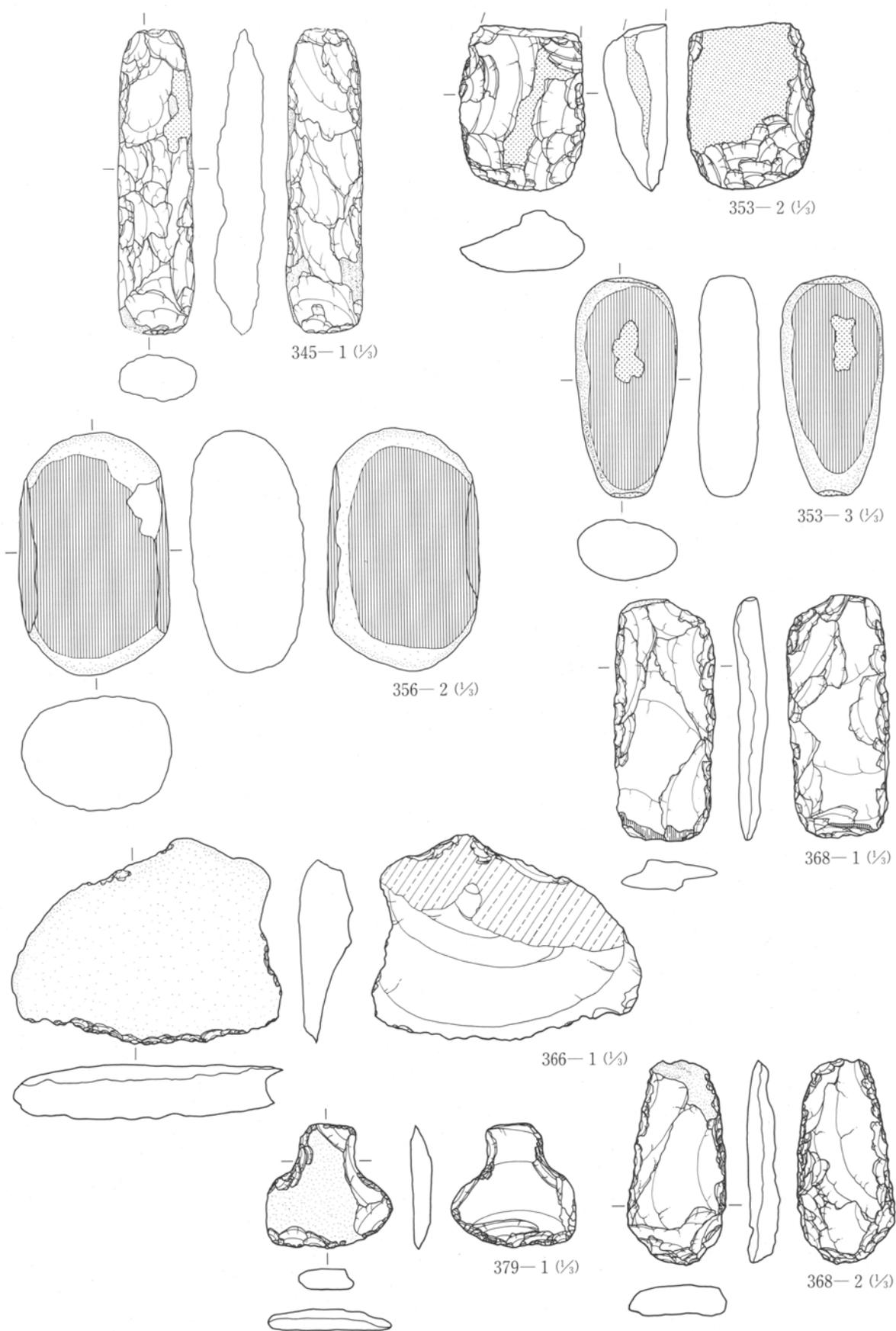
第434図 土坑出土石器(9)



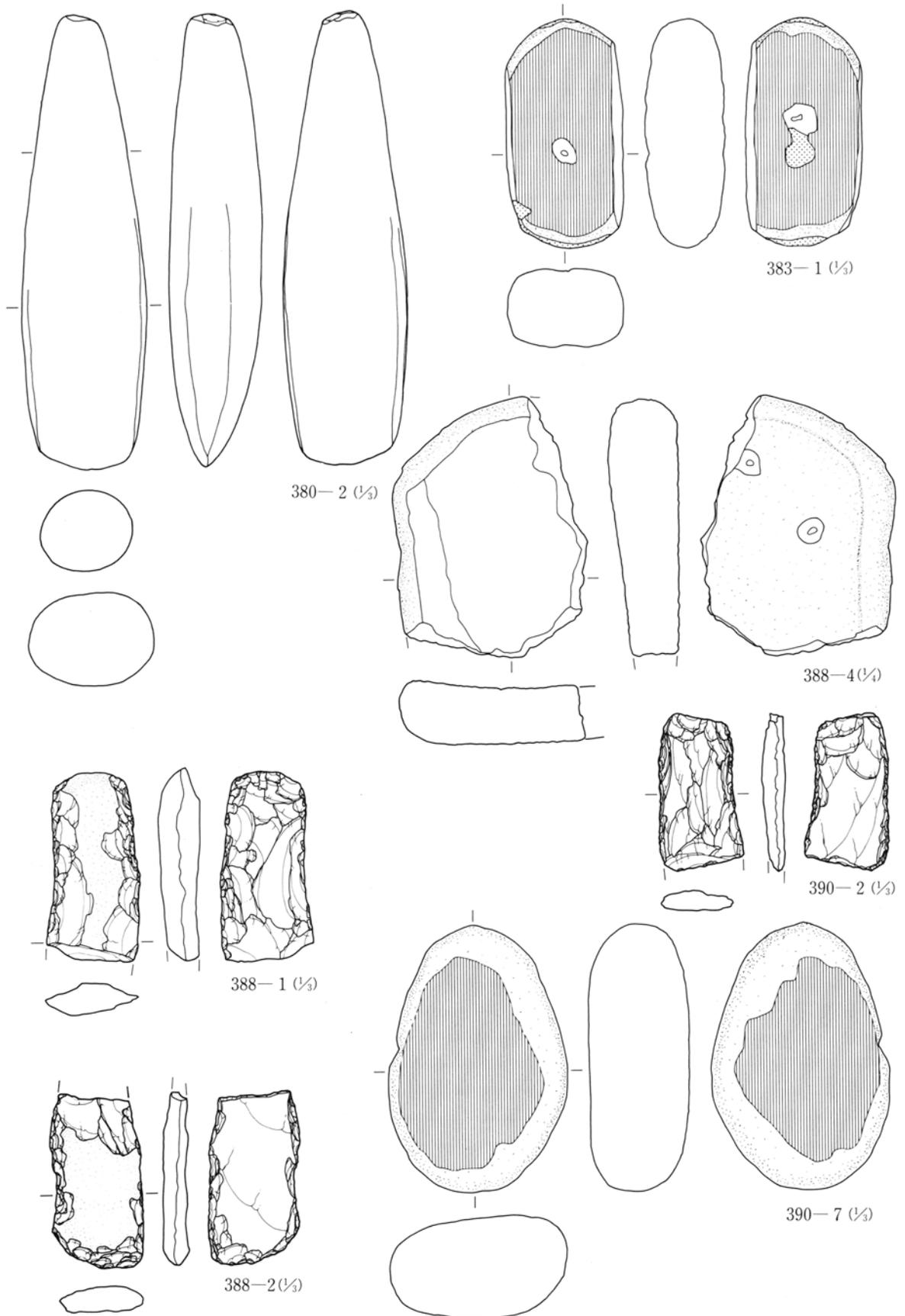
第435図 土坑出土石器(10)



第436図 土坑出土石器(11)

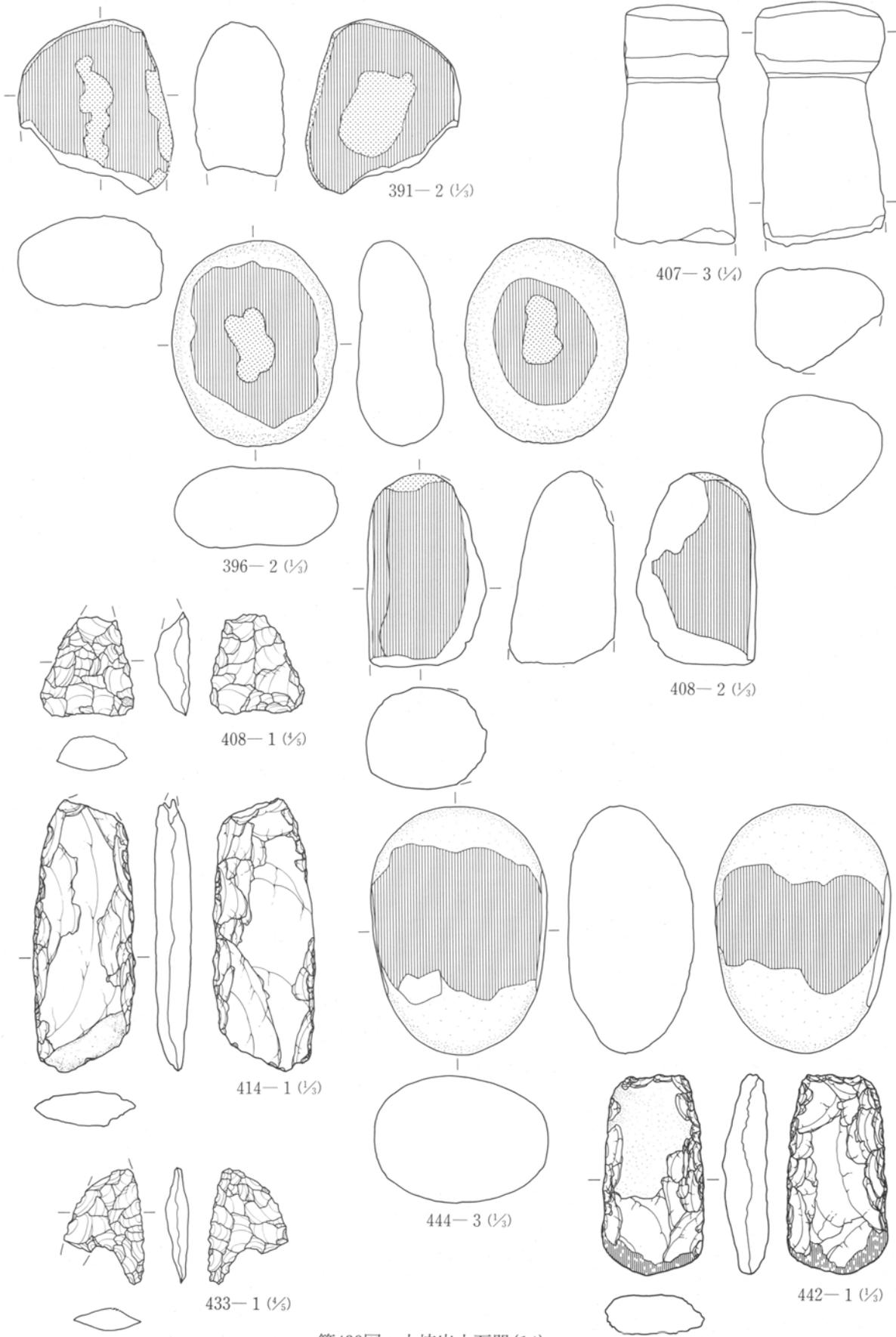


第437図 土坑出土石器(12)



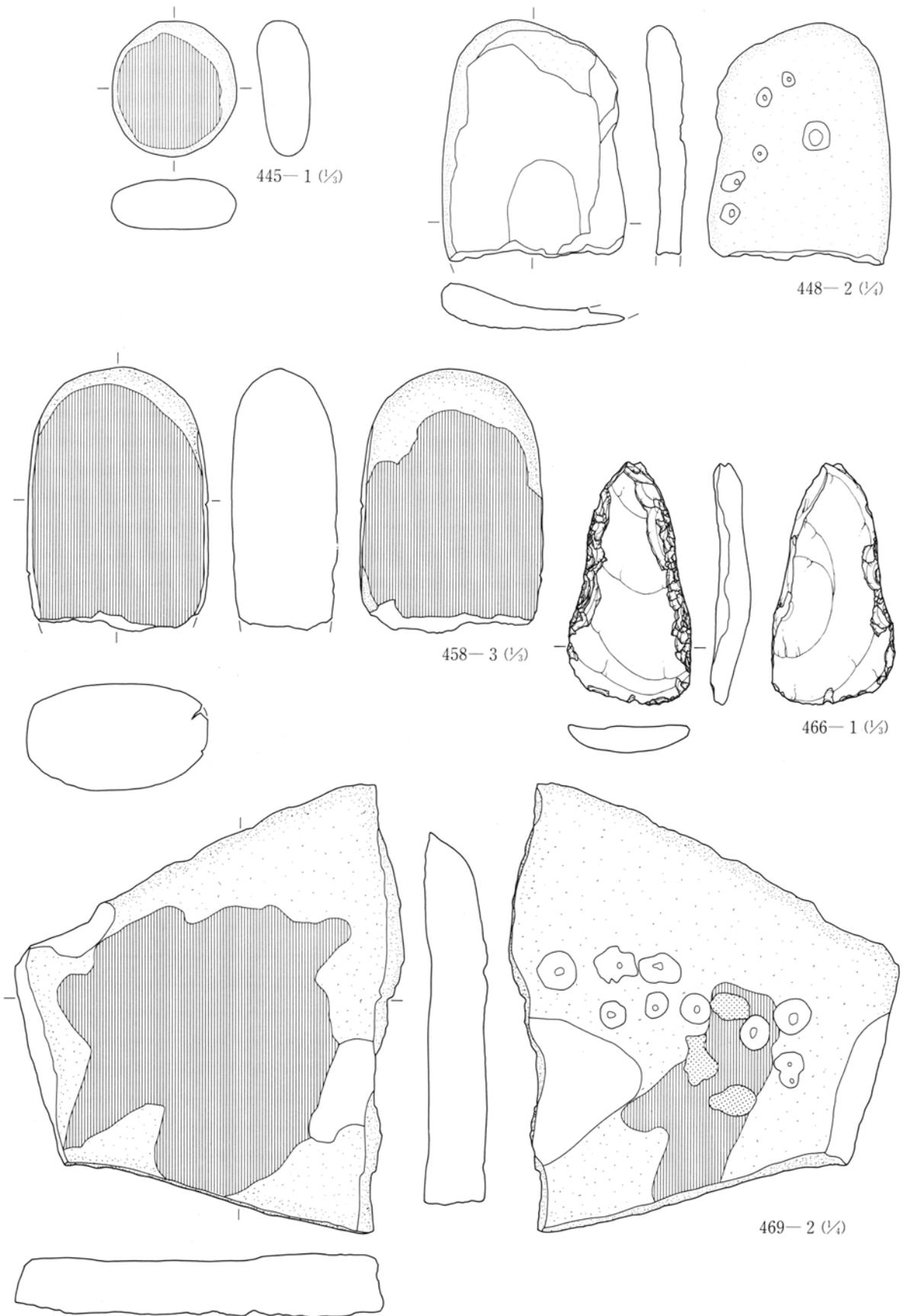
第438図 土坑出土石器(13)

第4節 土坑と出土遺物

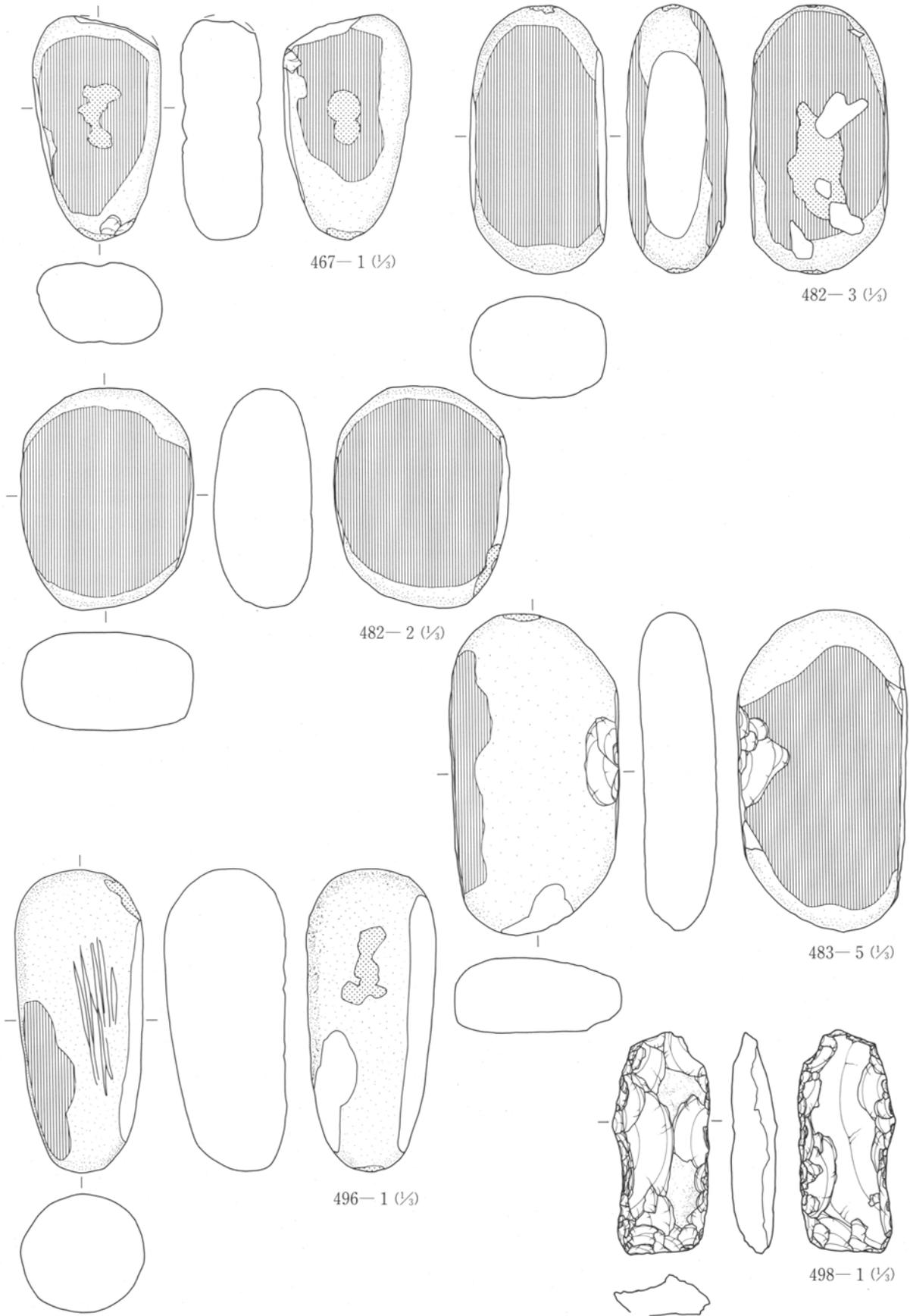


第439図 土坑出土石器(14)

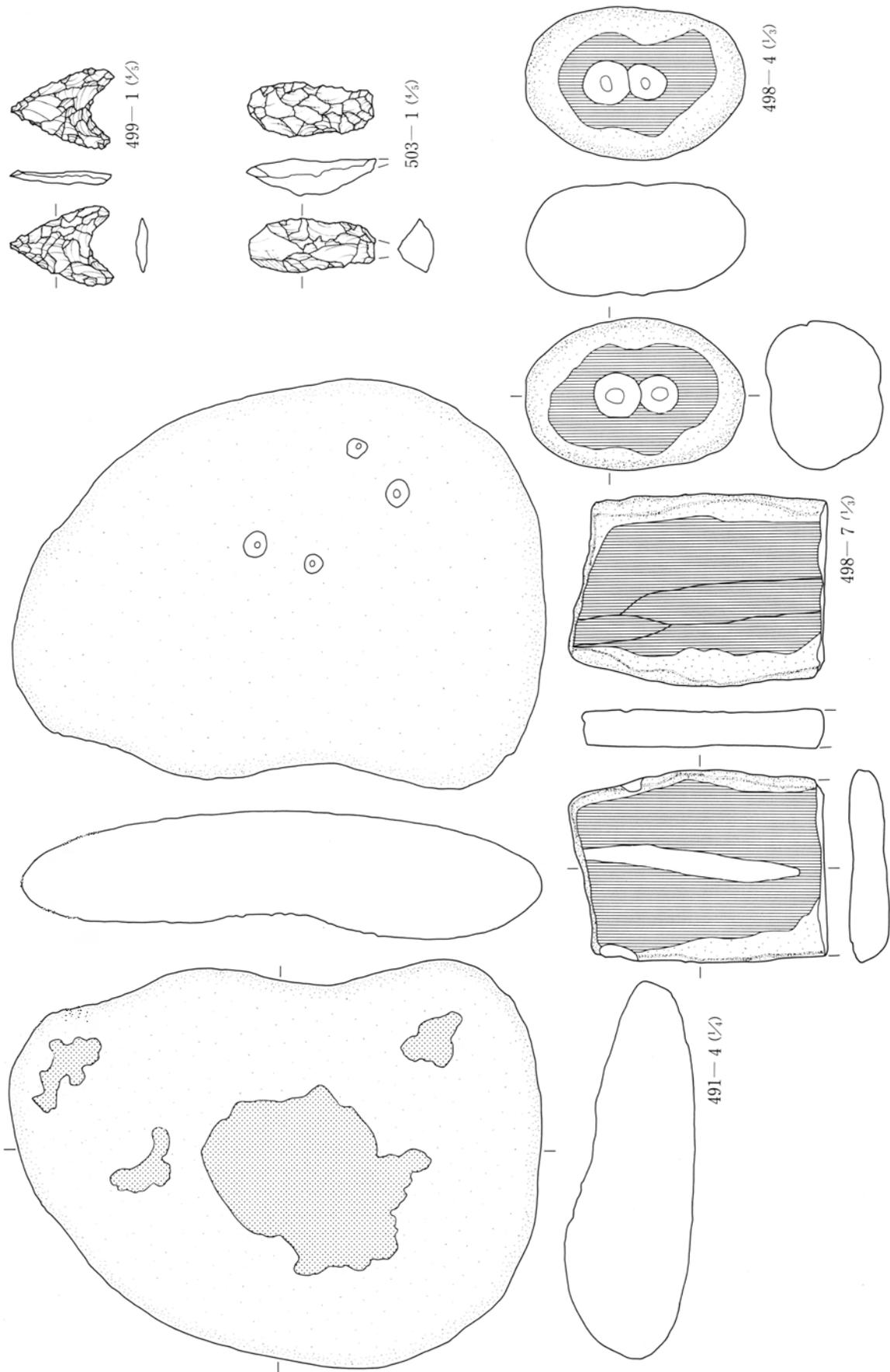
第2章 検出された遺構と遺物



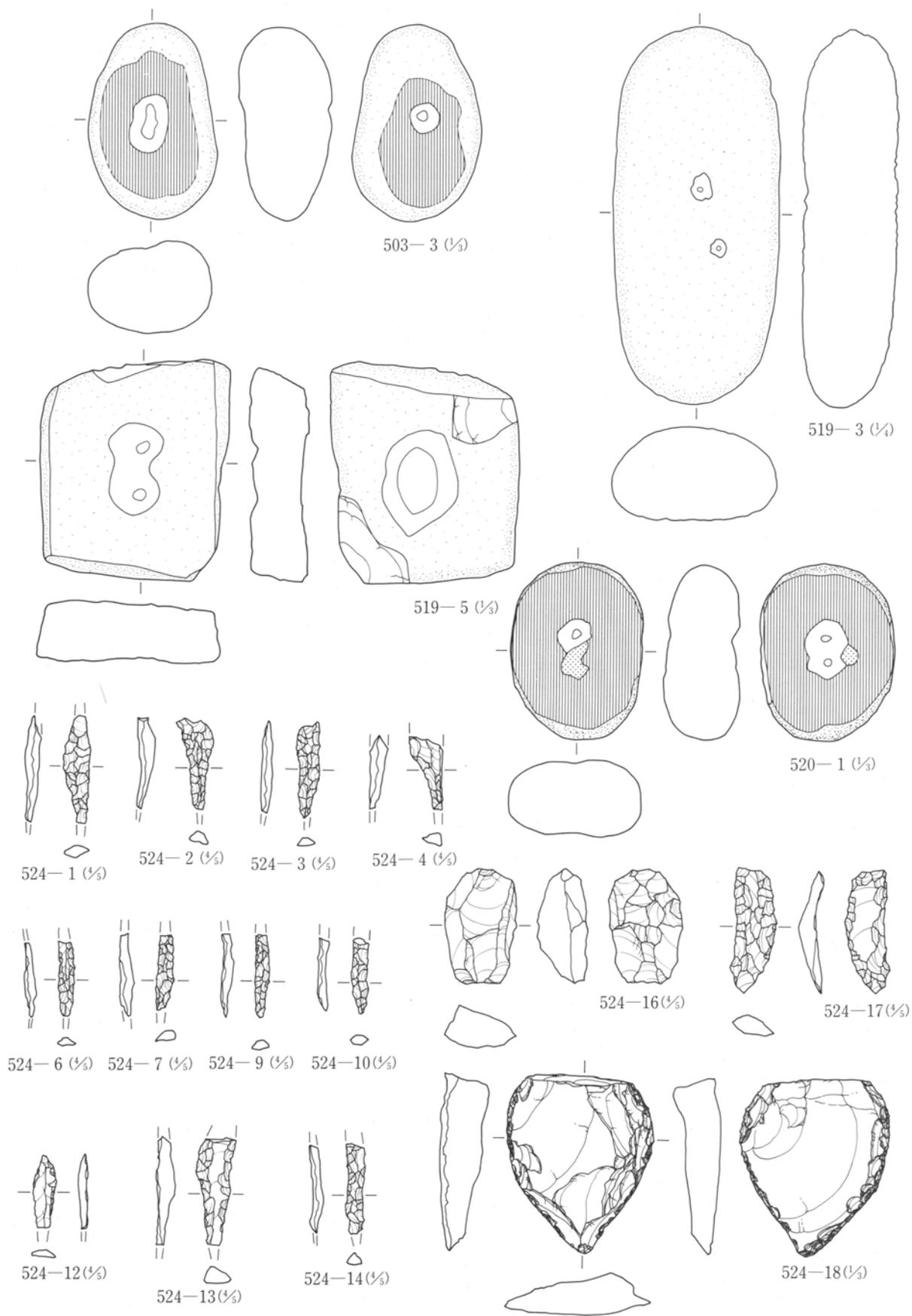
第440図 土坑出土石器(15)



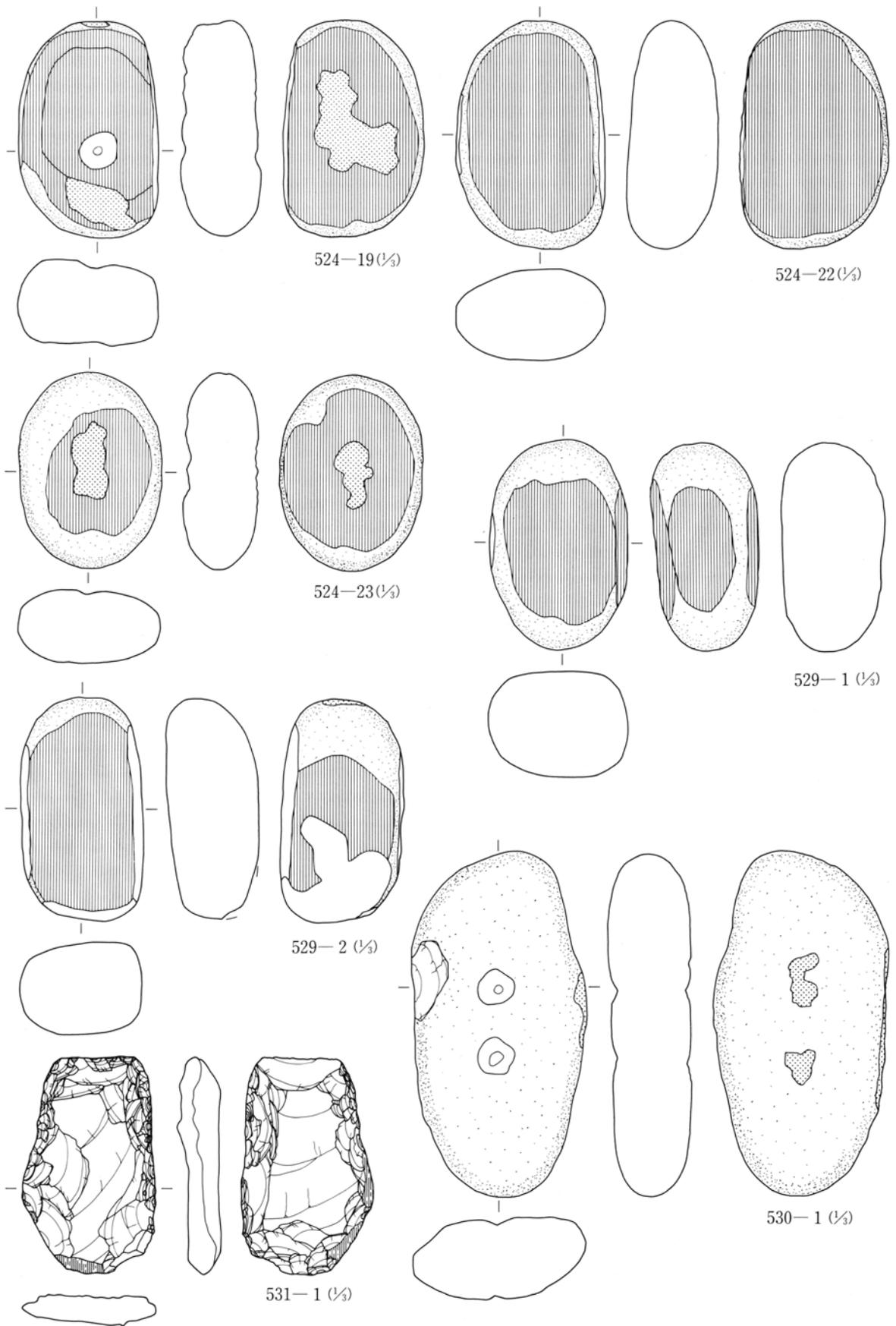
第441図 土坑出土石器(16)



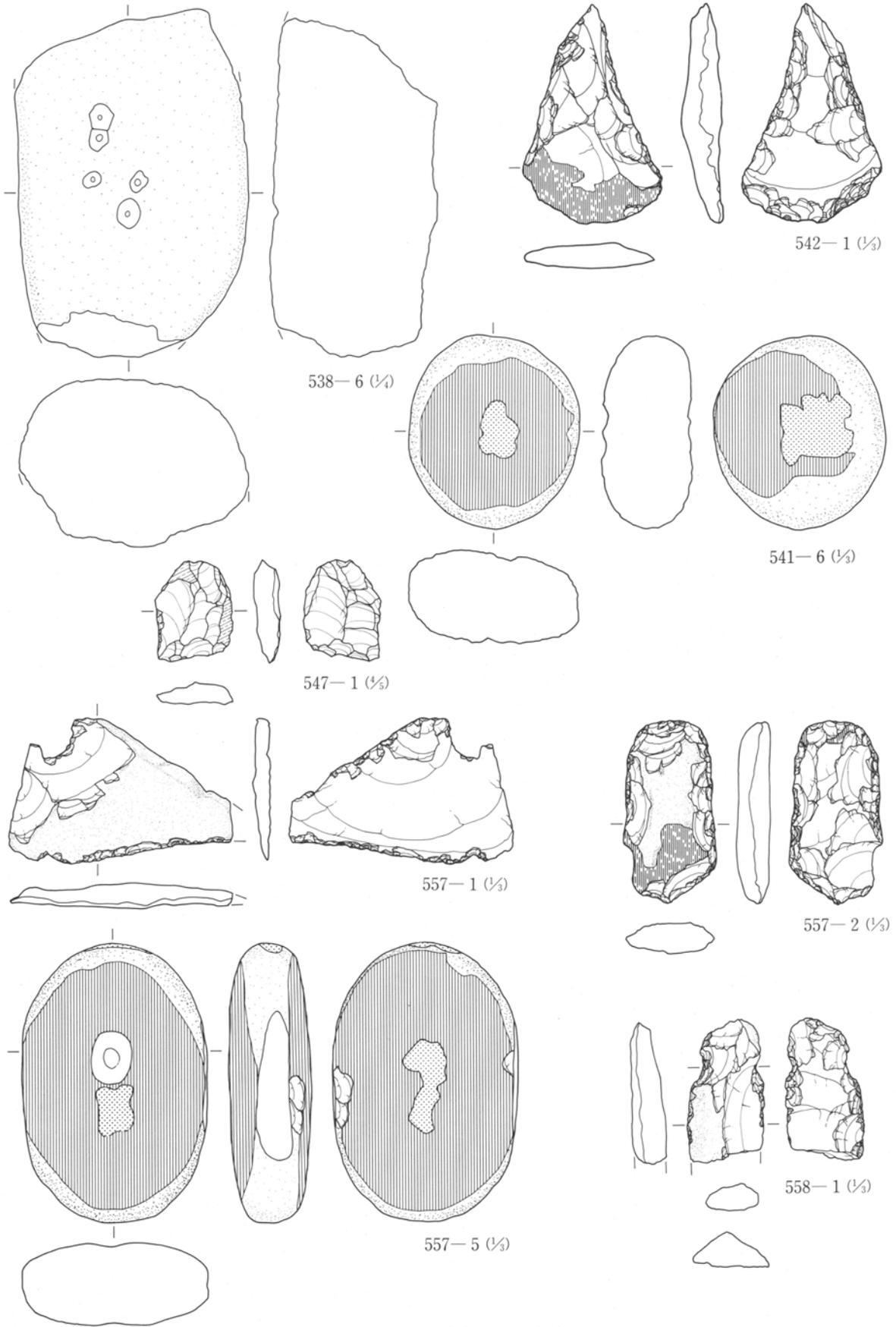
第442図 土坑出土石器(17)



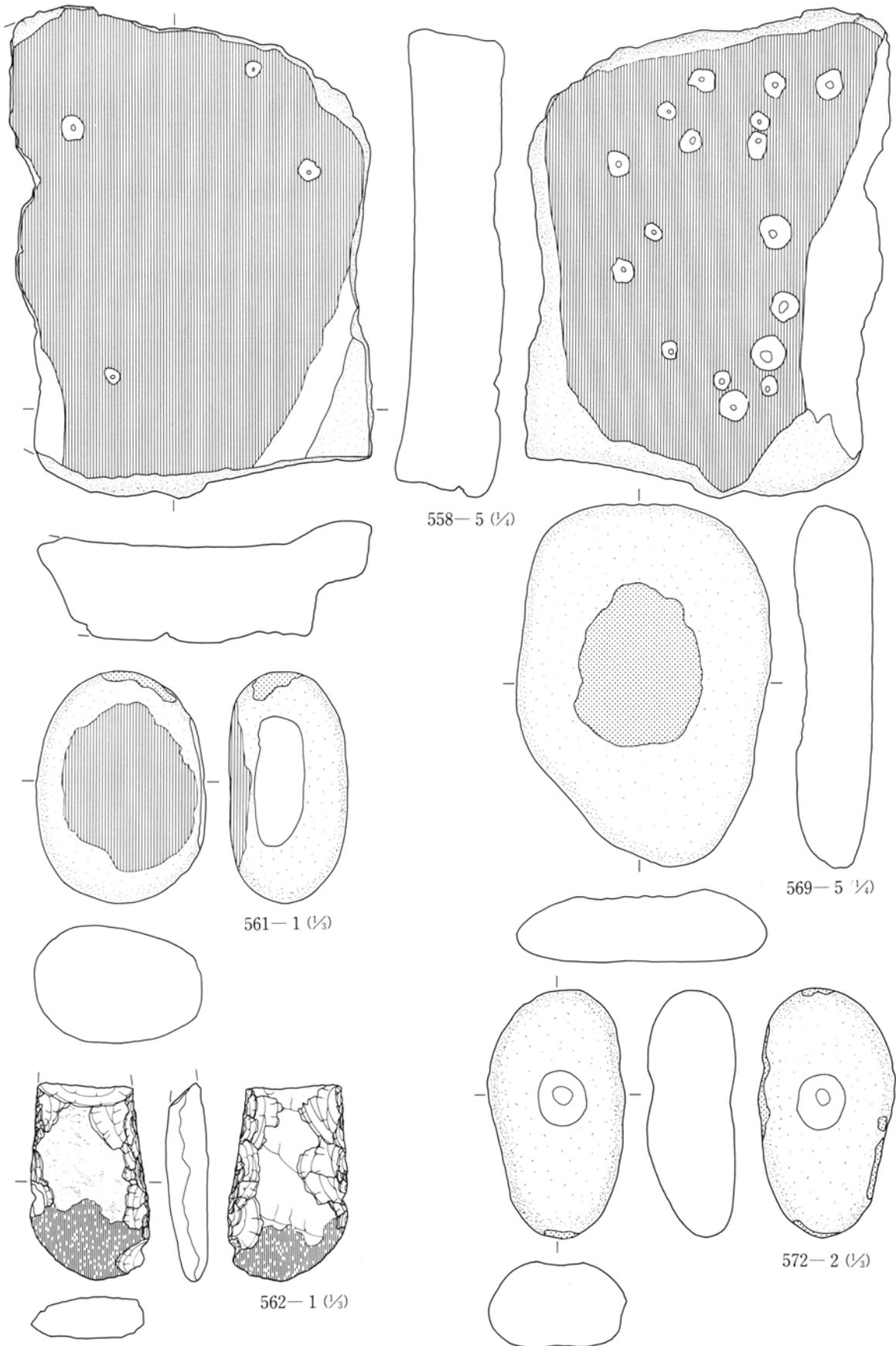
第443図 土坑出土石器(18)



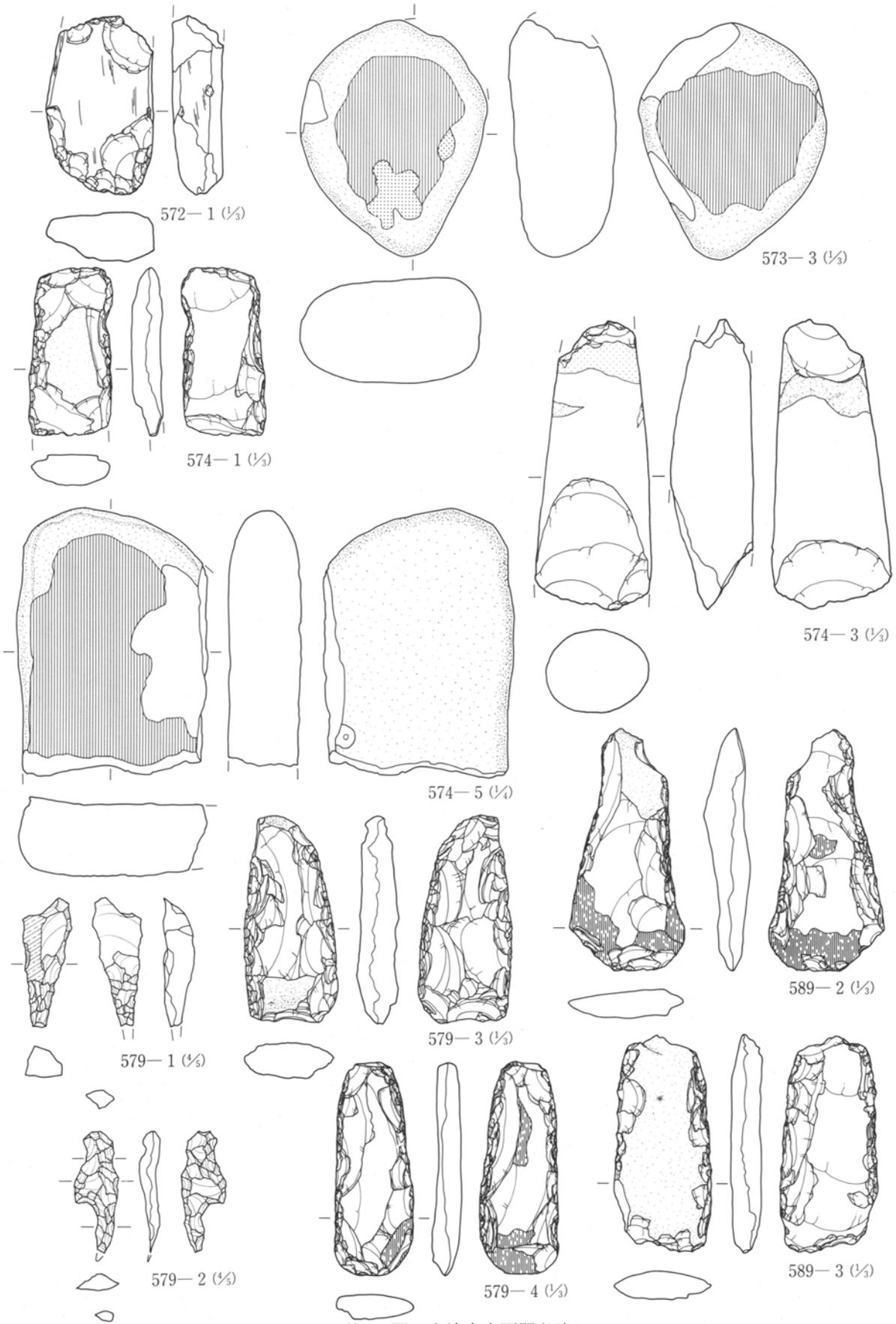
第444図 土坑出土石器(19)



第445図 土坑出土石器(20)

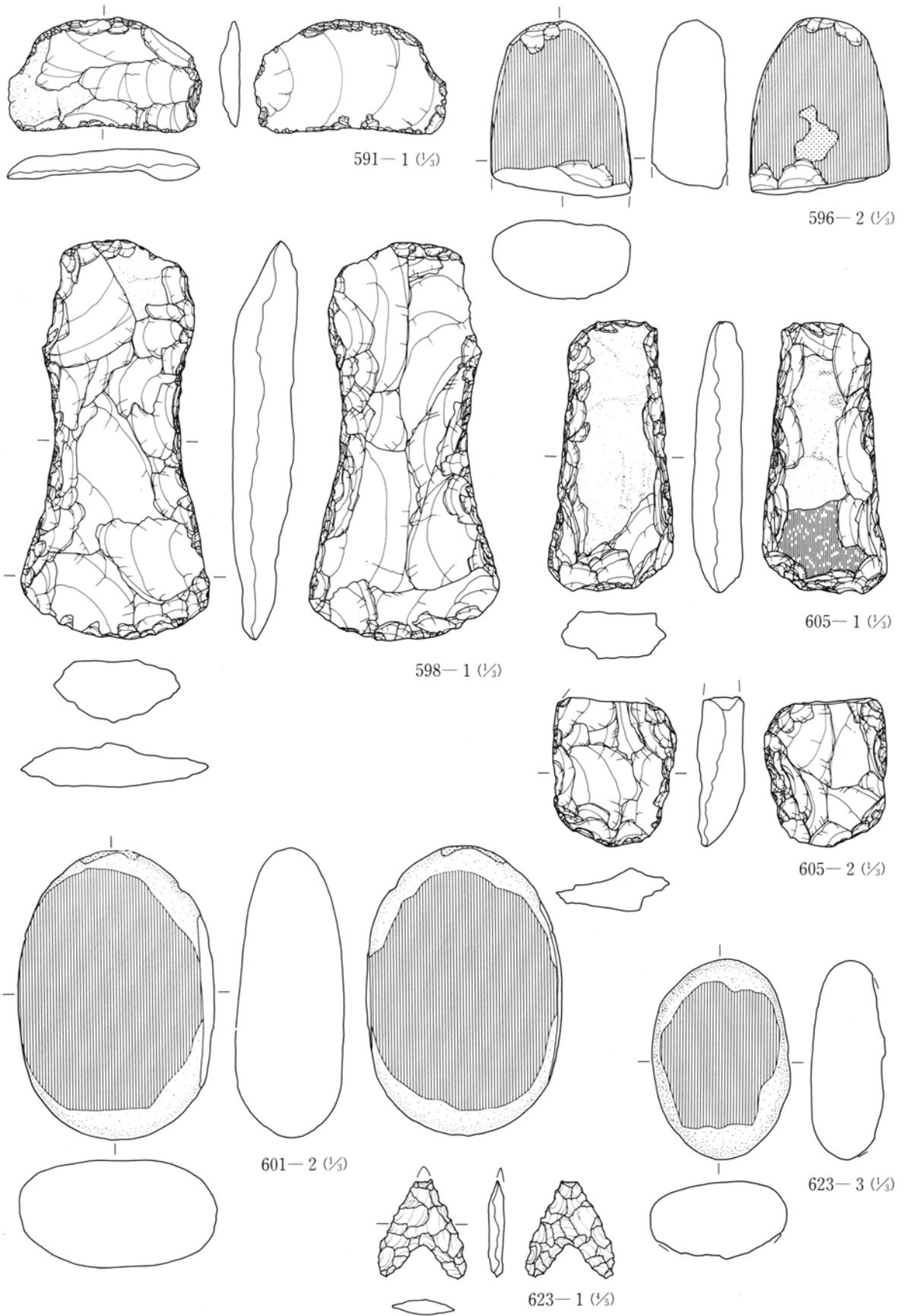


第446図 土坑出土石器(21)

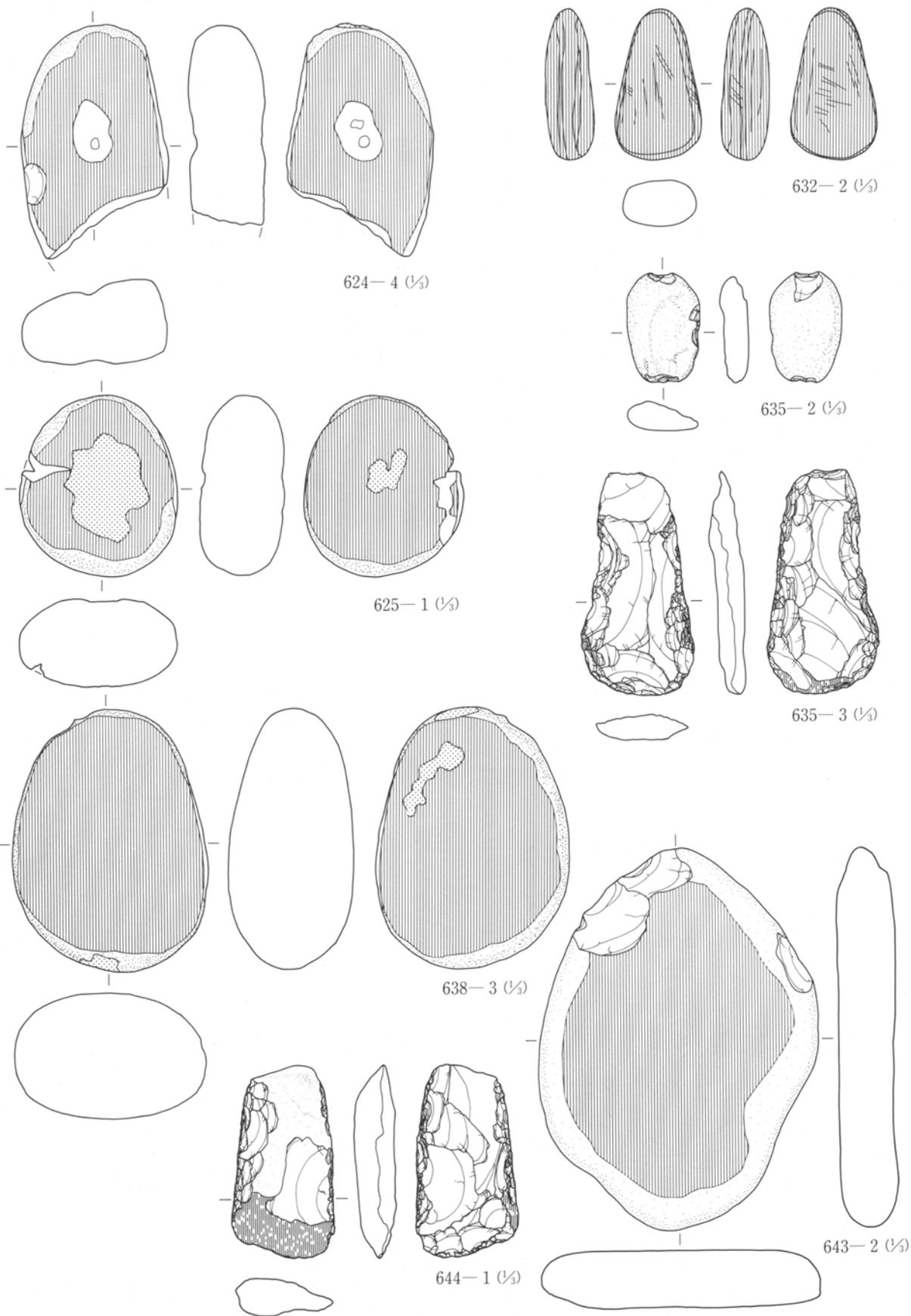


第447図 土坑出土石器(22)

第2章 検出された遺構と遺物

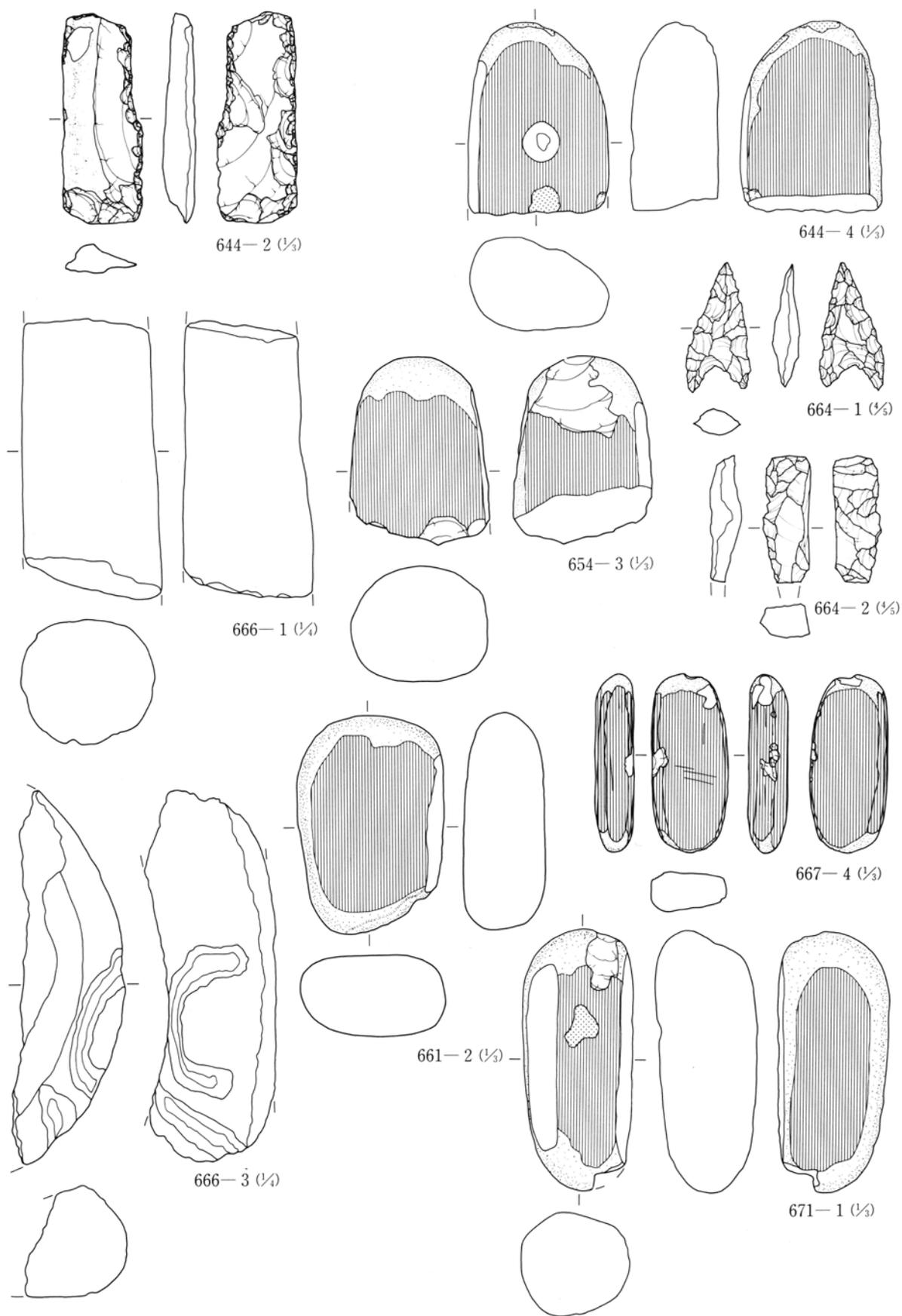


第448図 土坑出土石器(23)

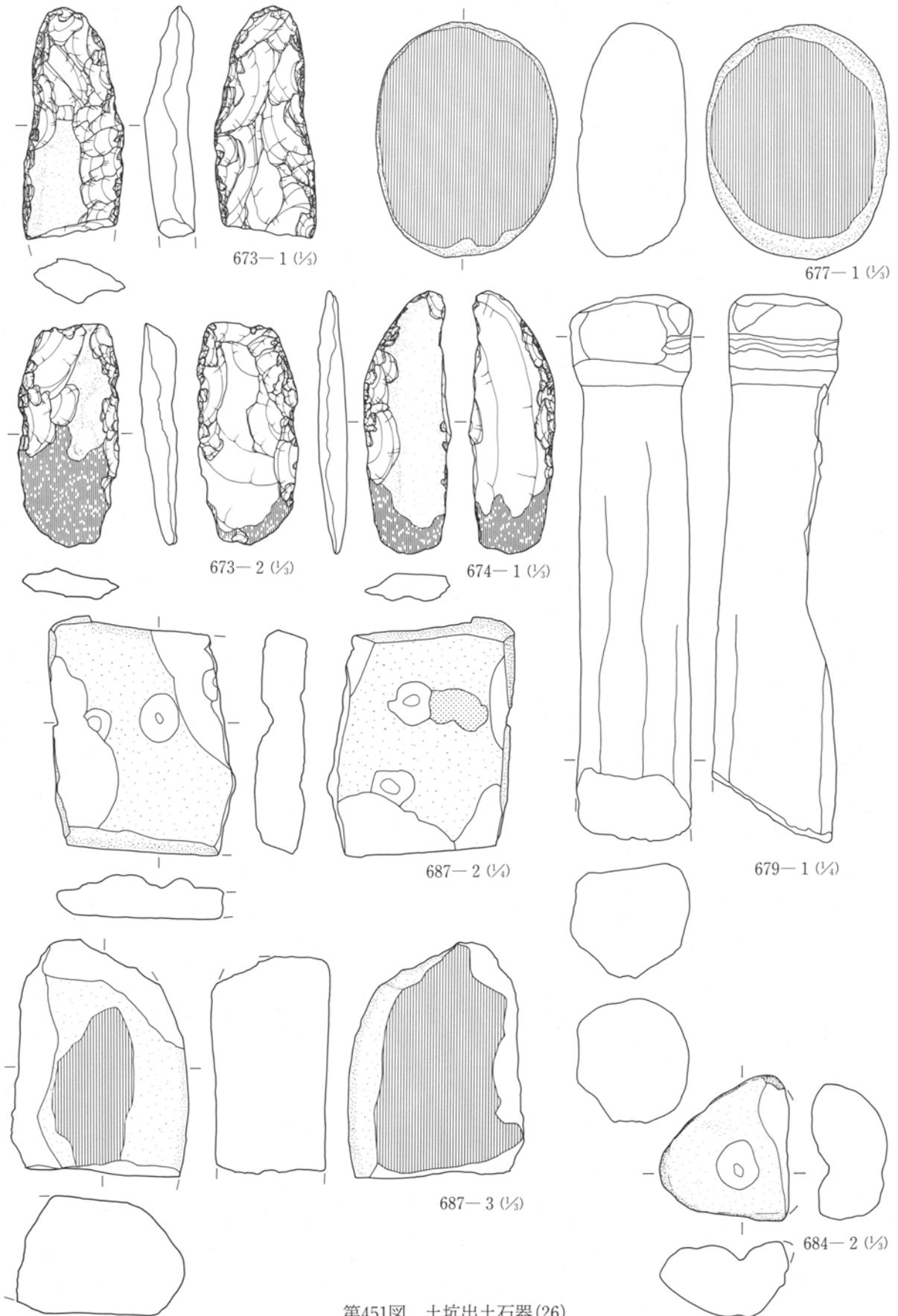


第449図 土坑出土石器(24)

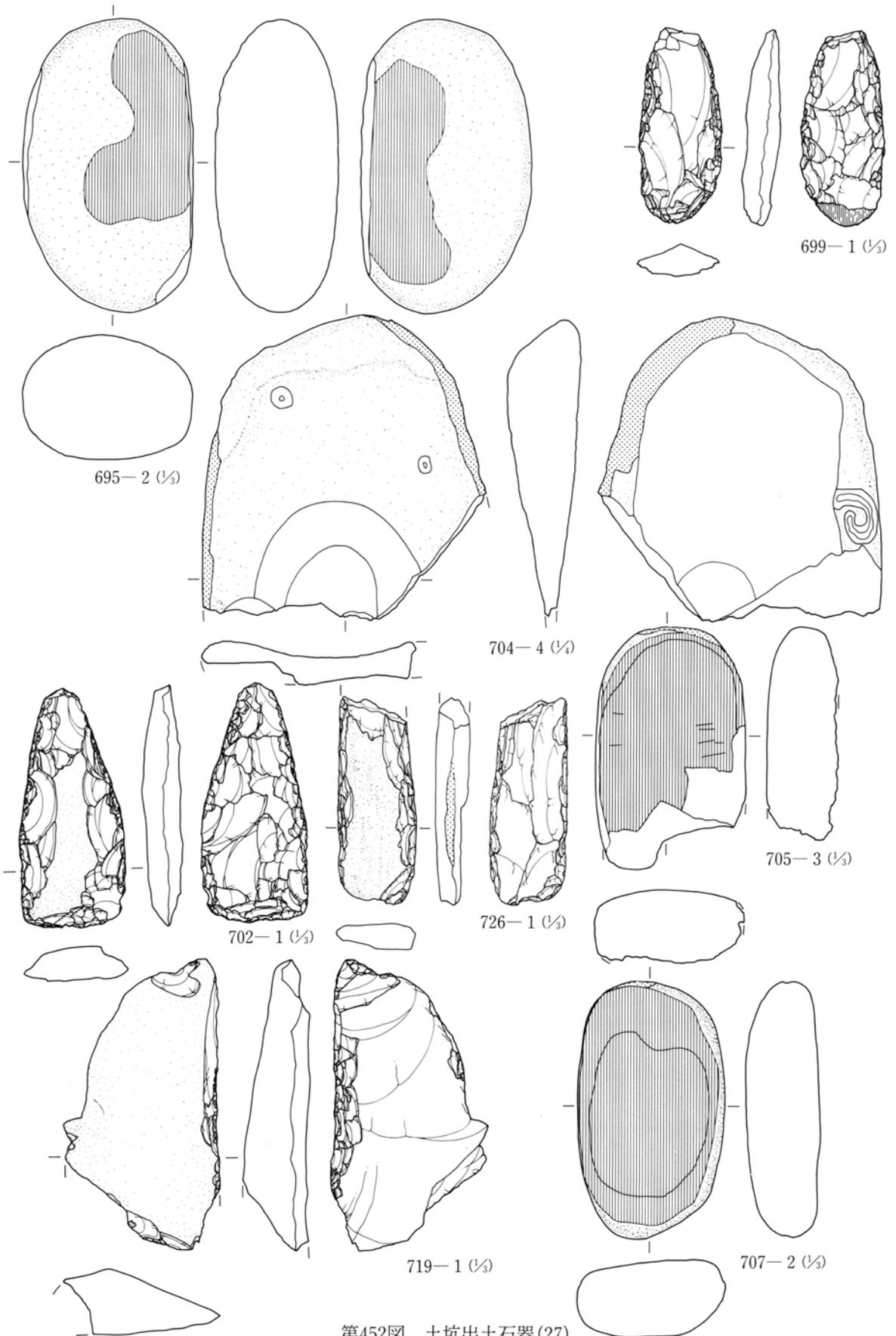
第2章 検出された遺構と遺物



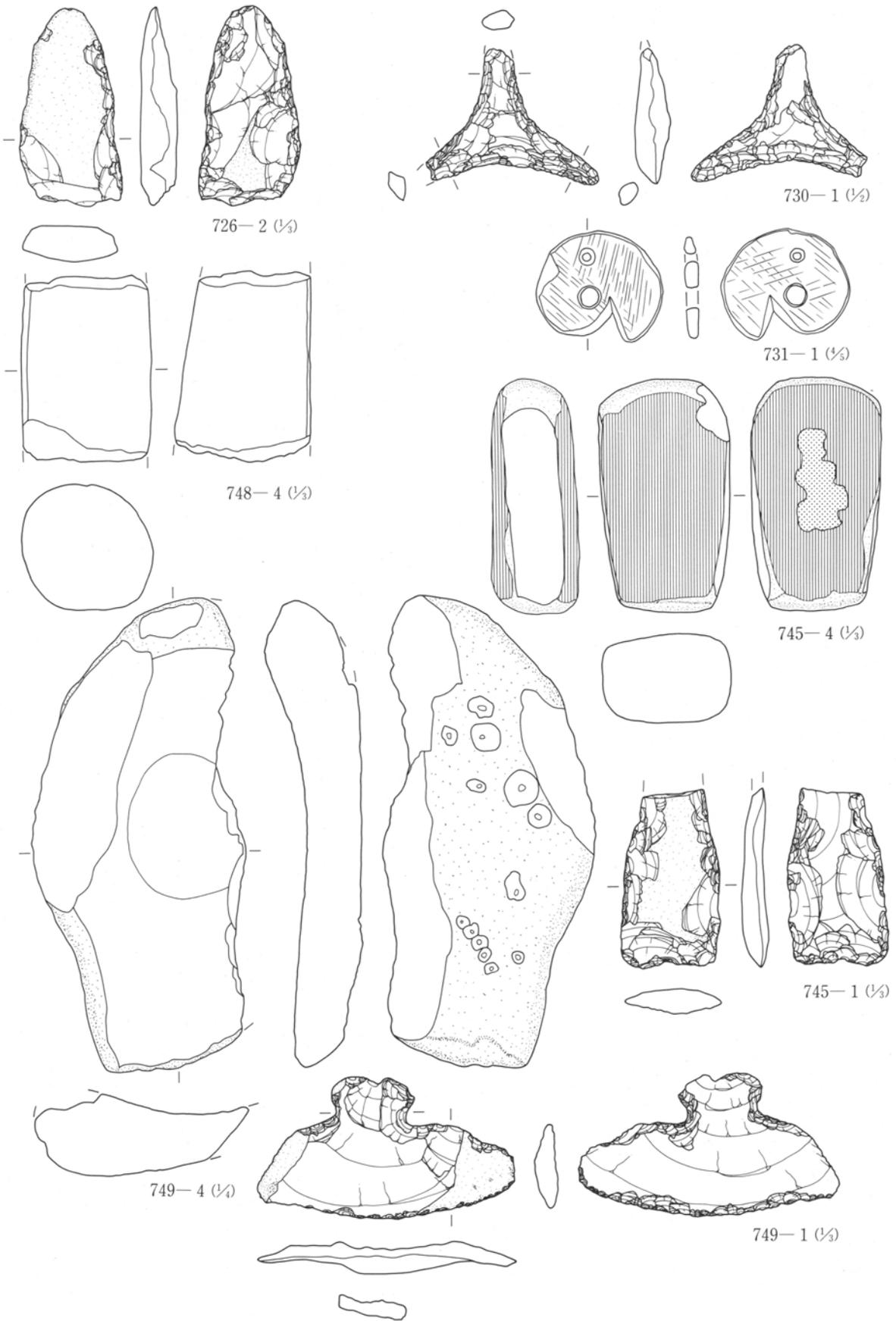
第450図 土坑出土石器(25)



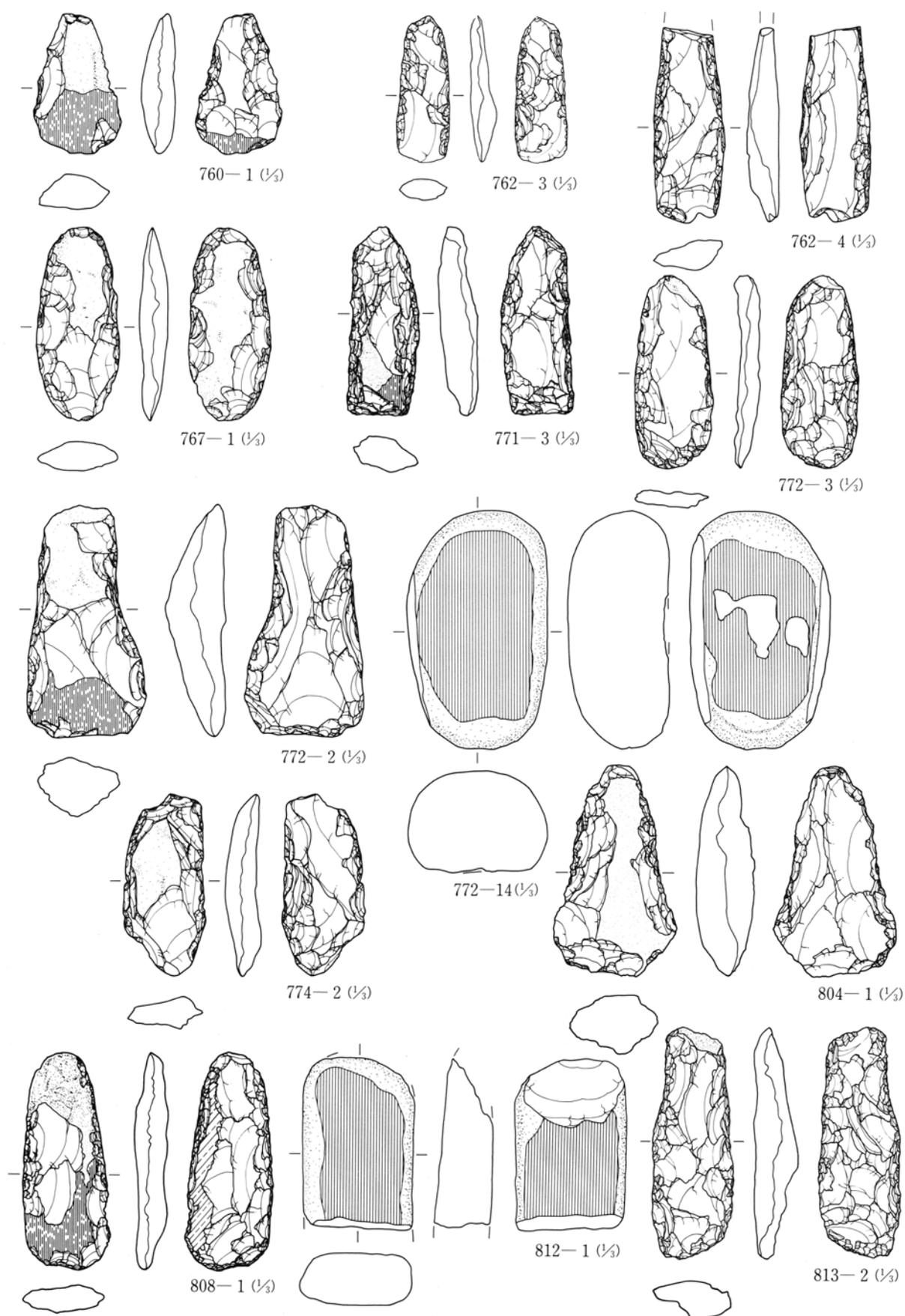
第451図 土坑出土石器(26)



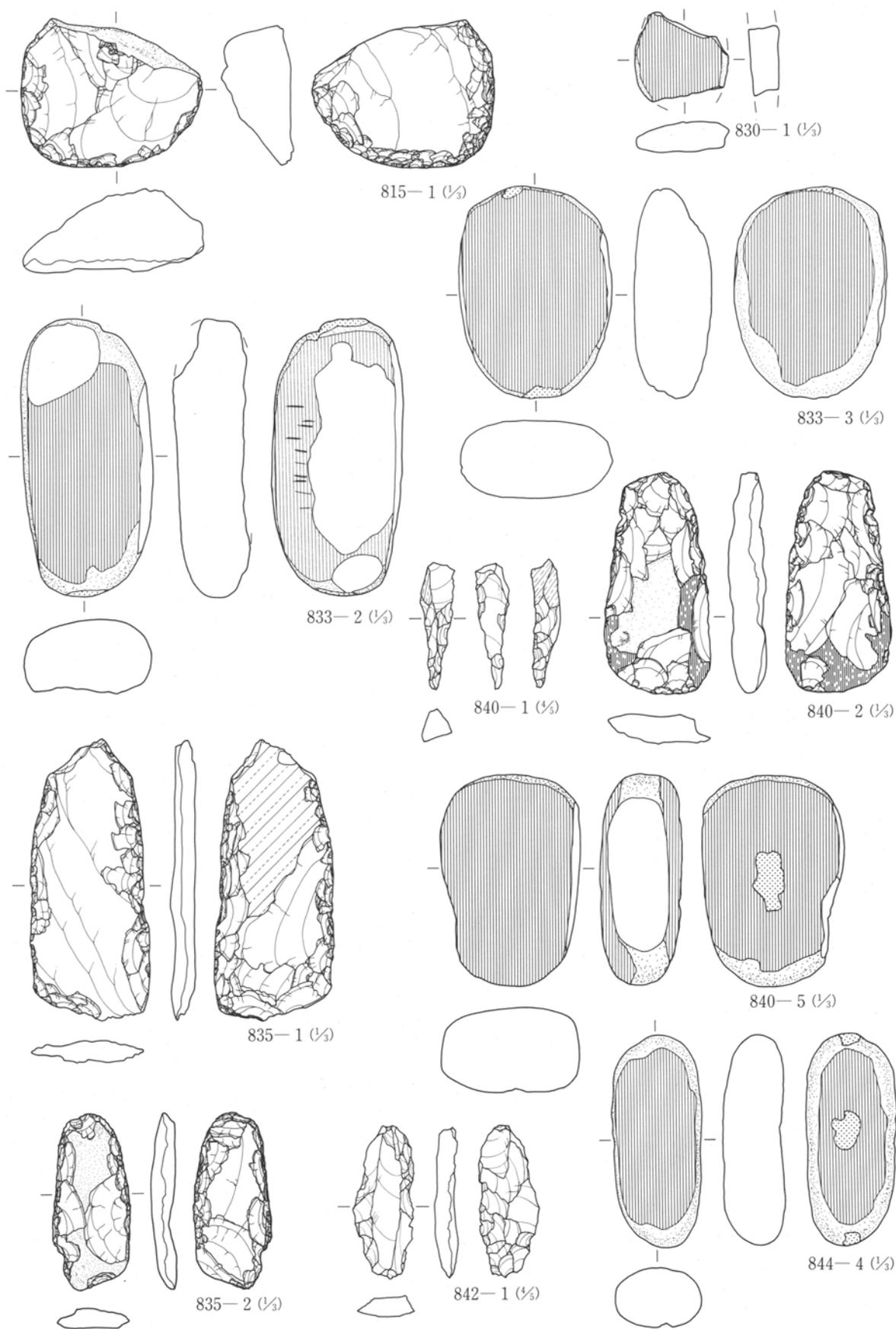
第452図 土坑出土石器(27)



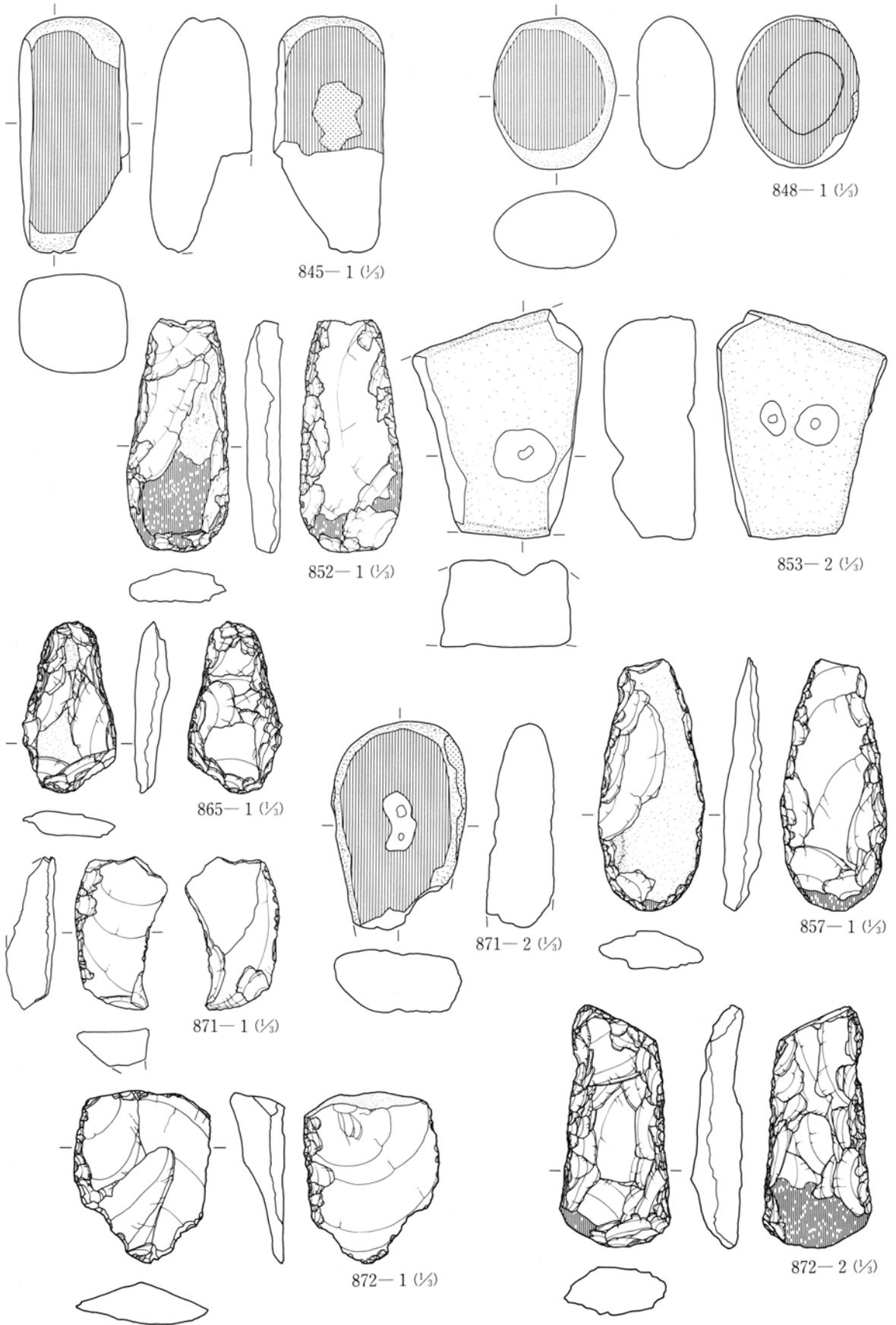
第453図 土坑出土石器(28)



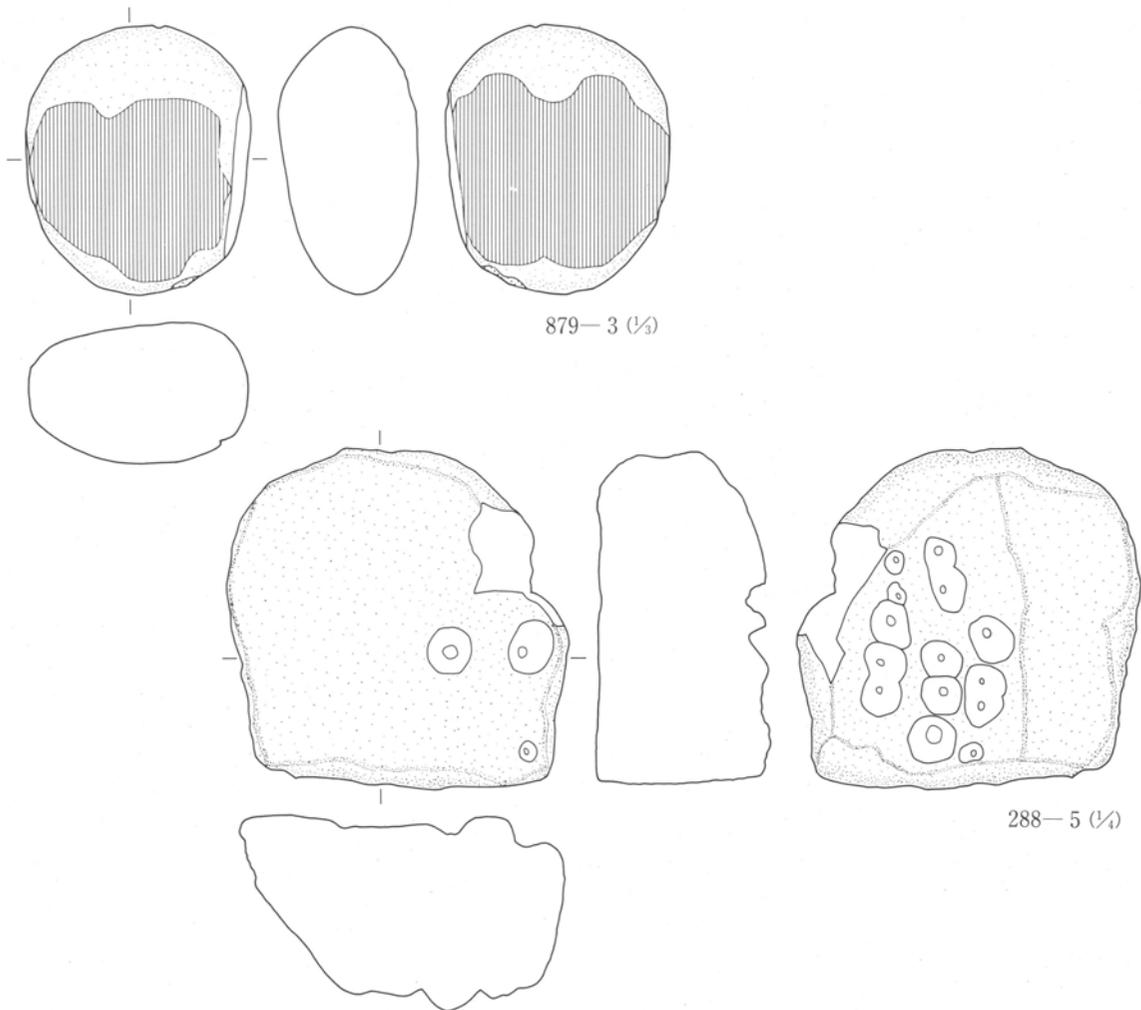
第454図 土坑出土石器(29)



第455図 土坑出土石器(30)



第456図 土坑出土石器(31)



第457図 土坑出土石器(32)

土坑出土石器観察表

土坑	No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
					長さ	幅	厚さ	重量				
1	1	楔	床直	完形	1.9	1.3	0.3	0.7	黒曜	両端に剝離痕。		252
1	2	石核	床直	1/2	9.6	9.8	4.5	430.4	硬泥	剝片の両面で一部周辺から剝片剝離。上半欠損。		252
1	3	磨石	下位	完形	11.9	7.4	5.5	718.1	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨・敲打痕。	426	252
1	4	台石	床直	完形	21.7	15.6	5.6	2350.0	ひん	盤状の円礫。表裏に敲打痕。		252
2	1	石核	覆土	完形	8.2	5.9	1.9	96.4	変玄	剝片の主に腹面側で少数の剝片剝離。		252
5	1	打斧	覆土	完形	10.2	4.8	2.7	118.8	硬泥	刃部磨耗。II b類。		252
9	1	打斧	覆土	完形	9.9	4.7	1.9	75.2	硬泥	刃部磨耗。II b類。		252
14	1	打斧	覆土	完形	11.8	6.5	2.7	185.3	硬泥	II a類。		252
14	2	打斧	覆土	一部欠	11.3	5.1	3.2	165.8	細安	刃部一部欠損。II b類。		252
14	3	打斧	覆土	一部欠	12.1	6.1	2.2	168.2	硬泥	刃部一部欠損。II b類。		252
14	4	打斧	覆土	一部欠	11.5	4.6	2.8	157.3	硬泥	III類。刃部磨耗。基部一部欠損。		252
14	5	凹石	床直	破片	5.6	6.9	3.9	214.9	粗安	両側面取り。表面凹み・研磨、裏面研磨。	426	252
14	6	多孔	床下	完形	32.5	13.3	8.3	4860.0	デイ	盤状の円礫。表裏に凹み。	426	252
14	7	台石	床直	1/2	23.3	28.3	9.9	8120.0	デイ	盤状の円礫。表裏に敲打痕。		252
16	1	SS	中位	完形	6.8	12.3	3.7	331.7	硬泥	横長剝片端部に調整加え刃部形成。両側にも調整。		252
16	2	打斧	中位	完形	11.1	6.4	2.1	147.9	硬泥	II b類。	426	252
16	3	石核	下位	完形	8.1	9.9	6.1	406.6	硬泥	剝片の側で厚みを切断するように剝片剝離。		253
16	4	石核	中位	破片	6.6	5.9	2.8	132.2	硬泥	盤状の礫の両面で一部周辺から剝片剝離。		253
16	5	台石	中位	破片	12.5	21.9	5.2	1415.7	砂岩	盤状の垂角礫。表面に敲打痕。		253
17	1	SS	覆土	完形	6.6	8.2	2.0	133.6	硬泥	薄い盤状礫の両面全周に調整加え楕円形状に整形。		253